

## 基本計画書

基本計画										
事項	記入欄								備考	
計画の区分	大学の収容定員に係る学則変更									
フリガナ設置者	ガッコウホウジン トウホウダイガク 学校法人 東邦大学									
フリガナ大学の名称	トウホウダイガク 東邦大学 (Toho University)									
大学本部の位置	東京都大田区大森西五丁目21番16号									
大学の目的	医学、看護学、薬学及び理学に関する学術の理解および応用を教授研究し、その深奥を究めて、文化の進展に寄与するとともに有為の人材を育成する。									
新設学部等の目的	千葉県ならびに新潟県の医師修学支援制度を活用し、地域医療等に従事する明確な意思をもった学生の選抜枠を設定し医師定着を図ることを目的に入学定員増を行う。									
新設学部等の概要	新設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位	学位の分野	開設時期及び開設年次	所在地	医学部医学科の今回の13名の入学定員の増員は、令和6年度のみ臨時定員増である。 また、医学部医学科の令和5年度における収容定員は702人である。
	医学部									
	医学科	6	123 (110)	-	673 (660)	学士(医学)	医学関係	令和6年4月 第1年次	東京都大田区大森西 五丁目21番16号	
	薬学部									
	薬学科	6	245	-	1,470	学士(薬学)	薬学関係	平成18年4月 第1年次	千葉県船橋市三山 二丁目2番1号	
	理学部									
	生物学科	4	80	-	320	学士(理学)	理学関係	昭和25年4月 第1年次	千葉県船橋市三山 二丁目2番1号	
	化学科	4	80	-	320	学士(理学)	理学関係	昭和25年4月 第1年次	同上	
	生物分子科学科	4	80	-	320	学士(理学)	理学関係	平成1年4月 第1年次	同上	
	物理学科	4	70	-	280	学士(理学)	理学関係	昭和57年4月 第1年次	同上	
	情報科学科	4	100	-	400	学士(理学)	理学関係	平成1年4月 第1年次	同上	
	生命圏環境科学科	4	60	-	240	学士(理学)	理学関係	平成17年4月 第1年次	同上	
	看護学部									
	看護学科	4	102	-	408	学士(看護学)	保健衛生学関係 (看護学関係)	平成29年4月 第1年次	東京都大田区大森西 五丁目21番16号	
	健康科学部									
看護学科	4	60	-	240	学士(看護学)	保健衛生学関係 (看護学関係)	平成29年4月 第1年次	千葉県船橋市三山 二丁目2番1号		
計		1,000 (987)		4,671 (4,658)						
同一設置者内における変更状況 (定員の移行、名称の変更等)	薬学部薬学科【入学定員増】(25)(令和6年4月)									
教育課程	新設学部等の名称	開設する授業科目の総数				卒業要件単位数				
		講義	演習	実験・実習	計					
		- 科目	- 科目	- 科目	- 科目	- 単位				

学部等の名称	基幹教員					助手	基幹教員以外の教員 (助手を除く)
	教授	准教授	講師	助教	計		
新 医学部 医学科	88 (88)	68 (68)	4 (4)	1 (1)	161 (161)	0 (0)	1025 (1025)
a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	88 (88)	68 (68)	4 (4)	1 (1)	161 (161)		大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数 105人
b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
小計（a～b）	88 (88)	68 (68)	4 (4)	1 (1)	161 (161)		
c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
計（a～d）	88 (88)	68 (68)	4 (4)	1 (1)	161 (161)		
薬学部 薬学科	23 (23)	13 (13)	26 (26)	8 (8)	70 (70)		
a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	23 (23)	13 (13)	26 (26)	8 (8)	70 (70)		大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数 27人
b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
小計（a～b）	23 (23)	13 (13)	26 (26)	8 (8)	70 (70)		
c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
計（a～d）	23 (23)	13 (13)	26 (26)	8 (8)	70 (70)		
理学部 生物学科	4 (4)	9 (9)	2 (2)	0 (0)	15 (15)		
a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	4 (4)	7 (7)	2 (2)	0 (0)	13 (13)		大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数 6人
b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	2 (2)		
小計（a～b）	4 (4)	9 (9)	2 (2)	0 (0)	15 (15)		
c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
計（a～d）	4 (4)	9 (9)	2 (2)	0 (0)	15 (15)		
理学部 化学科	8 (8)	7 (7)	1 (0)	0 (0)	16 (16)		
a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	8 (8)	7 (7)	1 (0)	0 (0)	16 (16)		大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数 6人
b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
小計（a～b）	8 (8)	7 (7)	1 (0)	0 (0)	16 (16)		
c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
計（a～d）	8 (8)	7 (7)	1 (0)	0 (0)	16 (16)		

設	理学部 生物分子科学科	7 (7)	7 (7)	1 (1)	0 (0)	16 (16)	0 (0)	1 (1)	大学設置基準別表第一イに定める 基幹教員数の四分の三の数 6人
	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事 する者であって、主要授業科目を担当するもの	7 (7)	7 (7)	1 (1)	0 (0)	16 (16)	/	/	
	b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事 する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当 するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	小計（a～b）	7 (7)	7 (7)	1 (1)	0 (0)	16 (16)			
	c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事す る者であって、年間8単位以上の授業科目を担当す るもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事す る者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、か つ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事す る者であって、年間8単位以上の授業科目を担当 するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	計（a～d）	7 (7)	7 (7)	1 (1)	0 (0)	16 (16)			
	理学部 物理学科	9 (9)	3 (3)	2 (2)	0 (0)	14 (14)	0 (0)	0 (0)	大学設置基準別表第一イに定める 基幹教員数の四分の三の数 6人
	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事 する者であって、主要授業科目を担当するもの	9 (9)	3 (3)	2 (2)	0 (0)	14 (14)	/	/	
	b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事 する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当 するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	小計（a～b）	9 (9)	3 (3)	2 (2)	0 (0)	14 (14)			
	c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事す る者であって、年間8単位以上の授業科目を担当す るもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事す る者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、か つ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事す る者であって、年間8単位以上の授業科目を担当 するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	計（a～d）	9 (9)	3 (3)	2 (2)	0 (0)	14 (14)			
	理学部 情報科学科	11 (11)	4 (4)	5 (5)	0 (0)	20 (20)	0 (0)	0 (0)	大学設置基準別表第一イに定める 基幹教員数の四分の三の数 7人
	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事 する者であって、主要授業科目を担当するもの	11 (11)	4 (4)	5 (5)	0 (0)	20 (20)	/	/	
	b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事 する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当 するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	小計（a～b）	11 (11)	4 (4)	5 (5)	0 (0)	20 (20)			
	c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事す る者であって、年間8単位以上の授業科目を担当す るもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事す る者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、か つ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事す る者であって、年間8単位以上の授業科目を担当 するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
計（a～d）	11 (11)	4 (4)	5 (5)	0 (0)	20 (20)				
理学部 生命圏環境科学科	6 (6)	5 (5)	1 (1)	0 (0)	12 (12)	0 (0)	0 (0)	大学設置基準別表第一イに定める 基幹教員数の四分の三の数 6人	
a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事 する者であって、主要授業科目を担当するもの	6 (6)	5 (5)	1 (1)	0 (0)	12 (12)	/	/		
b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事 する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当 するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)				
小計（a～b）	6 (6)	5 (5)	1 (1)	0 (0)	12 (12)				
c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事す る者であって、年間8単位以上の授業科目を担当す るもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)				
d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事す る者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、か つ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事す る者であって、年間8単位以上の授業科目を担当 するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)				
計（a～d）	6 (6)	5 (5)	1 (1)	0 (0)	12 (12)				

分	看護学部 看護学科	12 (12)	8 (8)	3 (3)	0 (0)	23 (23)	0 (0)	24 (24)	大学設置基準別表第一イに定める 基幹教員数の四分の三の数 10人		
	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事 する者であって、主要授業科目を担当するもの	11 (11)	7 (7)	2 (2)	0 (0)	20 (20)	/	/			
	b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事 する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当 するもの（aに該当する者を除く）	1 (1)	1 (1)	1 (1)	0 (0)	3 (3)					
	小計（a～b）	12 (12)	8 (8)	3 (3)	0 (0)	23 (23)					
	c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事す る者であって、年間8単位以上の授業科目を担当す るもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)					
	d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事す る者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、か つ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事す る者であって、年間8単位以上の授業科目を担当 するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)					
	計（a～d）	12 (12)	8 (8)	3 (3)	0 (0)	23 (23)					
	健康科学部 看護学科	6 (6)	5 (5)	4 (4)	0 (0)	15 (15)				4 (4)	11 (11)
	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事 する者であって、主要授業科目を担当するもの	6 (6)	5 (5)	4 (4)	0 (0)	15 (15)				/	/
	b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事 する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当 するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)					
小計（a～b）	6 (6)	5 (5)	4 (4)	0 (0)	15 (15)						
c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事す る者であって、年間8単位以上の授業科目を担当す るもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)						
d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事す る者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、か つ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事す る者であって、年間8単位以上の授業科目を担当 するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)						
計（a～d）	6 (6)	5 (5)	4 (4)	0 (0)	15 (15)						
計	174 (174)	129 (129)	49 (49)	9 (9)	361 (361)	4 (4)	— (—)				
既設	該当なし	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	大学設置基準別表第一イに定める 基幹教員数の四分の三の数 9人			
a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事 する者であって、主要授業科目を担当するもの	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	/	/				
b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事 する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当 するもの（aに該当する者を除く）	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)						
小計（a～b）	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)						
c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事す る者であって、年間8単位以上の授業科目を担当す るもの（a又はbに該当する者を除く）	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)						
d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事す る者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、か つ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事す る者であって、年間8単位以上の授業科目を担当 するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)						
計（a～d）	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)						
計	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)				— (—)	— (—)	
合計	174 (174)	129 (129)	49 (49)	9 (9)	361 (361)				4 (4)	— (—)	
職 種	専 属		そ の 他		計						
事 務 職 員	329 (329)		97 (97)		426 (426)			人			
技 術 職 員	2,711 (2,711)		97 (97)		2,808 (2,808)						
図 書 館 職 員	16 (16)		10 (10)		26 (26)						
そ の 他 の 職 員	23 (23)		62 (62)		85 (85)						
指 導 補 助 者	0 (0)		10 (10)		10 (10)						
計	3,079 (3,079)		276 (276)		3,355 (3,355)						

校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	校舎敷地 (借用) 須佐知行 1,014.87㎡ S47.3.1~		
	校 舎 敷 地	154,617.36 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	154,617.36 ㎡			
	そ の 他	161,501.21 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	161,501.21 ㎡			
	合 計	316,118.57 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	316,118.57 ㎡			
校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体		
		124,655.74 ㎡ (124,655.74 ㎡)	0 ㎡ ( 0 ㎡)	0 ㎡ ( 0 ㎡)	124,655.74 ㎡ (124,655.74 ㎡)			
教室・教員研究室		教 室	191 室	教 員 研 究 室	512 室	大学全体		
図 書 ・ 設 備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕	電子図書 〔うち外国書〕	学術雑誌 〔うち外国書〕	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	機械・器具 点	標本 点	大学全体
		冊	冊	種	種			
	大学全体	427,271 [150,781] (427,271 [150,781])	3,499 [559] (3,499 [559])	4,814 [2,467] (4,814 [2,467])	10,389 [8,580] (10,389 [8,580])	25,056 (25,056)	0 (0)	
	計	427,271 [150,781] (427,271 [150,781])	3,499 [559] (3,499 [559])	4,814 [2,467] (4,814 [2,467])	10,389 [8,580] (10,389 [8,580])	25,056 (25,056)	0 (0)	
スポーツ施設等		スポーツ施設		講堂	厚生補導施設		大学全体	
		0 ㎡		8,315.58 ㎡	11,453.29 ㎡			
経 費 の 見 積 り 及 び 維 持 方 法 の 概 要	区 分	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	大学全体  図書費には電子 ジャーナル・デー タベースの整備費（運 用コスト含む）を 含む。
	教員1人当り研究費等	305千円	305千円	305千円	305千円	305千円	305千円	
	共同研究費等	72,070千円	72,070千円	72,070千円	72,070千円	72,070千円	72,070千円	
	図書購入費	259,389千円	259,389千円	259,389千円	259,389千円	259,389千円	259,389千円	
	設備購入費	1,472,648千円	1,472,648千円	1,472,648千円	1,472,648千円	1,472,648千円	1,472,648千円	
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
	4,800千円	4,200千円	4,200千円	4,200千円	4,200千円	4,200千円		
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、雑収入等						

大学等の名称	東邦大学								所在地	[医学部医学科] 平成27年度 医学部医学科入学定員増(5人) (地域枠：令和3年度まで) 令和4年度 医学部医学科入学定員増(10人) (地域枠：令和4年度まで) 令和5年度 医学部医学科入学定員増(12人) (地域枠：令和5年度まで) 令和6年度 医学部医学科入学定員増(13人) (地域枠：令和6年度まで)  [薬学部薬学科] 令和6年度より入学定員増(25)																								
	学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	開設年度																										
既設大学等の状況	医学部																																	
	医学科	6	123	-	710	学士(医学)	0.99	昭和27年度	東京都大田区大森西五丁目21番16号																									
	薬学部																																	
	薬学科	6	245	-	1,345	学士(薬学)	1.06	平成18年度	千葉県船橋市三山二丁目2番1号																									
	理学部						(1.02)																											
	生物学科	4	80	-	320	学士(理学)	1.06	昭和25年度	千葉県船橋市三山二丁目2番1号																									
	化学科	4	80	-	320	学士(理学)	1.03	昭和25年度	同上																									
	生物分子科学科	4	80	-	320	学士(理学)	1.01	平成元年度	同上																									
	物理学科	4	70	-	280	学士(理学)	0.93	昭和58年度	同上																									
	情報科学科	4	100	-	400	学士(理学)	1.04	平成元年度	同上																									
	生命圏環境科学科	4	60	-	240	学士(理学)	1.06	平成17年度	同上																									
	看護学部																																	
	看護学科	4	102	-	408	学士(看護学)	1.07	平成23年度	東京都大田区大森西五丁目21番16号																									
健康科学部																																		
看護学科	4	60	-	240	学士(看護学)	1.10	平成29年度	千葉県船橋市三山二丁目2番1号																										
										<table border="1"> <thead> <tr> <th>(人)</th> <th>入学定員</th> <th>収容定員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和5年度</td> <td>220</td> <td>1,320</td> </tr> <tr> <td>令和6年度</td> <td>245</td> <td>1,345</td> </tr> <tr> <td>令和7年度</td> <td>245</td> <td>1,370</td> </tr> <tr> <td>令和8年度</td> <td>245</td> <td>1,395</td> </tr> <tr> <td>令和9年度</td> <td>245</td> <td>1,420</td> </tr> <tr> <td>令和10年度</td> <td>245</td> <td>1,445</td> </tr> <tr> <td>令和11年度</td> <td>245</td> <td>1,470</td> </tr> </tbody> </table>	(人)	入学定員	収容定員	令和5年度	220	1,320	令和6年度	245	1,345	令和7年度	245	1,370	令和8年度	245	1,395	令和9年度	245	1,420	令和10年度	245	1,445	令和11年度	245	1,470
(人)	入学定員	収容定員																																
令和5年度	220	1,320																																
令和6年度	245	1,345																																
令和7年度	245	1,370																																
令和8年度	245	1,395																																
令和9年度	245	1,420																																
令和10年度	245	1,445																																
令和11年度	245	1,470																																
附属施設の概要	<p>名称：医療センター大森病院 目的：附属病院 所在地：東京都大田区大森西6丁目11-1 設置年月：大正14年12月 規模等：土地 22,818.89 m<sup>2</sup> 延べ床面積 73,579.62 m<sup>2</sup> 概要：ベッド数 916床</p> <p>名称：医療センター大橋病院 目的：附属病院 所在地：東京都目黒区大橋2丁目22-36 設置年月：昭和39年7月6日開設(平成30年6月20日移転) 規模等：土地 20,548.56 m<sup>2</sup> 延べ床面積 32,337.17 m<sup>2</sup> 概要：ベッド数 320床</p> <p>名称：医療センター佐倉病院 目的：附属病院 所在地：千葉県佐倉市下志津564番地1 設置年月：平成3年9月2日開設 規模等：土地 45,279.00 m<sup>2</sup> 延べ床面積 53,994.03 m<sup>2</sup> 概要：ベッド数 405床</p> <p>名称：薬学部附属薬用植物園造園 目的：薬用植物園(薬草園) 所在地：千葉県船橋市三山2丁目2番1号 設置年月：昭和44年3月 規模等：1,587 m<sup>2</sup></p>																																	

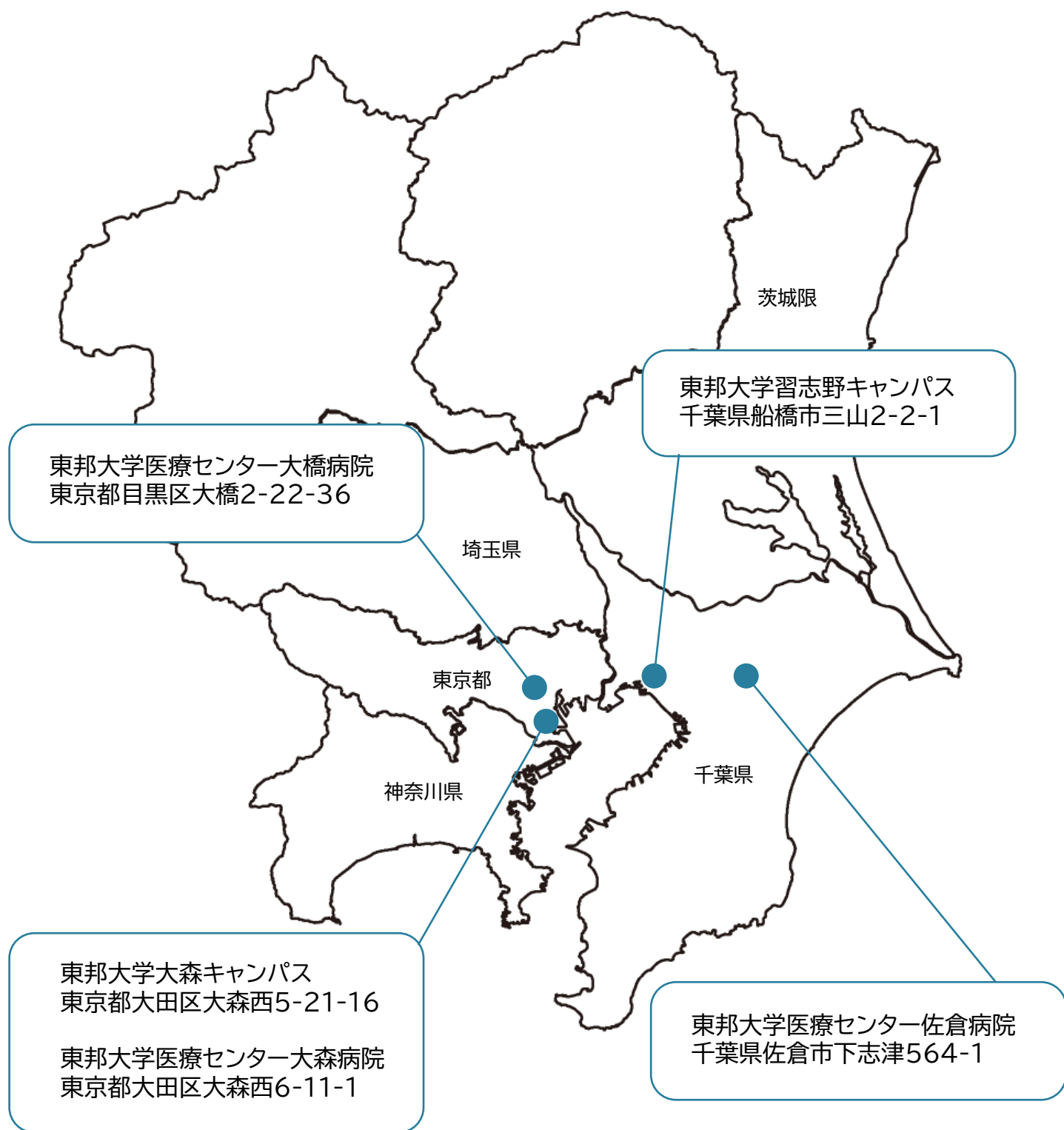
(注)

- 1 共同学科の認可の申請及び届出の場合、「計画の区分」、「新設学部等の目的」、「新設学部等の概要」、「教育課程」及び「新設分」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 2 「新設分」及び「既設分」の備考の「大学設置基準別表第一イ」については、専門職大学にあっては「専門職大学設置基準別表第一イ」、短期大学にあっては「短期大学設置基準別表第一イ」、専門職短期大学にあっては「専門職短期大学設置基準別表第一イ」にそれぞれ読み替えて作成すること。
- 3 「既設分」については、共同学科等に係る数を除いたものとする。
- 4 私立の大学の学部又は短期大学の学科の収容定員に係る学則の変更の届出を行おうとする場合は、「教育課程」、「教室・教員研究室」、「図書・設備」及び「スポーツ施設等」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 5 大学等の廃止の認可の申請又は届出を行おうとする場合は、「教育課程」、「校地等」、「校舎」、「教室・教員研究室」、「図書・設備」、「スポーツ施設等」及び「経費の見積もり及び維持方法の概要」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 6 「教育課程」の欄の「実験・実習」には、実技も含むこと。
- 7 空欄には、「-」又は「該当なし」と記入すること。

学校法人東邦大学 設置認可等に関わる組織の移行表

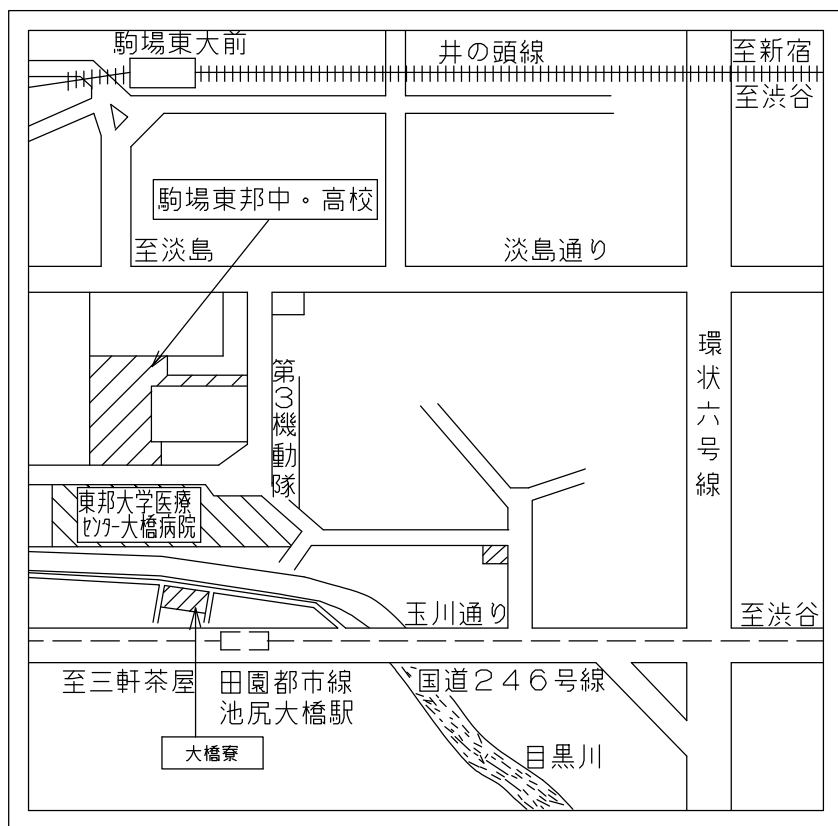
令和5年度	入学 定員	収容 定員	令和6年度	入学 定員	収容 定員	変更の事由
東邦大学			東邦大学			
医学部			医学部			
医学科	122	702	医学科	<u>123</u>	<u>710</u>	定員変更 (1)
薬学部			薬学部			
薬学科 (6年制)	220	1,320	薬学科 (6年制)	245	1,470	定員変更 (25) (R5.6月認可済)
理学部			理学部			
生物学科	80	320	生物学科	80	320	
化学科	80	320	化学科	80	320	
物理学科	70	280	物理学科	70	280	
生物分子科学科	80	320	生物分子科学科	80	320	
情報科学科	100	400	情報科学科	100	400	
生命圏環境科学科	60	240	生命圏環境科学科	60	240	
看護学部			看護学部			
看護学科	102	408	看護学科	102	408	
健康科学部			健康科学部			
看護学科	60	240	看護学科	60	240	
計	974	4,550	計	<u>1,000</u>	<u>4,708</u>	
東邦大学大学院			東邦大学大学院			
医学研究科			医学研究科			
医科学専攻 (M)	5	10	医科学専攻 (M)	5	10	
医学専攻 (D)	35	140	医学専攻 (D)	35	140	
薬学研究科			薬学研究科			
薬科学専攻 (M)	10	20	薬科学専攻 (M)	10	20	
医療薬学専攻 (D)	5	20	医療薬学専攻 (D)	5	20	
理学研究科			理学研究科			
化学専攻 (M)	16	32	化学専攻 (M)	16	32	
化学専攻 (D)	3	9	化学専攻 (D)	3	9	
生物学専攻 (M)	15	30	生物学専攻 (M)	15	30	
生物学専攻 (D)	3	9	生物学専攻 (D)	3	9	
物理学専攻 (M)	18	36	物理学専攻 (M)	18	36	
物理学専攻 (D)	3	9	物理学専攻 (D)	3	9	
生物分子科学専攻 (M)	18	36	生物分子科学専攻 (M)	18	36	
生物分子科学専攻 (D)	3	9	生物分子科学専攻 (D)	3	9	
情報科学専攻 (M)	18	36	情報科学専攻 (M)	18	36	
情報科学専攻 (D)	3	9	情報科学専攻 (D)	3	9	
環境科学専攻 (M)	6	12	環境科学専攻 (M)	6	12	
環境科学専攻 (D)	2	6	環境科学専攻 (D)	2	6	
看護学研究科			看護学研究科			
看護学専攻 (M)	15	30	看護学専攻 (M)	15	30	
看護学専攻 (D)	5	15	看護学専攻 (D)	5	15	
計	183	468	計	183	468	

# 都道府県内における位置関係の図面

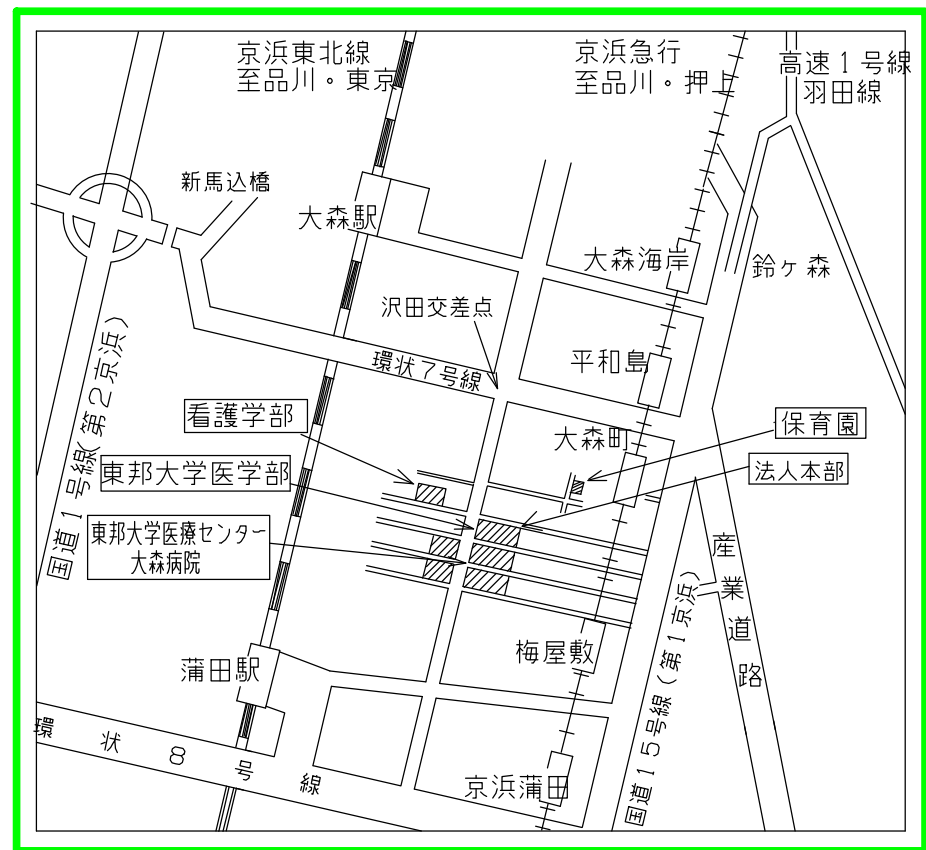




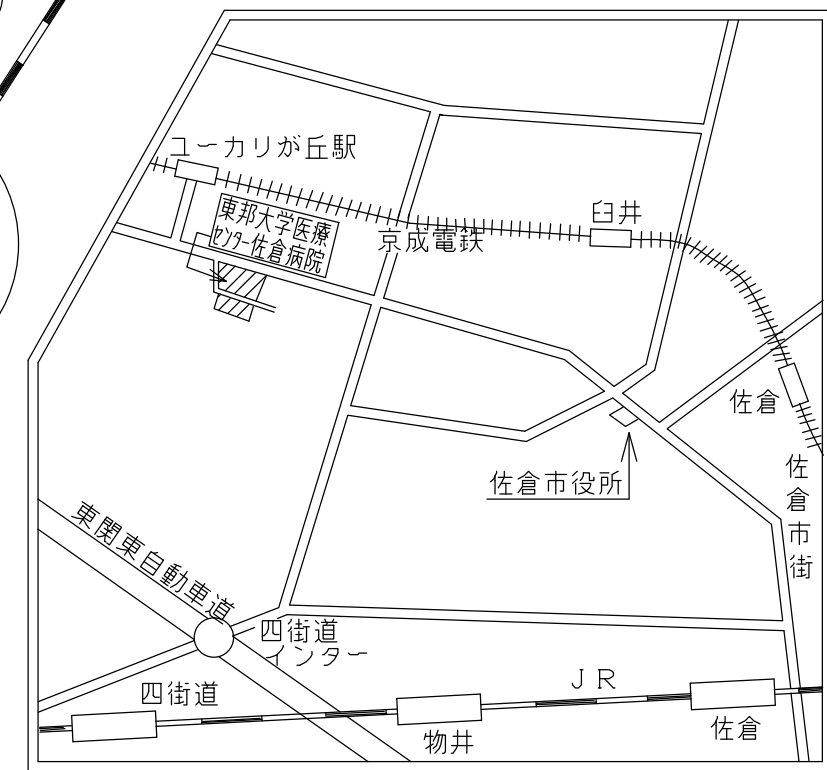
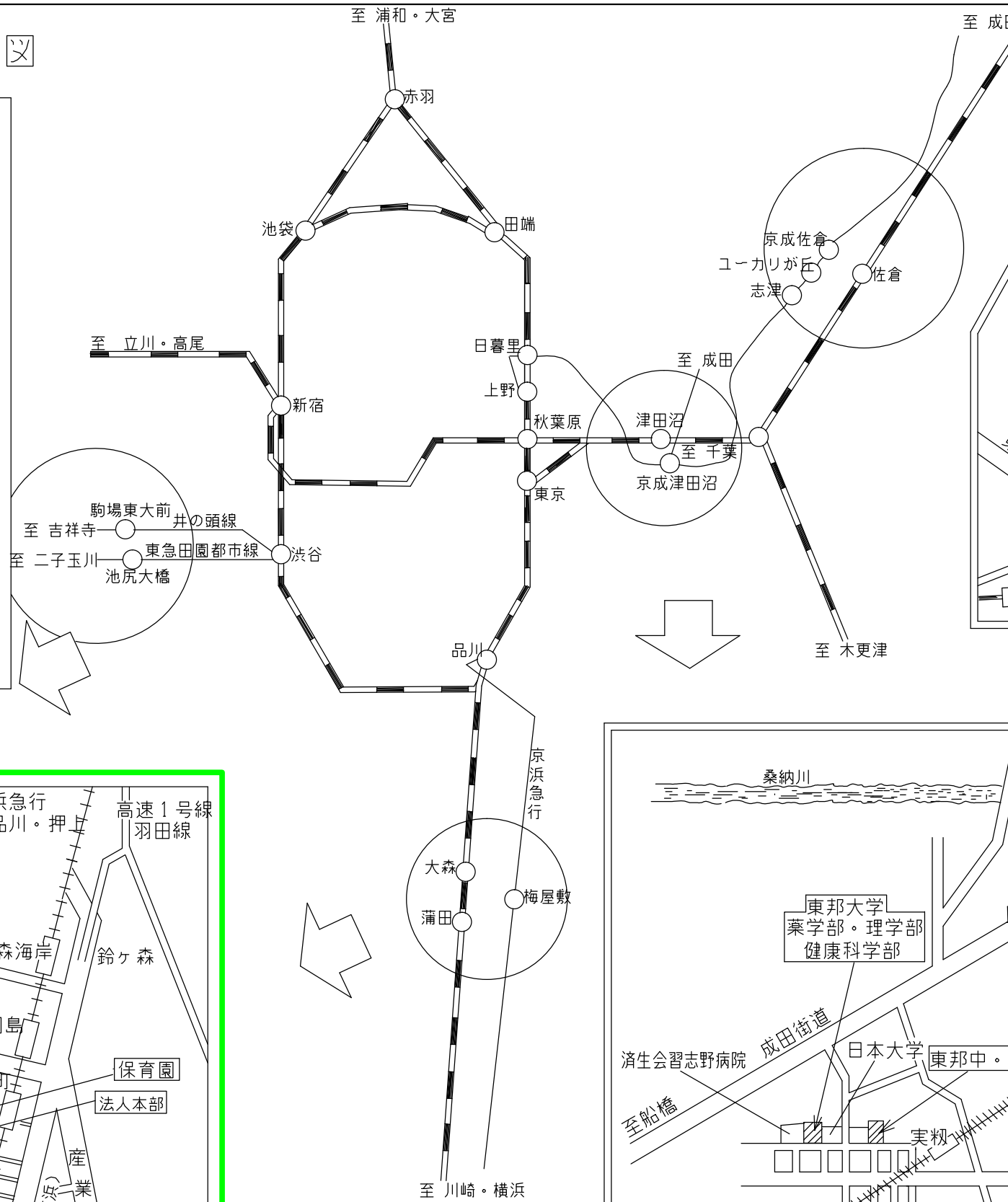
# 東邦大学キャンパス案内図



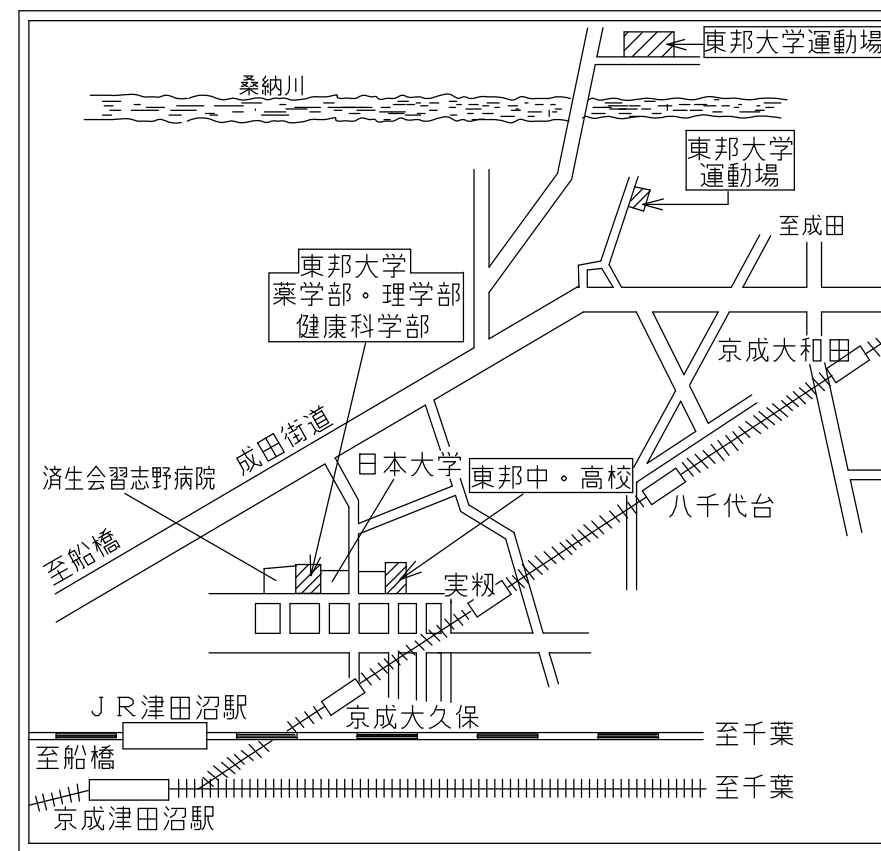
駒場・大橋地区



大森地区



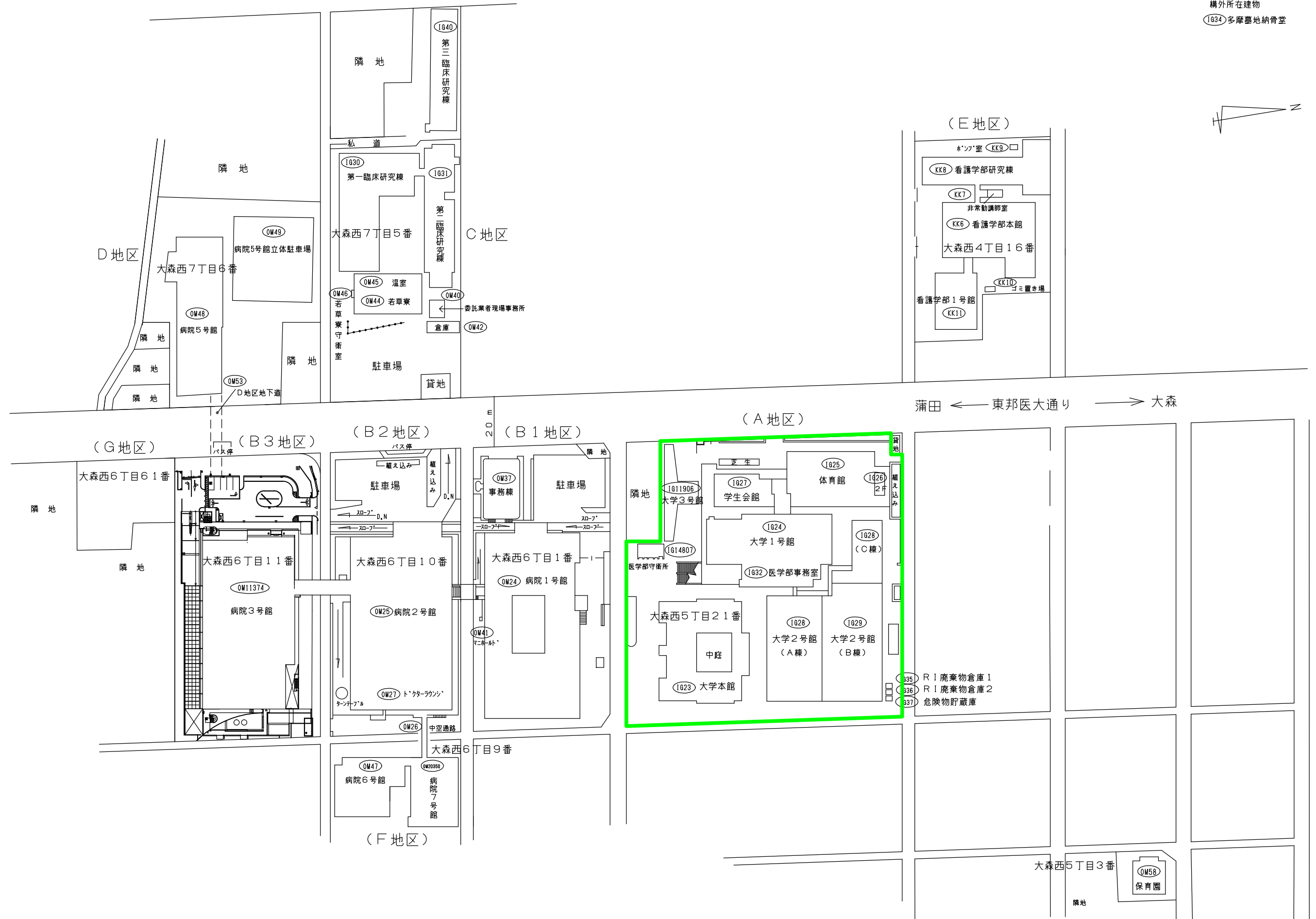
佐倉地区



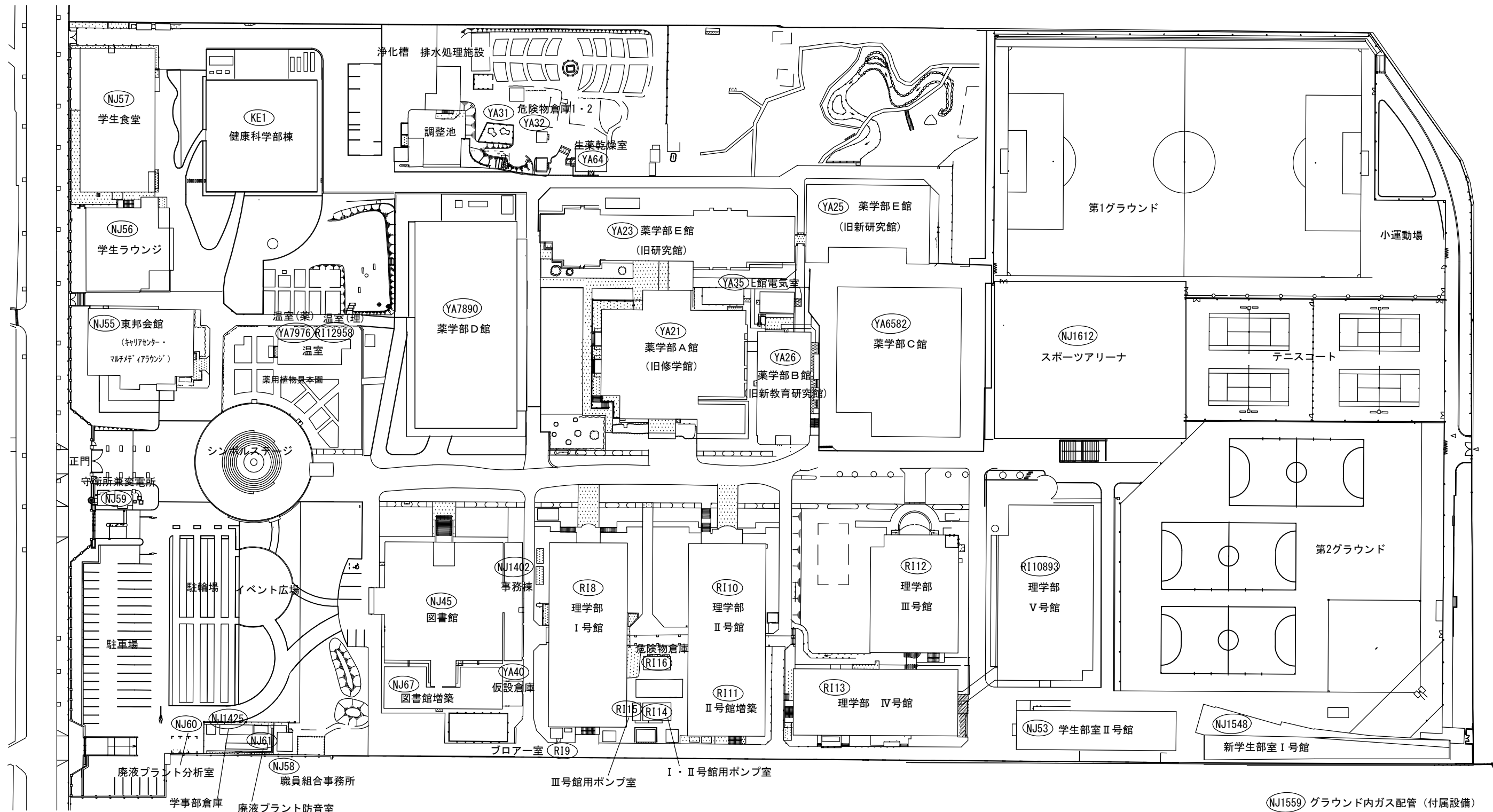
習志野・八千代地区

備考	図面名称	キャンパス案内図
	SCALE	令和 5年 8月
	学校法人	東邦大学 法人本部施設部

構外所在建物  
 1634 多摩墓地納骨堂



備考	図面名称 大森地区建物配置図		
	SCALE	Not to Scale	令和 5年 8月
学校法人 東邦大学 法人本部施設部			



- (NJ1559) グラウンド内ガス配管 (付属設備)
- (NJ1601) グラウンド内照明設備 (付属設備)

図面名称 習志野三山地区 建物配置図

SCALE A1 1/600 A3 1/1200 令和 5年 3月

学校法人 東邦大学 法人本部施設部

# 東邦大学学則（案）

## 第1章 総則

（目的及び使命）

第1条 東邦大学（以下「本学」という。）は教育基本法及び学校教育法の定めるところにより、各々専門の学術の理論と応用とを教授し且つ研究を行い併せて一般教養に資する学科を学ばしめることを目的とし以て教養ある有能な人材を養成し文化の発展に寄与することを使命とする。

2 学部学科ごとの人材の育成に関する目的及びその他の教育研究上の目的を別表第1のとおり定める。

（自己点検・評価）

第2条 本学は、教育研究水準の向上を図り、前条の目的及び社会的使命を達成するため、教育研究活動等の状況について自ら点検及び評価を行う。

2 自己点検及び評価に関する規程は別にこれを定める。

（認証評価）

第3条 本学は、前条に規定する措置に加え、本学の教育研究等の総合的な状況について、政令で定める期間ごとに、文部科学大臣の認証を受けた者による評価を受けるものとする。

（学部及び学科）

第4条 本学に次の学部・学科を置く。

医学部	医学科		
薬学部	薬学科		
理学部	生物学科	化学科	生物分子科学科
	物理学科	情報科学科	生命圏環境科学科
看護学部	看護学科		
健康科学部	看護学科		

（学生定員）

第5条 本学の学生定員は、次のとおりとする。

	（学部・学科）	（入学定員）	（収容定員）
医学部			
	医学科	110	660
	（計）	（110）	（660）
薬学部			
	薬学科	245	1,470
	（計）	（245）	（1,470）
理学部			
	生物学科	80	320

化学科	80	320
生物分子科学科	80	320
物理学科	70	280
情報科学科	100	400
生命圏環境科学科	60	240
(計)	(470)	(1,880)
看護学部		
看護学科	102	408
(計)	(102)	(408)
健康科学部		
看護学科	60	240
(計)	(60)	(240)
(総計)	(987)	(4,658)

(大学院)

第6条 本学に大学院を置く。

2 大学院に関する規程は別にこれを定める。

## 第2章 職員組織

(学長)

第7条 本学に学長を置く。

2 学長は本学を代表し、教育理念に基づいて校務をつかさどり、所属職員を統督する。

3 学長が不在または欠けたときは学長代行者を置き、新しく学長が就任するまでの間、学長代行者が学長の職務を行う。

(副学長)

第8条 本学に副学長を置くことができる。

2 副学長は、学長を助け、命を受けて校務をつかさどることができる。

(学部長)

第9条 本学の学部に学部長を置く。

2 学部長は、学長指示のもとに当該学部の校務をつかさどり所属職員を統率し教育及び研究の責に任ずる。

(教職員)

第10条 本学に学長統督のもとに教育及び研究のため教授、准教授、講師、助教、助手を置きその定員は別にこれを定める。ただし、助手は教育職員としない。

2 本学に事務職員、技術職員、その他必要な職員を置く。

3 本学の職員を専任、兼担、兼任に区別しその勤務規程は別にこれを定める。

(大学協議会)

第11条 本学に学長の諮問機関として大学協議会を置き、大学全般にわたる学事の重要事項として、次の各号の一に掲げる事項を審議する。

- (1) 教育研究に係る中長期計画及び年度計画に関する事項
- (2) 学則その他の教育研究に係る重要な規程等の制定又は改廃に関する事項
- (3) 教育研究活動等の状況について自ら行う点検及び評価に関する事項
- (4) その他学長が必要と認める事項

2 大学協議会に関する規程は別にこれを定める。

(学長・学部長会議)

第12条 本学に学長・学部長会議を置き、各学部及び大学院各研究科間の調整を図るべく、次の各号の一に掲げる事項を企画、検討し、大学協議会に提言する。

- (1) 全学的な諸活動に係る計画、方針
- (2) 各学部及び大学院各研究科に共通する事項
- (3) その他学長が必要と認める事項

2 学長・学部長会議に関する規程は別にこれを定める。

(教授会の設置)

第13条 本学の各学部に教授会を置く。

2 教授会は、学部に所属する教授をもって組織する。但し、学部の定めるところにより、准教授、講師、助教を加えることができる。

3 教授会の規程は、別にこれを定める。

(教授会の審議事項)

第14条 教授会は、学長が次に掲げる事項について決定を行うにあたり、これについて意見を述べる。

- (1) 学生の入学、卒業及び課程の修了
- (2) 学位の授与
- (3) 前2号に掲げるもののほか、教育研究に関する重要な事項で、教授会の意見を聴くことが必要なものとして学長が別にこれを定める事項
- (4) その他、学則に定める事項

2 教授会は前項に規定するもののほか、学長、学部長の求めに応じ、教育研究に関する事項について審議し、意見を述べることができる。

3 教授会は第1項及び第2項に規定する事項のほか、教育研究に関する事項について審議し、学長及び学部長へ意見を述べるができる。

第3章 学年、学期及び休業日

(学年)

第15条 本学の学年は4月1日に始まり翌年3月31日に終る。ただし、学長が教育上必要と認めるときは、変更することができる。

(学期)

第16条 1学年を次の2学期に分ける。

春学期 4月1日から9月30日まで

秋学期 10月1日から翌年3月31日まで

2 前項の規定にかかわらず教育上必要があるときは、学長がこれを変更することができる。

(休業日)

第 17 条 休業日を次のとおりとする。

- (1) 日曜日
- (2) 国民の祝日に関する法律に規定する休日
- (3) 本学の創立記念日（6月10日）
- (4) 夏期、冬期及び春期休業日については別に定める

2 前項の規定にかかわらず教育上必要があるときは、学長がこれを変更し、又は臨時に休業日を定めることができる。

#### 第 4 章 入学、転入学、編入学、転学部・転学科及び再入学

(入学)

第 18 条 本学の入学は学年の始めとする。ただし、学長が教育上有益と認めるときは、第 16 条の秋学期の始めに入学させることができる。

(入学資格)

第 19 条 本学に入学することのできる者は、次の各号の一に該当する者とする。

- (1) 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者
- (2) 通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者（通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者を含む。）
- (3) 外国において学校教育における 12 年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
- (4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- (5) 専修学校の高等課程（修業年限が 3 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (6) 文部科学大臣の指定した者
- (7) 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧大学入学資格検定規程による大学入学資格検定に合格した者を含む。）
- (8) 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18 歳に達したもの

(出願手続)

第 20 条 入学志願者は入学志願票に所定の入学検定料及び必要書類を添えて願い出なければならない。

(入学者選考)

第 21 条 前条の入学志願者については、別にこれを定めるところにより選考する。

(入学手続・入学許可)

第 22 条 選考の結果、合格の通知を受けた者は保証人を定め所定の在学誓書に入学金を添えて提出しなければならない。

2 学長は、前項の入学手続を完了した者に入学を許可する。

(保証人)

第 23 条 保証人は父母又は独立生計を営む成年者で、確実に保証人としての責を果たし得る者でなければならない。なお、その身分及び住所に変更があったとき、あるいは保証人を変更したいときは速やかに届け出なければならない。

(転入学)

第 24 条 他の大学に在学している者が現に在学する大学の許可を得て本学に転入学を願い出たときは、学長は定員に余裕がある場合に限り、審査を経て相当年次に入学を許可することがある。

2 転入学に関する規程は別にこれを定める。

(編入学)

第 25 条 次の各号の一に該当する者が本学に編入学を願い出たときは、学長は定員に余裕がある場合に限り、審査を経て相当年次に入学を許可することがある。ただし、編入学定員を定めている場合は、審査を経て相当年次に入学を許可する。

- (1) 大学を卒業した者
- (2) 短期大学を卒業した者
- (3) 高等専門学校を卒業した者
- (4) 法令により編入学を認められた者
- (5) その他前各号と同等以上の学力があると認められた者

2 編入学に関する規程は別にこれを定める。

(転学部・転学科)

第 26 条 本学の学生が転学部または転学科を願い出たときは、学長は定員に余裕がある場合に限り、審査を経て許可することがある。

2 転学部、転学科に関する規程は別にこれを定める。

(再入学)

第 27 条 退学者が再入学を願い出たときは、学長はこれを許可することがある。その規程は別にこれを定める。

## 第 5 章 休学及び退学

(休学)

第 28 条 病気その他止むを得ない事由で引き続き 2 カ月以上授業に出席することができない者は、保証人連署で願い出て学長の許可を受け、休学することができる。

2 疾病その他の事由により修学が不相当と認められる者に対しては、学長は学校医又は専門家及び教授会の意見を参酌し、休学を命ずることができる。



(休学期間)

第 29 条 休学できる期間は、第 15 条に規定する学年末までとする。ただし、正当な事由と認められた時は、当初の休学期間を含めて 2 年間を上限とし、期間延長を許可することがある。

2 通算して休学できる期間は、医学部及び薬学部においては 3 年間、理学部、看護学部及び健康科学部においては 2 年間とする。

3 再入学、転入学、編入学、転学部及び転学科した者の休学の扱いについては別にこれを定める。

4 休学期間は第 34 条各項に規定する在学年限に算入しない。

(復学)

第 30 条 休学者は、休学事由が消滅した場合、保証人連署で願い出て学長の許可を受け、復学することができる。

(任意退学)

第 31 条 任意に退学しようとする者は、保証人連署で届け出て学長の許可を受けなければならない。

(措置退学)

第 32 条 次の各号の一に該当する者に対しては退学の措置をとるものとする。

- (1) 在学年限を越えた者
- (2) 休学期間を超えて復学できない者
- (3) 所定の期日までに授業料等の学費の納入を怠り、催告後もなお正当な事由がなく納付しない者
- (4) 正規の手続きなく 3 カ月以上修学しない者
- (5) 死亡した者

2 措置退学の日付は、次に掲げるとおりとする。

(1) 在学年限を超えた者	在学年限の最終日
(2) 休学期間を超えて復学できない者	休学期間の終了日
(3) 所定の期日までに授業料等の学費の納入を怠り、催告後もなお正当な事由がなく納付しない者	学費を完納している期の最終日
(4) 正規の手続きなく 3 カ月以上修学しない者	教授会の議を経て学長が決定する日
(5) 死亡した者	死亡日

(懲戒退学)

第 33 条 次の各号の一に該当する者に対しては懲戒による退学を命ずる。

- (1) 性行不良で改善の見込がないと認められる者
- (2) 学力劣等で成業の見込がないと認められる者
- (3) 本学の秩序を乱し、その他学生としての本分に著しく反した者

## 第6章 修業年限及び在学年限

(修業年限及び在学年限)

第34条 医学部及び薬学部の修業年限は6年とし、12年まで在学することができる。ただし、同一学年に在学できる年数は原則として2年を限度とする。

2 理学部、看護学部及び健康科学部の修業年限は4年とし、8年まで在学することができる。

3 再入学、転入学、編入学、転学部及び転学科した者については別にこれを定める。

## 第7章 教育課程

(授業科目及び単位数)

第35条 授業科目及び単位数は、別表第2のとおり定める。

(単位の基準)

第36条 各授業科目の単位数は、1単位あたり45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業における教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準により計算するものとする。

(1) 講義及び演習については、15時間から30時間までの範囲で本学が定める時間の授業をもって1単位とする。

(2) 実験、実習及び実技については、30時間から45時間までの範囲で本学が定める時間の授業をもって1単位とする。

(3) 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、その組み合わせに応じ、前2号に規定する基準を考慮して本学が定める時間の授業をもって1単位とする。

2 前項の規定にかかわらず、卒業論文、卒業研究等の授業科目については、これらの学修の成果を評価して単位を授与することが適切と認められる場合には、これらに必要な学修等を考慮して、単位数を定めることができる。

(各授業科目の授業期間)

第37条 各授業科目の授業は、15週にわたる期間を単位として行うものとする。ただし、教育上必要があり、かつ、十分な教育効果をあげることができると認められる場合は、この限りでない。

(授業の方法)

第38条 授業は講義、演習、実験、実習もしくは実技のいずれかにより又はこれらの併用により行うものとする。

2 前項の授業は、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させることができる。

3 第1項の授業は、外国において履修させることができる。前項の規定により、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させる場合についても同様とする。

4 第2項に規定する授業の方法により修得する単位数は60単位を上限として、卒業に必要な単位とすることができる。

(成績の評価)

第39条 成績は、秀、優、良、可及び不可の評語をもって表し、秀、優、良及び可を合格とし、不可を不合格とする。

2 前項の規定にかかわらず、段階評価に適さない授業科目に係る考査の成績は、合格又は不合格とすることができる。

(単位の授与)

第40条 一の授業科目を履修した学生に対しては、試験の上単位を与えるものとする。

2 前項の規定にかかわらず、卒業論文、卒業研究等の授業科目については、適切な方法により学修の成果を評価して単位を与える。

(成績評価基準等の明示等)

第41条 本学は、学生に対して、授業の方法及び内容並びに1年間の授業の計画をあらかじめ明示するものとする。

2 本学は、学修の成果に係る評価及び卒業の認定に当たっては、客観性及び厳格性を確保するため、学生に対してその基準をあらかじめ明示するとともに、当該基準にしたがって適切に行うものとする。

(他学部及び他学科、又は他大学等による指導)

第42条 教育上有益と認めるときは、他学部及び他学科、又は他大学等との協議に基づき、学生に当該他学部等において科目履修に必要な指導を受けさせることができる。

(他の大学等における履修)

第43条 他の大学又は短期大学との協議に基づき、学生に当該他大学又は短期大学の授業を履修させることができる。

2 短期大学又は高等専門学校の特攻科における学修その他文部科学大臣が別にこれを定める学修を、教育上有益と認めるときは、本学における授業科目の履修とみなし、単位を与えることができる。

3 第1項の規定により修得した授業科目の単位数及び前項の規定により与える単位については、合わせて60単位を超えない範囲で認定することができる。

(入学前の既修得単位等認定)

第44条 本学に入学する前に他の大学又は短期大学で修得した単位(科目等履修生等として修得した単位を含む。)については、教育上有益と認めるときは、本学において修得したのものとして認定することができる。

2 本学に入学する前に行った前条第2項に規定する学修を教育上有益と認めるときは、本学における授業科目の履修とみなし、単位を与えることができる。

3 第1項の規定により認定した単位及び第2項の規定により与える単位については、再入学、転入学、編入学等の場合を除き、前条により認定した単位数と合わせて、60単位を超えないものとする。

(教育職員の免許状)

第 45 条 本学に教員養成課程を置く。

- 2 教員の免許状授与の所要資格を取得しようとする者は、教育職員免許法及び教育職員免許法施行規則に定める所要の単位を修得しなければならない。
- 3 教員養成課程に関する専門科目及び単位数は別表第 3 のとおり定める。
- 4 本学において当該所要資格を取得できる教員免許状の種類並びに履修する学部・学科は次のとおりとする。

学部	学科	免許状の種類	免許教科
理学部	生 物 学 科	中学校教諭一種免許状	理 科
	化 学 科		
	生物分子科学科	高等学校教諭一種免許状	理 科
	物 理 学 科		
	生命圏環境科学科		
情 報 科 学 科	中学校教諭一種免許状	数 学	
	高等学校教諭一種免許状	数 学	
	高等学校教諭一種免許状	情 報	

## 第 8 章 進級、卒業及び学位

(進級)

第 46 条 進級に関する規程は、別にこれを定める。

(卒業)

第 47 条 第 34 条に定める修業年限以上在学し、別表第 2 のとおり定める所定の単位数を修得した者につき、当該学部教授会の議を経て、学長が卒業を認定する。

- 2 前項に加え、医学部では卒業試験に合格した者につき、当該学部教授会の議を経て、学長が卒業を認定する。
- 3 第 1 項の規定にかかわらず、理学部では卒業単位を優秀な成績で修得したと認めるときは、3年以上在学すれば足りるものとする。

(学位の授与)

第 48 条 卒業を認めた者には、学長が学士の学位を授与する。

- 2 付記する専攻分野の名称は、それぞれ次のとおりとする。

医学部医学科	学士 (医学)
薬学部薬学科	学士 (薬学)
理学部各学科	学士 (理学)
看護学部看護学科	学士 (看護学)
健康科学部看護学科	学士 (看護学)

## 第9章 入学金、授業料等の学費及び徴収

(学費等)

第49条 本学の入学金、授業料及びその他の学費は、別表第4のとおり定める。

2 学生の実験及び実習に要する経費を定めて別に徴収することがある。

3 授業料及びその他の学費の納入については別にこれを定める。

(学費等の取扱)

第50条 在学中授業料及びその他の学費について変更のあった場合には、新たに定められた金額を納入するものとする。

2 一旦納入した授業料及びその他の学費は、原則として返還しない。

## 第10章 委託生、科目等履修生、特別聴講生、聴講生及び留学生

(委託生)

第51条 学長は公共団体又はその他の機関より本学に特定の学科目について修学を委託された場合は、選考の上、委託生として入学を許可することがある。

2 委託生に関する細則は、別にこれを定める。

(科目等履修生)

第52条 学長は本学各学部の所定の授業科目のうち一又は複数の授業科目の単位を修得することを希望する者がいるときは、選考の上、科目等履修生として入学を許可することがある。

2 科目等履修生に関する細則は、別にこれを定める。

(特別聴講生)

第53条 学長は本学各学部の所定の授業科目のうち、他の大学との協議に基づき、当該他大学の学生が授業科目の単位を修得することを希望する場合は、特別聴講生として許可することができる。

(聴講生)

第54条 学長は本学各学部の所定の授業科目のうち、一又は複数の授業科目について聴講を希望する者がいるときは、選考の上、聴講生として入学を許可することがある。

2 聴講生に関する細則は、別にこれを定める。

(留学生)

第55条 学長は日本国籍をもたない者で、修学する目的をもって入国し、本学に入学を志願する者がいるときは、選考の上、留学生として入学を許可することがある。

2 留学生は、本学則を準用する。

## 第11章 付属施設

(メディアセンター)

第56条 本学にメディアセンターを置き、その規程は別にこれを定める。

(付属病院)

第57条 本学医学部に教育及び臨床実習のために付属病院を置く。

2 医学部長のもとに付属病院長を置き、院務をつかさどらしめる。

(付属薬用植物園)

第 58 条 本学薬学部に付属薬用植物園を置き、その規程は別にこれを定める。

(その他教育研究施設)

第 59 条 その他、必要な教育研究施設を置くことができる。

## 第 12 章 厚生補導及び厚生保健施設

(厚生補導)

第 60 条 本学に、学生の福利厚生をはかり、かつ、学生生活を指導助育するため、学生部を置き、その規程は別にこれを定める。

(厚生保健施設)

第 61 条 本学に厚生保健施設を置き、その規程は別にこれを定める。

## 第 13 章 賞罰

(表彰)

第 62 条 人物及び学業の優秀な者を表彰することができる。

(懲戒)

第 63 条 本学の学則又はこれに基づいた諸規則に背き、あるいは学生の本分に反する行為をした者は学長の決定に基づき懲戒する。

2 懲戒は訓告、停学、退学の 3 種とする。

3 懲戒に該当する事項については、別にこれを定める。

## 第 14 章 雑則

(改廃)

第 64 条 この学則の改正は、大学協議会の議を経て、理事会の承認を得るものとする。

### 附 則

この学則は、昭和48年4月1日から施行する。

この学則は、一部改正のうえ昭和50年4月1日から施行する。

この学則は、一部改正のうえ昭和51年4月1日から施行する。

この学則は、一部改正のうえ昭和52年4月1日から施行する。

この学則は、一部改正のうえ昭和53年4月1日から施行する。

(第19条は昭和52年度以前の入学生については従前の例による。)

この学則は、一部改正のうえ昭和54年4月1日から施行する。

この学則は、一部改正のうえ昭和55年4月1日から施行する。

この学則は、一部改正のうえ昭和56年4月1日から施行する。

この学則は、一部改正のうえ昭和57年4月1日から施行する。

この学則は、一部改正のうえ昭和58年4月1日から施行する。

この学則は、一部改正のうえ昭和59年4月1日から施行する。

この学則は、一部改正のうえ昭和60年4月1日から施行する。

この学則は、一部改正のうえ昭和61年4月1日から施行する。

この学則は、一部改正のうえ昭和62年4月1日から施行する。

#### 附 則

- 1 この学則は、一部改正のうえ昭和63年4月1日から施行する。
- 2 第70条の規定にかかわらず昭和63年度から昭和71年度までの間、理学部生物学科及び物理学科の入学定員並びに総定員は次表に掲げるとおりとする。

学科・定員		昭和・年度								
		63	64	65	66	67	68	69	70	71
生物学科	入学定員	100	100	100	100	100	100	100	100	100
	総定員	340	360	380	400	400	400	400	400	400
物理学科	入学定員	100	100	100	100	100	100	100	100	100
	総定員	280	320	360	400	400	400	400	400	400

#### 附 則

- 1 この学則は、一部改正のうえ平成元年4月1日から施行する。
- 2 第70条及び附則（昭和63年4月1日施行）の規定にかかわらず、平成元年度から同8年度までの間、理学部物理学科、同生物分子科学科及び情報科学科の入学定員並びに総定員は次表に掲げるとおりとし、同生物学科に係る期間を付した定員増加は、昭和63年度をもって停止する。

学科・定員		平成・年度							
		元	2	3	4	5	6	7	8
物理学科	入学定員	80	80	80	80	80	80	80	80
	総定員	300	320	340	320	320	320	320	320
生物分子 科学科	入学定員	80	80	80	80	80	80	80	80
	総定員	80	160	240	320	320	320	320	320
情 報 科学科	入学定員	60	60	60	60	60	60	60	60
	総定員	60	120	180	240	240	240	240	240
理学部 総定員		1220	1340	1460	1520	1520	1520	1520	1520

#### 附 則

この学則は、一部改正のうえ平成2年4月1日から施行する。

この学則は、一部改正のうえ平成3年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この学則は、一部改正のうえ平成3年7月1日から施行する。
- 2 期間を付した定員増加に係る附則中「総定員」とあるものを「収容定員」に読み替えるものとする。

附 則

この学則は、一部改正のうえ平成3年10月1日から施行する。  
この学則は、一部改正のうえ平成4年4月1日から施行する。  
この学則は、一部改正のうえ平成5年4月1日から施行する。  
この学則は、一部改正のうえ平成6年4月1日から施行する。  
この学則は、一部改正のうえ平成7年4月1日から施行する。  
この学則は、一部改正のうえ平成7年12月22日から施行する。  
この学則は、一部改正のうえ平成8年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この学則は、一部改正のうえ平成9年4月1日から施行する。
- 2 第70条の規定にかかわらず、平成9年度から同11年度までの間、理学部物理学科、同生物分子科学科及び情報科学科の入学定員並びに収容定員は次表に掲げるとおりとする。

学科・定員		平成・年度		
		9	10	11
物理学科	入学定員	80	80	80
	収容定員	320	320	320
生物分子科学科	入学定員	80	80	80
	収容定員	320	320	320
情報科学科	入学定員	100	100	100
	収容定員	280	320	360
理学部収容定員		1,560	1,600	1,640

附 則

この学則は、一部改正のうえ平成10年4月1日から施行する。  
この学則は、一部改正のうえ平成11年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この学則は、一部改正のうえ平成12年4月1日から施行する。
- 2 第70条の規定にかかわらず、平成12年度から同18年度までの間、理学部物理学科の入学定員並びに収容定員は次表に掲げるとおりとする。



学科・定員		平成・年度						
		12	13	14	15	16	17	18
物理学科	入学定員	78	76	74	72	70	70	70
	収容定員	318	314	308	300	292	286	282
理学部収容定員		1,678	1,674	1,668	1,660	1,652	1,646	1,642

附 則

この学則は、一部改正のうえ平成12年9月1日から施行する。  
 この学則は、一部改正のうえ平成13年4月1日から施行する。  
 この学則は、一部改正のうえ平成13年9月1日から施行する。  
 この学則は、一部改正のうえ平成14年4月1日から施行する。  
 この学則は、一部改正のうえ平成15年4月1日から施行する。  
 この学則は、一部改正のうえ平成16年4月1日から施行する。  
 この学則は、一部改正のうえ平成17年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、一部改正のうえ平成18年4月1日から施行する。  
 但し、薬学部平成17年度以前の入学者の取扱いについては、なお従前の例による。

附 則

この学則は、一部改正のうえ平成19年4月1日から施行する。  
 この学則は、一部改正のうえ平成20年4月1日から施行する。  
 この学則は、一部改正のうえ平成21年4月1日から施行する。  
 この学則は、一部改正のうえ平成22年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この学則は、一部改正（看護学部設置に伴う改正を含む）のうえ平成23年4月1日から施行する。  
 但し、医学部看護学科の入学者の取扱いについては、なお従前の例による。
- 2 医学部看護学科は、平成23年4月より学生募集を停止し、在学者が卒業次第、廃止する。

附 則

この学則は、一部改正のうえ平成24年4月1日から施行する。

附 則

- この学則は、一部改正のうえ平成25年4月1日から施行する。
- 第70条の規定にかかわらず、平成25年度から同28年度までの間、理学部生命圏環境科学科の入学定員並びに収容定員は次表に掲げるとおりとする。

学科・定員		平成・年度			
		25	26	27	28
生命圏環境科学科	入学定員	60	60	60	60
	収容定員	300	280	260	240
理学部収容定員		1,940	1,920	1,900	1,880

附 則

この学則は、一部改正のうえ平成26年4月1日から施行する。

附 則

- この学則は、一部改正（学校教育法及び同法施行規則の一部改正、地域の医師確保等の観点による医学部入学定員増、薬学部カリキュラム及び教育充実費の改定に伴う改正を含む）のうえ平成27年4月1日から施行する。

但し、薬学部平成26年度以前の入学者の卒業に必要な必修科目単位数及び教育充実費の納付額については、なお従前の例による。

- 第47条の規定にかかわらず、平成27年度から同31年度までの間、医学部の入学定員並びに収容定員は次表に掲げるとおりとする。

学部・定員		平成・年度				
		27	28	29	30	31
医学部	入学定員	115	115	115	115	115
	収容定員	665	670	675	680	685

附 則

- この学則は、一部改正（医学部・薬学部の各年次の在学年限及び休学に関する取扱いの変更、医学部カリキュラムの改訂に伴う改正を含む）のうえ平成28年4月1日から施行する。

但し、平成27年度以前の入学者の取扱いについては、なお従前の例による。

附 則

- この学則は、一部改正（健康科学部設置に伴う改正を含む）のうえ平成29年4月1日から施行する。

但し、平成28年度以前の入学者の取扱いについては、なお従前の例による。

- 第96条の規定にかかわらず、平成29年度から同31年度までの間、健康科学部の入学定員並びに収容定員は次表に掲げるとおりとする。

学部・定員		平成・年度		
		29	30	31
健康科学部	入学定員	60	60	60
	収容定員	60	120	180

附 則

- 1 この学則は、一部改正（大学協議会規程制定、薬学部授業料の改定及び理学部の授業科目の変更に伴う改正を含む）のうえ平成30年4月1日から施行する。

但し、平成29年度以前の入学者の取扱いについては、なお従前の例による。

附 則

- 1 この学則は、一部改正（医学部及び薬学部の授業科目及び教員養成課程に係る変更に伴う改正を含む）のうえ平成31年4月1日から施行する。

但し、平成30年度以前の入学者の取扱いについては、なお従前の例による。

附 則

- 1 この学則は、一部改正（医学部及び薬学部の授業科目及び教員養成課程に係る変更に伴う改正を含む）のうえ平成31年4月1日から施行する。

但し、平成30年度以前の入学者の取扱いについては、なお従前の例による。

附 則

- 1 この学則は、一部改正（医学部の地域枠臨時定員増の再申請並びに医学部卒業要件における文言修正に係る改正）のうえ令和2年4月1日から施行する。

- 2 第47条の規定にかかわらず、令和2年度から同8年度までの医学部の入学定員並びに収容定員は次表に掲げるとおりとする。

学部・定員		令和・年度						
		2	3	4	5	6	7	8
医学部	入学定員	115	115	110	110	110	110	110
	収容定員	690	690	685	680	675	670	665

附 則

- 1 この学則は、一部改正（理学部の入学金、授業料等の学費の改定に係る改正）のうえ令和3年4月1日から施行する。

但し、理学部令和2年度以前の入学者の授業料の納付額については、なお従前の例による。

- 2 この学則は、一部改正（理学部の授業科目の変更に伴う改正）のうえ令和3年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この学則は、一部改正（学則の形式的・実質的な改正並びに、理学部、看護学部及び健康科学部の授業科目に係る変更に伴う改正を含む）のうえ令和4年4月1日から施行する。
- 2 この学則は、一部改正（医学部の地域枠臨時定員増の申請）のうえ、令和4年4月1日から施行する。
- 3 第5条の規定にかかわらず、令和4年度から同9年度での医学部入学定員並びに収容定員は次表に掲げるとおりとする。

学部・定員		令和・年度					
		4	5	6	7	8	9
医学部	入学定員	120	110	110	110	110	110
	収容定員	695	690	685	680	675	670

- 4 この学則は、一部改正（全学部の授業科目及び単位表に係る改正）のうえ令和4年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この学則は、一部改正（健康科学部授業料等の学費の改定に係る改正）のうえ、令和5年4月1日から施行する。  
但し、健康科学部令和5年度以前の入学者の授業料の納付額については、なお従前の例による。
- 2 この学則は、一部改正（医学部の地域枠臨時定員増の申請）のうえ、令和5年4月1日から施行する。
- 3 第5条の規定にかかわらず、令和5年度から同10年度での医学部入学定員並びに収容定員は次表に掲げるとおりとする。

学部・定員		令和・年度					
		5	6	7	8	9	10
医学部	入学定員	122	110	110	110	110	110
	収容定員	702	697	692	687	682	672

- 4 この学則は、一部改正（医学部の人材養成ならびに教育研究上の目的に係る改正、別表2（第35条関係）の体裁統一にかかる改正、医学部ならびに理学部のカリキュラムに係る改正、別表3（第45条関係）教員養成課程のカリキュラムに係る改正）のうえ、令和5年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この学則は、一部改正（薬学部の入学定員・収容定員の増員）のうえ、令和6年4月1日から施行する。
- 2 第5条の規定に関わらず、令和6年度から同11年度での薬学部入学定員並びに収容定員は次表に掲げるとおりとする。

学部・定員		令和・年度					
		6	7	8	9	10	11
薬学部	入学定員	245	245	245	245	245	245
	収容定員	1,345	1,370	1,395	1,420	1,445	1,470

3 この学則は、一部改正（医学部の地域枠臨時定員増の申請及び授業科目に係る変更に伴う改正を含む）のうえ、令和6年4月1日から施行する。

4 第5条の規定に関わらず、令和6年度から同11年度での医学部入学定員並びに収容定員は次表に掲げるとおりとする。

学部・定員		令和・年度					
		6	7	8	9	10	11
医学部	入学定員	123	110	110	110	110	110
	収容定員	710	705	700	695	685	673

別表1（第1条関係）

本学の人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的を以下に定める。

（1）医学部

本医学部は医学の理論と応用とを教授し且つ研究することを目的とする。

〔人材の養成に関する目的〕

豊かな人間性を備え、倫理観を持って社会に貢献する「より良き臨床医」を育成する。

〔教育研究上の目的〕

教育に関しては、教養を高め人間性を涵養するとともに、倫理観を持って専門性に基ついた課題探求・問題解決能力、社会や文化の変化に対応できる生涯学修能力を持った人材を育成することを目的とする。

研究に関しては、基礎医学並びに臨床医学に関する学術研究活動の推進を図り、地域はもとより広く社会に貢献することを目的とする。

（2）薬学部

本薬学部は薬学の理論と応用とを教授し且つ研究し併せて一般教育科目を学ばしめることを目的とする。

〔人材の養成に関する目的〕

心の温かい薬の専門家として、自他ともに高め合い、医療の最前線で他職種とともに患者や生活者の立場に立って人々の健康を守り、高い倫理観と豊かな人間性を持って地域はもとより広く社会に貢献する医療人の育成を目的とする。

〔教育研究上の目的〕

教育に関しては、高い倫理観、豊かな人間性、自他ともに高め合う態度、基礎薬学並びに医療薬学に関するバランスのとれた豊富で正確な知識・技術及び問題解決能力を育成し、チーム医療に資するためのコミュニケーション能力及び実践的能力を醸成する。

研究に関しては、基礎薬学並びに医療薬学に関する学術研究活動の推進を図り、地域はもとより広く社会に貢献する。

（3）理学部

本理学部は理学の理論と応用とを教授し且つ研究し併せて教養教育科目を学ばしめることを目的とする。

〔人材の養成に関する目的・教育研究上の目的〕

教育については、自然・生命・人間を探究する過程を通して、社会に貢献する「科学人」を育てることを目的とする。科学人の基礎的な要件は次の点に要約される。

1. 十分な知識・技能と、科学的な探究心・思考力・批判力をもつ。  
専門分野における十分な基礎知識・技能と、関連する分野における概括的な知識・技能をもつ。  
科学的な推論を行う能力、科学的な手法で実験・実証をする能力、問題の科学的な分析を試みる態度をもつ。
2. 主体的に学ぶ力をもつ。  
問題を多角的に把握し、問題解決に必要な知識・技能を同定し、不足する知識・技能を自覚し、自ら獲得できる力をもつ。
3. 他者と協力して課題を解決する力をもつ。  
チーム・仲間と協働して解決する力をもつ。

<p>コミュニケーション能力・リーダーシップ、外国語を含む文章の読み書き能力、協働して解決する態度、多様性を受け入れる態度をもつ。</p> <p>社会と協調し、科学の役割を理解し、社会に対して責任を果たす態度をもつ。</p> <p>科学的倫理をわかまえていること、自然に対する畏敬の念・生命の尊重・人間としての謙虚な心をもつ。</p> <p>研究については、理学部を構成する各専門分野の立場から理学の理論と応用を研究し、科学者・技術者からの視点で社会の発展に貢献することを目指す。</p>
<p>生物学科：</p> <p>生物を通して自然・生命・人間を探究することにより、生物と環境の双方に適切な意見を有する科学人を育てる。広範な生物学の基礎科目を基盤とし、分子生物学や環境保全などを取り込んだ総合的な生物学の知識を身につけ、それを活用した課題解決力、論理思考力、コミュニケーション能力を涵養する。</p>
<p>化学科：</p> <p>化学を通して自然・生命・人間を探究することにより、自然に対する畏敬の念をもち、自然現象を化学の言葉で語ることができ、かつ持続性のある社会の構築に貢献する科学人を育てる。無機化学、分析化学、有機化学、物理化学を基礎的内容の柱とし、講義・演習・実験の効果的な連携によって化学の知識と技能を修得させ、それらを踏まえて、課題解決力、論理思考力、コミュニケーション能力を涵養することにより、化学に関わる多様な応用場面に対応できる科学人を育成する。</p>
<p>生物分子科学科：</p> <p>化学と生物学を通して自然・生命・人間を探究することにより、自然に対する畏敬の念をもち、生命現象を化学の言葉で語ることができる研究者や技術者の育成を目指す。化学及び生物学の確かな基礎知識を身につけさせ、それを踏まえて課題解決力、論理思考力、コミュニケーション能力を涵養する。</p>
<p>物理学科：</p> <p>物理学を通して自然・生命・人間を探究することにより、自然の仕組みを物理的思考から深く理解し、自然に対する畏敬の念をもち、科学及び社会の発展に貢献できる人材を育成する。物理学の基本的な知識と方法を十分に身につけ、それを踏まえて実践的な問題解決力、柔軟な思考力、科学者・技術者倫理、自然・生命・人間を守る態度、豊かな人間性、国際性、創造性、高いコミュニケーション能力を涵養する。</p>
<p>情報科学科：</p> <p>情報科学を通して自然・生命・人間を探究することにより、常に人間の視点に立って社会貢献できる人材の育成を目指す。情報科学の基本的な理論と技術、ならびに現象を科学的、論理的、かつ数理的に分析・理解して問題を解決できる能力を身につけ、情報科学の多様な応用場面に対して対応できる技術者・科学者を育成する。</p>
<p>生命圏環境科学科：</p> <p>環境科学を通して自然・生命・人間を探究することにより、環境問題の解決に取り組み、持続性のある社会の構築に貢献できる人材を育成する。自然科学の理解、人文・社会科学的視点の涵養、科学的思考力やコミュニケーション能力の向上を図り、その上で地球科学、環境生態学、環境化学、環境管理・創成科学についてより専門的な教育を行い、豊かな人間性をもって意欲的に活躍できる人材を育成する。</p>

#### (4) 看護学部

本看護学部は看護の理論と応用とを教授し且つ研究することを目的とする。

[人材の養成に関する目的]

長く受け継がれた看護教育の文化や歴史を継承するとともに、知的探究心を持った誠実で思いやりのある調和のとれた看護実践者の育成を図る。さらに、社会の構成員としてその使命を自覚し、自然、生命、人間に対して畏敬の念を持ち、人間の生命の尊厳と権利の尊重を基盤として、医療人としてすべての人々を公正に受容しうる自主の精神に充ちた心身ともに健康で感性豊かな人間性の育成を図り、国際的な感覚を身につけ、地球規模で思考し、保健・医療の発展に貢献できる人材を育成する。

[教育研究上の目的]

深い人間愛を持ち、創造的、全人的見方のできる看護職に必要な品性・知性・感性を養う多様な看護教育及び人間教育を提供すると共に看護学の発展に貢献するため、科学的な研究態度を有し、新たな知的財産の獲得を常に目指した実践と研究を推進する。

#### (5) 健康科学部

本健康科学部は健康に関する科学の理論と応用とを教授し且つ研究することを目的とする。

[人材の養成に関する目的]

健康科学に関わる専門知識と確かな技術を学び、洗練された倫理性を備え、人々の健康生活を支援する医療・福祉・政策の分野に貢献できる人材の育成を目的とする。

[教育研究上の目的]

教育に関しては、人々の健康を科学的に探究し支援できるよう、知性・感性・品性及び問題発見・解決能力、生涯学習能力を兼ね備えた実践者と研究者の育成を目的とする。

研究に関しては、健康科学分野の基礎研究とともに、変化する社会情勢に即した応用分野の研究に携わることを目的とする。



別表2（第35条関係）

(1) 医学部医学科開設科目単位表

令和6年度以降の入学者に適用

領域名	サブ領域	ユニット	単位数			備考
			必修	選択	自由	
人文・社会学	人文・社会学①	心理学 倫理学	4			
	人文・社会学②	社会学 法学				
	選択人文・社会学	選択人文・社会学Ⅰ <sup>1)</sup>		1		
		選択人文・社会学Ⅱ <sup>1)</sup>		1		
		選択人文・社会学Ⅲ <sup>1)</sup> 選択人文・社会学Ⅳ <sup>1)</sup>		1 1		
選択芸術	選択芸術Ⅰ <sup>1)</sup> 選択芸術Ⅱ <sup>1)</sup>		1 1			
医学教養	選択医学教養	医学教養Ⅰ <sup>1)</sup>		1	1) 選択人文・社会学、選択芸術、選択医学教養、選択短期集中講座、選択地域医療、全学共通選択科目、選択英語コミュニケーション、英語単位認定科目、選択初修外国語、選択自然・環境科学から、1～4年次で合計12単位以上取得	
		医学教養Ⅱ <sup>1)</sup>		1		
		医学教養Ⅲ <sup>1)</sup>		1		
		医学教養Ⅳ <sup>1)</sup>		1		
		医学教養Ⅴ <sup>1)</sup>		1		
		医学教養Ⅵ <sup>1)</sup>		1		
		医学教養Ⅶ <sup>1)</sup>		1		
		医学教養Ⅷ <sup>1)</sup>		1		
	選択短期集中講座	学生テュータ養成講座 <sup>1)</sup>		1		
		実用医療英語 <sup>1)</sup> チーム医療演習 <sup>1)</sup>		1 1		
選択地域医療	地域医療学Ⅰ <sup>1)2)</sup>		1	2) 千葉県、新潟県奨学金受給生はこの科目の選択を必修とする		
	地域医療学Ⅱ <sup>1)2)</sup>		1			
	地域医療学Ⅲ <sup>1)2)</sup>		1			
	地域医療学（千葉）Ⅰ <sup>1)2)</sup>		2			
	地域医療学（千葉）Ⅱ <sup>1)2)</sup> 地域医療学（千葉）Ⅲ <sup>1)2)</sup>		2 2			
全学共通教養	全学共通選択科目	リベラルアーツセミナー <sup>1)</sup>		2		
		リベラルアーツフォーラム <sup>1)</sup>		1		

領域名	サブ領域	ユニット	単位数			備考	
			必修	選択	自由		
外国語科目	英語1	英語1	英語総合	4			
	英語2	英語2	基礎医学英語	2			
	英語3	英語3	臨床医学英語 I	2			
	英語4	英語4	臨床医学英語 II	1			
	英語	選択英語コミュニケーション	英会話 <sup>1)</sup>		1		1) 選択人文・社会学、選択芸術、選択医学教養、選択短期集中講座、選択地域医療、全学共通選択科目、選択英語コミュニケーション、英語単位認定科目、選択初修外国語、選択自然・環境科学から、1～4年次で合計12単位以上取得
			Listening Skills <sup>1)</sup>		1		
	Cross Cultural Communication <sup>1)</sup>			1			
	続英会話 <sup>1)</sup>			1			
	Writing <sup>1)</sup>			1			
	Advanced Writing <sup>1)</sup>			1			
TOEFL講座 <sup>1)</sup>		1					
USMLEコース <sup>1)</sup>		1					
	選択英語単位認定科目	海外集中英語コース <sup>1)</sup> 英語検定 <sup>1)</sup>		1 1			
初修外国語	選択初修外国語	フランス語 I <sup>1)</sup>		2			
		フランス語 II <sup>1)</sup>		1			
		ドイツ語 I <sup>1)</sup>		2			
		ドイツ語 II <sup>1)</sup>		1			
		中国語 I <sup>1)</sup>		2			
		中国語 II <sup>1)</sup>		1			
		韓国語 I <sup>1)</sup>		2			
		韓国語 II <sup>1)</sup>		1			
医用工学1	医用工学1-①	データサイエンス	5				
	医用工学1-②	数理情報学 I 医科物理学 I					
	医用工学1-③	数理情報学 II 医科物理学 II					
医用工学2	医用工学2	基礎放射線	1				
生体物質の科学	生体物質の科学①	生体無機化学 生体有機化学 I 遺伝生化学 I	4				
		生体物質の科学②		生体有機化学 II 代謝生化学 I			
				代謝生化学 II 遺伝生化学 II			
生体の構造1	生体の構造1-①	生体の構造概論 組織学総論	4				
	生体の構造1-②	運動器・末梢神経系 呼吸・循環器系					
	生体の構造1-③	消化器系 内分泌・泌尿生殖器系					
	生体の構造1実習	生体の構造1実習	生体の構造1実習 I 生体の構造1実習 II 生体の構造1実習 III	2			
生体の構造2			局所解剖学 感覚器・中枢神経系	2			
			生体の構造2実習	生体の構造2実習 I 生体の構造2実習 II	5		

領域名	サブ領域	ユニット		単位数			備考
				必修	選択	自由	
医学 準備・基礎 医学 統合 科目	生体の機能1	生体の機能1-① 生体の機能1-② 生体の機能1-③	細胞生理 神経筋		4		
			血液・リンパ 呼吸・循環				
			腎・尿路 消化・吸収 内分泌・生殖				
	生体の機能2	生体の機能2	感覚機能 運動機能 高次中枢・自律機能		2		
	病態の科学	病態の科学① 病態の科学②	微生物・感染症学 免疫学		7		
			病態の科学概論 薬理学 病理学				
		病態の科学実習	病態の科学実習Ⅰ 病態の科学実習Ⅱ 病態の科学実習Ⅲ		3		
	統合型基礎医学実習1	基礎準備実習	基礎準備実習		1		
		基礎統合実習1	基礎統合実習1		2		
	統合型基礎医学実習2	基礎統合実習2	基礎統合実習2		1		
自然・環境科学	選択自然・環境科学	選択化学Ⅰ <sup>1)</sup> 選択化学Ⅱ <sup>1)</sup> 選択生物Ⅰ <sup>1)</sup> 選択生物Ⅱ <sup>1)</sup> 選択環境科学Ⅰ <sup>1)</sup> 選択環境科学Ⅱ <sup>1)</sup> 選択物理 <sup>1)</sup> 選択数学Ⅰ <sup>1)</sup> 選択数学Ⅱ <sup>1)</sup>			1 1 1 1 1 1 1 1 1		1) 選択人文・社会学、選択芸術、選択医学教養、選択短期集中講座、選択地域医療、全学共通選択科目、選択英語コミュニケーション、英語単位認定科目、選択初修外国語、選択自然・環境科学から、1～4年次で合計12単位以上取得
臨床 医学科目	臨床医学入門	医学総論	臨床検査・ 生理機能検査演習		3		
			医学総論	内科総論 外科総論			
	臨床医学1	臨床医学1	循環器系		3		
			腎臓・電解質系				
	臨床医学2	臨床医学2	呼吸器系		4		
			膠原病・アレルギー病学				
			感染症学				
臨床医学3	臨床医学3	血液病学		3			
		脳・神経系					
臨床医学4	臨床医学4	消化器系		4			
		代謝・内分泌系					
		臨床栄養学					
臨床医学5	臨床医学5	産科婦人科学		3			
		泌尿器科学					

領域名	サブ領域	ユニット	単位数			備考	
			必修	選択	自由		
臨床医学科目	臨床医学6	眼科学	2				
		耳鼻・咽喉・口腔外科学					
	臨床医学7	臨床医学7	整形外科	2			
			皮膚・形成外科学				
	臨床医学8	臨床医学8	中毒・救急医学	2			
			麻酔・集中治療学				
	臨床医学9	臨床医学9	精神神経医学	2			
			心身医学				
	臨床医学10	臨床医学10	小児科学	3			
	臨床医学11	臨床医学11	放射線医学	2			
			臨床遺伝学				
			移植・再生医療				
	臨床医学12	臨床医学12	腫瘍学	2			
			緩和医療学				
			リハビリテーション医学				
臨床医学13	臨床医学13	総合医療系	2			総合医療系には地域医療必修分を含む	
		医療安全					
臨床医学14	臨床医学14	臨床実習入門	4				
		臨床検査・生理機能検査実習					
		シミュレーション実習					
		EBM					
臨床医学15	臨床医学15	統合型臨床演習	1				
臨床医学16	臨床医学16	統合型臨床医学演習	2				
行動科学1	行動科学1	行動科学1	1				
行動科学2	行動科学2	行動科学2	1				
臨床病理学	臨床病理学	臨床病理学	3				
診断学実習	診断学実習	診断学実習	2				
臨床実習	臨床実習1	診療参加型臨床実習1	12				
	臨床実習2	診療参加型臨床実習2	36				
	臨床実習3	選択診療参加型臨床実習 <sup>3)</sup>	12			3) 選択必修科目	
社会医学科目	社会医学1	社会医学1-①	4				
		公衆衛生学／医療政策・経営科学 衛生学 疫学・医療統計学					
	社会医学1-②	法医学					
社会医学2	社会医学実習	統合型社会医学実習	1				
社会医学3	社会医学演習	統合型社会医学演習	2				
キャリア教育科目	全人の医療人教育1	レディネス	4				
		倫理					
		コミュニケーション プロフェッショナリズム					
全人の医療人教育2	全人の医療人教育2	倫理	3				
		コミュニケーション プロフェッショナリズム					
全人の医療人教育3	全人の医療人教育3	倫理 コミュニケーション プロフェッショナリズム	2				

領域名	サブ領域	ユニット	単位数			備考	
			必修	選択	自由		
キャリア教育科目	全人の医療人教育4	全人の医療人教育4	倫理 コミュニケーション プロフェッショナリズム	1			
	全人の医療人教育5	全人の医療人教育5	倫理 プロフェッショナリズム	1			
	全人の医療人教育6	全人の医療人教育6	倫理 プロフェッショナリズム	1			
	課題解決学習1	課題解決学習基礎編1	PBLテュートリアルⅠ	1			
	課題解決学習2	課題解決学習基礎編2	PBLテュートリアルⅡ	1			
	課題解決学習3	課題解決学習臨床編	臨床推論	4			
	医学研究	先端医学	医学論文 <sup>4)</sup>	10			4) 6年間で論文作成は必修
		先端医学演習 <sup>5)</sup>				5) 自由選択科目15時間1単位と換算、 ※年間6単位を上限として付与	
		先端医学実習 <sup>6)</sup>				6) 自由選択科目30時間1単位と換算、 ※年間6単位を上限として付与	
合計				202	60	0	卒業所要単位数は、必修202単位、選択12単位以上、計214単位以上とする。

領域名	サブ領域	ユニット	単位数			備考	
			必修	選択	自由		
教養教育科目	人文・社会学	人文・社会学① 心理学Ⅰ 倫理学 社会学	4.5			1) 選択人文・社会学、選択芸術、選択医学教養、選択短期集中講座、選択英語コミュニケーション、英語単位認定科目、選択初修外国語、選択自然・環境科学から、1～3年次で合計9単位以上取得	
		人文・社会学② 心理学Ⅱ 法学					
	選択人文・社会学	選択人文・社会学Ⅰ <sup>1)</sup>		1			
		選択人文・社会学Ⅱ <sup>1)</sup>		1			
		選択人文・社会学Ⅲ <sup>1)</sup> 選択人文・社会学Ⅳ <sup>1)</sup>		1 1			
	選択芸術	選択芸術Ⅰ <sup>1)</sup>		1			
		選択芸術Ⅱ <sup>1)</sup>		1			
	医学教養	選択医学教養	医学教養Ⅰ <sup>1)</sup>		1		
			医学教養Ⅱ <sup>1)</sup>		1		
			医学教養Ⅲ <sup>1)</sup>		1		
医学教養Ⅳ <sup>1)</sup>				1			
医学教養Ⅴ <sup>1)</sup>				1			
医学教養Ⅵ <sup>1)</sup>				1			
医学教養Ⅶ <sup>1)</sup>				1			
医学教養Ⅷ <sup>1)</sup>				1			
選択短期集中講座		学生テュータ養成講座 <sup>1)</sup>		1			
		実用医療英語 <sup>1)</sup> チーム医療演習 <sup>1)</sup> データサイエンス実践入門 <sup>1)</sup>		1 1 2			
選択地域医療	地域医療学Ⅰ <sup>1)</sup>		1				
	地域医療学Ⅱ <sup>1)</sup>		1				
	地域医療学Ⅲ <sup>1)</sup>		1				
	地域医療学(千葉)Ⅰ <sup>1)</sup>		2				
	地域医療学(千葉)Ⅱ <sup>1)</sup>		2				
	地域医療学(千葉)Ⅲ <sup>1)</sup>		2				

領域名	サブ領域	ユニット	単位数			備考	
			必修	選択	自由		
外国語科目	英語1	英語1-①	英語総合	4			
		英語1-②					医学英語入門
	英語2	英語2	基礎医学英語	2			
	英語3	英語3	臨床医学英語 I	2			
	英語4	英語4	臨床医学英語 II	1			
	英語	選択英語コミュニケーション	英会話 <sup>1)</sup>		1		
			Listening Skills <sup>1)</sup>		1		
	Cross Cultural Communication <sup>1)</sup>			1			
	Writing <sup>1)</sup>			1			
		選択英語単位認定科目	海外集中英語コース <sup>1)</sup> 英語検定1)		1 1		
初修外国語	選択初修外国語	フランス語 I <sup>1)</sup>		2			
		フランス語 II <sup>1)</sup>		1			
		ドイツ語 I <sup>1)</sup>		2			
		ドイツ語 II <sup>1)</sup>		1			
		中国語 I <sup>1)</sup>		2			
		中国語 II <sup>1)</sup>		1			
医学準備・基礎医学統合科目	医用工学1	医用工学1-①	数理情報学 I 医科物理学 I	3			
		医用工学1-②					数理情報学 II 医科物理学 II
		医用工学1実習	医用工学1実習 <sup>2)</sup>				0.5
	医用工学2	医用工学2	基礎放射線	1			
	生体物質の科学	生体物質の科学①	生体無機化学	生体有機化学 I 遺伝生化学 I 生体有機化学 II 代謝生化学 I 代謝生化学 II 遺伝生化学 II	4		
			生体有機化学 I				
		生体物質の科学②	生体有機化学 II				
		生体物質の科学③	代謝生化学 I				
		生体物質の科学実習	生体物質の科学実習 <sup>3)</sup>	1			3) 1、3期で実施されるが評価は3期に行う
	生体の構造1	生体の構造1-①	生体の構造概論	組織学総論 運動器・末梢神経系 呼吸・循環器系 消化器系 内分泌・泌尿生殖器系	4		
			組織学総論				
		生体の構造1-②	運動器・末梢神経系				
		生体の構造1-③	呼吸・循環器系				
	生体の構造1実習	生体の構造1実習 I <sup>2)</sup>	生体の構造1実習 II 生体の構造1実習 III 生体の構造1実習 IV	2.5		2) 医用工学1実習と合わせて実施	
生体の構造1実習 II							
生体の構造1実習 III							
生体の構造1実習 IV							
生体の構造2	生体の構造2	局所解剖学	感覚器・中枢神経系	2			
		生体の構造2実習					生体の構造2実習 I 生体の構造2実習 II

領域名	サブ領域	ユニット		単位数			備考	
				必修	選択	自由		
医学 準備 ・ 基礎 医学 統合 科目	生体の機能1	生体の機能1-①	細胞生理 神経筋		4			
		生体の機能1-②	血液・リンパ 呼吸・循環					
		生体の機能1-③	腎・尿路 消化・吸収 内分泌・生殖					
		生体の機能1実習	生体の機能1実習					1
	生体の機能2	生体の機能2	感覚機能 運動機能 高次中枢・自律機能		2			
	病態の科学	病態の科学①	微生物・感染症学 免疫学		7		4) 1～2期で実施されるが評価は2期に行う	
		病態の科学②	病態の科学概論 <sup>4)</sup> 薬理学 病理学					
		病態の科学実習	病態の科学実習Ⅰ 病態の科学実習Ⅱ 病態の科学実習Ⅲ <sup>5)</sup>		3.5		5) 2～3期で実施されるが評価は3期に行う	
	自然・環境科学	選択自然・環境科学	選択化学Ⅰ <sup>1)</sup> 選択化学Ⅱ <sup>1)</sup> 選択生物Ⅰ <sup>1)</sup> 選択生物Ⅱ <sup>1)</sup> 選択環境科学Ⅰ <sup>1)</sup> 選択環境科学Ⅱ <sup>1)</sup> 選択物理 <sup>1)</sup> 選択数学Ⅰ <sup>1)</sup> 選択数学Ⅱ <sup>1)</sup>			1 1 1 1 1 1 1 1 1		1) 選択人文・社会学、選択芸術、選択医学教養、選択短期集中講座、選択英語コミュニケーション、英語単位認定科目、選択初修外国語、選択自然・環境科学から、1～3年次で合計9単位以上取得
	臨床医学科目	臨床医学入門	医学総論		臨床検査・ 生理機能検査演習		1	
医学総論			内科総論 外科総論	2				
臨床医学1		臨床医学1	循環器系	内科 外科	6			
			呼吸器系	内科 外科 乳腺・胸壁				
	腎臓・電解質系							
感染症学								



領域名	サブ領域	ユニット	単位数			備考				
			必修	選択	自由					
臨床医学目	臨床医学2	臨床医学2-①	消化器系	内科(消化管) 内科(肝胆膵) 外科・腹壁	8					
			脳・神経系	内科 外科						
		臨床医学2-②	血液病学 腫瘍学	内分泌 糖尿病 甲状腺外科						
			膠原病・アレルギー病学 代謝・内分泌系							
	臨床医学3(小児・生殖・泌尿)	臨床医学3-①	小児科学	小児科 新生児科 外科				6		
		臨床医学3-②	臨床遺伝学	産科 婦人科						
			産科婦人科学 泌尿器科学							
	臨床医学4(骨・運動・感覚器)	臨床医学4	眼科学	耳鼻科 口腔外科 皮膚科 形成外科				4		
			耳鼻・咽喉・口腔外科学							
			皮膚・形成外科学							
整形外科										
臨床医学5(放射線・全身管理)	臨床医学5	放射線医学	診断 治療	3						
		中毒・救急医学	麻酔科 集中治療							
		麻酔・集中治療学								
臨床医学6(精神領域)	臨床医学6	行動科学 心身医学 精神神経医学	2							
臨床医学7(総合医学)	臨床医学7	総合医療系 医療安全 リハビリテーション医学 臨床栄養学 移植・再生医療	高齢者医療 地域・僻地医療 総合・家庭診療 東洋医学	4						

領域名	サブ領域	ユニット	単位数			備考	
			必修	選択	自由		
臨床医学科目	臨床医学8(臨床実践技能)	臨床医学8	臨床実習入門 臨床検査・生理機能検査実習 シミュレーション実習	3			
	臨床医学9(統合型臨床講義)	臨床医学9	統合型臨床講義	3			
	臨床医学10(統合型臨床医学演習)	臨床医学10	統合型臨床医学演習	2			
	臨床病理学1	臨床病理学1	臨床病理学Ⅰ	1			
	臨床病理学2	臨床病理学2	臨床病理学Ⅱ	2			
	診断学実習	診断学実習	診断学実習	2			
	臨床実習	臨床実習1	基本臨床実習	21			
	臨床実習2	必修診療参加型臨床実習	40				
	臨床実習3	選択診療参加型臨床実習6)	8		6) 選択必修科目		
社会医学科目	社会医学1	社会医学1-①	公衆衛生学／医療政策・経営科学 衛生学 疫学・医療統計学	4			
		社会医学1-②	法医学				
	社会医学2	社会医学実習	統合型社会医学実習	1			
	社会医学3	社会医学演習	統合型社会医学演習	3			
キャリア教育科目	全人の医療人教育1	全人の医療人教育1	レディネス 倫理 コミュニケーション プロフェッショナリズム	4.5			
	全人の医療人教育2	全人の医療人教育2	倫理 コミュニケーション プロフェッショナリズム	3			
	全人の医療人教育3	全人の医療人教育3	倫理 コミュニケーション プロフェッショナリズム	1.5			
	全人の医療人教育4	全人の医療人教育4	倫理 コミュニケーション プロフェッショナリズム	2			
	全人の医療人教育5	全人の医療人教育5	倫理 プロフェッショナリズム	1			
	全人の医療人教育6	全人の医療人教育6	倫理 プロフェッショナリズム	1			
	課題解決学習1	課題解決学習基礎編1	PBLテュートリアルⅠ	1			
	課題解決学習2	課題解決学習基礎編2	PBLテュートリアルⅡ	1			
	課題解決学習3	課題解決学習臨床編	臨床推論	4.5			
	医学研究	先端医学	医学論文 <sup>9)</sup>		10		9) 6年間で論文作成は必修
先端医学演習 <sup>10)</sup>						10) 自由選択科目15時間1単位と換算、 ※年間6単位を上限として付与	
先端医学実習 <sup>11)</sup>						11) 自由選択科目30時間1単位と換算、 ※年間6単位を上限として付与	
合計				208	52	0	卒業所要単位数は、必修208単位、選択9単位以上、計217単位以上とする。

領域名	サブ領域	ユニット	必修単位			選択単位			備考	
			講義	演習	実習	講義	演習	実習		
教 養 教 育 科 目	人文・社会学	人文・社会学①	心理学Ⅰ	4.5						
			倫理学 社会学							
		人文・社会学②	心理学Ⅱ							
			法学							
		選択人文・社会学	選択人文・社会学Ⅰ <sup>1)</sup>							
	選択人文・社会学Ⅱ <sup>1)</sup> 選択人文・社会学Ⅲ <sup>1)</sup> 選択人文・社会学Ⅳ <sup>1)</sup>					1 1 1				
	選択芸術	選択芸術Ⅰ <sup>1)</sup> 選択芸術Ⅱ <sup>1)</sup>				1 1				
		医学教養	選択医学教養	医学教養Ⅰ <sup>1)</sup>				1		1) 選択人文・社会学、選択芸術、選択医学教養、選択短期集中講座、選択英語コミュニケーション、英語単位認定科目、選択初修外国語、選択自然・環境科学から、1～3年次で合計9単位以上取得
	医学教養Ⅱ <sup>1)</sup>						1			
	医学教養Ⅲ <sup>1)</sup>							1		
	医学教養Ⅳ <sup>1)</sup>							1		
	医学教養Ⅴ <sup>1)</sup>							1		
	医学教養Ⅵ <sup>1)</sup>						1			
	医学教養Ⅶ <sup>1)</sup> 医学教養Ⅷ <sup>1)</sup>					1 1				
選択短期集中講座	学生テュータ養成講座 <sup>1)</sup> 実用医療英語 <sup>1)</sup> チーム医療演習 <sup>1)</sup> データサイエンス実践入門 <sup>1)</sup>				1					
						1 1				
						2				
選択地域医療	地域医療学Ⅰ <sup>1)</sup> 地域医療学Ⅱ <sup>1)</sup> 地域医療学Ⅲ <sup>1)</sup>					1 1 1				
		英語1	英語1-①	4						
			英語1-②							
英語2	英語2		2	基礎医学英語						
	英語3		英語3	2						臨床医学英語Ⅰ
英語4		英語4	1	臨床医学英語Ⅱ						
外 国 語 科 目	英語	選択英語コミュニケーション	英会話 <sup>1)</sup>				1		1) 選択人文・社会学、選択芸術、選択医学教養、選択短期集中講座、選択英語コミュニケーション、英語単位認定科目、選択初修外国語、選択自然・環境科学から、1～3年次で合計9単位以上取得	
			Listening Skills <sup>1)</sup>				1			
			Cross Cultural Communication <sup>1)</sup>				1			
			Writing <sup>1)</sup>				1			
	選択英語単位認定科目	海外集中英語コース <sup>1)</sup> 英語検定 <sup>1)</sup>				1 1				
初修外国語	選択初修外国語	フランス語Ⅰ <sup>1)</sup>				2				
		フランス語Ⅱ <sup>1)</sup>				1				
		ドイツ語Ⅰ <sup>1)</sup>				2				
		ドイツ語Ⅱ <sup>1)</sup>				1				
		中国語Ⅰ <sup>1)</sup>				2				
		中国語Ⅱ <sup>1)</sup>				1				

領域名	サブ領域	ユニット	必修単位			選択単位			備考	
			講義	演習	実習	講義	演習	実習		
医学 準備・基礎 医学 統合科目	医用理工学1	医用理工学1-①	3							
		医用理工学1-②								
		医用理工学1実習	医用理工学1実習 <sup>2)</sup>			0.5			<sup>2)</sup> 生体の構造1実習 I と合わせて実施	
	医用理工学2	医用理工学2	基礎放射線	1						
	生体物質の科学	生体物質の科学①	生体無機化学	4						
			生体有機化学 I 遺伝生化学 I							
		生体物質の科学②	生体有機化学 II 代謝生化学 I							
			生体物質の科学③		代謝生化学 II 遺伝生化学 II					
	生体物質の科学実習	生体物質の科学実習 <sup>3)</sup>				1			<sup>3)</sup> 1、3期で実施されるが評価は3期に行う	
	生体の構造1	生体の構造1-①	生体の構造概論 組織学総論	4						
			生体の構造1-②		運動器・末梢神経系 呼吸・循環器系					
					生体の構造1-③	消化器系 内分泌・泌尿生殖器系				
生体の構造1実習		生体の構造1実習 I <sup>2)</sup> 生体の構造1実習 II 生体の構造1実習 III 生体の構造1実習 IV					2.5			<sup>2)</sup> 医用理工学1実習と合わせて実施
生体の構造2	生体の構造2	局所解剖学 感覚器・中枢神経系	2							
	生体の構造2実習	生体の構造2実習 I 生体の構造2実習 II			3.5					

領域名	サブ領域	ユニット	必修単位			選択単位			備考	
			講義	演習	実習	講義	演習	実習		
医学 準備 ・ 基礎 医学 統 合 科 目	生体の機能1	生体の機能1-①	4							
		生体の機能1-②								
		生体の機能1-③								
		生体の機能1実習			1					
	生体の機能2	生体の機能2	2							
	病態の科学	病態の科学①	7							4) 1～2期で実施されるが評価は2期に行う
		病態の科学②								
		病態の科学実習			3.5				5) 2～3期で実施されるが評価は3期に行う	
	自然・環境科学	選択自然・環境科学	選択化学Ⅰ <sup>1)</sup>				1			1) 選択人文・社会学、選択芸術、選択医学教養、選択短期集中講座、選択英語コミュニケーション、英語単位認定科目、選択初修外国語、選択自然・環境科学から、1～3年次で合計9単位以上取得
			選択化学Ⅱ <sup>1)</sup>					1		
選択生物Ⅰ <sup>1)</sup>						1				
選択生物Ⅱ <sup>1)</sup>						1				
選択環境科学Ⅰ <sup>1)</sup>						1				
選択環境科学Ⅱ <sup>1)</sup>						1				
選択物理 <sup>1)</sup>						1				
選択数学Ⅰ <sup>1)</sup>						1				
選択数学Ⅱ <sup>1)</sup>				1						
臨床医学科目	臨床医学入門	医学総論		1						
		臨床検査・ 生理機能検査演習								
	臨床医学1	医学総論	内科総論 外科総論		2					
		臨床医学1	循環器系	内科 外科	6					
呼吸器系			内科 外科 乳腺・胸壁							
腎臓・電解質系										
		感染症学								

領域名	サブ領域	ユニット	必修単位			選択単位			備考							
			講義	演習	実習	講義	演習	実習								
臨床医学目	臨床医学2	臨床医学2-①	消化器系	内科(消化管) 内科(肝胆膵) 外科・腹壁	8											
			脳・神経系	内科 外科												
	臨床医学2-②	血液病学 腫瘍学	内分泌 糖尿病 甲状腺外科													
		膠原病・アレルギー病学														
		代謝・内分泌系														
	臨床医学3 (小児・生殖・泌尿)	臨床医学3-①	小児科学	小児科 新生児科 外科							6					
		臨床医学3-②	臨床遺伝学													
産科 婦人科学			産科 婦人科													
臨床医学4 (骨・運動・感覚器)	臨床医学4	眼科学		4												
		耳鼻・咽喉・ 口腔外科学	耳鼻科 口腔外科													
		皮膚・ 形成外科学	皮膚科 形成外科													
臨床医学5 (放射線・全身管理)	臨床医学5	放射線 医学	診断 治療	3												
		中毒・救急医学														
		麻酔・集中 治療学	麻酔科 集中治療													
臨床医学6 (精神領域)	臨床医学6	行動科学		2												
		心身医学														
		精神神経医学														
臨床医学7 (総合医学)	臨床医学7	総合医療系	高齢者医療	4												
			地域・僻地医療													
			総合・家庭診療													
			東洋医学													
		医療安全														
リハビリテーション医学																
臨床栄養学																
移植・再生医療																

領域名	サブ領域	ユニット	必修単位			選択単位			備考	
			講義	演習	実習	講義	演習	実習		
臨床医学科目	臨床医学8 (臨床実践技能)	臨床医学8	臨床実習入門			3				
			臨床検査・ 生理機能検査実習							
			シミュレーション実習							
	臨床医学9 (統合型臨床講義)	臨床医学9	統合型臨床講義	3						
	臨床医学10 (統合型臨床医学演習)	臨床医学10	統合型臨床医学演習		2					
	臨床病理学1	臨床病理学1	臨床病理学Ⅰ		1					
	臨床病理学2	臨床病理学2	臨床病理学Ⅱ		2					
診断学実習	診断学実習	診断学実習			2					
臨床実習	臨床実習1	臨床実習1			21					
		臨床実習2	必修診療参加型臨床実習			40				
		臨床実習3	選択診療参加型臨床実習 <sup>6)</sup>			8				<sup>6)</sup> 選択必修科目
社会医学科目	社会医学1	社会医学1-①	公衆衛生学/ 医療政策・経営科学 衛生学 疫学・医療統計学	4						
			社会医学1-②							法医学
	社会医学2	社会医学実習	統合型社会医学実習			1				
	社会医学3	社会医学演習	統合型社会医学演習		3					

領域名	サブ領域	ユニット	必修単位			選択単位			備考
			講義	演習	実習	講義	演習	実習	
キャリア教育科目	全人的医療人教育1	全人的医療人教育1	レディネス 倫理 コミュニケーション プロフェッショナリズム		4.5				
	全人的医療人教育2	全人的医療人教育2	倫理 コミュニケーション プロフェッショナリズム		3				
	全人的医療人教育3	全人的医療人教育3	倫理 コミュニケーション プロフェッショナリズム		1.5				
	全人的医療人教育4	全人的医療人教育4	倫理 コミュニケーション プロフェッショナリズム		2				
	全人的医療人教育5	全人的医療人教育5	倫理 プロフェッショナリズム		1				
	全人的医療人教育6	全人的医療人教育6	倫理 プロフェッショナリズム		1				
	課題解決学習1	課題解決学習基礎編1	PBLテュートリアルI		1				
	課題解決学習2	課題解決学習基礎編2	PBLテュートリアルII		1				
	課題解決学習3	課題解決学習臨床編	臨床推論		4.5				
	医学研究	先端医学	医学論文 <sup>9)</sup>		10				
先端医学演習 <sup>10)</sup>							※		<sup>10)</sup> 自由選択科目15時間1単位と換算、※年間6単位を上限として付与
先端医学実習 <sup>11)</sup>								※	<sup>11)</sup> 自由選択科目30時間1単位と換算、※年間6単位を上限として付与
小 計			80.5	40.5	87	34	12	0	
合 計			208			46			
卒業時必要総単位数			217						



領域名	サブ領域	ユニット	必修単位			選択単位			備考	
			講義	演習	実習	講義	演習	実習		
教養教育科目	人文・社会学	人文・社会学①	心理学Ⅰ	4.5						
			倫理学							
		社会学								
		人文・社会学②	心理学Ⅱ							
			法学							
	選択人文・社会学	選択人文・社会学Ⅰ <sup>1)</sup>				1				
		選択人文・社会学Ⅱ <sup>1)</sup>				1				
	選択芸術	選択人文・社会学Ⅲ <sup>1)</sup>				1				
		選択人文・社会学Ⅳ <sup>1)</sup>				1				
	医学教養	選択医学教養	選択芸術Ⅰ <sup>1)</sup>				1			
選択芸術Ⅱ <sup>1)</sup>						1				
医学教養Ⅰ <sup>1)</sup>						1				
医学教養Ⅱ <sup>1)</sup>						1				
医学教養Ⅲ <sup>1)</sup>							1			
医学教養Ⅳ <sup>1)</sup>							1			
医学教養Ⅴ <sup>1)</sup>							1			
医学教養Ⅵ <sup>1)</sup>						1				
選択短期集中講座	医学教養Ⅶ <sup>1)</sup>					1				
	医学教養Ⅷ <sup>1)</sup>					1				
	医学教養Ⅷ <sup>1)</sup>					1				
		学生テュータ養成講座 <sup>1)</sup>				1				
		実用医療英語 <sup>1)</sup>					1			
		チーム医療演習 <sup>1)</sup>					1			
外国語科目	英語1	英語1-①	英語総合	4						
		英語1-②	医学英語入門							
	英語2	英語2	基礎医学英語	2						
	英語3	英語3	臨床医学英語Ⅰ	2						
	英語4	英語4	臨床医学英語Ⅱ	1						
	英語	選択英語コミュニケーション	英会話 <sup>1)</sup>				1			
			Listening Skills <sup>1)</sup>				1			
	Cross Cultural Communication <sup>1)</sup>					1				
	Writing <sup>1)</sup>					1				
		選択英語単位認定科目	海外集中英語コース <sup>1)</sup>				1			
		英語検定 <sup>1)</sup>				1				
初修外国語	選択初修外国語	フランス語Ⅰ <sup>1)</sup>				2				
		フランス語Ⅱ <sup>1)</sup>				1				
		ドイツ語Ⅰ <sup>1)</sup>				2				
		ドイツ語Ⅱ <sup>1)</sup>				1				
		中国語Ⅰ <sup>1)</sup>				2				
		中国語Ⅱ <sup>1)</sup>				1				

領域名	サブ領域	ユニット	必修単位			選択単位			備考		
			講義	演習	実習	講義	演習	実習			
医学 準備・基礎 医学 統合 科目	医用理工学1	医用理工学1-①	3								
		医用理工学1-②									
		医用理工学1実習	医用理工学1実習 <sup>2)</sup>			0.5				<sup>2)</sup> 生体の構造1実習 I と合わせて実施	
	医用理工学2	医用理工学2	基礎放射線	1							
	生体物質の科学	生体物質の科学①	生体無機化学	4							
			生体有機化学 I 遺伝生化学 I								
		生体物質の科学②	生体有機化学 II 代謝生化学 I								
			生体物質の科学③								代謝生化学 II 遺伝生化学 II
	生体物質の科学実習	生体物質の科学実習 <sup>3)</sup>				1			<sup>3)</sup> 1、3期で実施されるが評価は3期に行う		
	生体の構造1	生体の構造1-①	生体の構造概論 組織学総論	4							
			生体の構造1-②								運動器・末梢神経系 呼吸・循環器系
			生体の構造1-③								消化器系 内分泌・泌尿生殖器系
生体の構造1実習		生体の構造1実習 I <sup>2)</sup> 生体の構造1実習 II 生体の構造1実習 III 生体の構造1実習 IV									
生体の構造2	生体の構造2	局所解剖学 感覚器・中枢神経系	2								
	生体の構造2実習	生体の構造2実習 I 生体の構造2実習 II						3.5			

領域名	サブ領域	ユニット	必修単位			選択単位			備考	
			講義	演習	実習	講義	演習	実習		
医学 準備 ・ 基礎 医学 統 合 科 目	生体の機能1	生体の機能1-①	4							
		生体の機能1-②								
		生体の機能1-③								
		生体の機能1実習			1					
	生体の機能2	生体の機能2	2							
	病態の科学	病態の科学①	7							4) 1～2期で実施されるが評価は2期に行う
		病態の科学②								
		病態の科学実習			3.5				5) 2～3期で実施されるが評価は3期に行う	
	自然・環境科学	選択自然・環境科学	選択化学Ⅰ <sup>1)</sup>				1			1) 選択人文・社会学、選択芸術、選択医学教養、選択短期集中講座、選択英語コミュニケーション、英語単位認定科目、選択初修外国語、選択自然・環境科学から、1～3年次で合計9単位以上取得
			選択化学Ⅱ <sup>1)</sup>					1		
選択生物Ⅰ <sup>1)</sup>						1				
選択生物Ⅱ <sup>1)</sup>						1				
選択環境科学Ⅰ <sup>1)</sup>						1				
選択環境科学Ⅱ <sup>1)</sup>						1				
選択物理 <sup>1)</sup>						1				
選択数学Ⅰ <sup>1)</sup>						1				
選択数学Ⅱ <sup>1)</sup>				1						
臨床医学入門	医学総論	臨床検査・ 生理機能検査演習		1						
		医学総論	内科総論 外科総論		2					
	臨床医学1	臨床医学1	循環器系	内科 外科	6					
			呼吸器系	内科 外科 乳腺・胸壁						
腎臓・電解質系										
		感染症学								

領域名	サブ領域	ユニット	必修単位			選択単位			備考							
			講義	演習	実習	講義	演習	実習								
臨床医学目	臨床医学2	臨床医学2-①	消化器系	内科(消化管) 内科(肝胆膵) 外科・腹壁	8											
			脳・神経系	内科 外科												
	臨床医学2-②	血液病学 腫瘍学	内分泌 糖尿病 甲状腺外科													
		膠原病・アレルギー病学														
		代謝・内分泌系														
	臨床医学3 (小児・生殖・泌尿)	臨床医学3-①	小児科学	小児科 新生児科 外科							6					
		臨床医学3-②	臨床遺伝学													
産科 婦人科学			産科 婦人科													
臨床医学4 (骨・運動・感覚器)	臨床医学4	眼科学		4												
		耳鼻・咽喉・ 口腔外科学	耳鼻科 口腔外科													
		皮膚・ 形成外科学	皮膚科 形成外科													
臨床医学5 (放射線・全身管理)	臨床医学5	放射線 医学	診断 治療	3												
		中毒・救急医学														
		麻酔・集中 治療学	麻酔科 集中治療													
臨床医学6 (精神領域)	臨床医学6	行動科学		2												
		心身医学														
		精神神経医学														
臨床医学7 (総合医学)	臨床医学7	総合医療系	高齢者医療	4												
			地域・僻地医療													
			総合・家庭診療													
			東洋医学													
		医療安全														
リハビリテーション医学																
臨床栄養学																
移植・再生医療																

領域名	サブ領域	ユニット	必修単位			選択単位			備考	
			講義	演習	実習	講義	演習	実習		
臨床 医 学 科 目	臨床医学8 (臨床実践技能)	臨床医学8	臨床実習入門			3				
			臨床検査・ 生理機能検査実習							
			シミュレーション実習							
	臨床医学9 (統合型臨床講義)	臨床医学9	統合型臨床講義	3						
	臨床医学10 (統合型臨床医学演習)	臨床医学10	統合型臨床医学演習		2					
	臨床病理学1	臨床病理学1	臨床病理学Ⅰ		1					
	臨床病理学2	臨床病理学2	臨床病理学Ⅱ		2					
	診断学実習	診断学実習	診断学実習			2				
	臨床実習	臨床実習1	基本臨床実習			21				
		臨床実習2	必修診療参加型臨床実習			40				
Clinical Skills Assessment Course (CSA) <sup>6)</sup>							1		<sup>6)</sup> 自由選択科目、選択すると1単位付与	
臨床実習3	選択診療参加型臨床実習 <sup>7), 8)</sup>			8				<sup>7)</sup> 選択必修科目、 <sup>8)</sup> 海外ECCを希望する場合はCSAの受講が必須		
社会 医 学 科 目	社会医学1	社会医学1-①	公衆衛生学/ 医療政策・経営科学 衛生学 疫学・医療統計学	4						
		社会医学1-②	法医学							
	社会医学2	社会医学実習	統合型社会医学実習			1				
	社会医学3	社会医学演習	統合型社会医学演習		3					

領域名	サブ領域	ユニット	必修単位			選択単位			備考
			講義	演習	実習	講義	演習	実習	
キャリア教育科目	全人的医療人教育1	全人的医療人教育1	レディネス 倫理 コミュニケーション プロフェッショナリズム		4.5				
	全人的医療人教育2	全人的医療人教育2	倫理 コミュニケーション プロフェッショナリズム		3				
	全人的医療人教育3	全人的医療人教育3	倫理 コミュニケーション プロフェッショナリズム		1.5				
	全人的医療人教育4	全人的医療人教育4	倫理 コミュニケーション プロフェッショナリズム		2				
	全人的医療人教育5	全人的医療人教育5	倫理 プロフェッショナリズム		1				
	全人的医療人教育6	全人的医療人教育6	倫理 プロフェッショナリズム		1				
	課題解決学習1	課題解決学習基礎編1	PBLテュートリアルⅠ		1				
	課題解決学習2	課題解決学習基礎編2	PBLテュートリアルⅡ		1				
	課題解決学習3	課題解決学習臨床編	臨床推論		4.5				
	医学研究	先端医学	医学論文 <sup>9)</sup>		10				
先端医学演習 <sup>10)</sup>							※		<sup>10)</sup> 自由選択科目15時間1単位と換算、※年間6単位を上限として付与
先端医学実習 <sup>11)</sup>								※	<sup>11)</sup> 自由選択科目30時間1単位と換算、※年間6単位を上限として付与
小計			80.5	40.5	87	34	8	0	
合計			208			42			
卒業時必要総単位数			217						

平成28年度から平成30年度の入学者に適用

領域名	サブ領域	ユニット	必修単位			選択単位			備考			
			講義	演習	実習	講義	演習	実習				
教養教育科目	人文・社会学	人文・社会学① 心理学Ⅰ 倫理学 社会学	4.5									
		人文・社会学② 心理学Ⅱ 法学										
	人文・社会学	選択人文・社会学 選択人文・社会学Ⅰ <sup>1)</sup> 選択人文・社会学Ⅱ <sup>1)</sup> 選択人文・社会学Ⅲ <sup>1)</sup> 選択人文・社会学Ⅳ <sup>1)</sup>				1 1 1 1			<sup>1)</sup> 選択人文・社会学、選択芸術、選択医学教養、選択短期集中講座、選択英語コミュニケーション、英語単位認定科目、選択初修外国語、選択自然・環境科学から、1～3年次で合計9単位以上取得			
		選択芸術 選択芸術Ⅰ <sup>1)</sup> 選択芸術Ⅱ <sup>1)</sup>				1 1						
	医学教養	選択医学教養 医学教養Ⅰ <sup>1)</sup> 医学教養Ⅱ <sup>1)</sup> 医学教養Ⅲ <sup>1)</sup> 医学教養Ⅳ <sup>1)</sup> 医学教養Ⅴ <sup>1)</sup> 医学教養Ⅵ <sup>1)</sup> 医学教養Ⅶ <sup>1)</sup> 医学教養Ⅷ <sup>1)</sup>				1 1 1 1 1 1 1	1 1 1					
			選択短期集中講座 学生テュータ養成講座 <sup>1)</sup> 実用医療英語 <sup>1)</sup> チーム医療演習 <sup>1)</sup>				1	1 1				
				英語1	英語1-① 英語総合	4						
					英語1-② 医学英語入門							
			英語2	英語2 基礎医学英語	2							
			英語3	英語3 臨床医学英語Ⅰ	2							
英語4	英語4 臨床医学英語Ⅱ	1										
外国語科目	英語	選択英語コミュニケーション 英会話 <sup>1)</sup> Listening Skills <sup>1)</sup> Cross Cultural Communication <sup>1)</sup> Writing <sup>1)</sup>				1 1 1 1		<sup>1)</sup> 選択人文・社会学、選択芸術、選択医学教養、選択短期集中講座、選択英語コミュニケーション、英語単位認定科目、選択初修外国語、選択自然・環境科学から、1～3年次で合計9単位以上取得				
		選択英語単位認定科目 海外集中英語コース <sup>1)</sup> 英語検定 <sup>1)</sup>				1 1						
初修外国語	選択初修外国語	フランス語Ⅰ <sup>1)</sup> フランス語Ⅱ <sup>1)</sup> ドイツ語Ⅰ <sup>1)</sup> ドイツ語Ⅱ <sup>1)</sup> 中国語Ⅰ <sup>1)</sup> 中国語Ⅱ <sup>1)</sup>				2 1 2 1 2 1						
		医用理工学1	医用理工学1-① 数情報学Ⅰ 医科物理学Ⅰ	3								
			医用理工学1-② 数情報学Ⅱ 医科物理学Ⅱ									
			医用理工学1実習 医用理工学1実習 <sup>2)</sup>				0.5			<sup>2)</sup> 生体の構造1実習Ⅰと合わせて実施		

領域名	サブ領域	ユニット	必修単位			選択単位			備考
			講義	演習	実習	講義	演習	実習	
医学 準備・ 基礎 医学 統合 科目	医用理工学2	医用理工学2	基礎放射線	1					
	生体物質の科学	生体物質の科学①	生体無機化学	4					
			生体有機化学Ⅰ 遺伝生化学Ⅰ						
		生体物質の科学②	生体有機化学Ⅱ 代謝生化学Ⅰ						
			生体物質の科学③						
	生体物質の科学実習	生体物質の科学実習 <sup>3)</sup>			1				<sup>3)</sup> 1、3期で実施されるが評価は3期に行う
	生体の構造1	生体の構造1-①	生体の構造概論	4					
			組織学総論						
			生体の構造1-②						
		生体の構造1-③	消化器系 内分泌・泌尿生殖器系						
	生体の構造1実習	生体の構造1実習Ⅰ <sup>2)</sup> 生体の構造1実習Ⅱ 生体の構造1実習Ⅲ 生体の構造1実習Ⅳ			2.5				<sup>2)</sup> 医用理工学1実習と合わせて実施
	生体の構造2	生体の構造2	局所解剖学 感覚器・中枢神経系	2					
		生体の構造2実習	生体の構造2実習Ⅰ 生体の構造2実習Ⅱ			3.5			
	生体の機能1	生体の機能1-①	細胞生理	4					
			神経筋						
			生体の機能1-②						
		生体の機能1-③	腎・尿路 消化・吸収 内分泌・生殖						
生体の機能1実習	生体の機能1実習			1					
生体の機能2	生体の機能2	感覚機能 運動機能 高次中枢・自律機能	2						
病態の科学	病態の科学①	微生物・感染症学 免疫学	7						
		病態の科学②							病態の科学概論 <sup>4)</sup> 薬理学 病理学
	病態の科学実習	病態の科学実習Ⅰ 病態の科学実習Ⅱ 病態の科学実習Ⅲ <sup>5)</sup>							



領域名	サブ領域	ユニット	必修単位			選択単位			備考	
			講義	演習	実習	講義	演習	実習		
医学準備・基礎医学統合科目	自然・環境科学	選択自然・環境科学	選択化学Ⅰ <sup>1)</sup>					1		1) 選択人文・社会学、選択芸術、選択医学教養、選択短期集中講座、選択英語コミュニケーション、英語単位認定科目、選択初修外国語、選択自然・環境科学から、1～3年次で合計9単位以上取得
			選択化学Ⅱ <sup>1)</sup>						1	
			選択生物Ⅰ <sup>1)</sup>						1	
			選択生物Ⅱ <sup>1)</sup>						1	
			選択環境科学Ⅰ <sup>1)</sup>						1	
			選択環境科学Ⅱ <sup>1)</sup>						1	
			選択物理 <sup>1)</sup>						1	
			選択数学Ⅰ <sup>1)</sup>						1	
選択数学Ⅱ <sup>1)</sup>						1				
臨床医学科目	臨床医学入門	医学総論	臨床検査・生理機能検査演習			1				
			医学総論	内科総論 外科総論	2					
	臨床医学1	臨床医学1	循環器系	内科 外科	6					
			呼吸器系	内科 外科 乳腺・胸壁						
			腎臓・電解質系							
			感染症学							
	臨床医学2	臨床医学2-①	消化器系	内科(消化管) 内科(肝胆膵) 外科・腹壁	8					
			脳・神経系	内科 外科						
		臨床医学2-②	血液病学 腫瘍学							
			膠原病・アレルギー病学							
	臨床医学3 (小児・生殖・泌尿)	臨床医学3-①	小児科学	小児科 新生児科 外科	6					
			臨床医学3-②	臨床遺伝学						
産科婦人科学		産科 婦人科								
泌尿器科学										
臨床医学4 (骨・運動・感覚器)	臨床医学4	眼科学		4						
		耳鼻・咽喉・口腔外科学	耳鼻科 口腔外科							
		皮膚・形成外科学	皮膚科 形成外科							
		整形外科学								

領域名	サブ領域	ユニット	必修単位			選択単位			備考
			講義	演習	実習	講義	演習	実習	
臨床 医 学 科 目	臨床医学5 (放射線・全身管理)	臨床医学5	放射線医学	診断 治療	3				
			中毒・救急医学						
			麻酔・集中治療学	麻酔科 集中治療					
	臨床医学6 (精神領域)	臨床医学6	行動科学	2					
			心身医学						
			精神神経医学						
	臨床医学7 (総合医学)	臨床医学7	総合医療系	高齢者医療 地域・僻地医療 総合・家庭診療 東洋医学	4				
			医療安全						
			リハビリテーション医学						
			臨床栄養学						
			移植・再生医療						
	臨床医学8 (臨床実践技能)	臨床医学8	臨床実習入門	3					
			臨床検査・ 生理機能検査実習						
			シミュレーション実習						
臨床医学9 (統合型臨床講義)	臨床医学9	統合型臨床講義	3						
臨床医学10 (統合型臨床医学演習)	臨床医学10	統合型臨床医学演習		2					
臨床病理学1	臨床病理学1	臨床病理学 I		1					
臨床病理学2	臨床病理学2	臨床病理学 II		2					
診断学実習	診断学実習	診断学実習			2				
臨床実習	臨床実習1	基本臨床実習			21				
	臨床実習2	必修診療参加型臨床実習			40				
		Clinical Skills Assessment Course (CSA) <sup>6)</sup>					1	<sup>6)</sup> 自由選択科目、選択すると1単位付与	
	臨床実習3	選択診療参加型臨床実習 <sup>7), 8)</sup>			8			<sup>7)</sup> 選択必修科目、 <sup>8)</sup> 海外ECCを希望する場合はCSAの受講が必須	
社会 医 学 科 目	社会医学1	社会医学1-①	公衆衛生学／ 医療政策・経営科学 衛生学 疫学・医療統計学	4					
		社会医学1-②	法医学						
	社会医学2	社会医学実習	統合型社会医学実習			1			
	社会医学3	社会医学演習	統合型社会医学演習		3				

領域名	サブ領域	ユニット	必修単位			選択単位			備考
			講義	演習	実習	講義	演習	実習	
キャリア教育科目	全人的医療人教育1	全人的医療人教育1	レディネス 倫理 コミュニケーション プロフェッショナリズム		4.5				
	全人的医療人教育2	全人的医療人教育2	倫理 コミュニケーション プロフェッショナリズム		3				
	全人的医療人教育3	全人的医療人教育3	倫理 コミュニケーション プロフェッショナリズム		1.5				
	全人的医療人教育4	全人的医療人教育4	倫理 コミュニケーション プロフェッショナリズム		2				
	全人的医療人教育5	全人的医療人教育5	倫理 プロフェッショナリズム		1				
	全人的医療人教育6	全人的医療人教育6	倫理 プロフェッショナリズム		1				
	課題解決学習1	課題解決学習基礎編1	PBLテュートリアルI		1				
	課題解決学習2	課題解決学習基礎編2	PBLテュートリアルII		1				
	課題解決学習3	課題解決学習臨床編	臨床推論		4.5				
	医学研究	先端医学	医学論文 <sup>9)</sup>		10				<sup>9)</sup> 6年間で論文作成は必修
先端医学演習 <sup>10)</sup>						※		<sup>10)</sup> 自由選択科目15時間1単位と換算、※年間6単位を上限として付与	
先端医学実習 <sup>11)</sup>							※	<sup>11)</sup> 自由選択科目30時間1単位と換算、※年間6単位を上限として付与	
小 計			82.5	38.5	87	34	8		
合 計			208			42			
卒業時必要総単位数			217						

	授 業 科 目	第 1 年次	第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次	第 5 年次	第 6 年次	
(1) 医学 教育 準備 科目	健康心理学	28						
	英語総合・英語総合基礎	56						
	基礎物理学	21						2科目から1科目選択必修
	基礎生物学	21						
	基礎化学	14						
	生体無機化学	14						
	生体有機化学	14						
	化学実習	30						
	物理学	21						
	物理学実習	30						
	人体生物学	21						
	細胞生物学	21						
	細胞生物学実習	30						
	医学情報学	28						
	数学	14						
	運動科学	14						
	PBLテュートリアル I	19						
(2) 基礎 医学 科目	組織学総論	30						
	細胞生理学	12						
	血液・リンパ系	10						
	内分泌系		18					
	呼吸・循環器系		24					
	消化器系		13					
	腎・泌尿生殖器系		14					
	運動器（骨格）系	20						
	末梢神経・筋系		17					
	中枢神経構造・感覚器系		17					
	中枢神経機能系		24					
	マクロ形態実習		102					
	ミクロ形態実習		45					
	生理機能(生理)実習		39					
	人体発生学		19					
	生化学基礎編	60						
	生化学応用編		28					
	医動物学		10					
	微生物学		80					
	免疫学		40					
	薬理学総論		38					
薬理学各論					※16			
病理学総論		58						
病理学各論 I				※51				
病理学各論 II					※24			
放射線医学（基礎編）		24						

	授 業 科 目	第 1 年次	第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次	第 5 年次	第 6 年次	
(2) 基礎 医学 科目	東洋医学（基礎編）		8					
	基礎医学英語		22					
	検査医学演習（基礎編）		34					
	先端医科学演習		44					
	PBLテュートリアルⅡ		30					
(3) 臨床 医学 科目	臨床医学入門*†			46				
	臨床医学英語Ⅰ			28				
	臨床医学英語Ⅱ				16			
	臨床推論演習			22				
	外科学総論*			7				
	臨床遺伝学			9				
	呼吸器・乳腺*†			63				
	循環器系*†			81				
	腎臓学・電解質*			43				
	脳・神経系*†			63				
	代謝・内分泌学*†			48				
	消化器系*			72				
	膠原病・アレルギー学†			29				
	感染症学*			15				
	血液学			21				
	腫瘍学			14				
	加齢・高齢医学			9				
	眼科学			18				
	耳鼻咽喉科学			18				
	皮膚科学			18				
	産科婦人科学*					70		
	小児科学*†					69		
	整形外科学†					47		
	精神科学†					40		
	心身医学*					20		
	行動科学					18		
	形成外科学					6		
	泌尿器科学					26		
	救急医学					15		
	麻酔科学					18		
	輸血学					10		
	放射線医学（臨床編）					18		
	東洋医学（臨床編）					8		
	検査医学演習（臨床編）					14		
栄養学				※14	※4			
リハビリテーション医学 （*含栄養学） （†含リハビリテーション医学）				※8	※5			
診断学実習					49			

	授 業 科 目	第 1 年次	第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次	第 5 年次	第 6 年次	
(3) 臨床 医学 科目	症候・病態学演習 PBLテュートリアルⅢ PBLテュートリアルⅣ 総合臨床講義 臨床実習入門 臨床実習 集中臨床講義 選択制臨床実習			※63	12  ※63	36 20 990	42 240	
(4) 社会 医学 科目	E BM入門 衛生学 公衆衛生学 法医学 統合型社会医学実習 (衛生学、公衆衛生学、法医学)				16 20 23 21 34			
(5) 医療 人 教育 科目	全人的医療人教育Ⅰ 全人的医療人教育Ⅱ 全人的医療人教育Ⅲ 全人的医療人教育Ⅳ 全人的医療人教育Ⅴ(CBM)	66	16	11	22	28		
	計 (時限数)	594	764	635	682	1194	282	

※「病理学各論Ⅰ」「病理学各論Ⅱ」「薬理学各論」

「栄養学」「リハビリテーション医学」は、統合科目として実施する。

※「PBLテュートリアルⅢ」「PBLテュートリアルⅣ」は、各ユニットに含まれる。

	授 業 科 目	第 1 年次	第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次	第 5 年次	第 6 年次	
* (6) 選 択 科 目	①人文科学							
	倫理学	1						
	哲学	1						
	宗教学	1						
	言語学	1						
	②社会科学							
	法学1	1						
	法学2	1						
	経済学	1						
	社会学	1						
	行動分析学入門	1						
	③芸術・健康科学							
	音楽	1						
	美術	1						
	スポーツ科学演習	2						
	ロジカルライティング入門	1						
	教材作成から学ぶ	1						
	④自然・環境科学							
	選択基礎化学	1						
	線形数学入門	1						
	かたちの科学入門	1						
	微分積分学入門	1						
	地球環境科学	1						
	特殊環境の生命を探る	1						
	バイオインフォマティクス入門	1						
	生体関連分子特論	1						
	演習生体有機化学	1						
	応用物理学	1						
	細胞の生物学	1						
	選択基礎物理学	1						
	⑤医療教養学							
	医療人のための日本語表現	1						
	男女共同参画と医療	1						
	役立つ最新の心理療法	1						
	医学生の学術情報活用演習	1						
	⑥基礎医科学							
	基礎免疫学	1						
	からだの化学的調節と循環器疾患	1						
	法医学入門	1						
	感染症の最前線	1						
分子神経科学	1							
呼吸を科学する	1							
航空宇宙医学	1							
人体構造学演習	1							

	授 業 科 目	第 1 年次	第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次	第 5 年次	第 6 年次	
	行動神経解剖学 (心理解剖学)	1						
	NEJM Case Recordsを読む	1						
	臨床微生物学・感染症学の基礎と応用	1						
	⑦臨床医科学							
	東洋医学概論	1						
	身体・心理・社会・医療モデル1	1						
	身体・心理・社会・医療モデル2	1						
	医療の変遷と潮流	1						
	シミュレーションで学ぶ医療技術入門Ⅰ	1						
	シミュレーションで学ぶ医療技術入門Ⅱ	1						
	英国疫学の歴史に学ぶEBM看護の機能と役割	1						
	看護の機能と役割	1						
	赤ちゃんを巡るところとからだ	1						
	⑧基礎語学							
	選択英語1	2						
	選択基礎2	2						
	CMESⅠ※	1						
	CMESⅡ※	1						
	CMESⅢ※	1						
	フランス語基礎	2						
	フランス語初級	2						
	MSFを読む1	1						
	MSFを読む2	1						
	ドイツ語基礎	2						
	ドイツ語初級	2						
	中国語基礎1	2						
	中国語基礎2	2						
	⑨言語コミュニケーション学							
	英会話初級1	2						
	英会話初級2	2						
	英会話中級1	2						
	英会話中級2	2						
	英会話上級1	2						
	英会話上級2	2						
	E L 1-Listening	1						
	E L 2-Reading	1						
	E L 3-Reading	1						
	ニュースのME1	2						
	ニュースのME2	2						
	ME医学英語1	2						
	ME医学英語2	2						
	Writing	2						
	C S A	1						
	オックスフォード・イングリッシュ・プログラム	2-3						
	Medical English Vocabulary	2						



	授 業 科 目	第 1 年次	第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次	第 5 年次	第 6 年次	
* (6) 選 択 科 目	Speech Shadowing	2						
	Presentation	2						
	⑩語学検定							
	独語検定 1	1						
	独語検定 2	1						
	英語検定 (TOEFLコース)	2						
	⑪テュートリアル							
	インターネットテュートリアル	1						
	学生テュータ養成講座 I	1						
	学生テュータ養成講座 II	1						
	⑫多職種連携							
	チーム医療演習	1						
	実用医療英語	1						
	計 (単位数)	116						
	計 (時限数)	594	764	635	682	1194	282	

※ 「CMES I」「CMES II」「CMES III」は英語成績不良者の必修補講科目である。

※ 選択科目は第 4 年次までに18単位以上取得。

\*計：授業時間数（1時限は70分）を示す。選択科目は単位数を示す。

## (2) 薬学部教養教育科目、外国語科目、保健体育科目単位表

【平成21年度から平成26年度までの入学者に適用】

授 業 科 目		必修単位		選択単位		備 考
		講義	実習実技	講義	実習実技	
教 養 教 育 科 目	法学	1				選択必修単位(4単位履修する)
	倫理哲学	1				
	心理学	1				
	保健環境論	1				
	現代日本史			1		
	国際関係論			1		
	自己表現論			1		
	民俗学			1		
	経済学			1		
	文章表現論			1		
	薬史学			1		
	スポーツ科学			1		
外 国 語 科 目	英語Ⅰ	2				
	英語Ⅱ	2				
	英語Ⅲ	2				
	英語Ⅳ			2		
	英語Ⅴ			2		
	ドイツ語Ⅰ			2		
	ドイツ語Ⅱ			2		
	フランス語Ⅰ			2		
	フランス語Ⅱ			2		
	中国語Ⅰ			2		
中国語Ⅱ			2			
育 保 科 健 目 体	体育実技Ⅰ				1	
	体育実技Ⅱ				0.5	
小 計		10		24	1.5	
合 計		10		25.5		

注 自由科目の選択単位は卒業所要単位に含まない。

薬学部基礎教育科目、専門教育科目単位表

授 業 科 目		必修単位			選択単位			備 考
		講義	演習	実習	講義	演習	実習	
基 礎 教 育 科 目	基礎物理	1						
	薬学応用物理学Ⅰ	1						
	薬学応用物理学Ⅱ	1						
	基礎化学	1						
	基礎生物	1						
	基礎数学Ⅰ	1						
	基礎数学Ⅱ	1						
	薬学への招待	1						
	コンピュータ入門		1					
	プレゼンテーション		1					
	ヒューマニズムⅠ		0.5					
	ヒューマニズムⅡ		0.5					
	ヒューマニズムⅢ		0.5					
	ヒューマニズムⅣ		0.5					
	早期体験学習			0.5				
	基礎生物実習Ⅰ			0.5				
	基礎生物実習Ⅱ			0.5				
初等物理学演習					1		自由科目	
初等化学演習					0.5		自由科目	
初等数学演習					0.5		自由科目	
専 門 教 育 科 目	物 理 系 薬 学 を 学 ぶ	構造化学Ⅰ	1					
		構造化学Ⅱ	1					
		物理化学Ⅰ	1					
		物理化学Ⅱ	1					
		分析化学Ⅰ	1					
		分析化学Ⅱ	1					
		分析化学Ⅲ	1					
		生体分子解析法Ⅰ	1					
		物理系実習Ⅰ			1.5			
		物理系実習Ⅱ			1			
	生体分子解析法Ⅱ				1			
	薬学応用物理学Ⅲ				1			
	化 学 系 薬 学 を 学 ぶ	薬化学Ⅰ	1					
薬化学Ⅱ		1						
有機化学Ⅰ		1						
有機化学Ⅱ		1						
有機化学Ⅲ		1						
有機構造解析		1						
医薬品合成化学Ⅰ		1						
医薬品合成化学Ⅱ		1						
生物有機化学		1						
医薬品化学		1						
生薬学	1							

授 業 科 目			必修単位			選択単位			備 考
			講義	演習	実習	講義	演習	実習	
専 門 教 育 科 目	化 学 系 薬 学 を 学 ぶ	天然物化学	1						
		漢方薬物学	1						
		化学系実習Ⅰ			1.5				
		化学系実習Ⅱ			1				
		総合化学				1			
		化粧品学				1			
	生 物 系 薬 学 を 学 ぶ	細胞生物学	1						
		人体生理学Ⅰ	1						
		人体生理学Ⅱ	1						
		微生物学	1						
		生化学Ⅰ	1						
		生化学Ⅱ	1						
		生化学Ⅲ	1						
		生化学Ⅳ	1						
		分子生物学Ⅰ	1						
		分子生物学Ⅱ	1						
		免疫Ⅰ	1						
		免疫Ⅱ	1						
		病原微生物学	1						
		生命科学Ⅰ	1						
	微生物実習			1					
	生物系実習Ⅰ			1					
	生物系実習Ⅱ			1					
	生命科学Ⅱ				1				
	健 康 と 環 境	健康Ⅰ	1						
		健康Ⅱ	1						
		環境Ⅰ	1						
		環境Ⅱ	1						
		環境Ⅲ	1						
		衛生薬学実習			1				
		健康Ⅲ				1			
		環境Ⅳ				1			
	薬 と 疾 病	薬理学Ⅰ	1						
薬理学Ⅱ		1							
薬理学Ⅲ		1							
薬理学Ⅳ		1							
薬理学Ⅴ		1							
薬物動態学Ⅰ		1							
薬物動態学Ⅱ		1							
薬物動態学Ⅲ		1							
病態検査学Ⅰ		1							
病態生化学		1							
化学療法学		1							
ウイルス学		1							
腫瘍学		1							
疾患と薬物治療Ⅰ	1								

授 業 科 目			必修単位			選択単位			備 考
			講義	演習	実習	講義	演習	実習	
専 門 教 育 科 目	薬 と 疾 病	疾患と薬物治療Ⅱ	1						
		疾患と薬物治療Ⅲ	1						
		疾患と薬物治療Ⅳ	1						
		疾患と薬物治療Ⅴ	1						
		疾患と薬物治療Ⅵ	1						
		疾患と薬物治療Ⅶ	1						
		医療情報Ⅰ	1						
		医療情報Ⅱ	1						
		医薬品安全性学	1						
		薬理学実習			1.5				
		薬物動態学実習			1				
		病態検査学Ⅱ				1			
		薬理学Ⅵ				1			
		高齢者医療				1			
	疾患と薬物治療Ⅷ				1				
	医 薬 品 を つ く る	製剤学Ⅰ	1						
		製剤学Ⅱ	1						
		製剤学Ⅲ	1						
		医薬品開発Ⅰ	1						
構造活性相関		1							
治験		0.5							
医療統計		1							
製剤学実習				1					
医療統計演習			0.5						
分子生物学Ⅲ					1				
総合薬剤学				1					
専 門 教 育 科 目	薬 学 と 社 会	薬事関係法規Ⅰ	2						
		薬剤経済	1						
		薬局概論	0.5						
		放射薬品学				1			
		一般用医薬品				1			
		薬事関係法規Ⅱ				1			
		放射薬品学実習						0.5	
	薬 局 病 院 薬 剤 ・ 師	プレ実務実習Ⅰ			1.5				
		プレ実務実習Ⅱ			4.5				
		病院実習			20			病院実習・薬局実習 合計で20単位	
		薬局実習							
	問 題 解 決 能 力 の 醸 成	卒業研究			15				
		薬学演習Ⅰ		1					
薬学演習Ⅱ			2						
薬学総合演習Ⅰ			1						
薬学総合演習Ⅱ			2						
薬物治療演習			1						
処方せん解析Ⅰ		1							
処方せん解析Ⅱ		1							
薬学総合講義Ⅵ	1								

授 業 科 目		必修単位			選択単位			備 考	
		講義	演習	実習	講義	演習	実習		
専 門 教 育 科 目	薬 学 ア ド バ ン ス ト 教 育	薬学総合講義Ⅰ				1		選択必修科目 (2単位履修する)	
		薬学総合講義Ⅱ				1			
		薬学総合講義Ⅲ					1		
		薬学総合講義Ⅳ					1		
		薬学総合講義Ⅴ					1		
		臨床薬学総論Ⅰ					1		
		臨床薬学総論Ⅱ					1		
		臨床生理学					1		
		薬剤師のためのやさしい英会話					1		
		実用薬学英語					1		
		医用工学概論					1		
		植物療法学					1		
		臨床漢方治療学					1		
		看護学					1		
		臨床心理学					1		
		コミュニケーション							0.5
		臨床栄養学					0.5		
		人体解剖学					0.5		
		地域医療Ⅰ					0.5		
		地域医療Ⅱ					0.5		
		医薬品開発Ⅱ					0.5		
		医薬品開発Ⅲ					0.5		
		臨床医学総論Ⅰ					1		
		臨床医学総論Ⅱ					1		
		形態機能学総論					1		
		薬局管理学					1		
		環境学総論Ⅰ					1		
		環境学総論Ⅱ					1		
実用医療英語						1			
チーム医療演習						1			
症候学					0.5				
海外実務実習							2		
臨床検査実習							4.5	自由科目	
小 計		84	11.5	55	40.5	4.5	7		
合 計		150.5			52				

注 自由科目の選択単位は卒業所要単位に含まない。

※平成21年度から平成26年度までの入学者の卒業所要単位は、必修科目166.5単位を含めて、総計186単位とする。

薬学部教養教育科目、外国語科目、保健体育科目単位表

【平成27年度から平成28年度までの入学者に適用】

授 業 科 目		必修単位			選択単位			備 考
		講義	演習	実習	講義	演習	実習	
教 養 教 育	法学	1						
	倫理哲学	1						
	心理学	1						
	保健環境論	1						
	文章表現論	1						
	基礎物理学Ⅰ	1						
	基礎物理学Ⅱ	1						
	基礎物理学Ⅲ	1						
	基礎化学	1						
	基礎生物学	1						
	基礎数学Ⅰ	1						
	基礎数学Ⅱ	1						
	初等物理学演習		1					
	初等化学演習		0.5					
	コンピュータ入門		1					
	基礎生物学実習			0.5				
	初等数学演習					0.5		
	現代日本史				1			*1
	国際関係論				1			*1
	自己表現論				1			*1
民俗学				1			*1	
経済学				1			*1	
スポーツ科学				1			*1	
外 国 語	英語Ⅰa	2						
	英語Ⅰb	2						
	英語Ⅱa	2						
	英語Ⅱb	2						
	英会話				2			
	ドイツ語Ⅰa				2			
	ドイツ語Ⅰb				2			
	中国語Ⅰa				2			
	中国語Ⅰb				2			
	フランス語Ⅰa				2			
フランス語Ⅰb				2				
健 保 育 体	スポーツ実習Ⅰ						1	
	スポーツ実習Ⅱ						1	
	小 計	20	2.5	0.5	20	0.5	2	
	合 計	23			22.5			

\*1 選択必修単位（2単位履修する）

薬学専門教育科目単位表

授 業 科 目		必修単位			選択単位			備 考
		講義	演習	実習	講義	演習	実習	
医療人意識形成	薬学入門	1						
	薬史学	1						
	コミュニケーション プレゼンテーション	0.5	1					
	ヒューマニズムⅠ		0.5					
	ヒューマニズムⅡ		0.5					
	ヒューマニズムⅢ		0.5					
	ヒューマニズムⅣ		0.5					
	早期臨床体験			0.5				
薬学と社会	薬事関係法規・制度Ⅰ	1						
	薬事関係法規・制度Ⅱ	2						
	地域医療Ⅰ	1						
	地域医療Ⅱ	0.5						
	薬局管理学	1						
	薬事関係法規・制度Ⅲ				0.5			
薬学基礎 (物理)	分析化学Ⅰ	1						
	分析化学Ⅱ	1						
	分析化学Ⅲ	1						
	薬学機器分析学	0.5						
	構造化学	1						
	物理化学Ⅰ	1						
	物理化学Ⅱ	1						
	放射薬品学	1						
	分析化学実習			1				
	物理化学実習			1				
放射薬品学実習						0.5		
薬学基礎 (化学)	生薬学	1						
	天然物化学	1						
	漢方薬学	1						
	植物療法学	1						
	無機化学	1						
	有機化学Ⅰ	1						
	有機化学Ⅱ	1						
	有機化学Ⅲ	1						
	有機化学Ⅳ	1						
	有機構造解析学	1						
	生物有機化学	1						
	医薬品合成化学Ⅰ	1						
	医薬品合成化学Ⅱ	1						
	医薬品化学	1						
	有機化学実習Ⅰ			0.5				
	有機化学実習Ⅱ			1				
	生薬学実習			1				



授 業 科 目		必修単位			選択単位			備 考
		講義	演習	実習	講義	演習	実習	
薬学基礎 (生物)	生化学Ⅰ	1						
	生化学Ⅱ	1						
	生化学Ⅲ	1						
	細胞生物学	1						
	人体生理学Ⅰ	1						
	人体生理学Ⅱ	1						
	人体生理学Ⅲ	1						
	微生物学	1						
	病原微生物学	1						
	分子生物学Ⅰ	1						
	分子生物学Ⅱ	1						
	免疫学Ⅰ	1						
	免疫学Ⅱ	1						
	分子腫瘍学	0.5						
	微生物学実習			1				
	生化学実習			0.5				
	分子生物学・免疫学実習			0.5				
衛生薬学	環境Ⅰ	1						
	環境Ⅱ	1						
	健康Ⅰ	1						
	健康Ⅱ	1						
	健康Ⅲ	1						
	健康Ⅳ	1						
	衛生薬学実習			1				
医療薬学	薬理学Ⅰ	1						
	薬理学Ⅱ	1						
	薬理学Ⅲ	1						
	薬理学Ⅳ	1						
	薬理学Ⅴ	1						
	製剤学Ⅰ	1						
	製剤学Ⅱ	1						
	製剤学Ⅲ	1						
	薬物動態学Ⅰ	1						
	薬物動態学Ⅱ	1						
	薬物動態学Ⅲ	1						
	生物統計学	1						
	化学療法学	1						
	症候学	1						
	動態検査学	1						
	薬物治療学Ⅰ	1						
	薬物治療学Ⅱ	1						
	薬物治療学Ⅲ	1						
	薬物治療学Ⅳ	1						
	薬物治療学Ⅴ	1						

授 業 科 目		必修単位			選択単位			備 考
		講義	演習	実習	講義	演習	実習	
医療薬学	薬物治療学VI	1						
	薬物治療学VII	1						
	感染症学	1						
	臨床腫瘍学	0.5						
	臨床漢方治療学	1						
	医薬品安全性学	1						
	一般用医薬品学	1						
	先端医療薬学	1						
	医療情報 I	1						
	医療情報 II	1						
	医療情報 III	1						
	臨床薬学総論	1						
	薬物治療学演習		0.5					
	薬理学実習			1.5				
	製剤学実習			1				
	薬物動態学実習			1				
	病態検査学実習			0.5				
薬理学VI				1				
薬学臨床	1	1						
	プレ実務実習 I (調剤)			1				
	プレ実務実習 I (医薬品管理・患者対応)			0.5				
	プレ実務実習 II (実践薬学)			2.5				
	プレ実務実習 II (医療情報)			1				
プレ実務実習 II (総合演習)			1					
薬学総合	総合科学演習		1					
	薬学演習 I		1					
	薬学演習 II		2					
	薬学総合演習 I		2					
	薬学総合演習 II		4					
	病院実習			10				
	薬局実習			10				
	卒業研究 I			8				
	薬学総合講義 I				1		*2	
	薬学総合講義 II				1		*2	
	卒業研究 II a					4	*2	
卒業研究 II b					2	*2		
薬学アドバンス	高齢者医療 I	0.5						
	臨床医学総論 I	1						
	臨床医学総論 II	1						
	処方設計管理学	1						
	社会への招待 I	0.5						
	薬剤師のためのやさしい英会話				1			
	実用医療英語				1			
	生体分子解析学				1			
	医薬品開発 I				1			

授 業 科 目		必修単位			選択単位			備 考
		講義	演習	実習	講義	演習	実習	
薬学 アド バン スト	医薬銀開発Ⅱ				1			
	医用工学概論				1			
	看護学				1			
	形態機能学総論				1			
	臨床心理学				1			
	生命科学				1			
	人体解剖学				0.5			
	臨床栄養学				0.5			
	高齢者医療Ⅱ				0.5			
	環境学総論Ⅰ				0.5			
	環境学総論Ⅱ				0.5			
	化粧品学				0.5			
	レギュラトリーサイエンス				0.5			
	薬剤経済				0.5			
	先端応用薬学総論Ⅰ				0.5			
	先端応用薬学総論Ⅱ				0.5			
	先端応用薬学総論Ⅲ				0.5			
	先端応用薬学総論Ⅳ				0.5			
	先端応用薬学総論Ⅴ				0.5			
	先端応用薬学総論Ⅵ				0.5			
	生命科学特別講義				0.5			*3
	社会薬学特別講義				0.5			*3
	社会への招待Ⅱa				0.5			*4
	社会への招待Ⅱb				0.5			*4
	社会への招待Ⅱc				0.5			*4
	社会への招待Ⅱd				0.5			*4
実用薬学英語					1			
チーム医療演習					1			
海外実務実習						2		
小計		85.5	13.5	46	23.5	2	8.5	
合計		145			34			

\*2 選択必修単位（4単位履修する）

\*3 選択必修単位（0.5単位履修する）

\*4 選択必修単位（0.5単位履修する）

※平成27年度から平成28年度までの入学者の卒業所要単位は、必修科目168単位を含めて、総計186単位とする。

薬学部教養教育科目、外国語科目、保健体育科目単位表

【平成29年度から平成30年度までの入学者に適用】

授 業 科 目		必修単位			選択単位			備 考
		講義	演習	実習	講義	演習	実習	
教 養 教 育	法学	1						
	倫理哲学	1						
	心理学	1						
	保健環境論	1						
	文章表現論	1						
	基礎物理学Ⅰ	1						
	基礎物理学Ⅱ	1						
	基礎物理学Ⅲ	1						
	基礎化学	1						
	基礎生物学	1						
	基礎数学Ⅰ	1						
	基礎数学Ⅱ	1						
	初等物理学演習		1					
	初等化学演習		0.5					
	コンピュータ入門		1					
	基礎生物学実習			0.5				
	初等数学演習					0.5		
	現代日本史				1			*1
	国際関係論				1			*1
	自己表現論				1			*1
民俗学				1			*1	
経済学				1			*1	
スポーツ科学				1			*1	
外 国 語	英語Ⅰa	2						
	英語Ⅰb	2						
	英語Ⅱa	2						
	英語Ⅱb	2						
	英会話				2			
	ドイツ語Ⅰa				2			
	ドイツ語Ⅰb				2			
	中国語Ⅰa				2			
	中国語Ⅰb				2			
	フランス語Ⅰa				2			
フランス語Ⅰb				2				
健 保 育 体	スポーツ実習Ⅰ						1	
	スポーツ実習Ⅱ						1	
小 計		20	2.5	0.5	20	0.5	2	
合 計		23			22.5			

\*1 選択必修単位（2単位履修する）

薬学専門教育科目単位表

授 業 科 目		必修単位			選択単位			備 考
		講義	演習	実習	講義	演習	実習	
医療 人 意 識 形 成	薬学入門	1						
	薬史学	1						
	コミュニケーション	0.5						
	プレゼンテーション		1					
	ヒューマニズムⅠ		0.5					
	ヒューマニズムⅡ		0.5					
	ヒューマニズムⅢ		0.5					
	ヒューマニズムⅣ		0.5					
	早期臨床体験			0.5				
人間と生命				1				
薬学 と 社 会	薬事関係法規・制度Ⅰ	1						
	薬事関係法規・制度Ⅱ	2						
	地域医療Ⅰ	1						
	地域医療Ⅱ	0.5						
	薬局管理学	1						
	薬事関係法規・制度Ⅲ				0.5			
薬学 基 礎 ( 物 理 )	分析化学Ⅰ	1						
	分析化学Ⅱ	1						
	分析化学Ⅲ	1						
	薬学機器分析学	0.5						
	構造化学	1						
	物理化学Ⅰ	1						
	物理化学Ⅱ	1						
	放射薬品学	1						
	分析化学実習			1				
	物理化学実習			1				
放射薬品学実習						0.5		
薬学 基 礎 ( 化 学 )	生薬学	1						
	天然物化学	1						
	漢方薬学	1						
	植物療法学	1						
	無機化学	1						
	有機化学Ⅰ	1						
	有機化学Ⅱ	1						
	有機化学Ⅲ	1						
	有機化学Ⅳ	1						
	有機構造解析学	1						
	生物有機化学	1						
	医薬品合成化学Ⅰ	1						
	医薬品合成化学Ⅱ	1						
	医薬品化学	1						
	有機化学実習Ⅰ			0.5				
	有機化学実習Ⅱ			1				
	生薬学実習			1				

授 業 科 目		必修単位			選択単位			備 考
		講義	演習	実習	講義	演習	実習	
薬学基礎 (生物)	生化学Ⅰ	1						
	生化学Ⅱ	1						
	生化学Ⅲ	1						
	細胞生物学	1						
	人体生理学Ⅰ	1						
	人体生理学Ⅱ	1						
	人体生理学Ⅲ	1						
	微生物学	1						
	病原微生物学	1						
	分子生物学Ⅰ	1						
	分子生物学Ⅱ	1						
	免疫学Ⅰ	1						
	免疫学Ⅱ	1						
	分子腫瘍学	0.5						
	微生物学実習			1				
	生化学実習			0.5				
	分子生物学・免疫学実習			0.5				
衛生薬学	環境Ⅰ	1						
	環境Ⅱ	1						
	健康Ⅰ	1						
	健康Ⅱ	1						
	健康Ⅲ	1						
	健康Ⅳ	1						
	衛生薬学実習			1				
医療薬学	薬理学Ⅰ	1						
	薬理学Ⅱ	1						
	薬理学Ⅲ	1						
	薬理学Ⅳ	1						
	薬理学Ⅴ	1						
	製剤学Ⅰ	1						
	製剤学Ⅱ	1						
	製剤学Ⅲ	1						
	薬物動態学Ⅰ	1						
	薬物動態学Ⅱ	1						
	薬物動態学Ⅲ	1						
	生物統計学	1						
	化学療法学	1						
	症候学	1						
	動態検査学	1						
	薬物治療学Ⅰ	1						
	薬物治療学Ⅱ	1						
	薬物治療学Ⅲ	1						
	薬物治療学Ⅳ	1						
	薬物治療学Ⅴ	1						

授 業 科 目		必修単位			選択単位			備 考
		講義	演習	実習	講義	演習	実習	
医療薬学	薬物治療学Ⅵ	1						
	薬物治療学Ⅶ	1						
	感染症学	1						
	臨床腫瘍学	0.5						
	臨床漢方治療学	1						
	医薬品安全性学	1						
	一般用医薬品学	1						
	先端医療薬学	1						
	医療情報Ⅰ	1						
	医療情報Ⅱ	1						
	医療情報Ⅲ	1						
	臨床薬学総論	1						
	薬物治療学演習		0.5					
	薬理学実習			1.5				
	製剤学実習			1				
	薬物動態学実習			1				
	病態検査学実習			0.5				
薬理学Ⅵ				1				
薬学臨床	実践薬物治療学	1						
	プレ実務実習Ⅰ(調剤)			1				
	プレ実務実習Ⅰ (医薬品管理・患者対応)			0.5				
	プレ実務実習Ⅱ(実践薬学)			2.5				
	プレ実務実習Ⅱ(医療情報)			1				
プレ実務実習Ⅱ(総合演習)			1					
薬学総合	総合科学演習		1					
	薬学演習Ⅰ		1					
	薬学演習Ⅱ		2					
	薬学総合演習Ⅰ		2					
	薬学総合演習Ⅱ		4					
	病院実習			10				
	薬局実習			10				
	卒業研究Ⅰ			8				
	薬学総合講義Ⅰ				1			*2
	薬学総合講義Ⅱ				1			*2
	卒業研究Ⅱa						4	*2
卒業研究Ⅱb						2	*2	
薬学アドバンス	高齢者医療Ⅰ	0.5						
	臨床医学総論Ⅰ	1						
	臨床医学総論Ⅱ	1						
	処方設計管理学	1						
	社会への招待Ⅰ	0.5						
	薬剤師のためのやさしい英会話				1			
	実用医療英語				1			
	生体分子解析学				1			
	医薬品開発Ⅰ				1			
	医薬品開発Ⅱ				1			

授 業 科 目		必修単位			選択単位			備 考
		講義	演習	実習	講義	演習	実習	
薬学アドバンスト	医用工学概論				1			
	看護学				1			
	形態機能学総論				1			
	臨床心理学				1			
	生命科学				1			
	人体解剖学				0.5			
	臨床栄養学				0.5			
	高齢者医療Ⅱ				0.5			
	環境学総論Ⅰ				0.5			
	環境学総論Ⅱ				0.5			
	化粧品学				0.5			
	レギュラトリーサイエンス				0.5			
	薬剤経済				0.5			
	先端応用薬学総論Ⅰ				0.5			
	先端応用薬学総論Ⅱ				0.5			
	先端応用薬学総論Ⅲ				0.5			
	先端応用薬学総論Ⅳ				0.5			
	先端応用薬学総論Ⅴ				0.5			
	先端応用薬学総論Ⅵ				0.5			
	生命科学特別講義				0.5			*3
	社会薬学特別講義				0.5			*3
	社会への招待Ⅱa				0.5			*4
	社会への招待Ⅱb				0.5			*4
社会への招待Ⅱc				0.5			*4	
社会への招待Ⅱd				0.5			*4	
実用薬学英語					1			
チーム医療演習					1			
海外実務実習						2		
小計		85.5	13.5	46	24.5	2	8.5	
合計		145			35			

\*2 選択必修単位（4単位履修する）

\*3 選択必修単位（0.5単位履修する）

\*4 選択必修単位（0.5単位履修する）

※平成29年度から平成30年度までの入学者の卒業所要単位は、必修科目168単位を含めて、総計186単位とする。



薬学部教養教育科目、外国語科目、保健体育科目単位表

【平成31年度から令和3年度までの入学者に適用】

授 業 科 目		必修単位			選択単位			備 考
		講義	演習	実習	講義	演習	実習	
教 養 教 育	法学	1						
	倫理哲学	1						
	心理学	1						
	保健環境論	1						
	文章表現論	1						
	基礎物理学Ⅰ	1						
	基礎物理学Ⅱ	1						
	基礎物理学Ⅲ	1						
	基礎化学	1						
	基礎生物学	1						
	基礎数学Ⅰ	1						
	基礎数学Ⅱ	1						
	初等物理学演習		1					
	初等化学演習		0.5					
	コンピュータ入門		1					
	基礎生物学実習			0.5				
	初等数学演習					0.5		
	現代日本史				1			*1
	国際関係論				1			*1
自己表現論				1			*1	
民俗学				1			*1	
経済学				1			*1	
スポーツ科学				1			*1	
外 国 語	英語Ⅰa	2						
	英語Ⅰb	2						
	英語Ⅱa	2						
	英語Ⅱb	2						
	英会話				2			
	ドイツ語Ⅰa				2			
	ドイツ語Ⅰb				2			
	中国語Ⅰa				2			
	中国語Ⅰb				2			
	フランス語Ⅰa				2			
フランス語Ⅰb				2				
健 保 育 体	スポーツ実習Ⅰ						1	
	スポーツ実習Ⅱ						1	
小 計		20	2.5	0.5	20	0.5	2	
合 計		23			22.5			

\*1 選択必修単位（2単位履修する）

薬学専門教育科目単位表

授 業 科 目		必修単位			選択単位			備 考
		講義	演習	実習	講義	演習	実習	
医療 人意 識形 成	薬学入門	1						
	薬史学	1						
	コミュニケーション プレゼンテーション	0.5						
	ヒューマニズムⅠ		1					
	ヒューマニズムⅡ		0.5					
	ヒューマニズムⅢ		0.5					
	ヒューマニズムⅣ		0.5					
	早期臨床体験			0.5				
	人間と生命				1			
薬学 と社 会	薬事関係法規・制度Ⅰ	0.5						
	薬事関係法規・制度Ⅱ	2						
	地域医療	0.5						
	薬局管理学	1						
	社会薬学総合演習					0.5		
薬学 基礎 (物 理)	分析化学Ⅰ	1						
	分析化学Ⅱ	1						
	分析化学Ⅲ	1						
	薬学機器分析学	0.5						
	構造化学	1						
	物理化学Ⅰ	1						
	物理化学Ⅱ	1						
	放射薬品学	1						
	分析化学実習			1				
	物理化学実習			1				
	放射薬品学実習						0.5	
薬学 基礎 (化 学)	生薬学	1						
	天然物化学	1						
	漢方薬学	1						
	植物療法学	1						
	無機化学	1						
	有機化学Ⅰ	1						
	有機化学Ⅱ	1						
	有機化学Ⅲ	1						
	有機化学Ⅳ	1						
	有機構造解析学	1						
	生物有機化学	1						
	医薬品合成化学Ⅰ	1						
	医薬品合成化学Ⅱ	1						
	医薬品化学	1						
	有機化学実習Ⅰ			0.5				
	有機化学実習Ⅱ			1				
	生薬学実習			1				

授 業 科 目		必修単位			選択単位			備 考
		講義	演習	実習	講義	演習	実習	
薬学基礎 (生物)	生化学Ⅰ	1						
	生化学Ⅱ	1						
	生化学Ⅲ	1						
	細胞生物学	1						
	人体生理学Ⅰ	1						
	人体生理学Ⅱ	1						
	人体生理学Ⅲ	1						
	微生物学	1						
	病原微生物学	1						
	分子生物学Ⅰ	1						
	分子生物学Ⅱ	1						
	免疫学Ⅰ	1						
	免疫学Ⅱ	1						
	分子腫瘍学	0.5						
	微生物学実習			1				
	生化学実習			0.5				
分子生物学・免疫学実習			0.5					
衛生薬学	環境Ⅰ	2						
	環境Ⅱ	1						
	健康Ⅰ	1						
	健康Ⅱ	1						
	健康Ⅲ	1						
	健康Ⅳ	1						
	臨床衛生学	1						
	衛生薬学実習			1				
医療薬学	薬理学Ⅰ	1						
	薬理学Ⅱ	1						
	薬理学Ⅲ	1						
	薬理学Ⅳ	1						
	薬理学Ⅴ	1						
	製剤学Ⅰ	1						
	製剤学Ⅱ	1						
	製剤学Ⅲ	1						
	薬物動態学Ⅰ	1						
	薬物動態学Ⅱ	1						
	薬物動態学Ⅲ	1						
	生物統計学	1						
	化学療法学	1						
	症候学	1						
	病態検査学	1						
	薬物治療学Ⅰ	1						
	薬物治療学Ⅱ	1						
	薬物治療学Ⅲ	1						
	薬物治療学Ⅳ	1						
	薬物治療学Ⅴ	1						

授 業 科 目		必修単位			選択単位			備 考
		講義	演習	実習	講義	演習	実習	
医療薬学	薬物治療学Ⅵ	1						
	薬物治療学Ⅶ	1						
	感染症学	1						
	臨床腫瘍学	0.5						
	臨床漢方治療学	1						
	医薬品安全性学	0.5						
	一般用医薬品学	1						
	先端医療薬学	1						
	医療情報Ⅰ	1						
	医療情報Ⅱ	1						
	医療情報Ⅲ	1						
	臨床薬学総論	1						
	薬物治療学演習		0.5					
	薬理学実習			1.5				
	製剤学実習			1				
	薬物動態学実習			1				
	病態検査学実習			0.5				
薬理学Ⅵ				1				
薬学臨床	実践薬物治療学	1						
	プレ実務実習Ⅰ(調剤)			1				
	プレ実務実習Ⅰ (医薬品管理・患者対応)			0.5				
	プレ実務実習Ⅱ(実践薬学)			2.5				
	プレ実務実習Ⅱ(医療情報)			1				
	プレ実務実習Ⅱ(総合演習)			1				
薬学総合	総合科学演習		1					
	薬学演習Ⅰ		1					
	薬学演習Ⅱ		2					
	薬学総合演習Ⅰ		2					
	薬学総合演習Ⅱ		4					
	病院実習			10				
	薬局実習			10				
	卒業研究Ⅰ			8				
	薬学総合講義Ⅰ				1			*2
	薬学総合講義Ⅱ				1			*2
	卒業研究Ⅱa						4	*2
	卒業研究Ⅱb						2	*2
薬学アドバンス	高齢者医療	0.5						
	臨床医学総論Ⅰ	1						
	臨床医学総論Ⅱ	1						
	処方設計管理学	1						
	社会への招待Ⅰ	0.5						
	薬剤師のためのやさしい英会話				1			
	実用医療英語				1			
	生体分子解析学				1			

授 業 科 目		必修単位			選択単位			備 考
		講義	演習	実習	講義	演習	実習	
薬学アドバンス	医薬品開発Ⅰ				1			
	医薬品開発Ⅱ				1			
	医用工学概論				1			
	看護学				1			
	形態機能学総論				1			
	臨床心理学				1			
	生命科学				1			
	人体解剖学				0.5			
	臨床栄養学				0.5			
	環境学総論Ⅰ				0.5			
	環境学総論Ⅱ				0.5			
	化粧品学				0.5			
	レギュラトリーサイエンス				0.5			
	薬剤経済				0.5			
	先端応用薬学総論Ⅰ				0.5			
	先端応用薬学総論Ⅱ				0.5			
	先端応用薬学総論Ⅲ				0.5			
	先端応用薬学総論Ⅳ				0.5			
	先端応用薬学総論Ⅴ				0.5			
	先端応用薬学総論Ⅵ				0.5			
	生命科学特別講義				0.5			*3
	社会薬学特別講義				0.5			*3
	社会への招待Ⅱa				0.5			*4
	社会への招待Ⅱb				0.5			*4
	社会への招待Ⅱc				0.5			*4
	社会への招待Ⅱd				0.5			*4
実用薬学英語					1			
チーム医療演習					1			
海外実務実習						2		
小計		85.5	13.5	46	23.5	2.5	8.5	
合計		145			34.5			

\*2 選択必修単位 (4単位履修する)

\*3 選択必修単位 (0.5単位履修する)

\*4 選択必修単位 (0.5単位履修する)

※平成31年度から令和3年度までの入学者の卒業所要単位は、必修科目168単位を含めて、総計186単位とする。

薬学部教養教育科目、外国語科目、保健体育科目単位表

【令和4年度の入学者に適用】

授 業 科 目		必修単位			選択単位			備 考
		講義	演習	実習	講義	演習	実習	
教 養 教 育	法学	1						
	倫理哲学	1						
	心理学	1						
	保健環境論	1						
	文章表現論	1						
	基礎物理学Ⅰ	1						
	基礎物理学Ⅱ	1						
	基礎物理学Ⅲ	1						
	基礎化学	1						
	基礎生物学	1						
	基礎数学Ⅰ	1						
	基礎数学Ⅱ	1						
	初等物理学演習		1					
	初等化学演習		0.5					
	コンピュータ入門		1					
	基礎生物学実習			0.5				
	初等数学演習					0.5		
	データサイエンス実践入門					2		*1
	現代日本史				1			*2
	国際関係論				1			*2
自己表現論				1			*2	
民俗学				1			*2	
経済学				1			*2	
スポーツ科学				1			*2	
外 国 語	英語Ⅰa	2						
	英語Ⅰb	2						
	英語Ⅱa	2						
	英語Ⅱb	2						
	英会話				2			
	ドイツ語Ⅰa				2			
	ドイツ語Ⅰb				2			
	中国語Ⅰa				2			
	中国語Ⅰb				2			
	フランス語Ⅰa				2			
フランス語Ⅰb				2				
健 保 育 体	スポーツ実習Ⅰ						1	
	スポーツ実習Ⅱ						1	
小 計		20	2.5	0.5	20	2.5	2	
合 計		23			24.5			

\*1 講義、演習を併用する

\*2 選択必修単位（2単位履修する）

薬学専門教育科目単位表

授 業 科 目		必修単位			選択単位			備 考
		講義	演習	実習	講義	演習	実習	
医療 人意識 形成	薬学入門	1						
	薬史学	1						
	コミュニケーション プレゼンテーション	0.5						
	ヒューマニズムⅠ		1					
	ヒューマニズムⅡ		0.5					
	ヒューマニズムⅢ		0.5					
	ヒューマニズムⅣ		0.5					
	早期臨床体験			0.5				
	人間と生命				1			
薬学 と社会	薬事関係法規・制度Ⅰ	0.5						
	薬事関係法規・制度Ⅱ	2						
	地域医療	0.5						
	薬局管理学	1						
	社会薬学総合演習					0.5		
薬学 基礎 (物理)	分析化学Ⅰ	1						
	分析化学Ⅱ	1						
	分析化学Ⅲ	1						
	薬学機器分析学	0.5						
	構造化学	1						
	物理化学Ⅰ	1						
	物理化学Ⅱ	1						
	放射薬品学	1						
	分析化学実習			1				
	物理化学実習			1				
	放射薬品学実習						0.5	
薬学 基礎 (化学)	生薬学	1						
	天然物化学	1						
	漢方薬学	1						
	植物療法学	1						
	無機化学	1						
	有機化学Ⅰ	1						
	有機化学Ⅱ	1						
	有機化学Ⅲ	1						
	有機化学Ⅳ	1						
	有機構造解析学	1						
	生物有機化学	1						
	医薬品合成化学Ⅰ	1						
	医薬品合成化学Ⅱ	1						
	医薬品化学	1						
	有機化学実習Ⅰ			0.5				
	有機化学実習Ⅱ			1				
	生薬学実習			1				

授 業 科 目		必修単位			選択単位			備 考
		講義	演習	実習	講義	演習	実習	
薬学基礎 (生物)	生化学Ⅰ	1						
	生化学Ⅱ	1						
	生化学Ⅲ	1						
	細胞生物学	1						
	人体生理学Ⅰ	1						
	人体生理学Ⅱ	1						
	人体生理学Ⅲ	1						
	微生物学	1						
	病原微生物学	1						
	分子生物学Ⅰ	1						
	分子生物学Ⅱ	1						
	免疫学Ⅰ	1						
	免疫学Ⅱ	1						
	分子腫瘍学	0.5						
	微生物学実習			1				
	生化学実習			0.5				
分子生物学・免疫学実習			0.5					
衛生薬学	環境Ⅰ	2						
	環境Ⅱ	1						
	健康Ⅰ	1						
	健康Ⅱ	1						
	健康Ⅲ	1						
	健康Ⅳ	1						
	臨床衛生学	1						
	衛生薬学実習			1				
医療薬学	薬理学Ⅰ	1						
	薬理学Ⅱ	1						
	薬理学Ⅲ	1						
	薬理学Ⅳ	1						
	薬理学Ⅴ	1						
	製剤学Ⅰ	1						
	製剤学Ⅱ	1						
	製剤学Ⅲ	1						
	薬物動態学Ⅰ	1						
	薬物動態学Ⅱ	1						
	薬物動態学Ⅲ	1						
	生物統計学	1						
	化学療法学	1						
	症候学	1						
	病態検査学	1						
	薬物治療学Ⅰ	1						
	薬物治療学Ⅱ	1						
	薬物治療学Ⅲ	1						
	薬物治療学Ⅳ	1						
	薬物治療学Ⅴ	1						



授 業 科 目		必修単位			選択単位			備 考
		講義	演習	実習	講義	演習	実習	
医療薬学	薬物治療学Ⅵ	1						
	薬物治療学Ⅶ	1						
	感染症学	1						
	臨床腫瘍学	0.5						
	臨床漢方治療学	1						
	医薬品安全性学	0.5						
	一般用医薬品学	1						
	先端医療薬学	1						
	医療情報Ⅰ	1						
	医療情報Ⅱ	1						
	医療情報Ⅲ	1						
	臨床薬学総論	1						
	薬物治療学演習		0.5					
	薬理学実習			1.5				
	製剤学実習			1				
	薬物動態学実習			1				
	病態検査学実習			0.5				
薬理学Ⅵ				1				
薬学臨床	実践薬物治療学	1						
	プレ実務実習Ⅰ(調剤)			1				
	プレ実務実習Ⅰ (医薬品管理・患者対応)			0.5				
	プレ実務実習Ⅱ(実践薬学)			2.5				
	プレ実務実習Ⅱ(医療情報)			1				
	プレ実務実習Ⅱ(総合演習)			1				
薬学総合	総合科学演習		1					
	薬学演習Ⅰ		1					
	薬学演習Ⅱ		2					
	薬学総合演習Ⅰ		2					
	薬学総合演習Ⅱ		4					
	病院実習			10				
	薬局実習			10				
	卒業研究Ⅰ			8				
	薬学総合講義Ⅰ				1			*3
	薬学総合講義Ⅱ				1			*3
	卒業研究Ⅱa						4	*3
	卒業研究Ⅱb						2	*3
薬学アドバンス	高齢者医療	0.5						
	臨床医学総論Ⅰ	1						
	臨床医学総論Ⅱ	1						
	処方設計管理学	1						
	社会への招待Ⅰ	0.5						
	薬剤師のためのやさしい英会話				1			
	実用医療英語				1			
	生体分子解析学				1			

授 業 科 目		必修単位			選択単位			備 考
		講義	演習	実習	講義	演習	実習	
薬学アドバンス	医薬品開発Ⅰ				1			
	医薬品開発Ⅱ				1			
	医用工学概論				1			
	看護学				1			
	形態機能学総論				1			
	臨床心理学				1			
	生命科学				1			
	人体解剖学				0.5			
	臨床栄養学				0.5			
	環境学総論Ⅰ				0.5			
	環境学総論Ⅱ				0.5			
	化粧品学				0.5			
	レギュラトリーサイエンス				0.5			
	薬剤経済				0.5			
	先端応用薬学総論Ⅰ				0.5			
	先端応用薬学総論Ⅱ				0.5			
	先端応用薬学総論Ⅲ				0.5			
	先端応用薬学総論Ⅳ				0.5			
	先端応用薬学総論Ⅴ				0.5			
	先端応用薬学総論Ⅵ				0.5			
	生命科学特別講義				0.5			*4
	社会薬学特別講義				0.5			*4
	社会への招待Ⅱa				0.5			*5
	社会への招待Ⅱb				0.5			*5
	社会への招待Ⅱc				0.5			*5
	社会への招待Ⅱd				0.5			*5
実用薬学英語					1			
チーム医療演習					1			
海外実務実習						2		
小計		85.5	13.5	46	23.5	2.5	8.5	
合計		145			34.5			

\*3 選択必修単位 (4単位履修する)

\*4 選択必修単位 (0.5単位履修する)

\*5 選択必修単位 (0.5単位履修する)

※令和4年度以降の入学者の卒業所要単位は、必修科目168単位を含めて、総計186単位とする。

薬学部薬学科開設科目単位表

【令和5年度以降の入学者に適用】

授業科目 の 区分	授業科目	単位数			備 考
		必修	選択	自由	
教養教育	法学	1			
	倫理哲学	1			
	心理学	1			
	保健環境論	1			
	文章表現論	1			
	基礎物理学Ⅰ	1			
	基礎物理学Ⅱ	1			
	基礎物理学Ⅲ	1			
	基礎化学	1			
	基礎生物学	1			
	基礎数学Ⅰ	1			
	基礎数学Ⅱ	1			
	初等物理学演習	1			
	初等化学演習	0.5			
	コンピュータ入門	1			
	基礎生物学実習	0.5			
	初等数学演習		0.5		
	データサイエンス実践入門			2	
	現代日本史			1	*1
	国際関係論			1	*1
自己表現論			1	*1	
民俗学			1	*1	
経済学			1	*1	
スポーツ科学			1	*1	
外国語	英語Ⅰa	2			
	英語Ⅰb	2			
	英語Ⅱa	2			
	英語Ⅱb	2			
	英会話		2		
	ドイツ語Ⅰa		2		
	ドイツ語Ⅰb		2		
	中国語Ⅰa		2		
	中国語Ⅰb		2		
	フランス語Ⅰa		2		
	フランス語Ⅰb		2		
体 育 健	スポーツ実習Ⅰ		1		
	スポーツ実習Ⅱ		1		

授業科目 の 区分	授業科目	単位数			備 考
		必修	選択	自由	
医療人意識形成	薬学入門	1			
	薬史学	1			
	コミュニケーション	0.5			
	プレゼンテーション	1			
	ヒューマニズムⅠ	0.5			
	ヒューマニズムⅡ	0.5			
	ヒューマニズムⅢ	0.5			
	ヒューマニズムⅣ	0.5			
	早期臨床体験	0.5			
人間と生命		1			
薬学と社会	薬事関係法規・制度Ⅰ	0.5			
	薬事関係法規・制度Ⅱ	2			
	地域医療	0.5			
	薬局管理学	1			
	社会薬学総合演習		0.5		
薬学基礎 (物理)	分析化学Ⅰ	1			
	分析化学Ⅱ	1			
	分析化学Ⅲ	1			
	薬学機器分析学	0.5			
	構造化学	1			
	物理化学Ⅰ	1			
	物理化学Ⅱ	1			
	放射薬品学	1			
	分析化学実習	1			
	物理化学実習	1			
	放射薬品学実習		0.5		
薬学基礎 (化学)	生薬学	1			
	天然物化学	1			
	漢方薬学	1			
	植物療法学	1			
	無機化学	1			
	有機化学Ⅰ	1			
	有機化学Ⅱ	1			
	有機化学Ⅲ	1			
	有機化学Ⅳ	1			
	有機構造解析学	1			
	生物有機化学	1			
	医薬品合成化学Ⅰ	1			
	医薬品合成化学Ⅱ	1			
	医薬品化学	1			
	有機化学実習Ⅰ	0.5			
	有機化学実習Ⅱ	1			
生薬学実習	1				

授業科目 の 区分	授業科目	単位数			備 考
		必修	選択	自由	
薬学基礎 (生物)	生化学Ⅰ	1			
	生化学Ⅱ	1			
	生化学Ⅲ	1			
	細胞生物学	1			
	人体生理学Ⅰ	1			
	人体生理学Ⅱ	1			
	人体生理学Ⅲ	1			
	微生物学	1			
	病原微生物学	1			
	分子生物学Ⅰ	1			
	分子生物学Ⅱ	1			
	免疫学Ⅰ	1			
	免疫学Ⅱ	1			
	分子腫瘍学	0.5			
	微生物学実習	1			
	生化学実習	0.5			
	分子生物学・免疫学実習	0.5			
衛生薬学	環境Ⅰ	2			
	環境Ⅱ	1			
	健康Ⅰ	1			
	健康Ⅱ	1			
	健康Ⅲ	1			
	健康Ⅳ	1			
	臨床衛生学	1			
	衛生薬学実習	1			
医療薬学	薬理学Ⅰ	1			
	薬理学Ⅱ	1			
	薬理学Ⅲ	1			
	薬理学Ⅳ	1			
	薬理学Ⅴ	1			
	製剤学Ⅰ	1			
	製剤学Ⅱ	1			
	製剤学Ⅲ	1			
	薬物動態学Ⅰ	1			
	薬物動態学Ⅱ	1			
	薬物動態学Ⅲ	1			
	生物統計学	1			
	化学療法学	1			
	症候学	1			
	病態検査学	1			
	薬物治療学Ⅰ	1			
	薬物治療学Ⅱ	1			
	薬物治療学Ⅲ	1			
	薬物治療学Ⅳ	1			
	薬物治療学Ⅴ	1			

授業科目 の 区分	授業科目	単位数			備 考
		必修	選択	自由	
医療薬学	薬物治療学Ⅵ	1			
	薬物治療学Ⅶ	1			
	感染症学	1			
	臨床腫瘍学	0.5			
	臨床漢方治療学	1			
	医薬品安全性学	0.5			
	一般用医薬品学	1			
	先端医療薬学	1			
	医療情報Ⅰ	1			
	医療情報Ⅱ	1			
	医療情報Ⅲ	1			
	臨床薬学総論	1			
	薬物治療学演習	0.5			
	薬理学実習	1.5			
	製剤学実習	1			
	薬物動態学実習	1			
	病態検査学実習	0.5			
薬理学Ⅵ			1		
薬学臨床	実践薬物治療学	1			
	ブレ実務実習Ⅰ(調剤)	1			
	ブレ実務実習Ⅰ(医薬品管理・患者対応)	0.5			
	ブレ実務実習Ⅱ(実践薬学)	2.5			
	ブレ実務実習Ⅱ(医療情報)	1			
	ブレ実務実習Ⅱ(総合演習)	1			
薬学総合	総合科学演習	1			
	薬学演習Ⅰ	1			
	薬学演習Ⅱ	2			
	薬学総合演習Ⅰ	2			
	薬学総合演習Ⅱ	4			
	病院実習	10			
	薬局実習	10			
	卒業研究Ⅰ	8			
	薬学総合講義Ⅰ		1		*2
	薬学総合講義Ⅱ		1		*2
	卒業研究Ⅱa		4		*2
	卒業研究Ⅱb		2		*2
薬学アドバンス	高齢者医療	0.5			
	臨床医学総論Ⅰ	1			
	臨床医学総論Ⅱ	1			
	処方設計管理学	1			
	社会への招待Ⅰ	0.5			
	薬剤師のためのやさしい英会話		1		
	実用医療英語		1		
	生体分子解析学		1		

授業科目 の 区分	授業科目	単位数			備 考
		必修	選択	自由	
	医薬品開発Ⅰ		1		
	医薬品開発Ⅱ		1		
	医用工学概論		1		
	看護学		1		
	形態機能学総論		1		
	臨床心理学		1		
	生命科学		1		
	人体解剖学		0.5		
	臨床栄養学		0.5		
	環境学総論Ⅰ		0.5		
	環境学総論Ⅱ		0.5		
	化粧品学		0.5		
	レギュラトリーサイエンス		0.5		
	薬剤経済		0.5		
	先端応用薬学総論Ⅰ		0.5		
	先端応用薬学総論Ⅱ		0.5		
	先端応用薬学総論Ⅲ		0.5		
	先端応用薬学総論Ⅳ		0.5		
	先端応用薬学総論Ⅴ		0.5		
	先端応用薬学総論Ⅵ		0.5		
	生命科学特別講義		0.5	*3	
	社会薬学特別講義		0.5	*3	
	社会への招待Ⅱa		0.5	*4	
	社会への招待Ⅱb		0.5	*4	
	社会への招待Ⅱc		0.5	*4	
	社会への招待Ⅱd		0.5	*4	
	実用薬学英語		1		
	チーム医療演習		1		
	海外実務実習		2		
	合計	168	59	0	卒業所要単位数は、必修168単位、選択18単位以上、計186単位以上とする。

\*1 選択必修単位（2単位履修する）

\*2 選択必修単位（4単位履修する）

\*3 選択必修単位（0.5単位履修する）

\*4 選択必修単位（0.5単位履修する）

(3-1) 理学部生物学科開設科目単位表

授業科目の区分		授業科目	単位数			備考
			必修	選択	自由	
総合教育科目	教養教育科目	人文社会科学入門		2		
		哲学		2		
		現代思想		2		
		倫理学		2		
		文学		2		
		日本文化論		2		
		芸術学		2		
		日本国憲法		2		
		法学		2		
		情報法		2		
		経済学A		2		
		経済学B		2		
		会計学		2		
		社会学		2		
		ダイバーシティ論		2		
		文化人類学		2		
		自然人類学		2		
		歴史学		2		
		科学史		2		
		心理学A		2		
		心理学B		2		
	教育心理学		2			
	教育原理		2			
	言語表現系	College English A1	1			
		College English A2	1			
		College English B1	1			
		College English B2	1			
		College English C1	1			
		College English C2	1			
		日本語文章表現A		1		
		日本語文章表現B		1		
		中国語A		1		
		中国語B		1		
		外国語セミナーA		1		
外国語セミナーB			1			
外国語セミナーC			1			
外国語セミナーD		1				
外国語セミナーE		1				
外国語セミナーF		1				
実用医療英語		1				



授業科目の区分		授業科目	単位数			備考
			必修	選択	自由	
総合教育科目	教養教育科目	スポーツ・健康科学系	スポーツ・健康科学理論		2	
			スポーツ・健康科学実技A 1		1	
			スポーツ・健康科学実技A 2		1	
			スポーツ・健康科学実技B 1		1	
			スポーツ・健康科学実技B 2		1	
			スポーツ・健康科学実技C 1		1	
			スポーツ・健康科学実技C 2		1	
			スポーツ・健康科学実技D 1		1	
			スポーツ・健康科学実技D 2		1	
			スポーツ・健康科学実技E 1		1	
			スポーツ・健康科学実技E 2		1	
			スポーツ・健康科学実技F 1		1	
			スポーツ・健康科学実技F 2		1	
			スポーツ・健康科学実技G 1		1	
			スポーツ・健康科学実技G 2		1	
			スポーツ・健康科学実技H 1		1	
			スポーツ・健康科学実技H 2		1	
			スポーツ・健康科学実技I 1		1	
			スポーツ・健康科学実技I 2		1	
			スポーツ・健康科学実技J 1		1	
			スポーツ・健康科学実技J 2		1	
			スポーツ・健康科学実技K 1		1	
			スポーツ・健康科学実技K 2		1	
			スポーツ・健康科学実技L		1	
			スポーツ・健康科学実技M		1	
			スポーツ・健康科学実技N		1	
			スポーツ・健康科学実技O		1	
			スポーツ・健康科学演習A		1	
			スポーツ・健康科学演習B		1	
			スポーツ・健康科学演習C		1	
			スポーツ・健康科学演習D		1	
			スポーツ・健康科学演習E		1	
			スポーツ・健康科学演習F		1	
スポーツ・健康科学演習G		1				
スポーツ・健康科学演習H		1				
スポーツ・健康科学演習I		1				
スポーツ・健康科学演習J		1				
スポーツ・健康科学演習K		1				
スポーツ・健康科学演習L		1				

授業科目の区分		授業科目	単位数			備考
			必修	選択	自由	
総合教育科目	教養教育科目	その他の教養教育科目	リベラルアーツ・セミナーA		2	
			リベラルアーツ・セミナーB		2	
			リベラルアーツ・セミナーC		2	
			リベラルアーツ・セミナーD		2	
			リベラルアーツ・セミナーE		2	
			リベラルアーツ・セミナーF		2	
			リベラルアーツ・セミナーG		2	
			リベラルアーツ・セミナーH		2	
			リベラルアーツ・フォーラムA		1	
			リベラルアーツ・フォーラムB		1	
			リベラルアーツ・フォーラムC		1	
			リベラルアーツ・フォーラムD		1	
			インターンシップ		1	
			キャリアデザイン		1	
			海外体験プログラムA		1	
			海外体験プログラムB		1	
			海外体験プログラムC		1	
	海外体験プログラムD		1			
	教育制度論		2			
	教育社会学		2			
	人間と生命		1			
	基礎教育科目		数学A 1	2		
			数学A 2	2		
			数学B 1		2	
			数学B 2		2	
			確率と統計A		2	
			確率と統計B		2	
情報科学A 1				1		
情報科学A 2				1		
情報科学B 1				2		
情報科学B 2				2		
データサイエンス実践入門				2		
一般化学			2			
生命科学				2		
物理学概論				2		
一般物理学				2		
地球宇宙科学				2		
化学実験				1		
生命科学実験				1		
物理学実験				1		
地球宇宙科学実験				1		
初年次セミナー		2				
化学ベーシックA			1			
化学ベーシックB			1			
生物ベーシックA			1			
生物ベーシックB			1			
数学ベーシックA			1			
数学ベーシックB			1			

授業科目の区分		授業科目	単位数			備考
			必修	選択	自由	
総合教育科目	統合科目	医学概論		2		
		臨床病態学		2		
		統合科目 1		2		
		統合科目 2		2		
		統合科目 3		2		
		統合科目 4		2		
		統合科目 5		2		
		統合科目 6		2		
		統合科目 7		2		
		統合科目 8		2		
		統合科目 9		2		
		統合科目 1 0		2		
		統合科目 1 1		2		
		統合科目 1 2		2		
		統合科目 1 3		2		
		統合科目 1 4		2		
		統合科目 1 5		2		
		統合科目 1 6		2		
		統合科目 1 7		2		
		統合科目 1 8		2		
		統合科目 1 9		2		
統合科目 2 0		2				
専門教育科目	生物学序論	1				
	細胞生物学	2				
	遺伝学	2				
	基礎生物科学演習 I	1				
	生物基礎実験	1				
	物質生化学	2				
	基礎生理学	2				
	動物生態学	2				
	発生生物学	2				
	分子生物学	2				
	植物生理学 I	2				
	基礎生物科学演習 II	1				
	分子・細胞生物学実習	1				
	組織学	2				
	基礎免疫生物学	2				
	代謝生化学	2				
	系統分類学	1				
	植物生態学	2				
	生化学実習	1				
	卒業研究 I	1				
	多様性生物学		2			
	植物生理学 II		2			
	動物行動学		2			
	発生学実習		1			
野外生態学実習 I		1				

授業科目の区分	授業科目	単位数			備考
		必修	選択	自由	
専門教育科目	応用生化学		2		
	分子細胞生物学		2		
	分子遺伝学		1		
	分子発生生物学		2		
	植物系統学		1		
	進化生態学		2		
	解剖学実習		1		
	組織学実習		1		
	植物生理学実習		1		
	遺伝学実習		1		
	動物生理学		2		
	生物統計学		2		
	微生物学Ⅰ		1		
	微生物学Ⅱ		1		
	免疫生物学		2		
	幹細胞生物学		2		
	分子生理学		2		
	動物形態進化学		2		
	生物学特論Ⅰ		1		
	生命科学研究セミナー		1		
	微生物学実習		1		
	免疫生物学実習		1		
	生命工学実習		1		
	動物生理学実習		1		
	野外生態学実習Ⅱ		1		
	分子進化学		1		
	行動生理学		1		
	霊長類生態学		1		
	高山生態学		1		
	生物科学英語		1		
	生物学特論Ⅱ		1		
	生物科学実践実習		3		
	生物学特論Ⅲ		1		
	卒業研究Ⅱ		4		
生物学演習Ⅱ		1			
生物学特論Ⅳ		1			
卒業研究Ⅲ		4			
生物学演習Ⅲ		1			
生物学特論Ⅴ		1			
生物学特論Ⅵ		1			
学外講義		2			
学外実習		1			

授業科目の区分	授業科目	単位数			備考	
		必修	選択	自由		
専門教育科目	臨床検査技師資格関連科目	(医用電子工学概論実習)		(0.5)		物理学実験をもってこれに代える  (再掲：統合科目) (再掲：統合科目)
		医学概論		(2)		
		臨床病態学		(2)		
		公衆衛生学		2		
		臨床情報科学概論		1		
		血液学		2		
		一般検査学		1		
		一般検査学実習		0.5		
		臨床生化学Ⅰ		2		
		臨床検査総管理Ⅰ		3		
		解剖学		2		
		病理解剖学実習		1		
		検査機器総論		1		
		臨床血液学		2		
		医動物学		1		
		医動物学実習		0.5		
		臨床生化学Ⅱ		2		
		医療安全管理学		2		
		病原微生物学		2		
		生理検査学Ⅰ		2		
		生理検査学Ⅱ		3		
		輸血移植検査学		2		
		臨床生理学Ⅰ		2		
		臨床生理学Ⅱ		2		
		生理検査学実習		1		
		栄養学		1		
		臨床栄養学		1		
		薬理学		1		
		病態薬理学		1		
		医用電子工学概論		2		
		病理学Ⅰ		1		
		病理学Ⅱ		1		
		病理検査学		3		
		病理検査学実習		1		
		微生物検査学		2		
		臨床検査学実習Ⅰ		0.7		
		臨床検査学実習Ⅱ		0.4		
		臨床検査学実習Ⅲ		0.4		
		臨床検査総管理Ⅱ		1		
		臨床検査総管理Ⅲ		1		
臨床検査総管理Ⅳ		1				
臨地実習		12				
臨床特別講義		1				
チーム医療演習		1				
	合計	44	340.5	6	卒業所要単位は、必修44単位、選択80単位以上、計124単位以上とする。	

(3-2) 理学部化学科開設科目単位表

授業科目の区分		授業科目	単位数			備考
			必修	選択	自由	
総合教育科目	教養教育科目	人文社会科学入門		2		
		哲学		2		
		現代思想		2		
		倫理学		2		
		文学		2		
		日本文化論		2		
		芸術学		2		
		日本国憲法		2		
		法学		2		
		情報法		2		
		経済学A		2		
		経済学B		2		
		会計学		2		
		社会学		2		
		ダイバーシティ論		2		
		文化人類学		2		
		自然人類学		2		
		歴史学		2		
		科学史		2		
		心理学A		2		
	心理学B		2			
	教育心理学		2			
	教育原理		2			
	言語表現系	College English A1	1			
		College English A2	1			
		College English B1	1			
		College English B2	1			
		College English C1	1			
		College English C2	1			
		日本語文章表現A		1		
		日本語文章表現B		1		
		中国語A		1		
		中国語B		1		
外国語セミナーA			1			
外国語セミナーB			1			
外国語セミナーC			1			
外国語セミナーD		1				
外国語セミナーE		1				
外国語セミナーF		1				
実用医療英語		1				

授業科目の区分		授業科目	単位数			備考
			必修	選択	自由	
総合教育科目	教養教育科目	スポーツ・健康科学理論		2		
		スポーツ・健康科学実技A 1		1		
		スポーツ・健康科学実技A 2		1		
		スポーツ・健康科学実技B 1		1		
		スポーツ・健康科学実技B 2		1		
		スポーツ・健康科学実技C 1		1		
		スポーツ・健康科学実技C 2		1		
		スポーツ・健康科学実技D 1		1		
		スポーツ・健康科学実技D 2		1		
		スポーツ・健康科学実技E 1		1		
		スポーツ・健康科学実技E 2		1		
		スポーツ・健康科学実技F 1		1		
		スポーツ・健康科学実技F 2		1		
		スポーツ・健康科学実技G 1		1		
		スポーツ・健康科学実技G 2		1		
		スポーツ・健康科学実技H 1		1		
		スポーツ・健康科学実技H 2		1		
		スポーツ・健康科学実技I 1		1		
		スポーツ・健康科学実技I 2		1		
		スポーツ・健康科学実技J 1		1		
		スポーツ・健康科学実技J 2		1		
		スポーツ・健康科学実技K 1		1		
		スポーツ・健康科学実技K 2		1		
		スポーツ・健康科学実技L		1		
		スポーツ・健康科学実技M		1		
		スポーツ・健康科学実技N		1		
		スポーツ・健康科学実技O		1		
		スポーツ・健康科学演習A		1		
		スポーツ・健康科学演習B		1		
		スポーツ・健康科学演習C		1		
		スポーツ・健康科学演習D		1		
		スポーツ・健康科学演習E		1		
		スポーツ・健康科学演習F		1		
		スポーツ・健康科学演習G		1		
スポーツ・健康科学演習H		1				
スポーツ・健康科学演習I		1				
スポーツ・健康科学演習J		1				
スポーツ・健康科学演習K		1				
スポーツ・健康科学演習L		1				

授業科目の区分		授業科目	単位数			備考	
			必修	選択	自由		
総合教育科目	教養教育科目 その他の教養教育科目	リベラルアーツ・セミナーA		2			
		リベラルアーツ・セミナーB		2			
		リベラルアーツ・セミナーC		2			
		リベラルアーツ・セミナーD		2			
		リベラルアーツ・セミナーE		2			
		リベラルアーツ・セミナーF		2			
		リベラルアーツ・セミナーG		2			
		リベラルアーツ・セミナーH		2			
		リベラルアーツ・フォーラムA		1			
		リベラルアーツ・フォーラムB		1			
		リベラルアーツ・フォーラムC		1			
		リベラルアーツ・フォーラムD		1			
		インターンシップ		1			
		キャリアデザイン		1			
		海外体験プログラムA		1			
		海外体験プログラムB		1			
		海外体験プログラムC		1			
		海外体験プログラムD		1			
		教育制度論		2			
		教育社会学		2			
	人間と生命		1				
	総合教育科目	基盤教育科目	数学A 1	2			
			数学A 2	2			
			数学B 1		2		
			数学B 2		2		
			確率と統計A		2		
			確率と統計B		2		
情報科学A 1				1			
情報科学A 2				1			
情報科学B 1				2			
情報科学B 2				2			
データサイエンス実践入門				2			
一般化学			2				
生命科学				2			
物理学概論				2			
一般物理学			2				
地球宇宙科学				2			
化学実験				1			
生命科学実験				1			
物理学実験				1			
地球宇宙科学実験				1			
初年次セミナー				2			
化学ベーシックA					1		
化学ベーシックB					1		
生物ベーシックA					1		
生物ベーシックB					1		
数学ベーシックA					1		
数学ベーシックB					1		



授業科目の区分	授業科目	単位数			備考
		必修	選択	自由	
総合教育科目	統合科目	医学概論		2	
		臨床病態学		2	
		統合科目1		2	
		統合科目2		2	
		統合科目3		2	
		統合科目4		2	
		統合科目5		2	
		統合科目6		2	
		統合科目7		2	
		統合科目8		2	
		統合科目9		2	
		統合科目10		2	
		統合科目11		2	
		統合科目12		2	
		統合科目13		2	
		統合科目14		2	
		統合科目15		2	
		統合科目16		2	
		統合科目17		2	
		統合科目18		2	
統合科目19		2			
統合科目20		2			
専門教育科目	基礎化学	2			
	基礎化学実験	2			
	基礎物理学実験	2			
	情報化学		2		
	卒業研究		10		
	化学輪講Ⅰ	(1)			
	化学輪講Ⅱ	(1)			
	臨床検査総合管理学Ⅲ	(1)			
	臨床検査総合管理学Ⅳ	(1)			
	特別問題研究		2		
	微生物学Ⅰ		1		
	微生物学Ⅱ		1		
	生物化学Ⅰ		2		
	生物化学Ⅱ		2		
	生物化学実験		1		
	分析化学Ⅰ	2			
	分析化学Ⅱ	2			
	分析化学Ⅲ		2		
	分析化学Ⅳ		2		
	分析化学Ⅴ		2		
	地球・環境化学Ⅰ		2		
	地球・環境化学Ⅱ		2		
無機・分析化学演習Ⅰ	1				
分析化学実験	2				

臨床検査技師課程以外は化学輪講Ⅰ・化学輪講Ⅱが必修。臨床検査技師課程は臨床検査総合管理学Ⅲ・臨床検査総合管理学Ⅳが必修。

授業科目の区分	授業科目	単位数			備考
		必修	選択	自由	
専門教育科目	無機化学Ⅰ	2			
	無機化学Ⅱ	2			
	無機化学Ⅲ		2		
	無機化学Ⅳ		2		
	無機化学Ⅴ		2		
	放射化学		2		
	錯体化学		2		
	無機・分析化学演習Ⅱ	1			
	無機化学実験	2			
	有機化学Ⅰ	2			
	有機化学Ⅱ	2			
	有機化学Ⅲ		2		
	有機化学Ⅳ		2		
	有機化学Ⅴ		2		
	有機化学Ⅵ		2		
	有機化学Ⅶ		2		
	有機化学演習Ⅰ	1			
	有機化学演習Ⅱ	1			
	有機化学実験	4			
	物理化学Ⅰ	2			
	物理化学Ⅱ		2		
	物理化学Ⅲ	2			
	物理化学Ⅳ		2		
	物理化学Ⅴ		2		
	物理化学Ⅵ		2		
	物理化学Ⅶ		2		
	物理化学演習Ⅰ	1			
	物理化学演習Ⅱ	1			
	物理化学実験	4			
	化学特論Ⅰ			1	
	化学特論Ⅱ			1	
	化学特論Ⅲ			1	
	化学特論Ⅳ			1	
	化学特論Ⅴ			1	
化学特論Ⅵ			1		
化学特論Ⅶ			1		
化学特論Ⅷ			1		

授業科目の区分	授業科目	単位数			備考
		必修	選択	自由	
専門教育科目 臨床検査技師資格関連科目	基礎生理学		2		基礎物理学実験をもってこれに代える (再掲) (再掲)
	組織学		2		
	分子生物学 I		2		
	免疫学		2		
	免疫検査学		2		
	微生物学実習		1		
	(医用電子工学概論実習)		(0.5)		
	医学概論		(2)		
	臨床病態学		(2)		
	公衆衛生学		2		
	臨床情報科学概論		1		
	血液学		2		
	一般検査学		1		
	一般検査学実習		0.5		
	臨床生化学 I		2		
	臨床検査総合管理学 I		3		
	解剖学		2		
	病理解剖学実習		1		
	検査機器総論		1		
	臨床血液学		2		
	医動物学		1		
	医動物学実習		0.5		
	臨床生化学 II		2		
	医療安全管理学		2		
	病原微生物学		2		
	生理検査学 I		2		
	生理検査学 II		3		
	輸血移植検査学		2		
	臨床生理学 I		2		
	臨床生理学 II		2		
	生理検査学実習		1		
	栄養学		1		
	臨床栄養学		1		
	薬理学		1		
	病態薬理学		1		
	医用電子工学概論		2		
	病理学 I		1		
	病理学 II		1		
	病理検査学		3		
	病理検査学実習		1		
	微生物検査学		2		
	臨床検査学実習 I		0.7		
	臨床検査学実習 II		0.4		
臨床検査学実習 III		0.4			
臨床検査総合管理学 II		1			
臨床検査総合管理学 III		(1)			
臨床検査総合管理学 IV		(1)			
臨地実習		12			
臨床特別講義		1			
チーム医療演習		1			
	合計	56	347.5	6	卒業所要単位は、必修56単位、選択68単位以上、計124単位以上とする。

(3-3) 理学部生物分子科学科開設科目単位表

授業科目の区分		授業科目	単位数			備考		
			必修	選択	自由			
総合教育科目	教養教育科目	人文・社会科学系	人文社会科学入門		2			
			哲学		2			
			現代思想		2			
			倫理学		2			
			文学		2			
			日本文化論		2			
			芸術学		2			
			日本国憲法		2			
			法学		2			
			情報法		2			
			経済学A		2			
			経済学B		2			
			会計学		2			
			社会学		2			
			ダイバーシティ論		2			
			文化人類学		2			
			自然人類学		2			
			歴史学		2			
			科学史		2			
			心理学A		2			
			心理学B		2			
		教育心理学		2				
		教育原理		2				
		言語表現系	College English A1	1				
			College English A2	1				
			College English B1	1				
			College English B2	1				
			College English C1	1				
			College English C2	1				
日本語文章表現A			1					
日本語文章表現B			1					
中国語A			1					
中国語B			1					
外国語セミナーA			1					
外国語セミナーB			1					
外国語セミナーC			1					
外国語セミナーD			1					
外国語セミナーE			1					
外国語セミナーF			1					
実用医療英語			1					

授業科目の区分		授業科目	単位数			備考	
			必修	選択	自由		
総合教育科目	教養教育科目	スポーツ・健康科学系		2			
			スポーツ・健康科学理論		2		
			スポーツ・健康科学実技A 1		1		
			スポーツ・健康科学実技A 2		1		
			スポーツ・健康科学実技B 1		1		
			スポーツ・健康科学実技B 2		1		
			スポーツ・健康科学実技C 1		1		
			スポーツ・健康科学実技C 2		1		
			スポーツ・健康科学実技D 1		1		
			スポーツ・健康科学実技D 2		1		
			スポーツ・健康科学実技E 1		1		
			スポーツ・健康科学実技E 2		1		
			スポーツ・健康科学実技F 1		1		
			スポーツ・健康科学実技F 2		1		
			スポーツ・健康科学実技G 1		1		
			スポーツ・健康科学実技G 2		1		
			スポーツ・健康科学実技H 1		1		
			スポーツ・健康科学実技H 2		1		
			スポーツ・健康科学実技I 1		1		
			スポーツ・健康科学実技I 2		1		
			スポーツ・健康科学実技J 1		1		
			スポーツ・健康科学実技J 2		1		
			スポーツ・健康科学実技K 1		1		
			スポーツ・健康科学実技K 2		1		
			スポーツ・健康科学実技L		1		
			スポーツ・健康科学実技M		1		
			スポーツ・健康科学実技N		1		
			スポーツ・健康科学実技O		1		
			スポーツ・健康科学演習A		1		
			スポーツ・健康科学演習B		1		
			スポーツ・健康科学演習C		1		
			スポーツ・健康科学演習D		1		
			スポーツ・健康科学演習E		1		
			スポーツ・健康科学演習F		1		
スポーツ・健康科学演習G		1					
スポーツ・健康科学演習H		1					
スポーツ・健康科学演習I		1					
スポーツ・健康科学演習J		1					
スポーツ・健康科学演習K		1					
スポーツ・健康科学演習L		1					

授業科目の区分		授業科目	単位数			備考	
			必修	選択	自由		
総合 教育 科目	教養 教育 科目	リベラルアーツ・セミナーA		2			
		リベラルアーツ・セミナーB		2			
		リベラルアーツ・セミナーC		2			
		リベラルアーツ・セミナーD		2			
		リベラルアーツ・セミナーE		2			
		リベラルアーツ・セミナーF		2			
		リベラルアーツ・セミナーG		2			
		リベラルアーツ・セミナーH		2			
		リベラルアーツ・フォーラムA		1			
		リベラルアーツ・フォーラムB		1			
		リベラルアーツ・フォーラムC		1			
		リベラルアーツ・フォーラムD		1			
		インターンシップ		1			
		キャリアデザイン		1			
		海外体験プログラムA		1			
		海外体験プログラムB		1			
		海外体験プログラムC		1			
		海外体験プログラムD		1			
		教育制度論		2			
	教育社会学		2				
	人間と生命		1				
	総合 教育 科目	基盤 教育 科目	数学A 1	2			
			数学A 2	2			
			数学B 1		2		
			数学B 2		2		
			確率と統計A		2		
			確率と統計B		2		
情報科学A 1				1			
情報科学A 2				1			
情報科学B 1				2			
情報科学B 2				2			
データサイエンス実践入門				2			
一般化学			2				
生命科学				2			
物理学概論				2			
一般物理学				2			
地球宇宙科学				2			
化学実験				1			
生命科学実験				1			
物理学実験				1			
地球宇宙科学実験				1			
初年次セミナー				2			
化学ベーシックA					1		
化学ベーシックB					1		
生物ベーシックA					1		
生物ベーシックB					1		
数学ベーシックA					1		
数学ベーシックB					1		

授業科目の区分		授業科目	単位数			備考
			必修	選択	自由	
総合教育科目	統合科目	医学概論		2		
		臨床病態学		2		
		統合科目 1		2		
		統合科目 2		2		
		統合科目 3		2		
		統合科目 4		2		
		統合科目 5		2		
		統合科目 6		2		
		統合科目 7		2		
		統合科目 8		2		
		統合科目 9		2		
		統合科目 1 0		2		
		統合科目 1 1		2		
		統合科目 1 2		2		
		統合科目 1 3		2		
		統合科目 1 4		2		
		統合科目 1 5		2		
		統合科目 1 6		2		
		統合科目 1 7		2		
		統合科目 1 8		2		
統合科目 1 9		2				
統合科目 2 0		2				
専門教育科目		有機化学 I	2			
		基礎生理学	2			
		細胞生物学	2			
		基礎生化学	2			
		生物分子科学実験 I	1			
		物理化学 I	2			
		生化学 I	2			
		分子生物学 I	2			
		生物分子科学実験 II	1			
		生物分子科学実験 III	1			
		細胞組織学	2			
		遺伝子工学 I	2			
		生物分子科学実験 IV	1			
		生物分子科学実験 V	1			
		生物分子科学特論 III	2			
		生物分子科学演習 I	1			
		生物分子科学演習 II	1			
		基礎化学演習		1		
		基礎細胞生物学		2		
		基礎遺伝学		2		
		生命科学概論		2		
		生物分子科学セミナー I		1		
		基礎進化生物学		2		
		分析化学		2		
		有機化学 II		2		

授業科目の区分	授業科目	単位数			備考
		必修	選択	自由	
専門教育科目	情報生物学		2		
	生理学 I		2		
	臨床遺伝学		2		
	有機分析法		2		
	情報科学概論		2		
	発生生物学		2		
	分子医学概論		2		
	野外実習		1		
	生体分子構造論A		1		
	生体分子構造論B		1		
	生物無機化学A		1		
	生物無機化学B		1		
	生物有機化学A		1		
	生物有機化学B		1		
	生理学 II A		1		
	生理学 II B		1		
	免疫学		2		
	微生物学 I		1		
	微生物学 II		1		
	生物分子科学実験VI		1		
	機能性材料化学A		1		
	機能性材料化学B		1		
	分子医学 I		2		
	分子医学 II A		1		
	分子医学 II B		1		
	分子医学 III A		1		
	分子医学 III B		1		
	応用ゲノム科学A		1		
	応用ゲノム科学B		1		
	生物物理化学A		1		
	生物物理化学B		1		
	生物分子科学特論 I		2		
	生物分子科学特論 IV A		1		
	生物分子科学特論 IV B		1		
	卒業研究		10		
	生物分子科学演習 III		1		
	生物分子科学特論 II		2		
	生物分子科学特論 V		2		
	生物分子科学特論 VI		2		
	生物分子科学特論 VII		2		
	生物分子科学特論 VIII		2		
生物分子科学セミナー II		1			
学外実習		2			



授業科目の区分	授業科目	単位数			備考
		必修	選択	自由	
専門教育科目	臨床検査技師資格関連科目	医用電子工学概論実習		0.5	
		医学概論		(2)	(再掲)
		臨床病態学		(2)	(再掲)
		公衆衛生学		2	
		臨床情報科学概論		1	
		血液学		2	
		一般検査学		1	
		一般検査学実習		0.5	
		臨床生化学Ⅰ		2	
		臨床検査総合管理学Ⅰ		3	
		解剖学		2	
		病理解剖学実習		1	
		検査機器総論		1	
		臨床血液学		2	
		医動物学		1	
		医動物学実習		0.5	
		臨床生化学Ⅱ		2	
		医療安全管理学		2	
		病原微生物学		2	
		生理検査学Ⅰ		2	
		生理検査学Ⅱ		3	
		輸血移植検査学		2	
		臨床生理学Ⅰ		2	
		臨床生理学Ⅱ		2	
		生理検査学実習		1	
		栄養学		1	
		臨床栄養学		1	
		薬理学		1	
		病態薬理学		1	
		医用電子工学概論		2	
		病理学Ⅰ		1	
		病理学Ⅱ		1	
		病理検査学		3	
病理検査学実習		1			
微生物検査学		2			
臨床検査学実習Ⅰ		0.7			
臨床検査学実習Ⅱ		0.4			
臨床検査学実習Ⅲ		0.4			
臨床検査総合管理学Ⅱ		1			
臨床検査総合管理学Ⅲ		1			
臨床検査総合管理学Ⅳ		1			
臨地実習		12			
臨床特別講義		1			
チーム医療演習		1			
	合計	39	354	6	卒業所要単位は、必修39単位、選択85単位以上、計124単位以上とする。

(3-4) 理学部物理学科開設科目単位表

授業科目の区分		授業科目	単位数			備考
			必修	選択	自由	
総合教育科目	教養教育科目	人文社会科学入門		2		
		哲学		2		
		現代思想		2		
		倫理学		2		
		文学		2		
		日本文化論		2		
		芸術学		2		
		日本国憲法		2		
		法学		2		
		情報法		2		
		経済学A		2		
		経済学B		2		
		会計学		2		
		社会学		2		
		ダイバーシティ論		2		
		文化人類学		2		
		自然人類学		2		
		歴史学		2		
		科学史		2		
		心理学A		2		
		心理学B		2		
		教育心理学		2		
	教育原理		2			
	言語表現系	College English A1	1			
		College English A2	1			
		College English B1	1			
		College English B2	1			
		College English C1	1			
		College English C2	1			
日本語文章表現A			1			
日本語文章表現B			1			
中国語A			1			
中国語B			1			
外国語セミナーA			1			
外国語セミナーB			1			
外国語セミナーC			1			
外国語セミナーD			1			
外国語セミナーE			1			
外国語セミナーF			1			
実用医療英語			1			

授業科目の区分		授業科目	単位数			備考	
			必修	選択	自由		
総合 教育科目	教養 教育科目	スポーツ・健康科学系		2			
			スポーツ・健康科学理論		2		
			スポーツ・健康科学実技A 1		1		
			スポーツ・健康科学実技A 2		1		
			スポーツ・健康科学実技B 1		1		
			スポーツ・健康科学実技B 2		1		
			スポーツ・健康科学実技C 1		1		
			スポーツ・健康科学実技C 2		1		
			スポーツ・健康科学実技D 1		1		
			スポーツ・健康科学実技D 2		1		
			スポーツ・健康科学実技E 1		1		
			スポーツ・健康科学実技E 2		1		
			スポーツ・健康科学実技F 1		1		
			スポーツ・健康科学実技F 2		1		
			スポーツ・健康科学実技G 1		1		
			スポーツ・健康科学実技G 2		1		
			スポーツ・健康科学実技H 1		1		
			スポーツ・健康科学実技H 2		1		
			スポーツ・健康科学実技I 1		1		
			スポーツ・健康科学実技I 2		1		
			スポーツ・健康科学実技J 1		1		
			スポーツ・健康科学実技J 2		1		
			スポーツ・健康科学実技K 1		1		
			スポーツ・健康科学実技K 2		1		
			スポーツ・健康科学実技L		1		
			スポーツ・健康科学実技M		1		
			スポーツ・健康科学実技N		1		
			スポーツ・健康科学実技O		1		
			スポーツ・健康科学演習A		1		
			スポーツ・健康科学演習B		1		
			スポーツ・健康科学演習C		1		
			スポーツ・健康科学演習D		1		
			スポーツ・健康科学演習E		1		
			スポーツ・健康科学演習F		1		
スポーツ・健康科学演習G		1					
スポーツ・健康科学演習H		1					
スポーツ・健康科学演習I		1					
スポーツ・健康科学演習J		1					
スポーツ・健康科学演習K		1					
スポーツ・健康科学演習L		1					

授業科目の区分		授業科目	単位数			備考
			必修	選択	自由	
総合教育科目	教養教育科目	その他の教養教育科目		2		
				2		
				2		
				2		
				2		
				2		
				2		
				2		
				2		
				1		
				1		
				1		
				1		
				1		
				1		
				1		
				1		
				1		
				1		
				1		
				2		
		2				
		1				
		2				
		2				
		2				
		2				
		2				
		2				
		2				
		2				
		2				
		1				
		1				
	1					
	1					
	1					
	1					
	1					
	1					
	1					

授業科目の区分		授業科目	単位数			備考
			必修	選択	自由	
総合教育科目	統合科目	医学概論		2		
		臨床病態学		2		
		統合科目 1		2		
		統合科目 2		2		
		統合科目 3		2		
		統合科目 4		2		
		統合科目 5		2		
		統合科目 6		2		
		統合科目 7		2		
		統合科目 8		2		
		統合科目 9		2		
		統合科目 10		2		
		統合科目 11		2		
		統合科目 12		2		
		統合科目 13		2		
		統合科目 14		2		
		統合科目 15		2		
		統合科目 16		2		
		統合科目 17		2		
		統合科目 18		2		
統合科目 19		2				
統合科目 20		2				
専門教育科目		力学 I	2			
		力学演習 I	1			
		力学 II	2			
		力学演習 II	1			
		解析力学	2			
		解析力学演習	1			
		電磁気学 I	2			
		電磁気学演習 I	1			
		電磁気学 II	2			
		電磁気学演習 II	1			
		電磁気学 III		2		
		基礎数学演習 I	1			
		基礎数学演習 II	1			
		物理数学 I	2			
		物理数学演習 I	1			
		物理数学 II	1			
		物理数学演習 II	0.5			
		物理数学 III		1		
		物理数学演習 III		0.5		
		微分方程式		2		

授業科目の区分	授業科目	単位数			備考
		必修	選択	自由	
専門教育科目	熱力学	2			
	統計力学Ⅰ	2			
	統計力学演習Ⅰ	1			
	統計力学Ⅱ	1			
	統計力学演習Ⅱ	0.5			
	統計力学Ⅲ		1		
	統計力学演習Ⅲ		0.5		
	原子物理学	2			
	量子力学Ⅰ	2			
	量子力学演習Ⅰ	1			
	量子力学Ⅱ	1			
	量子力学演習Ⅱ	0.5			
	量子力学Ⅲ		1		
	量子力学演習Ⅲ		0.5		
	物理数学入門	2			
	物理学実験Ⅰ	2			
	物理学実験ⅡA	2			
	物理学実験ⅡB	2			
	物理学実験ⅢA	2			
	物理学実験ⅢB	2			
	卒業研究A	5			
	卒業研究B	5			
	コンピュータープログラミング		1		
	物理計測学		2		
	相対性理論		2		
	化学		2		
	原子核物理学		2		
	物理光学		2		
	銀河天文学		2		
	素粒子物理学		2		
	高エネルギー物理学		2		
	固体物理学A		2		
	電子工学		2		
	固体物理学B		2		
	化学物理学		2		
	宇宙物理学		2		
物理学特別講義Ⅰ		2			
物理学特別講義Ⅱ		2			
物理学特論Ⅰ		2			
物理学特論Ⅱ		2			
	合計	70.5	243.5	6	卒業所要単位は、必修70.5単位、選択53.5単位以上、計124単位以上とする。

(3-5) 理学部情報科学科開設科目単位表

授業科目の区分		授業科目	単位数			備考
			必修	選択	自由	
総合教育科目	教養教育科目	人文・社会科学系	人文社会科学入門		2	
			哲学		2	
			現代思想		2	
			倫理学		2	
			文学		2	
			日本文化論		2	
			芸術学		2	
			日本国憲法		2	
			法学		2	
			情報法		2	
			経済学A		2	
			経済学B		2	
			会計学		2	
			社会学		2	
			ダイバーシティ論		2	
			文化人類学		2	
			自然人類学		2	
			歴史学		2	
			科学史		2	
			心理学A		2	
		心理学B		2		
		教育心理学		2		
		教育原理		2		
		言語表現系	College English A1	1		
			College English A2	1		
			College English B1	1		
			College English B2	1		
			College English C1	1		
			College English C2	1		
日本語文章表現A			1			
日本語文章表現B			1			
中国語A			1			
中国語B			1			
外国語セミナーA			1			
外国語セミナーB			1			
外国語セミナーC			1			
外国語セミナーD			1			
外国語セミナーE		1				
外国語セミナーF		1				
実用医療英語		1				

授業科目の区分		授業科目	単位数			備考	
			必修	選択	自由		
総合教育科目	教養教育科目	スポーツ・健康科学系		2			
			スポーツ・健康科学理論		2		
			スポーツ・健康科学実技A 1		1		
			スポーツ・健康科学実技A 2		1		
			スポーツ・健康科学実技B 1		1		
			スポーツ・健康科学実技B 2		1		
			スポーツ・健康科学実技C 1		1		
			スポーツ・健康科学実技C 2		1		
			スポーツ・健康科学実技D 1		1		
			スポーツ・健康科学実技D 2		1		
			スポーツ・健康科学実技E 1		1		
			スポーツ・健康科学実技E 2		1		
			スポーツ・健康科学実技F 1		1		
			スポーツ・健康科学実技F 2		1		
			スポーツ・健康科学実技G 1		1		
			スポーツ・健康科学実技G 2		1		
			スポーツ・健康科学実技H 1		1		
			スポーツ・健康科学実技H 2		1		
			スポーツ・健康科学実技I 1		1		
			スポーツ・健康科学実技I 2		1		
			スポーツ・健康科学実技J 1		1		
			スポーツ・健康科学実技J 2		1		
			スポーツ・健康科学実技K 1		1		
			スポーツ・健康科学実技K 2		1		
			スポーツ・健康科学実技L		1		
			スポーツ・健康科学実技M		1		
			スポーツ・健康科学実技N		1		
			スポーツ・健康科学実技O		1		
			スポーツ・健康科学演習A		1		
			スポーツ・健康科学演習B		1		
			スポーツ・健康科学演習C		1		
			スポーツ・健康科学演習D		1		
			スポーツ・健康科学演習E		1		
			スポーツ・健康科学演習F		1		
スポーツ・健康科学演習G		1					
スポーツ・健康科学演習H		1					
スポーツ・健康科学演習I		1					
スポーツ・健康科学演習J		1					
スポーツ・健康科学演習K		1					
スポーツ・健康科学演習L		1					



授業科目の区分		授業科目	単位数			備考
			必修	選択	自由	
総合教育科目	教養教育科目	その他の教養教育科目	リベラルアーツ・セミナーA		2	
			リベラルアーツ・セミナーB		2	
			リベラルアーツ・セミナーC		2	
			リベラルアーツ・セミナーD		2	
			リベラルアーツ・セミナーE		2	
			リベラルアーツ・セミナーF		2	
			リベラルアーツ・セミナーG		2	
			リベラルアーツ・セミナーH		2	
			リベラルアーツ・フォーラムA		1	
			リベラルアーツ・フォーラムB		1	
			リベラルアーツ・フォーラムC		1	
			リベラルアーツ・フォーラムD		1	
			インターンシップ		1	
			キャリアデザイン		1	
			海外体験プログラムA		1	
			海外体験プログラムB		1	
			海外体験プログラムC		1	
			海外体験プログラムD		1	
			教育制度論		2	
			教育社会学		2	
	人間と生命		1			
	基礎教育科目		数学A 1	2		
			数学A 2	2		
			数学B 1	2		
			数学B 2	2		
			確率と統計A		2	
			確率と統計B		2	
			情報科学A 1		1	
			情報科学A 2		1	
			情報科学B 1		2	
			情報科学B 2		2	
			データサイエンス実践入門		2	
			一般化学		2	
			生命科学		2	
物理学概論				2		
一般物理学				2		
地球宇宙科学				2		
化学実験				1		
生命科学実験				1		
物理学実験				1		
地球宇宙科学実験				1		
初年次セミナー				2		
化学ベーシックA					1	
化学ベーシックB					1	
生物ベーシックA					1	
生物ベーシックB			1			
数学ベーシックA			1			
数学ベーシックB			1			

授業科目の区分		授業科目	単位数			備考
			必修	選択	自由	
総合教育科目	統合科目	医学概論		2		
		臨床病態学		2		
		統合科目1		2		
		統合科目2		2		
		統合科目3		2		
		統合科目4		2		
		統合科目5		2		
		統合科目6		2		
		統合科目7		2		
		統合科目8		2		
		統合科目9		2		
		統合科目10		2		
		統合科目11		2		
		統合科目12		2		
		統合科目13		2		
		統合科目14		2		
		統合科目15		2		
		統合科目16		2		
		統合科目17		2		
		統合科目18		2		
統合科目19		2				
統合科目20		2				
専門教育科目	情報数理A	2			数理知能科学コースのみ必修	
	情報数理演習A	1				
	プログラミングA	2				
	情報数理B	2				
	情報数理演習B	1				
	プログラミングB	2				
	コンピュータアーキテクチャ	2				
	確率論入門	2				
	情報数理C	(2)				
	情報数理演習C	(1)				
	データ解析	(2)			メディア生命科学コースのみ必修	
	情報数理D	(2)				
	情報数理演習D	(1)				
	コンピュータ数学	(2)				
	アルゴリズムとデータ構造	(2)				
	アルゴリズムとデータ構造演習	(1)				
	データ活用概論	(2)				
	データ活用演習	(1)				
	UNIXとネットワーク	(2)				
	データ構造とプログラミング	(2)				
	プロジェクトA	2				
	プロジェクトB	2				
情報科学セミナー	2					
卒業研究A	5					
卒業研究B	5					

授業科目の区分	授業科目	単位数			備考
		必修	選択	自由	
専門教育科目	情報基盤分野	フーリエ解析		2	
		グラフ理論		2	
		コンピュータネットワーク		2	
		ソフトウェア工学		2	
		メディア情報処理		2	
		データ科学基礎		2	
		コンパイラと形式言語		2	
		マルチパラダイムプログラミング		2	
		データベース論		2	
		自然言語処理		2	
		社会情報学		2	
		情報・符号理論		2	
		暗号と情報セキュリティ		2	
		人工知能		2	
		情報産業論		2	
	数理先進分野	確率過程論		2	
		離散数学		2	
		ラプラス変換		2	
		ベクトル解析		2	
		複素関数論		2	
		実関数論		2	
		確率解析学		2	
		応用幾何学		2	
		形式論理学		2	
		行動計量学		2	
		数理知能科学講究A		2	
		数理計画法		2	
		情報代数学		2	
		数理知能科学講究B		2	
		関数解析学		2	
	メディア生命科学分野	メディア創作概論		2	
		医療情報学		2	
		基礎分子生物学		2	
		CGクリエーション		2	
		デジタル信号処理		2	
		コンピュータグラフィックス		2	
		神経回路理論		2	
		CGクリエーション演習		1	
		バイオインフォマティクス基礎論		2	
		コンピュータビジョン		2	
		メディア生命科学講究A		2	
		シミュレーション		2	
		パターン認識		2	
		メディア生命科学講究B		2	
		生命医科学情報ネットワーク論		2	

授業科目の区分		授業科目	単位数			備考	
			必修	選択	自由		
専門 教育 科目	その 他の 科目	情報テクノロジー		2			
		情報マネジメント・ストラテジ		2			
		社会調査論		2			
		社会調査演習A		1			
		社会調査演習B		1			
		社会調査法		2			
	(教 職)	教職数学A			2		
		教職数学B			2		
			合計	54	309	10	卒業所要単位は、必修54単位、選択70単位以上、計124単位以上とする。

(3-6) 理学部生命圏環境科学科開設科目単位表

授業科目の区分		授業科目	単位数			備考
			必修	選択	自由	
総合教育科目	教養教育科目	人文・社会科学系	人文社会科学入門		2	
			哲学		2	
			現代思想		2	
			倫理学		2	
			文学		2	
			日本文化論		2	
			芸術学		2	
			日本国憲法		2	
			法学		2	
			情報法		2	
			経済学A		2	
			経済学B		2	
			会計学		2	
			社会学		2	
			ダイバーシティ論		2	
			文化人類学		2	
			自然人類学		2	
			歴史学		2	
			科学史		2	
			心理学A		2	
			心理学B		2	
			教育心理学		2	
	教育原理		2			
	言語表現系	College English A1		1		
		College English A2		1		
		College English B1		1		
		College English B2		1		
		College English C1		1		
		College English C2		1		
日本語文章表現A				1		
日本語文章表現B				1		
中国語A				1		
中国語B				1		
外国語セミナーA				1		
外国語セミナーB				1		
外国語セミナーC				1		
外国語セミナーD				1		
外国語セミナーE				1		
外国語セミナーF				1		
実用医療英語				1		



授業科目の区分		授業科目	単位数			備考	
			必修	選択	自由		
総合教育科目	教養教育科目	その他の教養教育科目		2			
			リベラルアーツ・セミナーA		2		
			リベラルアーツ・セミナーB		2		
			リベラルアーツ・セミナーC		2		
			リベラルアーツ・セミナーD		2		
			リベラルアーツ・セミナーE		2		
			リベラルアーツ・セミナーF		2		
			リベラルアーツ・セミナーG		2		
			リベラルアーツ・セミナーH		2		
			リベラルアーツ・フォーラムA		1		
			リベラルアーツ・フォーラムB		1		
			リベラルアーツ・フォーラムC		1		
			リベラルアーツ・フォーラムD		1		
			インターンシップ		1		
			キャリアデザイン		1		
			海外体験プログラムA		1		
			海外体験プログラムB		1		
			海外体験プログラムC		1		
			海外体験プログラムD		1		
			教育制度論		2		
	教育社会学		2				
	人間と生命		1				
	総合教育科目	基盤教育科目	数学A 1	2			
			数学A 2	2			
			数学B 1		2		
			数学B 2		2		
			確率と統計A		2		
確率と統計B				2			
情報科学A 1				1			
情報科学A 2				1			
情報科学B 1				2			
情報科学B 2				2			
データサイエンス実践入門				2			
一般化学				2			
生命科学				2			
物理学概論				2			
一般物理学				2			
地球宇宙科学				2			
化学実験				1			
生命科学実験				1			
物理学実験				1			
地球宇宙科学実験				1			
初年次セミナー				2			
化学ベーシックA					1		
化学ベーシックB					1		
生物ベーシックA					1		
生物ベーシックB					1		
数学ベーシックA					1		
数学ベーシックB					1		

授業科目の区分		授業科目	単位数			備考
			必修	選択	自由	
総合教育科目	統合科目	医学概論		2		
		臨床病態学		2		
		統合科目1		2		
		統合科目2		2		
		統合科目3		2		
		統合科目4		2		
		統合科目5		2		
		統合科目6		2		
		統合科目7		2		
		統合科目8		2		
		統合科目9		2		
		統合科目10		2		
		統合科目11		2		
		統合科目12		2		
		統合科目13		2		
		統合科目14		2		
		統合科目15		2		
		統合科目16		2		
		統合科目17		2		
		統合科目18		2		
		統合科目19		2		
統合科目20		2				
専門教育科目	環境科学概論科目	自然環境科学概論		1		
		生命環境科学概論		1		
		人間環境科学概論		1		
		地球環境科学概論		1		
		環境科学体験実習		1		
	環境科学基礎科目	一般化学Ⅱ		2		
		生命科学Ⅱ		2		
		一般物理学Ⅱ		2		
		地球宇宙科学Ⅱ		2		
		環境統計基礎		2		
		コミュニケーションⅠ		2		
		コミュニケーションⅡ		2		
		化学実験Ⅱ		1		
		生命科学実験Ⅱ		1		
		物理学実験Ⅱ		1		
		地球宇宙科学実験Ⅱ		1		
		環境科学プロジェクト実習		2		
	環境科学応用科目	物質科学		2		
		グリーンケミストリー		2		
		保全生態学		2		
		エネルギー環境学		2		
		再生可能エネルギー論		2		
		環境経済学		2		
		環境法		2		
		環境倫理学		2		



授業科目の区分	授業科目	単位数			備考	
		必修	選択	自由		
専門教育科目	環境化学Ⅰ		2			
	環境化学Ⅱ		2			
	環境分析科学		2			
	環境技術企業論		2			
	生物分類論		2			
	群集生態学		2			
	海洋生態学		2			
	地球・惑星科学Ⅰ		2			
	地球・惑星科学Ⅱ		2			
	リモートセンシング		2			
	気象予報論		2			
	環境マネジメント		2			
	環境政策		2			
	環境情報システム		2			
	国際環境ビジネス論		2			
	生命圏環境科学特論Ⅰ		2			
	生命圏環境科学特論Ⅱ		2			
	生命圏環境科学特論Ⅲ		2			
	生命圏環境科学特論Ⅳ		2			
	プログラミング		2			
	環境科学海外研修		2			
	環境科学野外実習Ⅰ		1			
	環境科学野外実習Ⅱ		1			
	環境科学野外実習Ⅲ		1			
	環境科学野外実習Ⅳ		1			
	環境科学野外実習Ⅴ		1			
	環境科学野外実習Ⅵ		1			
	環境科学応用演習Ⅰ		1			
	環境科学応用演習Ⅱ		1			
	環境科学ユニット	地球科学ユニット科目	(3)			所属コースに沿っていずれか必修
		環境生態学ユニット科目	(3)			
		環境化学ユニット科目	(3)			
		環境管理・創成科学ユニット科目	(3)			
卒業研究	卒業研究Ⅰ	4			臨床検査技師課程配属者は課程の別科目の履修により「卒業研究Ⅰ、Ⅱ」の単位にあてる	
	卒業研究Ⅱ	4				

授業科目の区分	授業科目	単位数			備考
		必修	選択	自由	
専門教育科目	臨床検査技師資格関連科目	生物化学Ⅰ		2	
		生物化学Ⅱ		2	
		生物化学実験		1	
		基礎生理学		2	
		組織学		2	
		微生物学Ⅰ		1	
		微生物学Ⅱ		1	
		分子生物学Ⅰ		2	
		免疫学		2	
		免疫検査学		2	
		微生物学実習		1	
		(医用電子工学概論実習)		(0.5)	
		医学概論		(2)	
		臨床病態学		(2)	
		公衆衛生学		2	
		臨床情報科学概論		1	
		血液学		2	
		一般検査学		1	
		一般検査学実習		0.5	
		臨床生化学Ⅰ		2	
		臨床検査総合管理学Ⅰ		3	
		解剖学		2	
		病理解剖学実習		1	
		検査機器総論		1	
		臨床血液学		2	
		医動物学		1	
		医動物学実習		0.5	
		臨床生化学Ⅱ		2	
		医療安全管理学		2	
		病原微生物学		2	
		生理検査学Ⅰ		2	
		生理検査学Ⅱ		3	
		輸血移植検査学		2	
		臨床生理学Ⅰ		2	
		臨床生理学Ⅱ		2	
		生理検査学実習		1	
		栄養学		1	
		臨床栄養学		1	
		薬理学		1	
		病態薬理学		1	
医用電子工学概論		2			
病理学Ⅰ		1			
病理学Ⅱ		1			
病理検査学		3			
病理検査学実習		1			
微生物検査学		2			

\* 1  
物理学実験をもってこれに代える  
(再掲)  
(再掲)

\* 1

\* 1

授業科目の区分		授業科目	単位数			備考
			必修	選択	自由	
専門 教育 科目	臨床 検査 技師 資格 関連 科目	臨床検査学実習Ⅰ		0.7		* 1 * 1（臨床検査技師課程の学生は* 1の4科目の履修をもって「卒業研究Ⅰ」の履修とみなす）
		臨床検査学実習Ⅱ		0.4		
		臨床検査学実習Ⅲ		0.4		
		臨床検査総合管理学Ⅱ		1		
		臨床検査総合管理学Ⅲ		1		* 2（臨床検査技師課程の学生はこの科目の履修をもって「卒業研究Ⅱ」の履修とみなす）
		臨床検査総合管理学Ⅳ		1		
		臨地実習		12		
		臨床特別講義		1		
		チーム医療演習		1		
		合計	21	382.5	6	卒業所要単位は、必修21単位、選択103単位以上、計124単位以上とする。

(4) 看護学部看護学科開設科目単位表【令和5年度以降入学者対象授業科目】

授業科目の 区分	授業科目	単位数			備 考
		必修	選択	自由	
基礎分野	哲学		1		17単位以上 必修8単位 + 選択9単位以上
	人間論	1			
	死生表象論		1		
	文学		1		
	文化人類学		1		
	法学（日本国憲法）	1			
	法律と医療		1		
	社会学		1		
	教育学		1		
	心理学	1			
	臨床心理学		1		
	医療人間論	1			
	コミュニケーション・スキル		1		
	自然科学の基礎	1			
	化学		1		
	生物学	1			
	物理学		1		
	宇宙科学		1		
	人と芸術	1			
	チームビルディングと自然体験	1			
異文化理解 I		1			
異文化理解 II		1			
データサイエンス実践入門		2			
視野を広げる	英語 I a	1			10単位以上 必修8単位 + 選択2単位以上 (ただし、英語集中講座以外から最低1単位必要)
	English Communication		1		
	英語 I b	1			
	英語 I c	1			
	英語 II a	1			
	英語 II b	1			
	Medical English	1			
	第2外国語 a	1			
	第2外国語 b	1			
	English Communication for Nurses a/b		1		
	英語集中講座 a（海外）		2		
	英語集中講座 b（国内）		1		
	Advanced Reading I		1		
	Advanced Reading II		1		
	English Proficiency Test I		1		
English Proficiency Test II		1			
実用医療英語		1			

授業科目の 区分		授業科目	単位数			備 考	
			必修	選択	自由		
専門基礎分野	人体と環境と健康を学ぶ	人体の構造と機能Ⅰ	2			23単位以上 必修21単位 + 選択2単位以上	
		人体の構造と機能Ⅱ	2				
		生化学と栄養	1				
		遺伝学	1				
		病態と治療Ⅰ	2				
		病態と治療Ⅱ	2				
		病態と治療Ⅲ	2				
		感染と防御	2				
		感染制御学	1				
		人体と薬物	2				
		運動科学		1			
		東洋医学		1			
		音楽療法		1			
		公衆衛生学	1				
		疫学と保健統計	2				
	地域共生社会論		1				
	健康支援と社会保障	1					
	探究	アカデミック・スキルⅠ	1			必修 8単位	
		アカデミック・スキルⅡ	1				
		基礎統計学	1				
研究方法論		2					
卒業研究		3					
専門分野	看護の基盤	看護学概論	1			必修 10単位	
		基礎看護学Ⅰ	2				
		基礎看護学Ⅱ	2				
		看護過程論	2				
		基礎看護学Ⅲ	2				
		基礎看護学Ⅳ	1				
		基礎看護学実習Ⅰ	1				必修 3単位
		基礎看護学実習Ⅱ	2				
	看護の展開	看護管理学	2			必修 3単位	
		看護倫理学	1				
		成人看護学概論	1			必修 5単位	
		成人看護学Ⅰ	2				
		成人看護学Ⅱ	2				
		成人看護学実習	4			必修 4単位	
		高齢者看護学概論	1			必修 4単位	
高齢者看護学Ⅰ	1						
高齢者看護学Ⅱ	2						
高齢者看護学実習	3			必修 3単位			

授業科目の 区分		授業科目	単位数			備 考
			必修	選択	自由	
専門分野	看護の 展開	小児看護学概論	1			必修 4単位
		小児看護学Ⅰ	1			
		小児看護学Ⅱ	1			
		小児看護学演習	1			
		小児看護学実習	2			必修 2単位
		母性看護学概論	1			必修 4単位
		母性看護学Ⅰ	2			
		母性看護学Ⅱ	1			
		母性看護学実習	2			必修 2単位
		精神看護学概論	1			必修 4単位
		精神看護学Ⅰ	1			
		精神看護学Ⅱ	2			
		精神看護学実習	2			必修 2単位
		がん看護学Ⅰ	1			必修 2単位
		がん看護学Ⅱ	1			
		がん看護学実習	2			必修 2単位
		在宅看護学概論	2			必修 6単位
		在宅看護学方法論	2			
	地域看護学概論	1				
	地域看護学活動論	1				
	地域・在宅看護学実習	2			必修 2単位	
	公衆衛生看護学概論	1			必修 1単位	
	看護の 応用	国際看護学	2			必修 2単位
		国際看護学演習		1		
		チーム医療演習		1		
		統合実習	3			必修 3単位
合計			113	32	0	卒業所要単位数は、必修118単位、選択8単位以上、計126単位以上とする。

看護学部看護学科開設科目単位表【令和4年度入学者対象授業科目】

授業科目の 区分		授業科目	単位数		備 考
			必修	選択	
基礎分野	生命と自然と人間の営みについて学ぶ	哲学		1	17単位以上 必修8単位 + 選択9単位以上
		人間論	1		
		死生表象論		1	
		文学		1	
		文化人類学		1	
		法学（日本国憲法）	1		
		法律と医療		1	
		社会学		1	
		教育学		1	
		心理学	1		
		臨床心理学		1	
		医療人間論	1		
		コミュニケーション・スキル		1	
		自然科学の基礎	1		
		化学		1	
		生物学	1		
		物理学		1	
		宇宙科学		1	
		人と芸術	1		
		チームビルディングと自然体験	1		
	異文化理解Ⅰ		1		
	異文化理解Ⅱ		1		
	データサイエンス実践入門		2		
	視野を広げる	英語Ⅰa	1		10単位以上 必修8単位 + 選択2単位以上 (ただし、英語集中講座以外から 最低1単位必要)
		English Communication		1	
		英語Ⅰb	1		
		英語Ⅰc	1		
		英語Ⅱa	1		
		英語Ⅱb	1		
		Medical English	1		
		第2外国語 a	1		
		第2外国語 b	1		
		English Communication for Nurses a/b		1	
英語集中講座 a (海外)			2		
英語集中講座 b (国内)			1		
Advanced Reading Ⅰ			1		
Advanced Reading Ⅱ		1			
English Proficiency Test Ⅰ		1			
English Proficiency Test Ⅱ		1			
実用医療英語		1			

授業科目の 区分		授業科目	単位数		備 考
			必修	選択	
専門基礎分野	人体と環境と健康を学ぶ	人体の構造と機能Ⅰ	2		23単位以上 必修21単位 + 選択2単位以上
		人体の構造と機能Ⅱ	2		
		生化学と栄養	1		
		遺伝学	1		
		病態と治療Ⅰ	2		
		病態と治療Ⅱ	2		
		病態と治療Ⅲ	2		
		感染と防御	2		
		感染制御学	1		
		人体と薬物	2		
		運動科学		1	
		東洋医学		1	
		音楽療法		1	
		公衆衛生学	1		
		疫学と保健統計	2		
		地域共生社会論		1	
		健康支援と社会保障	1		
探究	アカデミック・スキルⅠ	1		必修 8単位	
	アカデミック・スキルⅡ	1			
	基礎統計学	1			
	研究方法論	2			
	卒業研究	3			
専門分野	看護の基盤	看護学概論	1		必修 10単位
		基礎看護学Ⅰ	2		
		基礎看護学Ⅱ	2		
		看護過程論	2		
		基礎看護学Ⅲ	2		
		基礎看護学Ⅳ	1		
		基礎看護学実習Ⅰ	1		
	基礎看護学実習Ⅱ	2			
	看護管理学	2		必修 3単位	
	看護倫理学	1			
	看護の展開	成人看護学概論	1		必修 5単位
		成人看護学Ⅰ	2		
		成人看護学Ⅱ	2		
		成人看護学実習	4		必修 4単位
高齢者看護学概論		1		必修 4単位	
高齢者看護学Ⅰ		1			
高齢者看護学Ⅱ		2			
高齢者看護学実習	3		必修 3単位		



授業科目の 区分		授業科目	単位数		備 考
			必修	選択	
専門分野	看護の展開	小児看護学概論	1		必修 4単位
		小児看護学Ⅰ	1		
		小児看護学Ⅱ	1		
		小児看護学演習	1		
		小児看護学実習	2		必修 2単位
		母性看護学概論	1		必修 4単位
		母性看護学Ⅰ	2		
		母性看護学Ⅱ	1		
		母性看護学実習	2		必修 2単位
		精神看護学概論	1		必修 4単位
		精神看護学Ⅰ	1		
		精神看護学Ⅱ	2		
		精神看護学実習	2		必修 2単位
		がん看護学Ⅰ	1		必修 2単位
		がん看護学Ⅱ	1		
		がん看護学実習	2		必修 2単位
		在宅看護学概論	2		必修 6単位
		在宅看護学方法論	2		
		地域看護学概論	1		
		地域看護学活動論	1		
	地域・在宅看護学実習	2		必修 2単位	
	公衆衛生看護学概論	1		必修 1単位	
	看護の応用	国際看護学	2		必修 2単位
		国際看護学演習		1	
		チーム医療演習		1	
		統合実習	3		必修 3単位
		合計	113	32	卒業所要単位数は、必修113単位、 選択13単位以上、計126単位以上とする。

看護学部看護学科開設科目単位表【令和3年度以前入学者対象授業科目】

授業科目の 区分		授業科目	単位数		備 考
			必修	選択	
一 般 教 育 領 域	基 礎 自 然 科 学 を 学 ぶ の	化学		1	4単位以上
		物理学		1	
		宇宙科学		1	
		自然科学の基礎	1		
		生物学	1		
	視 野 を 広 げ る	English for Communication I	2		10単位以上
		English for Communication II	2		
		English for Communication III	1		
		English for Communication IV	1		
		Medical English I	1		
		Medical English II		1	
		夏期英語集中講座		1	
		Advanced Reading I		1	
		Advanced Reading II		1	
		English for Communication V		1	
		第2外国語 I	1		
		第2外国語 II	1		
		実用医療英語		1	
	人 間 性 を 養 い 感 性 を 培 う	日本文化研修	1		
		文化講座	1		
		自然体験学習	1		
		運動科学	1		
		人間論	1		
	人 間 の 営 み を 理 解 す る	心理学	1		4単位以上 但し、保健師国家試験受資格を得 るためには法学を必修とする。
		社会学		1	
		教育学		1	
		法学（日本国憲法）		1	
		文化人類学		1	
手話			1		
文学			1		
海外研修 I			1		
海外研修 II			1		

授業科目の 区分		授業科目	単位数		備 考
			必修	選択	
基礎 領域	人体を学ぶ	人体の構造と機能Ⅰ	2		13単位以上
		人体の構造と機能Ⅱ	2		
		生体の化学	1		
		栄養と代謝	1		
		遺伝学	1		
	人間と健康	病態と治療Ⅰ	2		
		病態と治療Ⅱ	2		
		病態と治療Ⅲ	2		
		病態と治療Ⅳ	2		
		感染と防御	2		
		人体と薬物	2		
		東洋医学		1	
		臨床心理学		1	
	健康と環境	医療人間論	1		
		保健・医療・福祉と行政	1		
		公衆衛生学	2		
		疫学と保健統計	2		
		情報と統計学	2		
		法律と医療	1		
	研究	研究方法論	1		
卒業研究		4			
専門 領域Ⅰ	基礎看護学	看護学概論	1		
		基礎看護学Ⅰ	2		
		基礎看護学Ⅱ	2		
		看護過程論	1		
		基礎看護学Ⅲ	2		
		基礎看護学Ⅳ	1		
	実基礎 習	看護学基礎実習	1		
		基礎看護学実習	3		
専門 領域Ⅱ	看護学 成人	成人看護学概論	1		
		成人看護学Ⅰ	2		
		成人看護学Ⅱ	2		
	看護学 高齢者	高齢者看護学概論	1		
		高齢者看護学Ⅰ	1		
		高齢者看護学Ⅱ	2		
	看護学 小児	小児看護学概論	1		
		小児看護学Ⅰ	1		
		小児看護学Ⅱ	1		
		小児看護学演習	1		

授業科目の 区分		授業科目	単位数		備 考
			必修	選択	
専 門 領 域 II	看護学 母性	母性看護学概論	1		
		母性看護学 I	2		
		母性看護学 II	1		
	看護学 精神	精神看護学概論	1		
		精神看護学 I	1		
		精神看護学 II	2		
	看護学 がん	がん看護学 I	1		
		がん看護学 II	1		
	専門 実習	成人看護学実習	4		
		高齢者看護学実習	3		
		小児看護学実習	2		
		母性看護学実習	2		
		精神看護学実習	2		
がん看護学実習		2			
統 合 領 域	看護学 在宅	在宅看護学概論	2		
		在宅看護方法論	2		
	看護学 公衆衛生	公衆衛生看護学概論	2		2単位以上 但し、保健師国家試験受験資格を得るためには、公衆衛生看護学 I・II は必修とする。
		公衆衛生看護学 I		2	
		公衆衛生看護学 II		2	
	看護学 国際	国際看護学	2		6単位以上 但し、保健師国家試験受験資格を得るためには、健康政策論は必修とする。
	看護の 統合と 実践	看護管理学	2		
		看護倫理学	1		
		感染制御学	1		
		死生表象論		1	
		健康政策論		1	
		国際看護学演習		1	
		チーム医療演習		1	
	看護専門分野実践入門		1		
	実 統 合 実 習	在宅看護学実習	2		
統合実習		2			
保 健 師 課 程	保健・医療・福祉行政論		2	保健師課程選択者（保健師国家試験受験資格を得るため）は、13単位の履修を必要とする。	
	公衆衛生看護管理論		2		
	公衆衛生看護活動展開論 I		2		
	公衆衛生看護活動展開論 II		2		
	公衆衛生看護学実習 I		2		
	公衆衛生看護学実習 II		3		
合 計		118	42	卒業所要単位数は、必修118単位、選択8単位以上（保健師課程は除く）、計126単位以上とする。	

## (5) 健康科学部看護学科開設科目単位表

令和5年度以降の入学者に適用

授業科目の 区分	授業科目	単位数			備 考	
		必修	選択	自由		
総合 教育 科目	自然科学	自然科学概論	1		**自由選択 講義、演習を併用する	
		データサイエンス	1			
		データサイエンス実践入門**		2		
		化学	1			
		生物学	1			
		看護のための物理学	1			
	語学	実用英語 I A		1		選択1単位以上
		実用英語 I B		1		
		実用英語 II	1			
		医療英語A		1		選択1単位以上
		医療英語B		1		
		実用英語 III		1		選択1単位以上
		実用英語 IV		1		
		実用医療英語		1		
		ドイツ語入門		1		選択1単位以上
	フランス語入門		1			
	中国語入門		1			
	健康科学	健康科学概論	1			
		コミュニケーション論	1			
		プレゼンテーション論	1			
		人間と生命		1		選択1単位以上 **保健師国家試験受験資格を得るためには必須とする
		千葉県の地域医療		1		
		スポーツ健康科学**		1		
	スポーツ健康科学実技**		1			
	人文科学	心理学	1			
		社会学	1			
		倫理学	1			
教育学			1		選択2単位以上 **保健師国家試験受験資格を得るためには必須とする	
組織論**			1			
経済学			1			
法学（日本国憲法を含む）**			2			
文学			1			
人類学			1			
哲学			1			

授業科目の 区分		授業科目	単位数			備 考
			必修	選択	自由	
専門基礎 教育科目	人間と 健康	人体の構造と機能Ⅰ	2			
		人体の構造と機能Ⅱ	2			
		人体の構造と機能Ⅲ	2			
		生化学	1			
		臨床栄養学	1			
		微生物学	1			
		疾病と治療Ⅰ	2			
		疾病と治療Ⅱ	2			
		疾病と治療Ⅲ	2			
		疾病と治療Ⅳ	2			
		疾病と治療Ⅴ	2			
		薬理学	2			
		薬剤学	1			
		リハビリテーション論	1			
	臨床遺伝学		1		選択1単位以上	
	臨床心理学		1			
	社会と 健康	保健医療福祉行政論	2			
		社会保障制度	2			
		保健統計	1			
		公衆衛生	1			
疫学Ⅰ（基礎編）※			1		選択1単位以上 ※保健師国家試験受験資格を得るためには必須とする	
疫学Ⅱ（応用編）※			1			
健康生活支援論※		1				
政策形成過程論※		1				
専門教育 科目	トラン スレー シヨ ナル 看護 領域	看護学概論	1			
		臨床看護学概論	1			
		看護倫理学	1			
		看護理論・看護展開論	1			
		機能障害のある患者の看護	2			
		周手術期看護・急性重症患者看護	2			
		リスクマネジメント	1			
		看護の基本技術1（療養環境の整備技術）	1			
		看護の基本技術2（ヘルスアセスメント）	1			
		看護の基本技術3（日常生活援助技術）	2			
		看護の基本技術4（診療の補助技術）	2			
		看護の基本技術5（慢性期看護技術）	1			
		看護の基本技術6（急性期看護技術）	1			
		臨床 実習	看護入門実習Ⅰ	1		
	臨床看護学実習Ⅰ		3			
	臨床看護学実習Ⅱ		3			
	臨床看護学実習Ⅲ		2			

授業科目の 区分		授業科目	単位数			備 考
			必修	選択	自由	
専門教育科目	ファミリーヘルス看護領域	基礎科目Ⅰ	発達看護論	1		
			ファミリーヘルス看護論	1		
			援助的人間関係論	1		
		小児看護学	小児看護学概論	1		
			小児看護学方法論	1		
			看護の基本技術7（小児看護技術）	1		
		母性看護学	母性看護学概論	1		
			母性看護学方法論	1		
			看護の基本技術8（母性看護技術）	1		
		精神看護学	精神看護学概論	1		
	精神看護学方法論		1			
	看護の基本技術9（精神看護技術）		1			
	臨地実習	小児看護学実習	2			
		母性看護学実習	2			
		精神看護学実習	2			
	コミュニティヘルス看護領域	基礎科目Ⅱ	コミュニティヘルス看護概論	1		
			コミュニティヘルス看護展開論	1		
		看護学 老年	老年看護学概論	1		
			老年看護学方法論	2		
			看護の基本技術10（老年看護技術）	1		
在宅地域看護・論		地域・在宅看護概論	1			
		地域・在宅看護方法論	1			
		看護の基本技術11（在宅看護技術）	1			
看護学 公衆衛生		公衆衛生看護学概論	1			
		看護の基本技術12（地区診断）	1			
臨地実習	老年看護学実習	3				
	看護入門実習Ⅱ	1				
	在宅看護実習	1				
	コミュニティヘルス看護実習	1				
専門教育科目	プレ・プロフェッショナル看護領域	看護の統合と実践	看護研究入門	1		
			看護研究	2		
			看護の役割と実践の探究	1		
			臨床実践技術の探究	1		
			看護管理論	1		
			エンドオブライフケア	1		
			国際保健論（災害看護論を含む）※		1	
		専門看護への招待		1		
		がん看護		1		
		チーム活動論※		1		
	チーム医療演習		1			
	国際看護		1			
臨地実習	看護実践の探究	2				

授業科目の 区分			授業科目	単位数			備 考
				必修	選択	自由	
専門 教育科目	保健師 専門科目	公衆衛生 看護学	公衆衛生看護学の技術※		2		※保健師国家試験受験資格を得るためには必須とする
			公衆衛生看護学活動論※		2		
			学校保健・産業保健※		1		
			公衆衛生看護管理論※		1		
	実臨 習地	公衆衛生看護学実習Ⅰ※		2			
		公衆衛生看護学実習Ⅱ※		2			
リメディアル 教育科目			生物学入門		1		卒業所要単位に含めない
			化学入門		1		
専門 基盤 科目	初 年 次 教 育		トランスレーショナルへの挑戦Ⅰ	1			
			トランスレーショナルへの挑戦Ⅱ	1			
	ア キ ヤ リ 教 育		トランスレーショナルへの挑戦Ⅲ		1		選択1単位以上
			トランスレーショナルへの挑戦Ⅳ		1		
合計				113	50	0	卒業所要単位数は、必修113単位、選択12単位以上、計125単位以上とする。



科目 区分	授業科目	必修			選択			備 考	
		講義	演習	実習	講義	演習	実習		
総合 教育 科目	自然科学	自然科学概論	1					**自由選択 講義、演習を併用する	
		データサイエンス		1					
		データサイエンス実践入門**					2		
		化学	1						
		生物学	1						
		看護のための物理学	1						
	語学	実用英語ⅠA					1	選択1単位以上	
		実用英語ⅠB					1		
		実用英語Ⅱ		1					
		医療英語A					1	選択1単位以上	
		医療英語B					1		
		実用英語Ⅲ					1	選択1単位以上	
		実用英語Ⅳ					1		
		実用医療英語					1		
		ドイツ語入門					1	選択1単位以上	
		フランス語入門					1		
	中国語入門					1			
	健康科学	健康科学概論	1					選択1単位以上 ※保健師国家試験受験資格を得るためには必須とする	
		コミュニケーション論	1						
		プレゼンテーション論	1						
		人間と生命				1			
		千葉県の地域医療				1			
		スポーツ健康科学※				1			
	スポーツ健康科学実技※					1			
	人文科学	心理学	1						
		社会学	1						
		倫理学	1						
		教育学				1		選択2単位以上 ※保健師国家試験受験資格を得るためには必須とする	
		組織論※				1			
		経済学				1			
		法学（日本国憲法を含む）※				2			
		文学				1			
		人類学				1			
哲学					1				

科目 区分	授業科目	必修			選択			備考	
		講義	演習	実習	講義	演習	実習		
専門 基礎 教育 科目	人間 と 健康	人体の構造と機能Ⅰ	2						
		人体の構造と機能Ⅱ	2						
		人体の構造と機能Ⅲ	2						
		生化学	1						
		臨床栄養学	1						
		微生物学		1					
		疾病と治療Ⅰ	2						
		疾病と治療Ⅱ	2						
		疾病と治療Ⅲ	2						
		疾病と治療Ⅳ	2						
		疾病と治療Ⅴ	2						
		薬理学	2						
		薬剤学	1						
		リハビリテーション論	1						
		臨床遺伝学				1			選択1単位以上
	臨床心理学				1				
	社会 と 健康	保健医療福祉行政論	2						
		社会保障制度	2						
		保健統計	1						
		公衆衛生	1						
疫学Ⅰ(基礎編)※					1			選択1単位以上 ※保健師国家試験受験資格を得るためには必須とする	
疫学Ⅱ(応用編)※					1				
健康生活支援論※					1				
政策形成過程論※				1					
専門 教育 科目	臨床 看護 学	看護学概論	1						
		臨床看護学概論	1						
		看護倫理学	1						
		看護理論・看護展開論		1					
		機能障害のある患者の看護	2						
		周手術期看護・急性重症患者看護	2						
		リスクマネジメント		1					
		看護の基本技術1 (療養環境の整備技術)		1					
		看護の基本技術2 (ヘルスアセスメント)		1					
		看護の基本技術3 (日常生活援助技術)		2					
		看護の基本技術4 (診療の補助技術)		2					
		看護の基本技術5 (慢性期看護技術)		1					
		看護の基本技術6 (急性期看護技術)		1					
		臨床 実習	看護入門実習Ⅰ			1			
			臨床看護学実習Ⅰ			3			
	臨床看護学実習Ⅱ				3				
	臨床看護学実習Ⅲ				2				

科目 区分		授業科目	必修			選択			備考	
			講義	演習	実習	講義	演習	実習		
専 門 教 育 科 目	ファミリーヘルス看護領域	基礎 科目 I	発達看護論	1						
			ファミリーヘルス看護論		1					
			援助の人間関係論	1						
		看護学 小児	小児看護学概論	1						
			小児看護学方法論	1						
			看護の基本技術7 (小児看護技術)		1					
		看護学 母性	母性看護学概論	1						
			母性看護学方法論	1						
			看護の基本技術8 (母性看護技術)		1					
	看護学 精神	精神看護学概論	1							
		精神看護学方法論	1							
		看護の基本技術9 (精神看護技術)		1						
	臨地 実習	小児看護学実習			2					
		母性看護学実習			2					
		精神看護学実習			2					
	コミュニティーヘルス看護領域	科目 II 基礎	コミュニティヘルス看護概論	1						
			コミュニティヘルス看護展開論		1					
		看護学 老年	老年看護学概論	1						
			老年看護学方法論	2						
			看護の基本技術10 (老年看護技術)		1					
		地域・在宅 看護論	地域・在宅看護概論	1						
			地域・在宅看護方法論	1						
			看護の基本技術11 (在宅看護技術)		1					
		生 学 公衆 看護	公衆衛生看護学概論	1						
			看護の基本技術12 (地区診断)		1					
			老年看護学実習			3				
			看護入門実習Ⅱ			1				
	臨地 実習	在宅看護実習			1					
		コミュニティヘルス看護実習			1					
		プレ・プロフェッショナル看護領域	看護研究入門		1					
看護研究				2						
看護の役割と実践の探究			1							
臨床実践技術の探究			1							
看護管理論	1									
エンドオブライフケア	1									
国際保健論 (災害看護論を含む) ※					1					
専門看護への招待					1					
がん看護					1					
チーム活動論※					1					
チーム医療演習						1				
国際看護						1				
臨地実習	看護実践の探究			2						

選択2単位以上  
※保健師国家試験受験資格を得るためには必須とする

科目 区分			授業科目	必修			選択			備 考
				講義	演習	実習	講義	演習	実習	
専門教育科目	保健師専門科目	公衆衛生看護学	公衆衛生看護学の技術※					2		※保健師国家試験受験資格を得るためには必須とする
			公衆衛生看護学活動論※				2			
			学校保健・産業保健※				1			
			公衆衛生看護管理論※				1			
		実習地	公衆衛生看護学実習Ⅰ※						2	
			公衆衛生看護学実習Ⅱ※						2	
リメディアル教育科目			生物学入門				1		卒業所要単位に含めない	
			化学入門				1			
専門基盤科目	初年次教育	トランスレーショナルへの挑戦Ⅰ		1					選択1単位以上	
		トランスレーショナルへの挑戦Ⅱ	1							
	アキヤ教育リ	トランスレーショナルへの挑戦Ⅲ				1				
		トランスレーショナルへの挑戦Ⅳ				1				
小 計			63	27	23	29	17	4	卒業所要単位は、必修113単位、選択12単位以上、計125単位以上とする	
合 計			113			50				

令和3年度以前の入学者に適用

科目 区分	授業科目	必修			選択			備考	
		講義	演習	実習	講義	演習	実習		
教 養 教 育 科 目	自然科学	自然科学概論	1						
		情報科学概論	1						
		化学	1						
		生物学	1						
		看護のための物理学	1						
	語 学	実用英語 I A					1		選択1単位以上
		実用英語 I B					1		
		実用英語 II		1					
		医療英語 I A					1		選択1単位以上
		医療英語 I B					1		
		実用英語 III					1		選択1単位以上
		実用英語 IV					1		
		医療英語 II					1		
		実用医療英語					1		
		ドイツ語入門					1		選択1単位以上
	フランス語入門					1			
	中国語入門					1			
	健康 科学	健康科学概論	1						
		コミュニケーション論	1						
		プレゼンテーション論	1						
		スポーツ健康科学※				1			選択1単位以上 ※保健師国家試験受験資格を得るためには必須とする
		スポーツ健康科学実技※					1		
	人 文 科 学	心理学	1						
		教育学	1						
		組織論※				1			選択2単位以上 ※保健師国家試験受験資格を得るためには必須とする
		経済学				1			
		社会学				1			
法学(日本国憲法を含む)※					2				
文学					1			選択2単位以上	
人類学					1				
哲学				1					
倫理学				1					
専 門 基 礎 教 育 科 目	人 間 と 健 康	人体の構造と機能 I	2						
		人体の構造と機能 II	2						
		人体の構造と機能 III	2						
		生化学	1						
		臨床栄養学	1						
		微生物学		1					
		疾病と治療 I	2						
		疾病と治療 II	2						

科目 区分		授業科目	必修			選択			備 考	
			講義	演習	実習	講義	演習	実習		
専門 基礎 教育 科目	人間 と 健康	疾病と治療Ⅲ	2							
		疾病と治療Ⅳ	2							
		疾病と治療Ⅴ	1							
		薬理学	2							
		薬剤学	1							
		リハビリテーション論	1							
		臨床遺伝学				1				選択1単位以上
		臨床心理学				1				
	社会 と 健康	保健医療福祉行政論	2							
		社会保障制度	2							
		研究方法の基礎	1							
		保健統計と情報処理	1							
		疫学と公衆衛生	2							
		健康生活支援論※ 政策形成過程論※					1 1			選択1位以上 ※保健師国家試験受験資格を得るためには必須とする
専門 教育 科目	トランス レー シ ョ ナ ル 看護 領域	臨床 看護 学	看護学概論	1						
			臨床看護学概論	1						
			看護倫理学	1						
			看護理論	1						
			トランスレーショナルへの挑戦	1						
			看護展開論		1					
			機能障害のある患者の看護	2						
			周手術期看護・急性重症患者看護	2						
			がん看護・緩和ケア	1						
			感染看護	1						
			臨床 看護 学	看護の基本技術Ⅰ		1				
	看護の基本技術Ⅱ			2						
	看護の基本技術Ⅲ			2						
	看護の基本技術Ⅳ			1						
	臨床 実 習	看護入門実習Ⅱ			1					
		看護実践の基礎			2					
		臨床実践Ⅰ			2					
		臨床実践Ⅱ			2					
		臨床実践Ⅲ			2					
	ファミ リー ヘル ス 看護 領域	基 盤 科 目 Ⅰ	発達看護論	1						
			ファミリーヘルス看護論		1					
			援助的人間関係論	1						
	小児 看護 学	小児看護学概論	1							
小児看護学方法論		1								
看護の基本技術Ⅴ			1							

科目 区分		授業科目	必修			選択			備考	
			講義	演習	実習	講義	演習	実習		
専 門 教 育 科 目	ファミリーヘルス看護領域	看護学 母性	母性看護学概論	1						
			母性看護学方法論	1						
			看護の基本技術VI		1					
		看護学 精神	精神看護学概論	1						
			精神看護学方法論	2						
			小児看護学実習			2				
		臨地実習	母性看護学実習			2				
			精神看護学実習			2				
	コミュニティヘルス看護領域	基盤科目II	コミュニティヘルス看護概論	1						
			コミュニティヘルス看護展開論		1					
			国際保健論（災害看護論を含む）	1						
			ターミナルケア	1						
		看護学 老年	老年看護学概論	1						
			看護の基本技術VII		2					
		看護学 在宅	在宅看護概論	1						
			看護の基本技術VIII		1					
		生公衆衛 学看護	公衆衛生看護学概論	1						
			看護の基本技術IX		1					
		臨地実習	老年看護学実習I			2				
			老年看護学実習II			1				
			老年看護学実習III			1				
			看護入門実習I			1				
			在宅看護実習			1				
	コミュニティヘルス看護実習				1					
	プレ・プロフェッショナル看護領域	看護の統合と実践	看護研究入門	1						
			看護研究		2					
看護の役割と実践の探究			1							
臨床実践技術の探究				1						
看護安全論※						1			選択3単位以上 ※保健師国家試験受験資格を得るためには必須とする	
看護管理論※						1				
看護哲学						1				
チーム活動論※					1					
実習 臨地		チーム医療演習					1			
		看護実践の探究			2					
保健師専門科目	看護学 公衆衛生	公衆衛生看護学の技術※					1	選択9単位 ※保健師国家試験受験資格を得るためには必須とする		
		公衆衛生看護学活動論※				2				
		学校保健・産業保健※				1				
		公衆衛生看護管理論※				1				
	実習 臨地	公衆衛生看護学実習I※							2	
公衆衛生看護学実習II※							2			

科目 区分	授業科目	必修			選択			備 考
		講義	演習	実習	講義	演習	実習	
自由 科目	生物学入門				1			卒業所要単位に含めない
	化学入門				1			
	文章表現入門				1			
	千葉県の地域医療				1			
	倫理ことはじめ				1			
	小 計	67	20	24	27	14	4	卒業所要単位は、必修111単位、選択14単位以上、計125単位以上とする
	合 計	111			45			



別表3（第45条関係）

教員養成課程開設授業科目並びに単位表（1）

理学部生物学科、同化学科、同物理学科、同生物分子科学科、同生命圏環境科学科

授業科目	単位数		備考
	必修	選択	
理科教育法Ⅰ		2	1科目以上を選択必修とする
理科教育法Ⅱ		2	
理科教育法Ⅲ		2	
理科指導法Ⅰ		2	1科目以上を選択必修とする
理科指導法Ⅱ		2	
理科指導法Ⅲ		2	
理科実験指導法	2		
理科授業論	2		
理科教育演習Ⅰ		1	
理科教育演習Ⅱ		1	
理科教育演習Ⅲ		1	
教育原理	2		
教育学概説		2	
教職論	1		
教育社会学		2	いずれか1科目選択必修
教育制度論		2	
教育法規		2	
教育心理学	2		
教育心理学特論		2	
特別支援教育概論	2		
教育課程総論	1		
道徳教育論	2		中学免許取得希望者のみ必修
総合的な学習の時間の指導法	1		
特別活動論	1		
教育方法とICT活用	2		
生徒・進路指導論	2		
教育相談	2		
人間関係論		2	
教育実習Ⅰ	1		(事前事後指導含む)
教育実習Ⅱ		2	(高校免許用)
教育実習Ⅲ		4	(中学・高校免許用)
教職実践演習	2		いずれか1科目選択必修
介護等体験	1		
総合演習Ⅰ		1	1科目以上を選択必修とする
総合演習Ⅱ		1	
総合演習Ⅲ		1	
総合演習Ⅳ		1	
総合演習Ⅴ		1	
総合演習Ⅵ		1	
総合演習Ⅶ		1	
総合演習Ⅷ		1	
教職体験		1	

授業科目	単位数		備考
	必修	選択	
学校インターンシップ		2	
教職特別問題研究 I		4	免許申請科目外とする
教職特別問題研究 II		4	免許申請科目外とする

教員養成課程開設授業科目並びに単位表 (2)

理学部情報科学科

授業科目	単位数		備考
	必修	選択	
数学教育概論	2		数学免許取得希望者のみ必修
数学科指導法	2		数学免許取得希望者のみ必修
数学科教育法	2		数学免許取得希望者のみ必修
数学科授業論	2		数学免許取得希望者のみ必修
数学教育演習Ⅰ		1	
数学教育演習Ⅱ		1	
数学教育演習Ⅲ		1	
情報科教育法	2		情報免許取得希望者のみ必修
情報科授業論	2		情報免許取得希望者のみ必修
教育原理	2		
教育学概説		2	
教職論	1		
教育社会学		2	} いずれか1科目選択必修
教育制度論		2	
教育法規		2	
教育心理学	2		
教育心理学特論		2	
特別支援教育概論	2		
教育課程総論	1		
道徳教育論	2		中学免許取得希望者のみ必修
総合的な学習の時間の指導法	1		
特別活動論	1		
教育方法とICT活用	2		
生徒・進路指導論	2		
教育相談	2		
人間関係論		2	
教育実習Ⅰ	1		(事前事後指導含む)
教育実習Ⅱ		2	(高校免許用)
教育実習Ⅲ		4	(中学・高校免許用)
教職実践演習	2		} いずれか1科目選択必修
介護等体験	1		
総合演習Ⅰ		1	} 1科目以上を選択必修とする
総合演習Ⅱ		1	
総合演習Ⅲ		1	
総合演習Ⅳ		1	
総合演習Ⅴ		1	
総合演習Ⅵ		1	
総合演習Ⅶ		1	
総合演習Ⅷ		1	
教職体験		1	
学校インターンシップ		2	
教職特別問題研究Ⅰ		4	免許申請科目外とする
教職特別問題研究Ⅱ		4	免許申請科目外とする

別表 4 (第 49 条関係)

(単位円)

学部	入学金	授業料		教育充実費		施設設備費	
		春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期
医学部	1,500,000	2,500,000		(900,000) 500,000		(800,000) 300,000	
薬学部	400,000	(670,000) 560,000	(670,000) 560,000	(355,000) 355,000	(355,000) 355,000		
理学部	250,000	531,000	531,000	(250,000) 160,000	(250,000) 160,000		
看護学部	500,000	550,000	550,000	(150,000) 150,000	(150,000) 150,000	(250,000) 250,000	(250,000) 250,000
健康科学部	300,000	475,000	475,000	(400,000) 150,000	(400,000) 350,000		

- 備考 1 医学部の在学中の授業料は、初年度と同額とする。
- 2 薬学部の在学中の授業料の括弧書きは、2年次以降の納付額を示す。
- 3 教育充実費及び施設設備費欄の括弧書きは、2年次以降の年間納付額（薬学部・理学部・看護学部・健康科学部は春学期・秋学期の納付額）を示す。
- 4 教育充実費については、入学試験の総合成績の優秀なものについては全額または一部を免除することがある。ただし、初年度分に限りこれを適用する。

## 変更事項を記載した書類

### 1. 変更の事由

医学部の地域枠臨時定員増について、「経済財政改革の基本方針 2009」及び「新成長戦略」に基づく「平成 22 年度から平成 31 年度までの医学部定員の暫定増の取扱い」が出されたため、千葉県と協議し平成 27 年度より平成 31 年度（令和元年度）まで臨時定員 5 名の申請を行った。令和 2 年度及び令和 3 年度について、文部科学省より 2 年間の暫定的増員申請を認める方針が出されたため、千葉県と協議し 2 年間の臨時定員 5 名の申請を行った。令和 4 年度について、文部科学省より単年度の「暫定的な医学部入学定員の取扱い」が出されたため、千葉県と協議し臨時定員 5 名の申請に加え、新たに医師偏在指標全国順位 47 位の新潟県から打診を受け協議し臨時定員 5 名の申請を行った。令和 5 年度について、文部科学省より再び単年度の単年度の増員申請を認める方針が出されたため、千葉県と協議し臨時定員 5 名、新潟県と協議し臨時定員 7 名の申請を行った。

令和 6 年度の取扱いについては、この度、文部科学省より再度の増員申請を認める方針が出されたため、実績に基づき協議した結果、千葉県枠として 5 名、新潟県枠として 8 名の臨時定員を申請する。

千葉県及び新潟県の医師修学資金制度を活用し、地域医療等に従事する明確な意思を持った学生の選抜枠を設定し医師定着を図ることを目的としている。

### 2. 変更点

#### (1) 附則

臨時定員の増加が恒久定員の増加と誤認さないよう、本則には恒久定員を記載し、臨時定員を含めた収容定員については附則に記載するため改正するものである。

東邦大学学則の変更部分の新旧対照表

改正後			現 行		
《 略 》			《 略 》		
(学生定員)			(学生定員)		
第5条 本学の学生定員は、次のとおりとする。			第5条 本学の学生定員は、次のとおりとする。		
(学部・学科)	(入学定員)	(収容定員)	(学部・学科)	(入学定員)	(収容定員)
医学部			医学部		
医学科	110	660	医学科	110	660
(計)	(110)	(660)	(計)	(110)	(660)
薬学部			薬学部		
薬学科	245	1,470	薬学科	220	1,320
(計)	(245)	(1,470)	(計)	(220)	(1,320)
理学部			理学部		
生物学科	80	320	生物学科	80	320
化学科	80	320	化学科	80	320
生物分子科学科	80	320	生物分子科学科	80	320
物理学科	70	280	物理学科	70	280
情報科学科	100	400	情報科学科	100	400
生命圏環境科学科	60	240	生命圏環境科学科	60	240
(計)	(470)	(1,880)	(計)	(470)	(1,880)
看護学部			看護学部		
看護学科	102	408	看護学科	102	408
(計)	(102)	(408)	(計)	(102)	(408)
健康科学部			健康科学部		
看護学科	60	240	看護学科	60	240
(計)	(60)	(60)	(計)	(60)	(240)
(総計)	(987)	(4,478)	(総計)	(962)	(4,508)
《 略 》			《 略 》		
附 則			附 則		
この学則は、昭和48年4月1日から施行する。			この学則は、昭和48年4月1日から施行する。		
《 略 》			《 略 》		

改正後		現 行																																																																																																																	
<p>附 則</p> <p>1 この学則は、一部改正（学則の形式的・実質的な改正並びに、理学部、看護学部及び健康科学部の授業科目に係る変更に伴う改正を含む）のうえ令和4年4月1日から施行する。</p> <p>2 この学則は、一部改正（医学部の地域枠臨時定員増の申請）のうえ、令和4年4月1日から施行する。</p> <p>3 第5条の規定にかかわらず、令和4年度から同9年度での医学部入学定員並びに収容定員は次表に掲げるとおりとする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">令和・年度 学部・定員</th> <th>4</th> <th>5</th> <th>6</th> <th>7</th> <th>8</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">医学部</td> <td>入学定員</td> <td>120</td> <td>110</td> <td>110</td> <td>110</td> <td>110</td> </tr> <tr> <td>収容定員</td> <td>695</td> <td>690</td> <td>685</td> <td>680</td> <td>675</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">令和・年度 学部・定員</th> <th>9</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">医学部</td> <td>入学定員</td> <td>110</td> </tr> <tr> <td>収容定員</td> <td>670</td> </tr> </tbody> </table> <p>4 この学則は、一部改正（全学部の授業科目及び単位表に係る改正）のうえ令和4年4月1日から施行する。</p> <p>附 則</p> <p>1 この学則は、一部改正（健康科学部授業料等の学費の改定に係る改正）のうえ、令和5年4月1日から施行する。</p> <p>但し、健康科学部令和5年度以前の入学者の授業料の納付額については、なお従前の例による。</p> <p>2 この学則は、一部改正（医学部の地域枠臨時定員増の申請）のうえ、令和5年4月1日から施行する。</p> <p>3 第5条の規定にかかわらず、令和5年度から同10年度での医学部入学定員並びに収容定員は次表に掲げるとおりとする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">令和・年度 学部・定員</th> <th>5</th> <th>6</th> <th>7</th> <th>8</th> <th>9</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">医学部</td> <td>入学定員</td> <td>122</td> <td>110</td> <td>110</td> <td>110</td> <td>110</td> </tr> <tr> <td>収容定員</td> <td>702</td> <td>697</td> <td>692</td> <td>687</td> <td>682</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">令和・年度 学部・定員</th> <th>10</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">医学部</td> <td>入学定員</td> <td>110</td> </tr> <tr> <td>収容定員</td> <td>672</td> </tr> </tbody> </table> <p>4 この学則は、一部改正（医学部の人材養成ならびに教育研究上の目的に係る改正、別表2（第35</p>		令和・年度 学部・定員		4	5	6	7	8	医学部	入学定員	120	110	110	110	110	収容定員	695	690	685	680	675	令和・年度 学部・定員		9	医学部	入学定員	110	収容定員	670	令和・年度 学部・定員		5	6	7	8	9	医学部	入学定員	122	110	110	110	110	収容定員	702	697	692	687	682	令和・年度 学部・定員		10	医学部	入学定員	110	収容定員	672	<p>附 則</p> <p>1 この学則は、一部改正（学則の形式的・実質的な改正並びに、理学部、看護学部及び健康科学部の授業科目に係る変更に伴う改正を含む）のうえ令和4年4月1日から施行する。</p> <p>2 この学則は、一部改正（医学部の地域枠臨時定員増の申請）のうえ、令和4年4月1日から施行する。</p> <p>3 第5条の規定にかかわらず、令和4年度から同9年度での医学部入学定員並びに収容定員は次表に掲げるとおりとする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">令和・年度 学部・定員</th> <th>4</th> <th>5</th> <th>6</th> <th>7</th> <th>8</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">医学部</td> <td>入学定員</td> <td>120</td> <td>110</td> <td>110</td> <td>110</td> <td>110</td> </tr> <tr> <td>収容定員</td> <td>695</td> <td>690</td> <td>685</td> <td>680</td> <td>675</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">令和・年度 学部・定員</th> <th>9</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">医学部</td> <td>入学定員</td> <td>110</td> </tr> <tr> <td>収容定員</td> <td>670</td> </tr> </tbody> </table> <p>4 この学則は、一部改正（全学部の授業科目及び単位表に係る改正）のうえ令和4年4月1日から施行する。</p> <p>附 則</p> <p>1 この学則は、一部改正（健康科学部授業料等の学費の改定に係る改正）のうえ、令和5年4月1日から施行する。</p> <p>但し、健康科学部令和5年度以前の入学者の授業料の納付額については、なお従前の例による。</p> <p>2 この学則は、一部改正（医学部の地域枠臨時定員増の申請）のうえ、令和5年4月1日から施行する。</p> <p>3 第5条の規定にかかわらず、令和5年度から同10年度での医学部入学定員並びに収容定員は次表に掲げるとおりとする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">令和・年度 学部・定員</th> <th>5</th> <th>6</th> <th>7</th> <th>8</th> <th>9</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">医学部</td> <td>入学定員</td> <td>122</td> <td>110</td> <td>110</td> <td>110</td> <td>110</td> </tr> <tr> <td>収容定員</td> <td>702</td> <td>697</td> <td>692</td> <td>687</td> <td>682</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">令和・年度 学部・定員</th> <th>10</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">医学部</td> <td>入学定員</td> <td>110</td> </tr> <tr> <td>収容定員</td> <td>672</td> </tr> </tbody> </table> <p>4 この学則は、一部改正（医学部の人材養成ならびに教育研究上の目的に係る改正、別表2（第35</p>		令和・年度 学部・定員		4	5	6	7	8	医学部	入学定員	120	110	110	110	110	収容定員	695	690	685	680	675	令和・年度 学部・定員		9	医学部	入学定員	110	収容定員	670	令和・年度 学部・定員		5	6	7	8	9	医学部	入学定員	122	110	110	110	110	収容定員	702	697	692	687	682	令和・年度 学部・定員		10	医学部	入学定員	110	収容定員	672
令和・年度 学部・定員		4	5	6	7	8																																																																																																													
医学部	入学定員	120	110	110	110	110																																																																																																													
	収容定員	695	690	685	680	675																																																																																																													
令和・年度 学部・定員		9																																																																																																																	
医学部	入学定員	110																																																																																																																	
	収容定員	670																																																																																																																	
令和・年度 学部・定員		5	6	7	8	9																																																																																																													
医学部	入学定員	122	110	110	110	110																																																																																																													
	収容定員	702	697	692	687	682																																																																																																													
令和・年度 学部・定員		10																																																																																																																	
医学部	入学定員	110																																																																																																																	
	収容定員	672																																																																																																																	
令和・年度 学部・定員		4	5	6	7	8																																																																																																													
医学部	入学定員	120	110	110	110	110																																																																																																													
	収容定員	695	690	685	680	675																																																																																																													
令和・年度 学部・定員		9																																																																																																																	
医学部	入学定員	110																																																																																																																	
	収容定員	670																																																																																																																	
令和・年度 学部・定員		5	6	7	8	9																																																																																																													
医学部	入学定員	122	110	110	110	110																																																																																																													
	収容定員	702	697	692	687	682																																																																																																													
令和・年度 学部・定員		10																																																																																																																	
医学部	入学定員	110																																																																																																																	
	収容定員	672																																																																																																																	

改正後						現 行																																													
<p>条関係) の体裁統一にかかる改正、医学部ならびに理学部のカリキュラムに係る改正、別表3 (第45条関係) 教員養成課程のカリキュラムに係る改正) のうえ、令和5年4月1日から施行する。</p> <p>附 則</p> <p>1 この学則は、一部改正 (薬学部の入学生定員・収容定員の増員) のうえ、令和6年4月1日から施行する。</p> <p>2 第5条の規定に関わらず、令和6年度から同11年度での薬学部入学生定員並びに収容定員は次表に掲げるとおりとする。</p>						<p>係) の体裁統一にかかる改正、医学部ならびに理学部のカリキュラムに係る改正、別表3 (第45条関係) 教員養成課程のカリキュラムに係る改正) のうえ、令和5年4月1日から施行する。</p> <p>附 則</p> <p>1 この学則は、一部改正 (薬学部の入学生定員・収容定員の増員) のうえ、令和6年4月1日から施行する。</p> <p>2 第5条の規定に関わらず、令和6年度から同11年度での薬学部入学生定員並びに収容定員は次表に掲げるとおりとする。</p>																																													
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">令和・年度 学部・定員</th> <th>6</th> <th>7</th> <th>8</th> <th>9</th> <th>10</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">薬学部</td> <td>入学生定員</td> <td>245</td> <td>245</td> <td>245</td> <td>245</td> <td>245</td> </tr> <tr> <td>収容定員</td> <td>1,345</td> <td>1,370</td> <td>1,395</td> <td>1,420</td> <td>1,445</td> </tr> </tbody> </table>						令和・年度 学部・定員		6	7	8	9	10	薬学部	入学生定員	245	245	245	245	245	収容定員	1,345	1,370	1,395	1,420	1,445	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">令和・年度 学部・定員</th> <th>6</th> <th>7</th> <th>8</th> <th>9</th> <th>10</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">薬学部</td> <td>入学生定員</td> <td>245</td> <td>245</td> <td>245</td> <td>245</td> <td>245</td> </tr> <tr> <td>収容定員</td> <td>1,345</td> <td>1,370</td> <td>1,395</td> <td>1,420</td> <td>1,445</td> </tr> </tbody> </table>						令和・年度 学部・定員		6	7	8	9	10	薬学部	入学生定員	245	245	245	245	245	収容定員	1,345	1,370	1,395	1,420	1,445
令和・年度 学部・定員		6	7	8	9	10																																													
薬学部	入学生定員	245	245	245	245	245																																													
	収容定員	1,345	1,370	1,395	1,420	1,445																																													
令和・年度 学部・定員		6	7	8	9	10																																													
薬学部	入学生定員	245	245	245	245	245																																													
	収容定員	1,345	1,370	1,395	1,420	1,445																																													
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">令和・年度 学部・定員</th> <th>11</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">薬学部</td> <td>入学生定員</td> <td>245</td> </tr> <tr> <td>収容定員</td> <td>1,470</td> </tr> </tbody> </table>						令和・年度 学部・定員		11	薬学部	入学生定員	245	収容定員	1,470	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">令和・年度 学部・定員</th> <th>11</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">薬学部</td> <td>入学生定員</td> <td>245</td> </tr> <tr> <td>収容定員</td> <td>1,470</td> </tr> </tbody> </table>						令和・年度 学部・定員		11	薬学部	入学生定員	245	収容定員	1,470																								
令和・年度 学部・定員		11																																																	
薬学部	入学生定員	245																																																	
	収容定員	1,470																																																	
令和・年度 学部・定員		11																																																	
薬学部	入学生定員	245																																																	
	収容定員	1,470																																																	
<p><b>3 この学則は、一部改正(医学部の地域枠臨時定員増の申請及び医学部の授業科目に係る変更に伴う改正を含む)のうえ、令和6年4月1日から施行する。</b></p> <p><b>4 第5条の規定に関わらず、令和6年度から同11年度での医学部入学生定員並びに収容定員は次表に掲げるとおりとする。</b></p>						<p><b>《 追記 》</b></p>																																													
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">令和・年度 学部・定員</th> <th>6</th> <th>7</th> <th>8</th> <th>9</th> <th>10</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">医学部</td> <td>入学生定員</td> <td>123</td> <td>110</td> <td>110</td> <td>110</td> <td>110</td> </tr> <tr> <td>収容定員</td> <td>710</td> <td>705</td> <td>700</td> <td>695</td> <td>685</td> </tr> </tbody> </table>						令和・年度 学部・定員		6	7	8	9	10	医学部	入学生定員	123	110	110	110	110	収容定員	710	705	700	695	685																										
令和・年度 学部・定員		6	7	8	9	10																																													
医学部	入学生定員	123	110	110	110	110																																													
	収容定員	710	705	700	695	685																																													
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">令和・年度 学部・定員</th> <th>11</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">医学部</td> <td>入学生定員</td> <td>110</td> </tr> <tr> <td>収容定員</td> <td>673</td> </tr> </tbody> </table>						令和・年度 学部・定員		11	医学部	入学生定員	110	収容定員	673																																						
令和・年度 学部・定員		11																																																	
医学部	入学生定員	110																																																	
	収容定員	673																																																	



改正後

現行

別表2 (第35条関係)

(1) 医学部医学科開設科目単位表

**令和6年度以降の入学者に適用**

領域名	サブ領域	ユニット	単位数			備考
			必修	選択	自由	
人文・社会学	人文・社会学①	心理学	4			
		倫理学				
	人文・社会学②	社会学				
		法学				
	選択人文・社会学	選択人文・社会学Ⅰ <sup>1)</sup>	1			
		選択人文・社会学Ⅱ <sup>1)</sup>	1			
		選択人文・社会学Ⅲ <sup>1)</sup>	1			
		選択人文・社会学Ⅳ <sup>1)</sup>	1			
	選択芸術	選択芸術Ⅰ <sup>1)</sup>	1			
		選択芸術Ⅱ <sup>1)</sup>	1			
医学教養	選択医学教養	医学教養Ⅰ <sup>1)</sup>	1			
		医学教養Ⅱ <sup>1)</sup>	1			
		医学教養Ⅲ <sup>1)</sup>	1			
		医学教養Ⅳ <sup>1)</sup>	1			
		医学教養Ⅴ <sup>1)</sup>	1			
		医学教養Ⅵ <sup>1)</sup>	1			
		医学教養Ⅶ <sup>1)</sup>	1			
		医学教養Ⅷ <sup>1)</sup>	1			
	選択短期集中講座	学生テュータ養成講座 <sup>1)</sup>	1			
		選択短期集中講座 実用医療英語 <sup>1)</sup>	1			
		チーム医療演習 <sup>1)</sup>	1			
	選択地域医療	地域医療学Ⅰ <sup>1)2)</sup>	1			
		地域医療学Ⅱ <sup>1)2)</sup>	1			
		地域医療学Ⅲ <sup>1)2)</sup>	1			
地域医療学(千葉)Ⅰ <sup>1)2)</sup>		2				
地域医療学(千葉)Ⅱ <sup>1)2)</sup>		2				
地域医療学(千葉)Ⅲ <sup>1)2)</sup>		2				
全学共通教養	全学共通選択科目	リベラルアーツセミナー <sup>1)</sup>	2			
		リベラルアーツフォーラム <sup>1)</sup>	1			

別表2 (第35条関係)

(1) 医学部医学科開設科目単位表

**《新規》**

--	--	--	--	--	--	--

改正後					現行				
外国語科目	英語1	英語1	英語総合	4					
	英語2	英語2	基礎医学英語	2					
	英語3	英語3	臨床医学英語Ⅰ	2					
	英語4	英語4	臨床医学英語Ⅱ	1					
	英語	選択英語コミュニケーション	英会話 <sup>1)</sup>		1				1) 選択人文・社会学、 選択芸術、選択医学教 養、選択短期集中講 座、選択地域医療、全 学共通選択科目、選択 英語コミュニケーション、 英語単位認定科目、 選択初修外国語、選 択自然・環境科学か ら、1~4年次で合計 12単位以上取得
			Listening Skills <sup>1)</sup>		1				
			Cross Cultural Communication <sup>1)</sup>		1				
			検英会話 <sup>1)</sup>		1				
			Writing <sup>1)</sup>		1				
			Advanced Writing <sup>1)</sup>		1				
			TOEFL講座 <sup>1)</sup>		1				
	選択英語単位認定科目	海外集中英語コース <sup>1)</sup>		1					
英語検定1)			1						
初修外国語	選択初修外国語	フランス語Ⅰ <sup>1)</sup>		2					
		フランス語Ⅱ <sup>1)</sup>		1					
		ドイツ語Ⅰ <sup>1)</sup>		2					
		ドイツ語Ⅱ <sup>1)</sup>		1					
		中国語Ⅰ <sup>1)</sup>		2					
		中国語Ⅱ <sup>1)</sup>		1					
		韓国語Ⅰ <sup>1)</sup>		2					
韓国語Ⅱ <sup>1)</sup>		1							
医学準備・基礎医学統合科目	医用理工学1	医用理工学1-①	データサイエンス	5					
		医用理工学1-②	数値情報学Ⅰ 医科物理学Ⅰ						
		医用理工学1-③	数値情報学Ⅱ 医科物理学Ⅱ						
医用理工学2	医用理工学2	基礎放射線	1						
生体物質の科学	生体物質の科学①	生体無機化学	4						
		生体有機化学Ⅰ							
		遺伝生化学Ⅰ							
生体物質の科学②	生体有機化学Ⅱ								
	代謝生化学Ⅰ								
生体物質の科学③	代謝生化学Ⅱ								
	遺伝生化学Ⅱ								

改正後				現行			
医学準備・基礎医学統合科目	生体の構造1	生体の構造1-①	生体の構造概論 組織学概論	4			
		生体の構造1-②	運動器・末梢神経系 呼吸・循環器系				
		生体の構造1-③	消化器系 内分泌・泌尿生殖器系				
	生体の構造1実習	生体の構造1実習Ⅰ	2				
		生体の構造1実習Ⅱ					
	生体の構造1実習Ⅲ						
生体の構造2	生体の構造2	局所解剖学 感覚器・中枢神経系	2				
	生体の構造2実習	生体の構造2実習Ⅰ 生体の構造2実習Ⅱ	5				
医学準備・基礎医学統合科目	生体の機能1	生体の機能1-①	細胞生理 神経筋	4			
		生体の機能1-②	血液・リンパ 呼吸・循環				
		生体の機能1-③	胃・尿路 消化・吸収 内分泌・生殖				
	生体の機能2	生体の機能2	感覚機能 運動機能 高次中枢・自律機能	2			
		病態の科学①	微生物・感染症学 免疫学	7			
病態の科学②	病態の科学概論 薬理学 病理学						
病態の科学実習	病態の科学実習Ⅰ	3					
	病態の科学実習Ⅱ						
	病態の科学実習Ⅲ						

改正後

現行

医学準備・基礎医学統合科目	統合型基礎医学実習1	基礎準備実習	基礎準備実習	1				
		基礎統合実習1	基礎統合実習1	2				
	統合型基礎医学実習2	基礎統合実習2	基礎統合実習2	1				
	自然・環境科学	選択自然・環境科学	選択化学Ⅰ <sup>1)</sup>		1			1)選択人文・社会学、 選択芸術、選択医学教 養、選択短期集中講 座、選択地域医療、全 学共通選択科目、選択 英語コミュニケーション、 英語単位認定科 目、選択初修外国語、 選択自然・環境科学か ら、1~4年次で合計 12単位以上取得
			選択化学Ⅱ <sup>1)</sup>		1			
			選択生物Ⅰ <sup>1)</sup>		1			
			選択生物Ⅱ <sup>1)</sup>		1			
選択環境科学Ⅰ <sup>1)</sup>				1				
選択環境科学Ⅱ <sup>1)</sup>		1						
選択物理 <sup>1)</sup>		1						
選択数学Ⅰ <sup>1)</sup>		1						
選択数学Ⅱ <sup>1)</sup>		1						
臨床医学科目	臨床医学入門	医学総論	臨床検査・ 生理機能検査演習	3				
			医学総論		内科総論 外科総論			
	臨床医学1	臨床医学1	循環器系	3				
			胃腸・電解質系					
	臨床医学2	臨床医学2	呼吸器系	4				
			膠原病・アレルギー病学					
			感染症学					
	臨床医学3	臨床医学3	血液病学	3				
			脳・神経系					
	臨床医学4	臨床医学4	消化器系	4				
			代謝・内分泌系					
			臨床栄養学					
	臨床医学5	臨床医学5	産科婦人科学	3				
			泌尿器科学					
臨床医学6	臨床医学6	眼科学	2					
		耳鼻・咽喉・口腔外科学						

改正後					現行				
臨床医学科目	臨床医学7	臨床医学7	整形外科学	2					
			皮膚・形成外科学						
	臨床医学8	臨床医学8	中毒・救急医学	2					
			麻酔・集中治療学						
	臨床医学9	臨床医学9	精神神経医学	2					
			心身医学						
	臨床医学10	臨床医学10	小児科学	3					
	臨床医学11	臨床医学11	放射線医学	2					
			臨床遺伝学						
			移植・再生医療						
	臨床医学12	臨床医学12	腫瘍学	2					
			緩和医療学						
			リハビリテーション医学						
	臨床医学13	臨床医学13	総合医療系	2				総合医療系には地域医療必修分を含む	
			医療安全						
	臨床医学14	臨床医学14	臨床実習入門	4					
			臨床検査・生理機能検査実習						
			シミュレーション実習						
			EBM						
臨床医学15	臨床医学15	統合型臨床演習	1						
臨床医学16	臨床医学16	統合型臨床医学演習	2						
行動科学1	行動科学1	行動科学1	1						
行動科学2	行動科学2	行動科学2	1						
臨床病理学	臨床病理学	臨床病理学	3						
診断学実習	診断学実習	診断学実習	2						
臨床実習	臨床実習1	診療参加型臨床実習1	12						
	臨床実習2	診療参加型臨床実習2	36						
	臨床実習3	選択診療参加型臨床実習 <sup>3)</sup>	12				3) 選択必修科目		
社会医学科目	社会医学1	社会医学1-①	4						
		公衆衛生学/医療政策・経営科学							
		社会医学1-②	法医学						
	社会医学2	社会医学実習	統合型社会医学実習	1					
社会医学3	社会医学演習	統合型社会医学演習	2						

改正後							現行						
キャリア教育科目	全人的医療人教育1	全人的医療人教育1	レディネス 倫理 コミュニケーション プロフェッショナリズム	4									
	全人的医療人教育2	全人的医療人教育2	倫理 コミュニケーション プロフェッショナリズム	3									
	全人的医療人教育3	全人的医療人教育3	倫理 コミュニケーション プロフェッショナリズム	2									
キャリア教育科目	全人的医療人教育4	全人的医療人教育4	倫理 コミュニケーション プロフェッショナリズム	1									
	全人的医療人教育5	全人的医療人教育5	倫理 プロフェッショナリズム	1									
	全人的医療人教育6	全人的医療人教育6	倫理 プロフェッショナリズム	1									
	課題解決学習1	課題解決学習基礎編1	PBLテュートリアルⅠ	1									
	課題解決学習2	課題解決学習基礎編2	PBLテュートリアルⅡ	1									
	課題解決学習3	課題解決学習臨床編	臨床推論	4									
	医学研究	先端医学	医学論文 <sup>4)</sup>	10						4)6年間で論文作成は必修			
			先端医学演習 <sup>5)</sup>							5) 自由選択科目15時間1単位と換算。 ※年間6単位を上限として付与			
			先端医学実習 <sup>6)</sup>							6) 自由選択科目30時間1単位と換算。 ※年間6単位を上限として付与			
合計				202	60	0			卒業所要単位数は、必修202単位、選択12単位以上、計214単位以上とする。				
<b>令和5年度の入学者に適用</b>							<b>令和5年度以降の入学者に適用</b>						
領域名	サブ領域	ユニット	単位数			備考	領域名	サブ領域	ユニット	単位数			備考
			必修	選択	自由					必修	選択	自由	
《 略 》							《 略 》						
《 以下省略 》							《 以下省略 》						

## 学則の変更の趣旨等を記載した書類

### ア 学則変更（収容定員変更）の内容

東邦大学（以下、「本学」という。）は、「令和6年度の医学部臨時定員の暫定的な維持について（令和4年11月4日付け4文科高第1152号・医政発1104第34号）」を踏まえ、地域の医師確保等に対応するため、令和6年度の医学部入学定員の増加等を取り扱うことが決定したことから、本学医学部においても実績に基づき千葉県地域枠5名、新潟県地域枠8名の計13名の臨時定員（入学定員）を増員することとし、学則を変更する。

令和6年度における医学部医学科の入学定員を現行の110名から13名増員して123名とし、収容定員を710名とする。収容定員変更の内容及び内訳は、以下のとおりである（表1）。

表1. 収容定員変更の概要

学部	学科	令和5年度		令和6年度	
		入学定員	収容定員	入学定員	収容定員
医学部	医学科	110	660	<b>123</b>	<b>710</b>
薬学部	薬学科	220	1,320	245	1,345
理学部	生物学科	80	320	80	320
	化学科	80	320	80	320
	生物分子科学科	80	320	80	320
	物理学科	70	280	70	280
	情報科学科	100	400	100	400
	生命圏環境科学科	60	240	60	240
看護学部	看護学科	102	408	102	408
健康科学部	看護学科	60	240	60	240
総計		962	4,508	<b>1,000</b>	<b>4,583</b>

※薬学部薬学科 令和6年度より入学定員増（25） 令和5年6月認可済

今回の臨時定員は令和6年度のみとなるため、令和6年度から令和11年度までの医学部医学科の入学定員並びに収容定員は以下の通りとする。

学部・定員		令和・年度					
		6	7	8	9	10	11
医学部	入学定員	123	110	110	110	110	110
医学科	収容定員	710	705	700	695	685	673



## イ 学則変更（収容定員変更）の必要性

本学医学部の地域枠臨時定員増について、「経済財政改革の基本方針 2009」及び「新成長戦略」に基づく「平成 22 年度から平成 31 年度までの医学部定員の暫定増の取扱い」が出されたため、千葉県と協議し平成 27 年度より平成 31 年度（令和元年度）まで臨時定員 5 名の申請を行った。令和 2 年度及び令和 3 年度について、文部科学省より 2 年間の暫定的増員申請を認める方針が出されたため、千葉県と協議し 2 年間の臨時定員 5 名の申請を行った。令和 4 年度について、文部科学省より単年度の「暫定的な医学部入学定員の取扱い」が出されたため、千葉県と協議し臨時定員 5 名の申請に加え、新たに医師偏在指標全国順位 47 位の新潟県から打診を受け協議し臨時定員 5 名の申請を行った。令和 5 年度について、文部科学省より再び単年度の単年度の増員申請を認める方針が出されたため、千葉県と協議し臨時定員 5 名、新潟県と協議し臨時定員 7 名の申請を行った。

令和 6 年度の取扱いについては、この度、文部科学省より再度の増員申請を認める方針が出されたため、実績に基づき協議した結果、千葉県枠として 5 名、新潟県枠として 8 名の臨時定員を申請するものである。（資料 1）

千葉県地域枠においては、平成 27 年度から令和 5 年度の 9 年間、募集定員 5 名を充足し、令和 3 年 3 月には地域枠学生初の卒業生 5 名を輩出し、現在までに 15 名が初期臨床研修を開始し、内 5 名が初期臨床研修を修了し、地域貢献の第一歩を踏み出している。これまで千葉県内の臨床研修病院で初期臨床研修を行った医療機関の内訳は、本学医学部附属病院である東邦大学医療センター佐倉病院 5 名、国立国際医療研究センター国府台病院 2 名、国立病院機構千葉医療センター 2 名、船橋市立医療センター、千葉大学医学部附属病院、東京慈恵会医科大学附属柏病院、国保直営総合病院君津中央病院、千葉県済生会習志野病院、セコムメディック病院に 1 名である。令和 6 年度に向けて千葉県の医師不足、地域偏在の現状を鑑み、継続して千葉県医師修学資金貸付制度を活用した医師確保の要請があり、千葉県と協議のうえ、千葉県地域枠 5 名の入学定員増を再申請する。

新潟県地域枠においては、医師偏在指標全国順位 47 位である新潟県から臨時定員について打診を受け、協議のうえ医師不足や地域偏在の解決に貢献することを目的に、令和 4 年度に新たに新潟県医師養成修学資金貸与制度を活用した新潟県地域枠臨時定員 5 名を増員した。令和 5 年度は、新潟県から更なる医師の育成と確保の要請があったため新潟県と協議のうえ、前年度の 5 名から 2 名増員し 7 名を増員した。また、これまでの実績を踏まえ、受験生の新潟県の医師不足に関する関心が高いことから、新潟県より更なる増員の要請があり、改めて新潟県と協議の結果、前年度の 7 名からさらに 1 名増員し 8 名の入学定員増を再申請する。（資料 2）

## ウ 学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容

### （ア）教育課程の変更内容について

地域医療の概要、人口及び年齢構成、医師数、診療科偏在、医療圏等を学ぶ科目として、令和4年度から新潟県地域枠入学生の必修科目として新たに『地域医療学』を開講した。また、令和4年度文部科学省補助事業「ポストコロナ時代の医療人材養成拠点形成事業」に千葉大学と共同で選定されたことを受け、千葉県における地域医療への高い情熱と好奇心を涵養して総合力・適応力・教育力を醸成し、地域志向型リーダーの養成を目指すべく、令和5年度から『地域医療学（千葉）』を立ち上げ、千葉県地域枠入学生および修学資金受給者は必修科目として開講し、千葉県の地域医療を学びたい学生についても当該科目を選択できるように履修方法の改定を行った。

千葉県地域枠入学生に必修科目として開講している『地域医療学（千葉）』においては、1年次に地域医療の概要および課題等を学んだ後、千葉県内の地域医療を支える地域医療施設の病院長や総合診療医、千葉県の行政職員による講義を経て、7月下旬の夏期休暇期間に本学の医療センター佐倉病院で開催する病院体験会に参加し、印旛地区における地域中核病院の地域医療提供体制について学ぶ。2年次には保健所や地域包括支援センターでの現場体験、3年次には、災害現場における医師の役割を学んだうえで地域での救急医療体験し、災害現場を再現した施設シミュレーション実習を行う。4年次以降は、病院での臨床実習を千葉県内にある本学の付属病院だけでなく、南房総地域をはじめ千葉県内の医療過疎とされる地域の医療施設において実習を行い、地域医療についての理解を深める。

新潟県地域枠入学生に必修科目として開講している『地域医療学』においては、1年次と2年次は地域医療の概要および課題点等を座学で学んだ後、7月下旬に新潟県内の地域医療施設で見学実習を行い、地域医療施設のスタッフと訪問診療先へ出向くことで、急激な高齢化社会へ向かっている地域の現状を知り、グループワークを通じて医療施設ごとに抱えている課題を学ぶ。3年次は、複数の離島を持つ新潟県の土地の事情を踏まえ、救急医療の現状を医療現場のスタッフに講演いただき、グループワークを通じて考察する。4年時以降は臨床実習を行うが、新潟県における実習生の受け入れ病院先として、新潟県立中央病院、新潟県立柿崎病院、長岡赤十字病院を確保している。なお、新潟県地域枠の学生には、新潟県が行う地域医療夏季実習への参加が義務付けられるほか、医療行政担当者や医師などから新潟県の地域医療についての現状と課題などを学ぶ地域医療セミナーへの参加を求めている。

先にも述べたが、実際に新潟県地域枠入試で入学した学生が地域医療実習を行うのは令和7年度からとなるが、事前に新潟県との調整のうえ、地域枠学生以外にも新潟県の地域医療を学べる環境を整備・拡充することを目的に、令和5年度は5年次の3名が地域医療実習として新潟県で実習を行っている。（資料4）

## [教育課程の編成の考え方及び特色]

### ① 学部・学科の理念目的や教育目標との対応関係におけるカリキュラムの体系的性

本学部の人材の養成に関する目的の「豊かな人間性を備え、倫理観を持って社会に貢献する『より良き臨床医』を育成する」および教育研究上の目的の「教育に関しては、教養を高め人間性を涵養するとともに、倫理観を持って専門性に基づいた課題探究・問題解決能力、社会や文化の変化に対応できる生涯学修能力を持った人材を育成することを目的とする」を達成するためのカリキュラム編成としている。ディプロマポリシー、カリキュラムポリシー、アセスメントポリシーを定め、学修成果基盤型のカリキュラム体系としている。医学を学ぶための基礎を固めるため、1年次、2年次に医学準備・基礎医学統合科目を、3年次から4年次に臨床医学系統科目、社会医学科目を配置している。また、「シミュレーション実習」並びに「臨床推論演習」を4年次に配置し、4年次後半から始まる「診療参加型臨床実習」を有効に実践するためのカリキュラム体制を整えている。（資料3）

### ② 医師としての基本的な資質・能力の育成

医師としての倫理性・人間性を涵養するために、全学年を通して全人的医療人教育プログラムを導入している。1年次の早期から高齢者施設での体験実習、様々な臨床課題を用いた能動的学修を導入し、医療人としての自覚を高めるとともに倫理性を培っている。2年次では本学付属病院での臨床体験実習を導入し、臨床医学を学ぶための準備教育を充実させている。また、将来チーム医療に必要な医療従事者の相互理解やコミュニケーション能力育成を目的に、多職種連携教育を推進している。5学部が合同で取組む「チーム医療演習」や「生命倫理シンポジウム」を開講しているほか、薬学部や健康科学部との合同授業など学部間連携の充実を図っている。

人文系教養科目に関しては、「心理学」のみならず、「倫理学」、「法学」、「社会学」を必修科目として、幅広い視野を涵養するようなカリキュラムとしている。また、文理を問わない幅広い教養科目に関しては、選択科目制を取り入れ、学生のニーズに合った学修環境を提供している。授業時間は、全学年を通じて水曜日の午前が当てられ、学年を越えて選択でき、学修効果が上がるように配慮している。

医学・医療の国際化が進む中、本学は英語教育を重視している。1年次から4年次まで英語教育を配置し、一般的な英会話などの英語能力の修得から始まり、医学英語、診療現場で用いる実用医療英語へとスパイラル教育を行っている。4年次ではEnglish OSCEによる実用医療英語能力評価を導入している。

また、科学的探究心を涵養するために卒業論文を必修単位として導入している。昨今話題になっている数理データサイエンス教育に関しては、従前より数理情報学を必修として実施しているが、令和6年度入学生からは、データサイエンスで用いられる数理的な考え方や表計算ソフトウェアを利用した基本的なデータの分析およびデータの図的表現を理解することを目指した『データサイエンス』という必修科目を新たに開設する。

（資料4）

### ③ 診療参加型臨床実習前医学専門教育

専門教育授業科目は、モデル・コア・カリキュラムに準拠し十分内容を満たす内容となっている。医学準備科目と基礎医学科目を水平・垂直統合し、講義と実習を効率よく実施できるように構成し、従来から行ってきたPBL テュートリアル の充実も図っている。また、臨床医学においても可能な限り水平統合を図り、効率の良い授業を行い、4年次夏までに共用試験（CBT・OSCE）に充分対応できる能力の修得を図っている。4年次後半から始まる「診療参加型臨床実習」のための準備として、「シミュレーション実習」ならびに「臨床推論演習」を4年次前半に配置し、実地修練に必要な能力の向上ができるようにしている。また、診療科だけでなく他職種の臨床現場（看護実習や医療安全、感染管理など）を経験できるように配慮している。（資料5）

### ④ 診療参加型臨床実習

4年次後半で12週、5年次36週、6年次12週の合計60週の「診療参加型臨床実習」を行う。4年次と5年次では、付属病院コア診療科と地域医療の実習については、医療チームの一員として活躍できるよう1診療科あたり4週間ないし3週間の期間で実習を行う。特に、地域医療の実践能力を高められるように全学生の「地域医療実習」施設を確保している。

6年次は1診療科あたり4週間の選択制実習で、付属病院の全ての診療科に加え、国内外の医療施設、研究施設での実習が可能であり、学生の多様なキャリア形成支援に配慮した体制を確保している。なお、地域卒学生には、当該地域の医療施設での実習を必ず1つ選択するよう義務付けている。

このような実践の場での学修機会を多く確保したカリキュラムにより、豊かな人間性を備え、倫理観を持って社会に貢献する『より良き臨床医』の育成を目指している。

## （イ）教育方法及び履修指導方法の変更内容について

今回の臨時定員増加申請に伴い、現在の教育方法及び履修指導方法に変更は予定していない。

### [教育方法]

学修成果基盤型教育に基づいて、学生には修得すべき能力を明示し、学生が自ら学修するような教育環境構築を目指している。

新型コロナウイルス感染症蔓延下での経験を受けて、講義はオンライン授業（オンデマンド型）で行っていたが、新型コロナウイルスが5類に移行してからは、講義は対面で実施すると共に、録画をしてオンデマンド教材として、学生が自由に振り返り学修ができる環境を整備した。また、演習、実習は少人数を基本とし、全て対面形式で実施している。演習科目においては、アクティブラーニングを積極的に導入し、TBL（チーム基盤型学習）、PBL（課題解決型学習）テュートリアルなどを取り入れており、令和6年度以降も同様に

実施することとしている。

#### [履修指導方法]

全学生を対象とした履修指導として、1年次には入学式翌日に新入生ガイダンス、2年次から6年次には新学期初日に新学年ガイダンスを実施している。各学年の担当責任者（年次部会長）が、当該学年の履修科目、講義・演習・実習予定、履修基準・出席要件、評価方法の概略と試験予定、進級基準等を説明し、これらが格納されている学事システム（教育ポータル）、電子シラバス、出席管理システム、成績管理システム等の利用方法について説明している。また、教員は自主的にオフィスアワーを設定し電子シラバスに公開し、講義時間外にも学生からの接触に積極的な対応を心掛けている。

個々の学生への履修指導として、約10名に一人の教員をメンターとして配置し、定期的に面談を繰り返しながら、履修指導、生活指導など総合的な修学指導を行っている。メンターには、当該学生の保護者との面談を年一回は必須とし、必要に応じて適宜実施して情報を共有することで、問題事象への早期対応を心掛けている。令和6年度以降も、同様に行うこととしている。

### (ウ) 教員組織の変更内容について

本学医学部の入学定員は110名、収容定員は660名であり、大学設置基準に定められた基幹教員数は140名となる。これに対して、令和5年5月1日現在の本学医学部の基幹教員数は161名であり、収容定員あるいは実際の在籍学生数（717名；令和5年5月1日現在）を考慮しても、必要な基幹教員数を十分に確保している。本学医学部の基幹教員数は、学則変更により収容定員を710名とした後も、大学設置基準に定められた基幹教員数を大きく上回るものである。また、専任教員数は1,186名（教授91名、准教授71名、講師120名、助教904名）（ST比：0.60）で、今後ますます強化される診療参加型臨床実習等の高いレベルの医学教育を滞りなく進められる組織となっている。さらに、項目（ア）に示した教育課程の変更は、これまでの教員組織を維持することで十分に対応可能である。したがって、今回の臨時定員（13名）の増加も影響を受けないものと考えている。

以上のことから、学則変更（収容定員変更）に伴う教員組織の変更は予定していない。

#### [現在の教員組織の編成の考え方及び特色]

教員組織は、医学準備教育を担う一般教育系と、医学専門教育を担う基礎医学系（社会医学系を含む）と臨床医学系の大きく3つの系で編成している。

一般教育系：医学教育に直結する自然科学（物理学、化学、生物学）、心理学、英語学の医学部基幹教員を配置している。これら専任教員は、多様化する入学者の資質に合わせ、個性を伸ばし、不足を補い、医学教育への導入教育に当たっている。教員が不在の教育領

域については兼任または非常勤教員で補っている。

基礎医学系：教育上必要とされる全ての科目に対して18の講座・研究室・分野が配置され、学生数に十分に見合った教員数が定員化されており、充足している。

臨床医学系：3つの付属病院の診療科を母体として診療・教育・研究面から36の講座・研究室・分野とする組織体制としている。教育課程に必要とされる教育分野が置かれ、学生数に対して必要な教員数が定員化されており、各講座・研究室・分野ともに定員はほぼ充足している。

上記3つの系に加え、臨床実習運営管理センター、卒後臨床研修／生涯教育センターを置き、卒前教育から卒後教育のシームレスな教育を行うとともに、学部教育の目標達成、質の向上のため、医学教育センター、教学IRセンターを置き、これらが一体となって活動している。

## (エ) 大学全体の施設・設備の変更内容について

本学医学部では教育研究上の目的に沿った教育研究活動に必要な施設を計画的に整備しており、大森キャンパス内に本館、1号館、2号館、3号館の4つの建物、佐倉病院に隣接したさくら教育研修センターを有している。医学部の建物は、教育課程の改訂や教育方法、研究活動動向の変更などに先駆けて対応し、施設・設備の更新、整備を実施してきた。例えば、令和4年度には、ICTを活用した学修や小グループ学修の更なる強化を目指し、小グループ討論用教室（SDL室）の拡張整備を行い、令和5年度より運用を開始し演習科目等で効果的に活用されている。さくら教育研修センターは、宿泊可能な滞在型教育施設で地域医療、救急医療、総合診療等の実習に活用している。

以上のように、有している施設・設備は学則変更（収容定員変更）に十分に対応可能なものである。今後も、効果的な教育の実施に向けた整備を検討し、遅滞なく迅速に確実に対応できる体制を維持していく。

(資料6)

## 学則の変更の趣旨等を記載した書類

### 資料目次

- 資料 1 令和 6 年度入学定員増員計画（写し）
- 資料 2 地域の医師確保のための入学定員増に係る誓約書（写し）
- 資料 3 医学部カリキュラムマップ
- 資料 4 令和 5 年度選択科目一覧表・低学年シラバス（抜粋）
- 資料 5 シラバス（診療参加型臨床実習）
- 資料 6 教育施設一覧

大学名	国公立
東邦大学	私立

## 1. 現在（令和5年度）の入学定員（編入学定員）及び収容定員

入学定員	2年次編入学定員	3年次編入学定員	収容定員
122	0	0	702

↑  
(収容定員計算用)

	H30	R1	R2	R3	R4	R5	計
(ア) 入学定員	115	115	115	115	120	122	702
(イ) 2年次編入学定員	0	0	0	0	0	0	0
(ウ) 3年次編入学定員	0	0	0	0	0	0	0
計	115	115	115	115	120	122	702

## 2. 本増員計画による入学定員増を行わない場合の令和6年度の入学定員（編入学定員）及び収容定員

入学定員	2年次編入学定員	3年次編入学定員	収容定員
110	0	0	660

↑  
(収容定員計算用)

	R6	R7	R8	R9	R10	R11	計
(ア) 入学定員	110	110	110	110	110	110	660
(イ) 2年次編入学定員	0	0	0	0	0	0	0
(ウ) 3年次編入学定員	0	0	0	0	0	0	0
計	110	110	110	110	110	110	660
(臨時的な措置で減員した場合、その人数)	0	0	0	0	0	0	

## 3. 令和6年度の増員計画

入学定員	2年次編入学定員	3年次編入学定員	収容定員
123	0	0	673

↑  
(収容定員計算用)

	R6	R7	R8	R9	R10	R11	計
(ア) 入学定員	123	110	110	110	110	110	673
(イ) 2年次編入学定員	0	0	0	0	0	0	0
(ウ) 3年次編入学定員	0	0	0	0	0	0	0
計	123	110	110	110	110	110	673
(臨時的な措置で減員した場合、その人数)							

増員希望人数	13
--------	----

↑  
(内訳)

(1) 地域の医師確保のための入学定員／編入学定員増（地域枠）	13
(2) 研究医養成のための入学定員／編入学定員増（研究医枠）	0
計	13



## 1. 地域の医師確保のための入学定員増について

増員希望人数 13

### (1) 対象都道府県名及び増員希望人数

	都道府県名	増員希望人数
大学が所在する都道府県	千葉県	5
	新潟県	8
大学所在地以外の都道府県		
計		13

※「大学所在地以外の都道府県」が5都道府県未満の場合は、残りの欄は空欄でご提出ください。

### (2) 修学資金の貸与を受けた地域枠学生の確保状況

都道府県名	R4地域枠定員 (※1)	R4貸与者数 (※2)	R5地域枠定員 (※1)	R5貸与者数 (※2)	R4とR5の貸与 者数のうち多い 方の数
千葉県	5	5	5	5	5
新潟県	5	5	7	7	7
					0
					0
					0
計	10	10	12	12	12

(※1) 臨時定員分のみご記入ください。

(※2) 恒久定員の中で地域枠を実施している場合、恒久定員分の地域枠の人数も含めた修学資金の貸与実績をご記入ください。

※6都道府県未満の場合は、残りの欄は空欄でご提出ください。

## (3) 令和6年度地域の医師確保のための入学定員増について

## 1. 大学が講ずる措置

## 1-1. 地域枠学生の選抜

① 令和4年度に実施した地域枠学生(令和5年入学)の選抜について、下記をご記入ください。複数種類の選抜を行った場合には、それぞれご記入ください。また、参考として学生募集要項の写しをご提出ください。

名称	入試区分	選抜方式	募集人数		選抜方法(※1)	出願要件(※1)	診療科の限定の有無	(診療科の限定(推奨)がある場合) その診療科名	開始年度	備考
				うち臨時定員分						
推薦入試(公募制-千葉県地域枠)	(i) 学校推薦型選抜	別枠(先行型)	3	3	1次:基礎学力、適性試験 2次:面接	・入学後に「千葉県医師修学資金貸付制度」の貸与を受け、本学卒業後に「千葉県キャリア形成プログラム」に則り、医師として千葉県が指定する医療機関において修学資金の貸与期間の1.5倍の期間従事することを誓約できる者。 ・入学を確約できる者。 ・修学資金の貸与を受けるにあたり、保証人を2名立てることができる者。 ※在学中はキャリア形成卒前支援プランが適用される。	無		R4	
一般入試(千葉県地域枠)	(iii) 一般選抜地域枠(前期・後期)	別枠(区別型)	2	2	1次:学力試験 2次:基礎学力、面接	・入学後に「千葉県医師修学資金貸付制度」の貸与を受け、本学卒業後に「千葉県キャリア形成プログラム」に則り、医師として千葉県が指定する医療機関において修学資金の貸与期間の1.5倍の期間従事することを誓約できる者。 ・入学を確約できる者。 ・修学資金の貸与を受けるにあたり、保証人を2名立てることができる者。 ※在学中はキャリア形成卒前支援プランが適用される。	無		R1	
推薦入試(公募制-新潟県地域枠)	(i) 学校推薦型選抜	別枠(先行型)	5	5	1次:基礎学力、適性試験 2次:面接	・入学後に「新潟県医師養成修学資金」の貸与を受け、本学卒業後に、医師として新潟県が指定する医療機関等に9年間従事することを誓約できる者。 ・入学を確約できる者。 ・修学資金の貸与を受けるにあたり、保証人を2名立てることができる者。 ・新潟県内で夏期休暇等を利用して行う地域医療に関する実習(2~3日間程度)に毎年(1~5年生まで)必ず参加すること。	推奨	特に地域医療に貢献できる内科・総合診療科等	R3	

一般入試（新潟県地域枠）	(iii) 一般選抜地域枠（前期・後期）	別枠（区別型）	2	2	1次：学力試験 2次：基礎学力、面接	<ul style="list-style-type: none"> <li>入学後に「新潟県医師養成修学資金」の貸与を受け、本学卒業後に、医師として新潟県が指定する医療機関等に9年間従事することを誓約できる者。</li> <li>入学を確約できる者。</li> <li>修学資金の貸与を受けるにあたり、保証人を2名立てることができる者。</li> <li>新潟県内で夏期休暇等を利用して行う地域医療に関する実習（2～3日間程度）に毎年（1～5年生まで）必ず参加すること。</li> </ul>	推奨	特に地域医療に貢献できる内科・総合診療科等	R3	
合計			12	12						

(※1) 貴大学において作成した学生募集要項に記載の内容をご記入ください。

※空欄がある場合は、何も記入せずにそのままご提出ください。

②令和5年度に実施する地域枠学生(令和6年入学)の選抜について、下記をご記入ください。複数種類の選抜を行っている場合には、それぞれご記入ください。

また、参考としてPRのために作成した文書（リーフレット、ホームページ、テレビ、新聞、雑誌等）の写しをご提出ください。

名称	入試区分	選抜方式	募集人数		選抜方法（※1）	出願要件（※1）	診療科の限定の有無	（診療科の限定（推奨）がある場合）その診療科名	開始年度	備考
			うち臨時定員分							
推薦入試（公募制－千葉県地域枠）	(i) 学校推薦型選抜	別枠（先行型）	3	3	1次：基礎学力、適性試験 2次：面接	<ul style="list-style-type: none"> <li>入学後に「千葉県医師修学資金貸付制度」の貸与を受け、本学卒業後に「千葉県キャリア形成プログラム」に則り、医師として千葉県が指定する医療機関において修学資金の貸与期間の1.5倍の期間従事することを誓約できる者。</li> <li>入学を確約できる者。</li> <li>修学資金の貸与を受けるにあたり、保証人を2名立てることができる者。</li> <li>※在学中はキャリア形成卒前支援プランが適用される。</li> </ul>	無		R4	
一般入試（千葉県地域枠）	(iii) 一般選抜地域枠（前期・後期）	別枠（区別型）	2	2	1次：学力試験 2次：基礎学力、面接	<ul style="list-style-type: none"> <li>入学後に「千葉県医師修学資金貸付制度」の貸与を受け、本学卒業後に「千葉県キャリア形成プログラム」に則り、医師として千葉県が指定する医療機関において修学資金の貸与期間の1.5倍の期間従事することを誓約できる者。</li> <li>入学を確約できる者。</li> <li>修学資金の貸与を受けるにあたり、保証人を2名立てることができる者。</li> <li>※在学中はキャリア形成卒前支援プランが適用される。</li> </ul>	無		R1	

推薦入試（公募制－新潟県地域枠）	(i) 学校推薦型選抜	別枠（先行型）	6	6	1次：基礎学力、適性試験 2次：面接	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入学後に「新潟県医師養成修学資金」の貸与を受け、本学卒業後に、医師として新潟県が指定する医療機関等に9年間従事することを誓約できる者。</li> <li>・入学を確約できる者。</li> <li>・修学資金の貸与を受けるにあたり、保証人を2名立てることができる者。</li> <li>・新潟県内で夏期休暇等を利用して行う地域医療に関する実習（2～3日間程度）に毎年（1～5年生まで）必ず参加すること。</li> </ul>	推奨	特に地域医療に貢献できる内科・総合診療科等	R3	
一般入試（新潟県地域枠）	(iii) 一般選抜地域枠（前期・後期）	別枠（区別型）	2	2	1次：学力試験 2次：基礎学力、面接	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入学後に「新潟県医師養成修学資金」の貸与を受け、本学卒業後に、医師として新潟県が指定する医療機関等に9年間従事することを誓約できる者。</li> <li>・入学を確約できる者。</li> <li>・修学資金の貸与を受けるにあたり、保証人を2名立てることができる者。</li> <li>・新潟県内で夏期休暇等を利用して行う地域医療に関する実習（2～3日間程度）に毎年（1～5年生まで）必ず参加すること。</li> </ul>	推奨	特に地域医療に貢献できる内科・総合診療科等	R3	
合計			13	13						

(※1) 貴大学において、PRのために作成した文書（リーフレット、ホームページ、テレビ、新聞、雑誌等）に記載の内容（貴大学において作成予定の学生募集要項に記載予定の内容）をご記入ください。  
※空欄がある場合は、何も記入せずにそのままご提出ください。

## 1-2. 教育内容

①地域枠学生が卒後に勤務することが見込まれる都道府県での地域医療実習など、地域医療を担う医師養成の観点からの教育内容の概要（令和6年度）について、5～6行程度で簡潔にご記入ください。

「地域医療学」という科目を開講するとともに、新潟県地域枠の学生のみ本科目を必修化し、新潟県内の病院実習を通して地域医療の実態についての学びを深めている。また、令和5年度からは「地域医療学（千葉）」という科目を新たに開講し、千葉県地位枠の学生のみ本科目を必修化し、千葉県の医療・行政施設の実習を通して学びを深めている。さらに、4年次に行う「基本臨床実習」では、千葉県北東部の地域医療の拠点である本学の医療センター佐倉病院で実習を行っている。5年次には「必修診療参加型臨床実習」において4週間に渡り、千葉県内または新潟県内の教育関連病院、診療所における地域臨床実習を義務付けている。

（参考：記入例）

1～2年次には、「○○」という科目を開講するとともに「△△」を必修化し、～～を学んでいる。3～4年次には、××実習を行い、～～を学んでいる。またキャリア支援として□□を実施している。令和4年度からは、■●を新たに開始するなど、～～を図ることとしている。

②（過去に地域枠を設定したことがある場合）これまでの取組・実績を、3～5行程度で簡潔にご記入ください。

千葉県地域枠については平成27年度から増員を開始し、令和5年度までに45名の地域枠学生を確保した。そのうち15名が卒業し、その全員が千葉県内の研修病院にて初期臨床研修医として地域医療に貢献している。29名が在学中で、令和4年度に1名離脱した。令和4年度からは新潟県地域枠による増員も開始し、12名の地域枠学生を確保し、在学中である。

（参考：記入例）

平成○年度から地域枠による増員を開始し、□□、■●などの取組を行った。令和4年度までに△名の地域枠学生を確保し、そのうち▲名が現在～～として地域医療に貢献している。

③上記①の教育内容（正規科目）について、講義・実習科目内容をご記入ください。また、参考としてシラバスの写しをご提出ください。

対象学年	講義・実習名	対象者 (※1)	必修／選択の別		講義／実習の別	単位数	開始年度
			地域枠学生	その他の学生			
1～3	地域医療学	全員	必修	選択	実習	1	R4
1～2	地域医療学（千葉）	全員	必修	選択	実習	2	R5
4	基本臨床実習	全員	必修	必修	実習	21	R1
5	必修診療参加型臨床実習	全員	必修	必修	実習	40	R2

（※1）対象者は、当該講義・実習を受講可能な学生を「地域枠学生」「全員」のうちから選択ください。（地域枠学生の希望者のみの場合は、対象者を「地域枠学生」、必修／選択の別を「選択」とご記載ください。）

※空欄がある場合は、何も記入せずそのままご提出ください。

④大学の正規科目以外で、提供する地域医療教育プログラムがあれば、その内容をご記入ください。

対象学年	プログラム名	対象者 (※1)	都道府県との連携	期間 (例：○週 間)	プログラムの概要（1～2行程度）	開始年度

(※1) 対象者は、当該講義・実習を受講可能な学生を「地域枠学生」「全員」のうちから選択ください。

※該当がない場合は、何も記入せずにご提出ください。

⑤上記③④以外に、地域医療を担う医師の養成に関する取組等があれば、簡潔にご記入ください。(令和4年度以前から継続する取組を含む) (1～2行程度)

取組の名称	取組の概要（1～2行程度）	開始年度
地域枠意識付けの交流会	修学資金制度の確認、卒後のキャリア形成プログラムの説明を実施している。	R4
修学進捗状況確認面談	1～2年次の地域枠学生に対して、医学部長、副医学部長、教育委員長による修学進捗状況確認面談を行っている。	R4

※空欄がある場合は、何も記入せずそのままご提出ください。

## 2. 都道府県等との連携

①都道府県が設定する奨学金について、以下をご記入ください。併せて、都道府県が厚生労働省に提出する予定の地域の医師確保等に関する計画及び「地域における医療及び介護の総合的な確保の促進に関する法律」(平成元年法律第64号)第4条に規定する都道府県計画等に位置づけることを約束する文書を添付して下さい。

なお、複数の奨学金を設定している場合は、それぞれ記入ください。

奨学金の設定 主体	貸与人数	貸与対象	貸与額 (例: 200,000)		返還免除要件	選抜方法		診療科の限定 の有無	(診療科の限定 (推奨)がある場合) その診療科名	備考
			月額	総貸与額		選抜時期	大学の関与の 有無 (※1)			
千葉県	5	新入生	200,000	14,400,000	大学を卒業した日の属する翌月の初日から起算して、1年3か月以内に医師免許を取得し、キャリア形成プログラムに基づき定められた期間内に修学資金の貸付期間の1.5倍の期間(義務年限)所定の医療機関に勤務したとき。	③地域枠入学者であれば別途選抜を実施せず貸与	○	×		大学が貸与者 (=入学者) を選抜
新潟県	8	新入生	300,000	21,600,000	・卒業後2年以内に医師免許を取得すること。 ・医師免許取得後、直ちに県内の病院で臨床研修に従事すること。 ・臨床研修修了後、直ちに指定する医療機関に勤務すること。 ・指定勤務期間: 9年間(臨床研修の2年間を含む)	③地域枠入学者であれば別途選抜を実施せず貸与	○	推奨	内科・総合診療科等を推奨	大学が貸与者 (=入学者) を選抜 診療科については内科・総合診療科等を推奨

(※1) 診療科の限定または推奨がある場合は、備考欄に詳細をご記入ください。

※該当がない場合は、何も記入せずにそのままご提出ください。

②その他、都道府県と連携した取組があれば、簡潔にご記入ください。(例: 在学中の学生に対する都道府県と連携した相談・指導、卒後のキャリアパス形成等に対する支援) (1~2行程度)

取組の名称	取組の概要 (1~2行程度)	開始年度
地域枠意識付けの交流会	修学資金制度の確認、卒後のキャリア形成プログラムの説明を実施している。	R4
新潟県地域医療夏季実習	新潟県の地域医療を志す医学生が実習を通じて交流し、卒業後、新潟県とともに医療に従事し地域医療に貢献していく共通意識を醸成する。	R5

※空欄がある場合は、何も記入せずにそのままご提出ください。

### 3. その他

1～2に記入したもの以外で、その他、地域の医師確保の観点から大学の今後の取組があれば、簡潔にご記入ください。(1～3行程度)

特に、都道府県からの奨学金の貸与を受ける者、地域枠入学者を確保するために貴大学で取り組まれていることや今後の取組み予定がありましたら、ご記入ください。

・本学付属校(千葉県)にて入試説明会を実施し、地域枠制度を周知しているほか、新潟県主催のオンライン地域枠入試説明会に参加し、志願者確保に努めている。  
・新潟県内の高校や予備校での進学相談会に参加するとともに、本学志望者へのDM送付を予定している。



医第1277号

令和5年8月17日

厚生労働省医政局長 様

千葉県健康福祉部長

(公印省略)

地域の医師確保のための入学定員増に係る誓約書

令和5年8月8日付け5文科高第669号、医政発0807第12号に基づき、下記のとおり、令和6年度における地域の医師確保のための入学定員増を行うこととしました。

地域の医師確保等に関する計画、都道府県計画等に沿って、地域枠入学者が地域に定着するよう取組を行います。

記

増員数

34名

- ・千葉大学医学部における地域枠 : 15名
- ・順天堂大学医学部における地域枠 : 5名
- ・帝京大学医学部における地域枠 : 2名
- ・東邦大学医学部における地域枠 : 5名
- ・日本医科大学医学部における地域枠 : 7名

千葉県健康福祉部医療整備課

医師確保・地域医療推進室 渡辺

電話 : 043-223-3883

FAX : 043-221-7379

E-mail : d-chibank@mz.pref.chiba.lg.jp

医看第 236 号  
令和5年8月10日

厚生労働省医政局長 殿

新潟県福祉保健部長 中村 洋心

地域の医師確保のための入学定員増に係る誓約書

令和5年8月8日付け5文科高第669号、医政発0807第12号に基づき、下記のとおり、令和6年度における地域の医師確保のための入学定員増を行うこととしました。

地域の医師確保等に関する計画、都道府県計画等に沿って、地域枠入学者が地域に定着するよう取組を行います。

記

増員数

77名

- ・新潟大学医学部における地域枠 : 40名
- ・順天堂大学医学部における地域枠 : 1名
- ・関西医科大学医学部における地域枠 : 2名
- ・昭和大学医学部における地域枠 : 7名
- ・東邦大学医学部における地域枠 : 8名
- ・東京医科大学医学部における地域枠 : 3名
- ・杏林大学医学部における地域枠 : 4名
- ・北里大学医学部における地域枠 : 3名
- ・日本医科大学医学部における地域枠 : 2名
- ・日本大学医学部における地域枠 : 4名
- ・獨協医科大学医学部における地域枠 : 2名
- ・帝京大学医学部における地域枠 : 1名

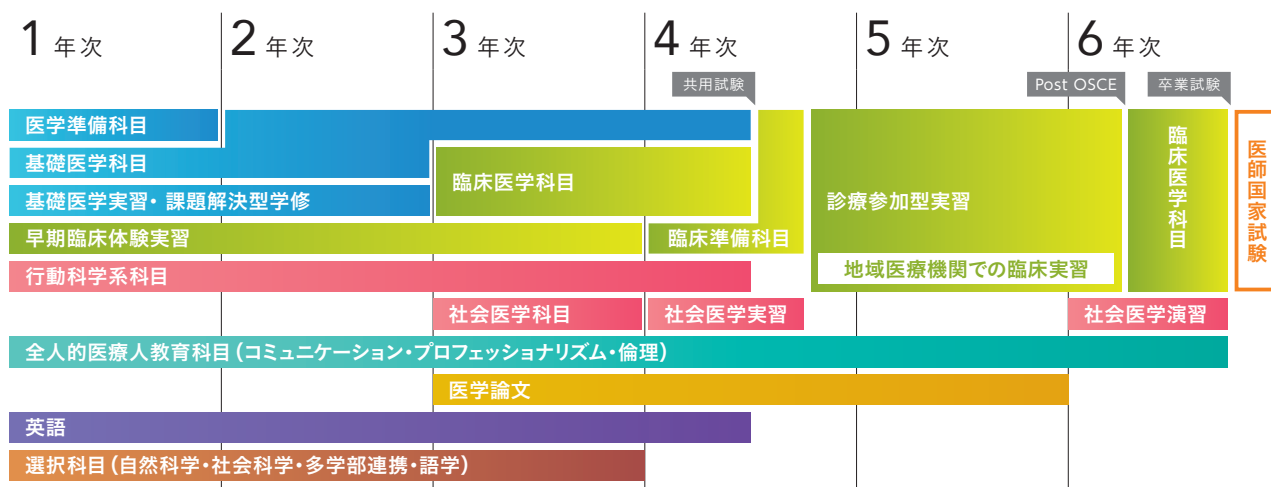
担 当 : 医師・看護職員確保対策課  
医師確保企画係 綿貫

電話番号 : 025-280-5969

メールアドレス : ngt040290@pref.niigata.lg.jp

## 東邦大学医学部 カリキュラムマップ

### ▶ 6年間の学習プロセス



#### POINT

2024年度入学生から導入される新カリキュラムでは、医療コミュニケーションや生命倫理、多職種連携等を学ぶ医薬合同プログラムを各学年で拡充します。

#### 【医学準備科目・基礎医学科目】

医学を学ぶ基礎を固め、正常と異常の人体を理解できるように科目の水平統合を行う。

#### 【臨床医学科目】

診断・治療の理論を臓器別に学ぶ。

#### 【社会医学科目】

社会環境のなかにおける環境問題や最近の医療事情を学ぶ。

#### 【診療参加型実習】

担当教員の指導の下、診療スタッフの一員として基本的な手技、診断、治療方法を学ぶ。

#### 【全人的医療人教育】

患者さんからの訴えを全人的に捉えるべく他学部との合同授業や介護体験実習等を通じて対人コミュニケーションの基本を学ぶ。

#### 【英語】

総合的な英語力の向上と医療現場での英語を学修する機会を設けている。

## 令和5年度選択科目一覧表

16カリ 科目名	サブタイトル	授業形態	単位	学期		16カリ対象 (学年)	定員	教員 (非常勤、兼担)	備考
				春	秋				
選択人文・社会学Ⅰ	哲学	講義	1	○		1～3年生	60	大沢(非)	
選択人文・社会学Ⅱ	宗教学	講義	1	○		1～3年生	60	奥山(非)	
選択人文・社会学Ⅲ	言語学	演習	1		○	1～3年生	20	川嶋(非)	
選択人文・社会学Ⅳ	経済学	講義	1	○	○	1～3年生	20	田倉(非)	
選択芸術Ⅰ	音楽	講義	1		○	1～3年生	40	井上(非)	
選択芸術Ⅱ	美術	講義	1	○	○	1～3年生	40	細野(非)	
医学教養Ⅰ	NEJM Case Recordsを読む	演習	1		○	3年生	8	三上	
医学教養Ⅱ	航空宇宙医学	講義	1	○		1～3年生	40	三井(非)	
医学教養Ⅲ	新・赤ちゃんを巡るころとからだ	講義	1		○	1～3年生	40	増本	
医学教養Ⅳ	感染症領域におけるトランスレーショナルリサーチTopics	講義	1	○		1～3年生	40	石井	
医学教養Ⅴ	脳の都市伝説を検証する	演習	1	○		3年生	10	武井、中瀬古	
医学教養Ⅵ	臨床医学に役立つ複雑系科学入門	講義	1	○		1～3年生	40	瓜田	
医学教養Ⅶ	スポーツ科学演習	演習	1		○	1～3年生	20	只野	
医学教養Ⅷ	東洋医学概論	講義	1	○	○	1～3年生	20	田中	
選択化学Ⅰ		講義	1	○		1年生	40	岡	
選択化学Ⅱ		講義	1		○	1～3年生	40	池崎	
選択生物Ⅰ		講義	1	○		1年生	40	平	
選択生物Ⅱ		講義	1		○	1～3年生	40	中村(真)	
選択物理		講義	1		○	1～3年生	40	能川	
選択数学Ⅰ		講義	1	○		1～3年生	40	津熊	
選択数学Ⅱ		講義	1		○	1～3年生	40	津熊	
選択環境科学Ⅰ		講義	1	○		1～3年生	40	大越、脇、安立(兼)	
選択環境科学Ⅱ		講義	1		○	1～3年生	40	平	
英会話		演習	1	○	○	1～3年生	30	Fialka、Leyte、堀川(非)	
Listening Skills		演習	1	○	○	1～3年生	15	Fialka(非)	
Cross Cultural Communication		演習	1	○	○	1～3年生	15	Leyte(非)	
Writing		演習	1	○	○	1～3年生	10	堀川(非)	
フランス語Ⅰ		演習	2	○(通年)		1～3年生	20	伊藤(非)	
フランス語Ⅱ		演習	1	○	○	1～3年生	20	伊藤(非)	
ドイツ語Ⅰ		演習	2	○(通年)		1～3年生	20	井口(非)	
ドイツ語Ⅱ		演習	1	○	○	1～3年生	20	井口(非)	
中国語Ⅰ		演習	2	○(通年)		1～3年生	20	小澤(非)	
中国語Ⅱ		演習	1	○	○	1～3年生	20	小澤(非)	
海外集中英語コース *集*外		-	1	○		単位認定科目		三上	
英語検定		-	1	○	○	単位認定科目		武井	
学生テュータ養成講座 *集		演習	1		○	2年生	27	池崎	
実用医療英語 *受*集		演習	1	○		2～3年生	6	富田	
チーム医療演習 *受*集*外		演習	1	○		2～3年生	10	中田(亜)	
データサイエンス実践入門 *受*集		演習	2	○		1年生	10	津熊	
地域医療学Ⅰ *受*集*外		演習	1	○(通年)		1年生	8	中村(陽)	
地域医療学Ⅱ *受*集*外		演習	1	○(通年)		2年生	15	中村(陽)	新規追加科目
地域医療学(千葉)Ⅰ *受*集*外		演習	2	○(通年)		1年生	10	蛭田	新規追加科目

## 注意事項

\*集： 集中講義や土曜日開講科目など水曜日選択科目開講時間外に設定されている科目

当該科目の講義計画(日付)で確認すること

\*外： 学外履修

\*受： 履修登録において、選択科目システムを利用しない

・16カリにおいて、他大学で取得した単位の振替え、実用医療英語、チーム医療演習、データサイエンス実践入門、地域医療学Ⅰ、英語検定、海外英語集中コースの単位は学年の上限登録単位に含まない

## 科目名称： [ZZ220-101J] データサイエンス（2024年度開講）（案）

科目責任者	津熊 久幸						
科目対象学年	1	科目授業期間	春学期	科目時限数	27	科目分類	演習

### 科目の学修アウトカム

アウトカム（達成目標）	対応する達成レベル
01 社会や自然科学の諸分野で活用されているデータサイエンス・AIの動向について説明できる（DP1）。	
02 データサイエンス・AIで使用されている技術について説明できる（DP2）。	
03 データの利用にあたって留意すべき事項を説明できる（DP3）。	
04 データを適切に読み解き、他者に説明できる（DP4）。	
05 データサイエンスで用いられる数理的な考え方と可視化手法を理解し説明できる（DP5）。	
06 表計算ソフトウェアを利用した基本的なデータの分析、および、データの図的表現を行える（DP6）。	

## 科目の科目達成レベル

### 科目について

---

#### 受講前に必要とされる知識及び技能・態度

##### 【授業概要】

医学・薬学・理学・看護学・健康科学等の自然科学の諸分野において、測定値などのデータに基づく現象の探求は必要不可欠である。一方、現代の社会活動を通して生み出されるデータを活用することは一般的になっており、自然科学の諸分野においても社会との関わりの中で生み出されるデータを分析することによって新たな知見を得ることが重要になっている。そこで、本講義では、データサイエンス、データサイエンスの基本となる数理的な考え方、および、人工知能(AI)について、リテラシーレベルの講義と演習を行う。

##### 【授業方法】

本科目はオンラインによる遠隔授業(オンデマンド授業)と、対面授業の2つの方式を併用して実施する。オンデマンド授業については、一定の視聴期間を設け、対面授業実施に先んじて各自視聴のうえ、事前・事後学修に取り組む。

##### ＜遠隔授業における授業方法の概要＞

Moodle より配信される講義資料をもとにオンデマンド動画を視聴し、視聴後に小テストに回答する。回答後に配布される小テストの解説により復習する。

##### ＜対面授業における授業方法の概要＞

対面授業では、少人数グループによるグループワーク、ディスカッション、および、その結果のプレゼンテーション等、アクティブラーニングを活用する。また、実際のデータを用いた表計算ソフトウェアによる演習(表計算ソフト、ウェアの利用方法、データの処理と分析、データの表現方法など)を、コンピュータを用いて行う。

### 科目の評価について

##### 【評価方法】

小テスト 20%

演習(表計算ソフトウェア) 20% : 演習中に提示した課題を完成させられたかを評価する。

グループワーク・プレゼンテーション 30% 到達目標に明示した点について、客観的な根拠に基づいて自分の言葉で説明できる点を重視する。

レポート 30% : 到達目標に明示した点を評価基準とし、評価する。

##### 【フィードバック方法】

オンデマンド講義の際に実施した小テストの結果については、終了後に Moodle で解答例を確認できるほか、解説についても Moodle で閲覧できる。レポートについては、コメントを付けて返却する。

### 指定教科書他

---

授業内で随時資料を提示します。

**科目名称：[MM910-101J] 全人的医療人教育Ⅰ【プロフェッショナリズム】（2024年度開講）（案）**

科目責任者	山口 哲生						
科目対象学年	1	科目授業期間	通年	科目時限数	44	科目分類	演習

**科目の学修アウトカム**

アウトカム（達成目標）	対応する達成レベル
01 医学生として相応しい、態度、身だしなみ、言葉遣いを学ぶ。（DP1）	
02 実践的なコミュニケーションスキルの基礎を学ぶ。（DP2）	
03 障がい者および高齢者の医療ニーズを理解する。（DP3）	
04 医療人としての自覚を高めるとともに、社会的責任を果たすことのできる倫理観を培う。（DP4）	
05 他の医療職の役割と連携の重要性を理解する。（DP5）	
06 社会が求める医師の職責を理解する。（DP6）	
07 医療の進歩について知り、医療の大きな流れを学ぶ。（DP7）	
08 医師のさまざまな専門職を理解する。（DP8）	

09 自身の将来像を理解する。(DP9)	
10 著作権の概念を理解し、実践できる。(DP10)	

## 科目の科目達成レベル

### 科目について

#### 受講前に必要とされる知識及び技能・態度

入居者や職員の方と積極的にコミュニケーションを取る姿勢が望まれる。また、態度、服装、言葉遣いに十分注意して実習に臨むこと。

医学史、キャリア教育では事前に Moodle に掲載される資料を熟読後演習授業に参加すること。

#### 科目の評価について

- (1) プロフェッショナリズムは、サブ領域（全人的医療人教育 I）中の 50 点/100 点とする。
- (2) ユニット内での配点は、介護体験実習 50%、医学史及びキャリア教育 20%、客観評価（MCQ+記述）30%とする。
- (3) 介護体験実習への取り組みは、①服装・身だしなみ、②実習態度、③コミュニケーション、④積極性、⑤総合評価の各項目を実習先の担当者により、5 段階で評価する。
- (4) 介護体験実習レポートおよびプレゼンテーションは S～F の 6 段階で評価する（S:100 点，A:90 点，B:80 点，C:70 点，D:60 点，F:50 点）。  
\*レポート等の提出期限が守られない場合や実習の準備が不十分な場合（忘れ物等）は、その程度に応じて減点する。詳細について授業内で説明する。
- (5) キャリア教育では、課題レポート及び発表会の内容を評価する。
- (6) 客観評価では医学史、キャリア教育、著作権概論の領域が含まれる。

#### 指定教科書他

授業内で随時資料を提示します。



## 科目名称：[MM620-101J] 地域医療学（2024年度開講）（案）

科目責任者	中村 陽一						
科目対象学年	1	科目授業期間	通年	科目時限数	15	科目分類	演習

### 科目の学修アウトカム

アウトカム（達成目標）	対応する達成レベル
01 新潟県における医療の状況、医師の偏在の問題点を指摘できる。	1g, 1h, 1i, 5a
02 新潟県における医療現場における、多職種の役割を理解できる。	3e, 3h, 3i, 5a
03 新潟県における救急医療、離島・僻地医療、災害医療の問題点を想起できる。	1g, 1h, 1i, 5a
04 新潟県の地域医療の現場で見学したことを概説できる。	1g, h, 1i, 3h, 3i, 5a

### 科目の科目達成レベル

### 科目について

2023年度入学の新潟県地域枠学生（1年生）は選択科目の中で、「選択科目」として「地域医療学Ⅰ」を受講することができる。通年での開催として新潟県での特別プログラム以外に前期1回、後期2回の土曜日の演習形式での授業とする（45時間の学修で1単位）。なお新潟県地域枠以外の学生も若干名、履修することが可能である。2023年度は、「地域医療学Ⅰ」と「地域医療学Ⅱ」を合同で授業を行い「僻地医療」をテーマとして実施する。

#### 受講前に必要とされる知識及び技能・態度

地域医療に興味を持ち、新潟県が抱える問題点を想起することができる。病院での見学があり、基本的な身だしなみ、各施設の医療者・患者との適切なコミュニケーションを行うことができる。

### 科目の評価について

プログラムの振り返りを行い、発表会を開催する。  
発表内容に関する評価を行う。

### 指定教科書他

授業内で随時資料を提示します。

## 科目名称：[MM620-103J] 地域医療学（千葉）（2024年度開講）（案）

科目責任者	蛭田 啓之						
科目対象学年	1	科目授業期間	通年	科目時限数	30	科目分類	演習

### 科目の学修アウトカム

アウトカム（達成目標）	対応する達成レベル
01 専門分野に偏らない、幅広い臨床医学・社会医学の知識を修得し、それらを医療現場で生かすことができる（DP1）。	
02 専門分野に偏らない、幅広い医療を実践する能力を修得する（DP2）。	
03 患者とその家族に寄り添い、患者のニーズに基づいた全人的医療を提供する能力を修得する（DP3）。	
04 実地医療に基づいた臨床研究を遂行する能力を修得する（DP4）。	
05 地域の保健・福祉・医療を理解した医療者となる（DP5）。	
06 地域に根付いた文化を尊重した医療を実践する（DP6）。	
07 学生や医療者の地域医療に対する高い情熱と好奇心を有する地域志向型リーダーシップを涵養する（DP7）。	

## 科目の科目達成レベル

### 科目について

---

地域医療への高い情熱と好奇心を涵養して総合力・適応力・教育力を醸成する地域志向型医療人材養成プログラムで、1年次～3年次の3年間で構成されています(I～III)。

大学の専門診療とは異なる視点でいわゆる総合診療・救急医学について低学年のうちから学びつつ、地方(千葉県)で行われている医療行政、災害時対応を段階的に学んで頂きます。また、知識の学びを現実と結び付けられるように体験実習と振り返りを行うことで地域医療への高い情熱と好奇心を育み、地域医療に貢献できる人材を養成します。

具体的には次のような人材像・知識基盤を中心に、態度領域をまでの学びを深めることが可能です。

- 1)総合力:地域医療の現場で総合的に患者・生活者をみることが出来る。
- 2)適応力:医療や社会の状況に応じて、自らの能力を最適化し、発揮できる。
- 3)教育力:地域医療人材を育成し、地域の課題を踏まえた教育研究を実施する。

2023年4月入学以後の千葉県地域枠学生は選択科目の中で、「選択」としてI・II・IIIを受講しなければならない。通年での開催として特別プログラム以外に前期2回・後期2回+αの土曜日の演習および講義形式での授業とする(千葉県の地域医療・行政施設での特別プログラム時間数が未定であり、学内での授業コマ数を適宜調整する。I～IIIそれぞれ30時間の学修で各2単位)。

なお、地域医療学(千葉県・新潟県)との合同授業となる場合があり、地域枠以外の学生も若干名、履修することが可能である。

### 受講前に必要とされる知識及び技能・態度

地域医療に興味を持ち、千葉県が抱える問題点を想起することができる。

医療・行政施設での見学があり、基本的な身だしなみ、各施設の医療者・患者・利用者・職員との適切なコミュニケーションを行うことができる。

- I(1年次):千葉県の総合/救急診療や介護の現場の現状について。
- II(2年次):千葉県の医療行政の現状と、リーダーシップ能力育成について。
- III(3年次):千葉県の災害医療の現状(災害時対応と医療体制)について。

### 科目の評価について

地域医療プログラムの準備段階では、課題に対する評価を行う。

プログラムの振り返りを行い、発表会を開催し、発表内容に関しての評価を行う。

### 指定教科書他

---

授業内で随時資料を提示します。

ユニット名称：[MM621-501J] 診療参加型臨床実習（実践的教育から構成する授業科目）（2028年度開講予定）（案）

ユニット責任者	高井 雄二郎						
ユニット対象学年	5	ユニット授業期間		ユニット時限数	0	ユニット分類	実習

#### ユニットの学修アウトカム

アウトカム（達成目標）	対応する達成レベル
01 病歴を聴取して身体診察を行うことができる。	2-a,b
02 鑑別診断を想定することができる。	2-c
03 基本的な検査の結果を解釈することができる。	2-d
04 処方を計画することができる。	2-e
05 診療録（カルテ）を記載することができる。	2-h
06 患者の状況について口頭でプレゼンテーションすることができる。	2-h
07 臨床上の問題を明確にしてエビデンスを収集することができる。	5-e
08 患者の申し送りを行い、受け取ることができる。	3-i
09 多職種チームで協働することができる。	3-f

10 緊急性の高い患者の初期対応を行うことができる。	2-g
11 インフォームド・コンセントを得ることができる。	3-i
12 基本的臨床手技を実施することができる。	2-b
13 組織上の問題の同定と改善を通して医療安全に貢献することができる。	2-i

## ユニットの科目達成レベル

### ユニットについて

5年生における診療参加型臨床実習は、医師という職業者について、医師が行うことを手伝うこと(assistantship)で、医師になるために必要な能力を養う実習である。学生が診療チームに参加し、その一員として診療業務を分担しながら医師の職業的な知識・思考法・技能・態度の基本的な部分を学ぶことを目的としている。単なる知識・技術の修得や診療の経験にとどまらず、実際の患者を相手にした診療業務を通じて、医療現場に立ったときに必要とされる診断および治療等に関する思考・対応力等を養うことにある点に留意する必要がある。

必修診療参加型実習は、内科A(大森病院内科系診療科)4週、内科B(大橋病院または佐倉病院内科系診療科)4週、外科(大森病院または大橋病院または佐倉病院外科系診療科)4週、産婦人科4週、小児科4週、精神科4週、総合診療科2週/救急科2週の8診療科と地域医療実習4週で構成される(計 32 週)。

### 受講前に必要とされる知識及び技能・態度

4年生までに学修した各臨床科目、全人的医療人教育などの知識・技能・態度が身につけていることが求められる。

### ユニットの評価について (フィードバック含む)

臨床現場における形成評価として、内科系診療科では Mini-CEX と CbD、外科系診療科では DOPS と CbD、地域医療では P-MEX が施行されてその都度フィードバックされる。

総括評価としては、項目評価5項目(知識、実技技能、考察、プレゼンテーション、プロフェッショナリズム)を各々6段階評価で 100 点満点、概略評価は7段階で行う(医師にはいけないレベル:0点 不合格:1点 学生としてボーダーレベル:2点 学生として合格点:3点 学生として優れている:4点 研修医として合格点:5点 研修医(医師)として優れている:6点)。

合格基準は、全ての診療科の項目評価の平均点が60点以上であり、また全ての診療科の概略評価平均点が3点以上であること、かつ1点が1つ以下で0点がないことである。

フィードバックは臨床現場においては適時指導医から、また各診療科・部門での実習終了時に行われる。

なお評価はユニット単位ではなく「サブ領域単位」である。

### 指定教科書他

基本的なものは各診療科・部門ごとに指定される。詳しくは電子シラバスの「実習一覧」から参照すること。

症例についての学修は教科書にないものが多くなる。その場合、指導医から提示されるもの、メディアセンターの資料・文献を利用する、UpToDate などのメディアセンターで契約している Web 上の Database を利用する、などがあげられる

## 医学科教育用施設等一覧表

名 称	場 所	収容 人数	床面積 (m <sup>2</sup> )	用 途	備 考
講義室					
第 1	2号館M3F	156	241	講 義	
第 2	2号館M2F	156	241	講 義	クリッカー
第 3	3号館地下1F	130	135	講 義	
第 4	3号館地下1F	130	135	講 義	
大学院講堂 (共用)	本館3F	103	186	講 義	
多目的室					
第 1	2号館M2F	56	198	多目的	
第 2	2号館M3F	35	92	多目的	
第 3	2号館M3F	35	74	多目的	
第 4	3号館2F	38	63	多目的	
第 5	本館3F	60	106	多目的	
第 6	本館3F	35	63	多目的	
実習室					
第 1	2号館M2F	124	448	学生実習	顕微鏡130台
第 2	2号館M2F	128	451	学生実習	
第 3	2号館M3F	134	376	学生実習	パソコン130台、顕微鏡130台
第 4	2号館M3F	120	571	学生実習	
解剖実習室	2号館7F	132	450	学生実習	解剖台22台
S D L 室					
1	本館1F	8	17.7	多目的	
2	本館1F	8	13.4	多目的	
3	本館1F	8	16.3	多目的	
4	本館1F	8	15.4	多目的	
5	本館1F	8	15.9	多目的	
6	本館1F	8	15.4	多目的	
7	本館1F	8	15.4	多目的	
8	本館1F	8	15.4	多目的	
9	本館1F	8	15.4	多目的	
10	本館1F	8	14.9	多目的	

名 称	場 所	収容 人数	床面積 (m <sup>2</sup> )	用 途	備 考
S D L室センター					
S601～S612 (12室)	1号館6F	8	18	多目的	
N601～N615 (15室)	1号館6F	8	18	多目的	
S801～S814 (14室)	1号館8F	8	18	多目的	
S T L室					
STL (10室)	学生会館 4F	6	18	多目的	
臨床技能学修センター					
模擬診察室 (6室)	2号館M2F	10	22～23	多目的	
セルフトレーニングスペース	2号館M2F	10	130	多目的	各種シミュレーター
医学メディアセンター					
自習ブース (セルフラーニング)	2号館M1F	96	248	多目的	
自習ブース (リサーチスクエア)	2号館M1F	84	1035	多目的	

## 学生の確保の見通し等を記載した書類

### 1. 学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況

#### ア 設置又は定員を変更する学科等を設置する大学等の現状把握・分析

##### ① 東邦大学の現状把握・分析

東邦大学（以下、「本学」という。）は、大正14（1925）年、創立者である額田豊・晋兄弟が「衛生や医学の範囲では男子のみならず女子の力を借りることが重要である」という思いをもとに開設された「帝国女子医学専門学校」を前身とし、令和7（2025）年に創立100周年を迎える。現在、5つの学部（医学部・薬学部・理学部・看護学部・健康科学部）を擁する自然科学系総合大学である。「自然・生命・人間」を建学の精神として社会と時代の要請に応えながら、正しい自然観・生命観を基に、「自然とは何か」、「生命とは何か」、「人間としての優しさ・温もり・愛とは何か」を追究することにより、教育・研究と医療活動を介して、自然・生命科学の普及と人材の育成に尽力してきた。本学の前身である専門学校時代を含めると、すでに5万人を超える卒業生を輩出している。

令和5（2023）年度の入学定員に対する平均入学定員充足率は、大学全体では1.07倍、学部別では、医学部1.00倍、薬学部1.09倍、理学部1.07倍、看護学部1.08倍、健康科学部1.13倍である。過去5ヵ年度の入学定員に対する平均入学定員超過率は、大学全体で1.07倍、学部別では、医学部1.00倍、薬学部1.08倍、理学部1.05倍、看護学部1.07倍、健康科学部1.10倍であり、適切に入学定員管理がなされている。入学志願者数は、令和5（2023）年度は大学全体の入学定員974名に対して9,766名で平均倍率は10.0倍、過去5ヵ年度の平均志願倍率は11.4倍であり、18歳人口が減少している状況であるが、安定して志願者を確保できている。

また、令和5（2023）年度の収容定員に対する充足率は、大学全体では1.06倍、学部別では、医学部1.02倍、薬学部1.09倍、理学部1.04倍、看護学部1.07倍、健康科学部1.10倍である。過去5ヵ年度の大学全体の収容定員に対する在籍学生数比率の平均は1.08で、各学部とも著しい過剰や未充足は発生していない。このことは、留年・退学にいたる学生が極めて少ないことを意味しており、入学者選抜が適切に行われていること、教育体制が整い適切な教学マネジメントがなされていることを示している。

##### ② 東邦大学医学部の現状把握・分析

本学医学部は、上記の如く入学定員および収容定員ともに極めて厳格に管理できおり、適切な教学マネジメントがなされている。

本学医学部の122名に対する入学者選抜について、令和5（2023）年度は総合入試、同窓生子女入試、推薦入試（付属校制）、推薦入試（公募制-千葉県地域枠）、推薦入試



(公募制-新潟県地域枠)、一般入試、一般入試(千葉県地域枠)、一般入試(新潟県地域枠)を実施し、志願者総数は3,203名で26.3倍を確保している。過去5ヵ年度の平均志願倍率は、令和4(2022)年度20.7倍、令和3(2021)年度23.7倍、令和2(2020)年度24.4倍、平成31(2019)年度23.4倍、平成30(2018)年度28.1倍と十分な志願者を確保できており、また入学後の動向からも、本学医学部がアドミッションポリシーに合う入学者を選抜できていると考えている。

千葉県地域枠の選抜については、平成27年度から令和元年度までは入学後に希望者を募集し選抜する方法(手上げ方式)としていたが、令和2年度以降は一般入試(別枠-区別)に変更した。令和5年度からは、推薦入試(別枠-先行型)を加えて選抜を実施している。結果、令和2年度93名(定員5名)、令和3年度132名(定員5名)、令和4年度87名(定員5名)、令和5年度は推薦入試10名(定員3名)、一般入試で114名(定員2名)の志願者が得られ、千葉県の地域医療に貢献したいという強い意志を持った学生を確保することができている。また、本学は千葉県船橋市に薬学部、理学部、健康科学部からなるキャンパスを置き、千葉県内に従事する医療人材教育に当たっている。さらに、本学医学部付属の医療センター佐倉病院は、千葉県印旛二次医療圏の中核施設(地域医療支援病院)として地域医療に貢献している。これらのことから、本学医学部は千葉県の地域医療に貢献しており、今後も安定した地域枠学生を確保できる訴求力を有していると考えられる。

新潟県地域枠の選抜については、令和4(2022)年度から推薦入試(別枠-先行型)および一般入試(別枠-区別型)で実施し、令和4(2022)年度は推薦入試で34名(定員3名)、一般入試で48名(定員2名)、令和5(2023)年度は推薦入試で32名(定員5名)、一般入試で68名(定員2名)の志願者が得られており、安定した志願者数を確保している。過去5年間の入学志願者状況等、令和5(2023)年度医学部学生数(千葉県・新潟県出身の学生数)の通り、過去5年間の新潟県出身の入学人数並びに令和5(2023)年度在学学生数は多くはないが、過去2年間はそれ以前よりも新潟県内の志願者数が増加しており、優秀な学生を確保することで新潟県の医師偏在対策に貢献できると考えている。新潟県地域中核病院と連携し令和4(2022)年度から実施している診療参加型臨床実習など、新潟の地域医療と本学部の特徴を積極的に広報することにより、新潟県からの志願者はもとより他の地域からの志願者確保にも努める。

(資料1)(資料2)

地域枠以外の学生の中にも、千葉県医師修学資金貸付制度(長期支援コース(一般枠))に志願する学生が令和2(2020)年度4名、令和3(2021)年度4名、令和4(2022)年度2名、令和5(2023)年度1名(申請中)いることから、少しずつではあるが地域医療に関心の高い学生が増えている状況も、今後地域枠入試の志願に結び付く要因になると考えている。

(資料3)

千葉県地域枠および新潟県地域枠の学生を対象として、令和4（2022）年度より「地域医療学」に関する科目を新規開講し、千葉県および新潟県の行政関係者や医療関係者との演習、実習を行うことにより、地域医療に従事する意識および地域愛の向上に繋がっていると考える。

令和6（2024）年度の地域枠入学者の選抜方法は、千葉県、新潟県ともに一般入試（別枠-区別型）で選抜するほか11、12月に学校推薦型入試（別枠-先行型）を実施することで、本学に対する志望度が高く、かつ地域医療に対する意識の高い学生を確保できる見込みである。（資料4）

## イ 地域・社会的動向と現状把握・分析

我が国の将来推計人口（令和5年推計）によると、65歳以上の高齢者人口は令和2（2020）年には3600万人を越え、2040年に3900万人となりピークを迎え、以後減少に転じる。15歳以上65歳未満の生産年齢人口は1990年代後半の8900万人をピークに令和2（2020）年に7400万人、令和22（2040）年には6000万人に減少するとされていることから、医療需要に関しては今後15年間、高止まりの状態が続き、介護・福祉を含めた医療等への就労者数を確保することは極めて困難になることが予想されている。一方、医療形態は変化が生じ、急性期医療から在宅等を含めた慢性期医療へ、介護・福祉の体制強化にシフトしていく。これらを踏まえた医師需給推計令和2（2020）年によると、医師数は令和14（2032）年ごろに均衡になると考えられており、令和6（2024）年度の医学部入学定員については、地域枠も含め令和元（2019）年度の9420名を越えない範囲で運用される。また、医師の地域偏在、診療科偏在の状況が続いており、当面解消される兆しが見えない都道府県の二次医療圏が多数存在している。本学医学部は、千葉県および新潟県の当該関係部局と慎重に協議を重ねており、両県とも県全体として医師不足があること、二次医療圏ごとに人口の年齢構成が異なり必要とされる医療形態も異なっていること、すなわち県内での地域偏在、診療科偏在があり、これらを解消するためには一定の期間が必要で、令和6（2024）年度も引き続き地域枠臨時定員増が必要であることを確認している。（資料5）

## ウ 新設学科等の趣旨目的、教育内容、定員設定等

### ① 趣旨目的

「令和6年度の医学部臨時定員の暫定的な維持について（令和4年11月4日付け4文科高第1152号・医政発1104第34号）」を踏まえ、地域の医師確保等に対応するため、令和6年度の医学部入学定員の増加等を取り扱うことが決定したことから、本学医学部は千葉県および新潟県の当該関係部署と慎重に協議し、実績に基づき千葉県地域枠5名、新潟県地

域枠8名の計13名の臨時定員（入学定員）の増員申請を行うこととした。

## ② 教育内容

本学医学部は、建学の精神「自然・生命・人間」、教育の理念「自然に対する畏敬の念を持ち、生命の尊厳を自覚し、人間の謙虚な心を原点として豊かな人間性と均衡のとれた知識・技能を育成する」に基づいて、「豊かな人間性を備え、倫理観を持って社会に貢献する『より良き臨床医』を育成する」ことを人材育成の目的と定めている。そして、6領域「医学的知識、実践能力、患者対応能力、科学的探究心、社会・地域への貢献、国際性」について、3つのポリシーを定めてカリキュラムを構築、実施している。令和4（2022）年度に改訂前のカリキュラムに基づいて一般社団法人日本医学教育評価機構による医学教育プログラムに対する第三者評価「医学教育分野別評価」を受審し、「令和5年10月1日付で認定する」との通知を受領している。

令和6年度の新入生から、医学教育モデル・コア・カリキュラム（令和4年度版）に準拠した新カリキュラムに移行する。医学準備・基礎医学、臨床医学などに係わる臨床実習前教育科目を4年次前期までに必修で配置、並行して人文科学・社会科学、自然環境科学等に関わる多様な教養を涵養する科目群を選択で配置する。英語教育を4年次まで実施し、国際化に対応した医療英語力の涵養を図る。また、科学的探究心、研究力に関しては、5年次までの医学論文の作成を必須とする「医学研究」を必修科目として設定している。6年間を通じて実施する全人的医療人教育科目では、医療人としての自覚を高めるべく、低学年次より医療施設等での臨床体験実習、倫理・コミュニケーション・プロフェッショナルリズムを3本の柱とした演習、本学の他の4学部（薬学部、理学部、看護学部、健康科学部）との積極的連携による合同教育プログラム等を実施し、卒後のキャリア形成にも繋がる高い倫理観と豊かな人間性の涵養に努める。また、データサイエンスで用いられる数理的な考え方や表計算ソフトウェアを利用した基本的なデータの分析およびデータの図的表現を理解することを目指し、従前からの数理情報学を強化した「データサイエンス」を必修科目として開設する。臨床実習に関しては、4年次後期から6年次まで60週の診療参加型臨床実習を行う。臨床実習で医療チームの一員として活躍できるよう1診療科あたり3～4週間での実習を実施し、地域医療の実践能力を高められるように「地域医療実習」を組み込んでいる。なお、6年次に実施する12週の実習については選択制として、付属病院の全ての診療科に加え、国内外の医療施設、研究施設での実習を可能としている。このような多様な施設での実習を通して、卒前から卒後にシームレスに移行できる実践能力を育むとともに、社会へ常に関心を抱き、国内外を問わず様々な立場の人々と協調的な人間関係を築くことができる人材の育成を目指している。

地域枠入学生に対しては、1年次から3年次までに必修選択科目として講義、実習、演習で組み立てられている「地域医療学」と「地域医療学（千葉）」を開講し、地域・へき

地医療、総合診療、救急医療、介護・福祉、医療行政等について、入学直後からスパイラルに学び、また他大学の学生と協働して学ぶプログラムを置いている。また、6年次の選択制臨床実習では、少なくとも4週間は当該地域の医療施設を選択するよう義務付け、卒後の初期研修にシームレスに移行できる体制を整えている。これらの取組みが、医師の地域偏在ならびに診療科偏在の解消に向けた施策となることを確信している。

(資料6) (資料7) (資料8)

### ③ 定員設定の理由

以下の理由により、令和6年度医学部臨時定員として、千葉県地域枠5名、新潟県地域枠8名を増員する。

#### 1) 医師の不足と地域偏在の解消

千葉県および新潟県の当該関係部局と協議を重ね、両県ともに医師の不足と地域偏在に大きな課題があることを確認している。千葉県は、人口が628万人と多く県全体として対人口比の医師数が不足している。とくに房総半島東岸の安房地域や山武長生夷隅地域等の二次医療圏は、全国平均を大きく下回っている。また、東京に隣接した東葛北部・南部地域等の二次医療圏は、人口流入による増加があることから相対的医師不足となっている。新潟県は、人口が217万人と北陸4県の中でも比較的多く、また県の面積は全国5番目に広いにもかかわらず、臨床研修必修化以降に研修医の流出が続き、全地域において著しい医師不足であり、令和5年8月9日付で発表された医師偏在指標も全国順位45位である。千葉県および新潟県の両県に対し、地域医療へ貢献する意欲が高い学生を確保するために推薦入試および一般入試に地域枠を設定して増員することにより、千葉県および新潟県における医師不足解消に寄与したいと考えている。

(資料5)

#### 2) 医師の診療科偏在の解消

千葉県および新潟県ともに、人口が減少し公共交通機関が縮小する地域を多く抱えている。加えて高齢化が進んでいることから、医療施設へのアクセスが悪く医療を受け難い状況が高まっている。地域中核病院の総合診療、救急医療体制の充実と訪問診療等を行う医師の確保が喫緊の課題である。このような地域医療に従事、貢献する医師を養成するために、地域枠入学生に対して、低学年次から講義、実習、演習等を介して地域医療への理解を深め、高学年次での臨床実習を通して総合診療、救急医療、訪問診療等への実践能力の育成を図る。卒後の研修を含めたキャリア形成に貢献できる体制を整備する。

新潟県地域枠においては診療科の限定は無いが「内科、総合診療科を推奨」となっており、千葉県地域枠においても診療科の限定は無いが、早期から上記の教育を行うことで診療科偏在の解消に貢献できるものと考えている。

#### ④ 授業料等の学生納付金の設定根拠

学生納付金は、6年間で25,800,000円として、下記のとおり設定している。

入学金：1,500,000 円

授業料：2,500,000 円

教育充実費：500,000 円（2 年次以降は各 900,000 円）

施設設備費：300,000 円（2 年次以降は各 800,000 円）

定員増後もこれまでの教育研究費や大学運営上の管理経費の推移と今後の教育・研究環境の維持・充実に資することを勘案し、入学金や授業料等の学生納付金は従来と変更しない。

また、入学金や授業料等は本学医学部が競合校と考えている昭和大学医学部、北里大学医学部、東京医科大学医学部と比べても大きな違いは無く、標準的な額に設定している。（資料9）

### エ 学生確保の見通し

#### ① 新設学部等の分野の動向

東京都、神奈川県内の私立大学医学部（医科大学を含む）13校の定員数と志願者数について、過去3カ年度の動向を比較した。私立大学医学部の志願者数は、高い水準を確保しており、志願倍率は平均して20倍以上を維持している。

また、東京都、神奈川県内の私立大学医学部（医科大学を含む）の地域枠定員数と志願者数について、本学医学部を含む7校の過去3カ年度の動向を比較した。地域枠の志願者数および志願倍率についても、各大学ともに十分な水準を確保、維持している。

また、18歳人口の減少は令和10（2028）年までは限定的であることから、次年度についても志願者数を十分確保することができ、定員数についても充足できる環境にあると判断している。（資料10）（資料11）

#### ② 中長期的な18歳人口の全国的、地域的動向等

文部科学省「学校基本統計（平成29年度推計）」の「18歳人口と高等教育機関への進学率等の推移」によれば、18歳人口は令和4（2022）年度は110万人、来年受験を迎える令和5（2023）年度は106万人と減少するが、その後回復し令和10（2028）年度までは107～109万人で維持される。しかし、その後は急激に減少し、令和22（2040）年度には77万人となることが確定している。

一方、本学医学部の志願者の出身地域分布は、東京都49.8%、神奈川県15.4%、千葉県9.4%、埼玉県6.7%でそのほかが18.7%となっている。また入学者の出身地域分布は、東京都50.0%、神奈川県10.7%、千葉県22.1%、埼玉県2.5%でそのほかが14.7%となっており、圧倒的に南関東に集中している。地域別18歳人口予測では、令和4（2022）年

度から令和 15（2033）年度にかけて減少数が大きいのは東北、甲信越、北海道であるが、南関東（千葉県、東京都、神奈川県及び埼玉県）では、令和 15（2033）年度には約 29 万人と他のエリアと比較して減少率は低いと予想されている。また、大学進学率の推移において、令和 3（2021）年度の進学率が高いのは南関東で、61%と高い進学率であった。さらに、南関東圏では令和 3（2021）年度の地元残留率が 48%であり、同圏内での進学率が比較的高い地域であると分析されている。よって今回入学定員・収容定員の増員の申請を行う本学医学部においても、18 歳人口減少の影響を受けることは避けられないものの、影響は少ないものとする。

加えて、本学が医学部を置く大森キャンパスは、東京都大田区に所在し、JR 線、京急線、東急線と複数の交通機関を使って通学可能であることから東京都をはじめ神奈川県、千葉県、埼玉県など南関東圏の都県に近いという立地上の特性を活かした学生募集活動を行うことで、今後も安定的に志願者を確保できるものとする。

（資料 12）（資料 13）

### ③ 競合校の状況

東京都、神奈川県にあり、大学規模、学部構成等が似通っている昭和大学、東京医科大学、北里大学が競合校と考えられる。

これらの大学医学部と本学医学部の直近 3 か年の総入学定員、志願者数、志願倍率の推移、お呼び地域枠の入学定員、志願者数、志願倍率の推移について比較した。いずれの大学も総志願倍率は、約 15 倍から 30 倍程度で、本学を含めすべての大学で志願者を十分確保できている。

新潟県地域枠に関しては、3 大学とも設置しており、志願者数、志願倍率の推移について比較した。いずれの大学も志願者数は十分確保できている。また、新潟県は新潟県地域枠を設置している私立大学の総志願倍率を公表しているが、その値と比較しても本学は高い水準である。

千葉県地域枠に関しては、競合 3 大学は設置していない。また、千葉県は千葉県地域枠の志願者数、志願倍率等を公表していないため比較できないが、本学医学部は十分な志願者数を確保し、高い志願倍率を維持している。さらに、本学は千葉県船橋市に薬学部、理学部、健康科学部からなるキャンパスを置き、千葉県内に従事する医療人材教育に当たっている。千葉県佐倉市には、医学部付属の医療センター佐倉病院を置き、千葉県印旛二次医療圏の地域医療支援病院として地域医療に貢献している。これらのことから、安定した地域枠学生を確保できる訴求力を有しているとする。

### ④ 既設学部等の学生確保の状況

本学 5 学部の過去 5 ヶ年度の各学部、学科の入学定員、志願者数、受験者数、合格者数、入学者数、定員充足率を（資料 16）に示す。いずれの学部、学科についても、十分な

志願者数を確保しており、5学部の平均志願者倍率は10倍を超えて推移している。令和5（2023）年度は大学全体の入学定員974名に対して9,766名で平均倍率は10.0倍、過去5カ年度の平均志願倍率は11.4倍である。入学定員超過率は、令和5（2023）年度は大学全体では1.07倍、学部別では、医学部1.00倍、薬学部1.09倍、理学部1.07倍、看護学部1.08倍、健康科学部1.13倍である。過去5カ年度の定員充足率は、大学全体で1.06倍、学部別では、医学部1.00倍、薬学部1.08倍、理学部1.05倍、看護学部1.07倍、健康科学部1.10倍であり、安定して志願者を確保できている。医学部地域枠の過去5カ年度の入学定員、志願者数、受験者数、合格者数、入学者数、定員充足率についても（資料16）に示す。

上述の通り、すべての学部学科で志願者を十分に確保できており、また、定員についても過不足なく満たしており、入学体制の管理が適切に行われている。

## オ 学生確保に向けた具体的な取組と見込まれる効果

本学医学部入学試験における学生確保について、アドミッションセンター、学事統括部大学広報課と医学部入試委員会、大森学事部学事課が一体となって、学生募集・広報活動を組織的に実施、推進するとともに、ステークホルダーの意見を聴取し点検評価を行いながら改善に努めている。こうした組織的な活動が今日までの学生確保に繋がっているといえる。

**ホームページによる情報発信：**大学ホームページに全学受験生サイトを設けるとともに、医学部ホームページに入試情報、地域枠医師修学資金貸与制度に関する詳細な情報、教育内容、学納金などを分かりやすく掲載し、相互にリンクさせることで利便性を高め受験生、保護者、高校・予備校関係者等への情報発信に努めている。

**大学案内等冊子による情報発信：**大学案内等の大学紹介冊子を毎年8万部作成し、さまざまな進学相談会、学内イベント、高等学校・予備校訪問等で広報のための資料として配布している。また、ホームページを通じて資料請求者に対しても送付している。

**オープンキャンパス、キャンパス見学会での情報発信：**毎年夏期にオープンキャンパスを開催しており、本年度は8月4日（金）に行い1,374名の参加があった。新型コロナウイルス感染症の影響で、ここ数年は事前予約制で人数制限を設けて実施していたが、本年度は事前予約制ではあるが、人数制限を解除して実施した。プログラムは、実体験できるような企画を多く取り入れ、シミュレーション実習、講義体験、キャンパスツアーなどを企画し、本学の教育に関心を持ってもらえるよう工夫した。今後、10月21日（土）と12月9日（土）には土曜キャンパス見学会（施設見学会）を開催し、大学の教育環境や雰囲気や直接確認できる機会を設けるとともに、見学会後には個別相談会も開催し、地域枠入試の周知に努める予定である。

（資料17）

**進学相談会等での対面情報発信：**さまざまな受験産業、とくに医学部系予備校等が主催される進学相談会へ、医学部長をはじめ教職員が積極的に参加し、本学の広報に努めている。

**認可申請提出後の情報発信：**認可申請提出後には、プレスリリース等を配信する予定である。認可通知受理後には、資料請求者、高等学校・予備校等へDM送付や資料送付を計画している。(資料 18)

**新潟県に特化した情報発信：**新潟県に特化した広報活動としては、9月上旬に新潟県が主催する高校教員向けオンライン説明会、9月下旬の受験生および保護者向けオンライン入試説明会への参加、新潟県内でのバス広告やテレビコマーシャルなどを通じて積極的に広報活動を行うこととしている。

本学医学部の過去5年間における志願者数の推移は、資料1の通りである。毎年一般入試では、2,500名程度の志願者があり、昨年度は2,820名に増加して一層高い倍率を維持している。令和3年度から導入した総合入試、同窓生子女入試においても、十分な志願者を得て、アドミッション・ポリシーに則った多様で優秀な学生を確保することができている。

(資料 19)

## 2. 人材需要の動向等社会の要請

### ① 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）

本学医学部では、豊かな人間性を備え、倫理観を持って社会に貢献する「より良き臨床医」を育成することを目指し、教養を高め人間性を涵養するとともに、倫理観を持って専門性に基づいた課題探究・問題解決能力、社会や文化の変化に対応できる生涯学習能力を持った人材を育成することを目的としている。

### ② 上記①が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠

地域における医師不足の解消は喫緊の課題であり、「経済財政運営と改革の基本方針2018」（平成30年6月15日閣議決定）及び「令和6年度の医学部臨時定員の暫定的な維持について（通知）」（令和4年11月4日付け4文科高第1152号文部科学省高等教育局長、医政発1104第34号厚生労働省医政局長通知）を踏まえ、地域の医師確保の観点から令和6年度の医学部入学定員の増加について取り扱う旨の通知が発出された。これを受けて、本学医学部は、地域の医師確保のための入学定員増により、千葉県及び新潟県と連携して、地域医療に貢献する明確な意思を持った人材を養成することとしている。このような人材養成の方針は、確固たる医療の実践能力と、豊かな人間性を備え、倫理観を持って社会に貢献する「より良き臨床医」を育成し、優秀な人材を輩出することを掲げる本学の人材養成に関する目的と合致するもので、正に社会的、地域的な人材需要に応えることができると考える。(資料 20)



厚生労働省が示す医師偏在指標の計算式・計算結果に基づき、令和5年8月9日に更新された都道府県別医師偏在指標において、千葉県と新潟県は資料11の通り下位33.3%に位置しており、両県ともに医師不足の状況である。

千葉県に関しては、千葉二次医療圏以外においては、医師が充足しているとは言えない。本学医学部は平成27年度入学生から地域枠入学生を受け入れ、令和3(2020)年度以降毎年5名の卒業生を輩出している。千葉県内において本学付属病院である東邦大学医療センター佐倉病院をはじめ船橋市立医療センターや国立病院機構千葉医療センター等において地域医療を担うべく中核的な医療機関である臨床研修施設において初期臨床研修を行っている。本年度からは5名が診療科別の専門研修を開始しており、本学医療センター佐倉病院や千葉大学医学部付属病院に所属しながら大学院に在籍している者も含め5名全員が離脱することなく千葉の地域医療に貢献できている。

新潟県地域枠に関しては、地域枠定員を設けてからの卒業生はまだいないが、令和5年の医師偏在指標において全国45位で、新潟医療圏以外は医師少数地域で著しい医師不足であることから、人材を育成・輩出し改善に貢献したい。なお、1年次から3年次の学生が夏季集中型で県内地域・へき地医療施設で地域医療実習を行っている。学生、医療施設から、ともに教育プログラムに対して高い評価を得ている。

## 学生の確保の見通し等を記載した書類

### 資料目次

- 資料 1 過去 5 年間の志願者数（千葉県・新潟県出身者数）
- 資料 2 令和 5 年度東邦大学医学部在学学生数（千葉県・新潟県出身の在学学生数）
- 資料 3 千葉県医師修学支援資金貸付制度対象学生の状況
- 資料 4 東邦大学医学部 2024 学生募集要項（地域枠のみ）抜粋（案）
- 資料 5 医師偏在指標（都道府県別）
- 資料 6 医学部カリキュラムマップ
- 資料 7 令和 5 年度選択科目一覧表・低学年シラバス（抜粋）
- 資料 8 シラバス（診療参加型臨床実習）
- 資料 9 医学部及び競合校の学生納付金
- 資料 10 東京都・神奈川県私立医学部の志願者数・入学定員充足状況
- 資料 11 地域枠を有する東京都・神奈川県私立医学部の志願者数・入学定員充足状況
- 資料 12 志願者出身校別一覧 2023
- 資料 13 医学部学生の出身都道府県一覧
- 資料 14 競合校の志願者数
- 資料 15 新潟県地域枠出願状況
- 資料 16 入学志願者総数（学部別）
- 資料 17 OC・入試説明会・施設見学会参加者状況
- 資料 18 地域枠チラシ
- 資料 19 入学志願者等の推移
- 資料 20 地域の医師確保等の観点からの令和 6 年度医学部入学定員の増加について（通知）

## 過去5年間の入試状況

	入学定員	志願者数	受験者数	(受験者数内訳)		合格者数	入学者数	(入学者数内訳)		定員充足率
				内千葉県出身	内新潟県出身			内千葉県出身	内新潟県出身	
令和5 (2023) 年度入試	122	3,203	2,896	194	52	151	122	27	2	1.0
令和4 (2022) 年度入試	120	2,480	2,348	193	66	154	120	10	1	1.0
令和3 (2021) 年度入試	115	2,724	2,570	224	29	146	115	5	1	1.0
令和2 (2020) 年度入試	115	2,810	2,626	228	34	147	115	4	1	1.0
令和元 (2019) 年度入試	115	2,693	2,487	185	27	146	115	6	0	1.0

## 令和5年度 医学部学生数(千葉県・新潟県出身の学生数)

(人)

年次	学生数	千葉県出身者数 <sup>※</sup>	新潟県出身者数
1年次	134	28	2
2年次	124	24	1
3年次	114	17	1
4年次	112	23	0
5年次	112	21	0
6年次	121	18	0
計	717	131	2

※推薦入試(付属校制)による入学者を含む

## 千葉県医師修学資金貸付制度対象学生の状況

年度	一般入試（地域枠）		長期支援コース （一般枠） 志願者数	「東邦大学医学 部千葉県地域枠 学生のための研 修会」 出席者数	千葉県 就職者数
	定員 （受給者）	志願者数			
令和5年度	7	124	1	26	5
令和4年度	5	87	2	13	5
令和3年度	5	132	4	オンライン研修会 17	5
令和2年度	5	93	4	新型コロナの影響で 中止	—

年度	長期支援コース（地域枠）		長期支援コース （一般枠） 志願者数	「東邦大学医学 部千葉県地域枠 学生のための研 修会」 出席者数	千葉県 就職者数
	定員 （受給者）	志願者数			
令和元年度	5	6	1	10	—
平成30年度	5	5	0	15	—
平成29年度	5	8	0	8	—
平成28年度	5	15	—	10	—
平成27年度	5	8	—	5	—

- 千葉県医師修学支援資金貸付制度の対象学生は、平成27年度～令和5年度の9年間で45名であり、一定基準の成績を収め、離脱者は1名である。
- 1～3年生の対象学生に対しては、毎年夏に医療センター佐倉病院において「千葉県地域枠学生のための研修会」を実施している。令和4年度入学生からは選択科目「地域医療学」（1単位）の講義を開講し、令和5年度からは「地域医療学（千葉）」（2単位）という科目を新たに開講し、千葉県地位枠の学生のみ本科目を必修化し、千葉県の医療・行政施設の実習を通して学びを深めている。
- 長期支援コース（一般枠）の志願者も毎年一定数いる。

【地域枠抜粋版】

2024年度

# 学生募集要項

医学部

推薦入試(公募制—千葉県地域枠)

推薦入試(公募制—新潟県地域枠)



東邦大学

# 2024年度 医学部入学試験概要

## 募集人員・試験日程

試験区分	募集人員	出願期間	試験日・試験場	合格発表
総合入試	約10名	郵便受付： 2023年11月1日(水)～ 2023年11月8日(水)必着  窓口受付： 2023年11月8日(水) 9：00～17：00	1次試験： 2023年11月17日(金) 試験場：大森キャンパス  2次試験： 2023年12月2日(土) 試験場：大森キャンパス (1次試験合格者のみ)	1次試験： 2023年11月27日(月) 正午  2次試験： 2023年12月6日(水) 正午
同窓生 子女入試	約5名			
推薦入試 (公募制- 千葉県 地域枠)	3名			
推薦入試 (公募制- 新潟県 地域枠)	6名			
推薦入試 (付属校制)	約25名	学校長を經由して出願		学校長を經由して 発表
一般入試	約70名*	郵便受付： 2023年12月11日(月)～ 2024年1月24日(水)必着  窓口受付： 2024年1月23日(火)・24日(水) 9：00～17：00	1次試験： 2024年2月6日(火) 試験場：パシフィコ横浜ノース 大森キャンパス  2次試験： 2024年2月14日(水)・15日(木) のいずれか1日 試験場：大森キャンパス (1次試験合格者のみ)	1次試験： 2024年2月9日(金) 正午  2次試験： 2024年2月17日(土) 正午
一般入試 (千葉県 地域枠)	2名*			
一般入試 (新潟県 地域枠)	2名*			

※総合入試、同窓生子女入試、推薦入試(付属校制)の結果、入学予定者が募集人員に満たない場合は、一般入試の募集人員に充てます。

※推薦入試(公募制-千葉県地域枠)の結果、入学予定者が募集人員に満たない場合は、一般入試(千葉県地域枠)の募集人員に充てます。

※推薦入試(公募制-新潟県地域枠)の結果、入学予定者が募集人員に満たない場合は、一般入試(新潟県地域枠)の募集人員に充てます。

## 入試についてのお問い合わせ

### 東邦大学医学部入試係

〒143-8540 東京都大田区大森西5丁目21番16号 電話 03-5763-6670 (直通)

入試当日の電車遅延等の緊急対応については  
ホームページのトップに情報を逐次公開します。

<https://www.toho-u.ac.jp/>

# 目 次

## 共通内容①

建学の精神、教育の理念、アドミッション・ポリシー、 カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシー	4 ページ～
入学者選抜方法の趣旨	7 ページ～

## 各入試区分

推薦入試（公募制－千葉県地域枠）	9 ページ～
推薦入試（公募制－新潟県地域枠）	12ページ～

## 共通内容②

注 意 事 項	15ページ～
入学の手続きについて	17ページ～
Web出願の流れ	19ページ～
個人情報の取り扱いについて	23ページ～
案 内 図	24ページ～



# 医 学 部

## 建 学 の 精 神

「自然・生命・人間」

## 教 育 の 理 念

「自然に対する畏敬の念を持ち、生命の尊厳を自覚し、人間の謙虚な心を原点として、かけがえのない自然と人間を守るための、豊かな人間性と均衡のとれた知識・技能を育成する」

## アドミッション・ポリシー

本学の建学の精神である「自然・生命・人間」を礎に、自然に対する畏敬の念を持ち、生命の尊厳を自覚し、人間としての謙虚な心を原点として、かけがえのない自然と人間を守るため、豊かな人間性と均衡のとれた知識と技能を有する「より良き臨床医」の育成を医学部の教育目標に掲げています。

医学部は、この教育目標を達成するために、医学知識および技能の教育にとどまらず、患者中心の医療を実践するための幅広い教養教育に基づいた豊かな人間性を涵養します。そして、少人数グループによる課題解決型学習を通して、進歩し続ける医学・医療に対応できるだけでなく、患者やその家族、他職種からの深い信頼を得られる医師を養成します。さらに、多様な語学教育を通じて、異なる文化・民族的背景を持つ人々への医療を提供できる人材の育成に努めます。

そこで、本学部は、以下のような資質を備えた人材を積極的に受け入れます。

### 入学者に求める能力

**基 礎 学 力**：医学的知識を修得するために必要な基礎学力と論理的思考を行う能力を有している。

**能動的学修能力**：医師としての基本的技能を修得するために必要な能動的学修者としての姿勢を有している。

**コミュニケーション能力**：他者の価値観を尊重し、良好な関係を築くための基本的なコミュニケーション能力と表現力を有している。

**科学的探究心**：自然・生命現象に対する強い興味・関心を有している。

**社会貢献と倫理観**：社会に対する興味・関心を持ち、自らの行動を振り返る姿勢を有している。

**国際性・多様性**：異なる文化や多様な価値観を理解する姿勢があり、外国語の修得に積極的である。

## カリキュラム・ポリシー

### 「人生100年時代に向けて、人と人をつなぐ人間性豊かな医療人の養成のためのカリキュラム」

東邦大学医学部は、人生100年時代に向けて、人と人をつなぐ人間性豊かな医療人である『より良き臨床医』の育成を目指しています。2024年度から導入されるカリキュラムでは、医療現場での実習を低学年から導入して医師としての基礎力の向上を図ります。また、多職種連携を意識した他学部との共通教育を一層推進します。診療参加型臨床実習の期間を十分に設け、内容もさらに充実させることで、『より良き臨床医』の育成を目指します。

1コマ50分として全学で統一された授業時間を十分に活用し、演習授業を充実させ、実践的な知識・技能・態度の習得を促します。

#### 医学的知識

医学準備科目と基礎医学科目を水平統合し、一貫した理解や関連付けられた理解を促します。多くの人文・社会学系科目、選択科目で幅広い教養と豊かな人間性を涵養します。

臨床科目においても関連する領域を合わせて学修する水平統合した科目運用を行います。課題解決型学習（PBLテュートリアル、臨床推論）を通じて能動的に学修する姿勢を涵養するとともに、情報・科学技術を活用して適切に情報入手し考察できる力を育成します。

4年次夏に共用試験CBTの受験機会を設定します。

診療参加型臨床実習では症例を通じて、全人的医療の実践に必要な横断的な臨床知識と臨床推論能力を育成します。

実習・演習では発表機会を数多く設け、知識や考察内容を他者にわかりやすく伝えるプレゼンテーション能力を磨きます。

#### 実践能力

全人的医療人教育において、対人コミュニケーションの基本を身に付けます。共通教育として実施される他学部との合同授業や演習を通して、地域・社会においてチーム医療の果たす役割を学び、多職種の専門性を尊重する態度を涵養します。

診断学実習、シミュレーション実習、臨床推論演習を通じて、基本的な医療面接、診察の手技、臨床診断の能力を育成します。診療参加型臨床実習では、付属病院の他、国内外の医療施設において、医療チームの一員としてチーム医療・多職種連携に参画し、医師として必要な実践能力を育成します。

4年次夏に共用試験臨床実習前OSCEを、6年次夏に臨床実習後OSCEの受験機会を設定します。

#### 患者対応能力

1年次から6年次まで一貫して実施される全人的医療人教育を通じて、高い倫理観と医師として相応しい思考・態度をもって患者や患者の家族に対応する能力を育成します。医療現場における体験実習の機会を低学年から設けることで患者や患者の家族が持つ苦痛を理解し、配慮する姿勢を涵養します。診療参加型臨床実習を通じて、医療チームの一員として患者や患者の家族、医療従事者との信頼関係を構築する能力を育成します。

#### 科学的探究心

自ら学修すべき内容を探索し、実際に学修するための時間を十分に設定することで、医学の進歩に対応するために必要な能動的学修態度を涵養します。全人的医療人教育を通じて研究遂行に必要な倫理的事項を理解する機会を設けます。基礎医学系実習や社会学系実習を通じて医学研究の基礎となる科学的背景と方法論を学修する機会を設けます。教員がマンツーマンで最新の医学研究に関する指導を行い、学術論文を執筆する機会を全員に設けることで、医学領域における研究の意義を理解させ、生涯にわたり自己研鑽を続けるために必要な倫理的・批判的思考を含む科学的思考力を育成します。

#### 社会・地域への貢献

1年次の全人的医療人教育では地域の介護施設にて、診療参加型臨床実習では地域の診療所や中核医療施設において実習を行い、実践を通じて地域医療を学修する機会を設けます。

社会学系科目や臨床医学において、日本や世界の医療・社会保障制度、予防医学、など様々なライフステージや地域における医療について学修する機会を設けます。

地域枠入学者に対しては地域医療学科目を必修とし、我が国の地域医療の問題についてより深く考察する機会を設け、将来的に地域医療を支える自覚と実践能力を育成します。

#### 国際性・多様性

全人的医療人教育を通じて多様性を尊重する態度を涵養するとともに、多様性に配慮したコミュニケーションを理解し、医療現場を模したシミュレーション実習を通じて実践する能力を育成します。

1年次から4年次まで英語科目を必修科目として設定し、総合的な英語力の向上と、医療現場での英語を学修する機会を設けます。4年次末には英語による医療面接試験を設定します。

選択科目として英語以外の外国語科目、多彩な人文・社会学系科目を開設し、多様な視点・考え方を涵養します。

選択制臨床実習では国内外のさまざまな医療施設での実習を可能とし、多様な文化的・社会的背景を経験することで多様性に配慮した医療を実践するための視野を涵養します。

## ディプロマ・ポリシー

### 医学部

#### 学士（医学）

医学部において、所定の履修過程を修了し、以下に示すコンピテンシーを身に付けた者に学士（医学）の学位を授与します。

#### 医学的知識

医療の基盤となっている基礎医学・臨床医学・社会医学の知識を修得し、的確な思考過程と判断力に基づいて、それらを医療現場で生かすことができる。

#### 実践能力

医師としての職責を十分に自覚し、患者個人や多職種の専門性を尊重した態度をとることができる。また、適切で効果的な診療を行うための基本的な技能を実践できる。

#### 患者対応能力

倫理的配慮の下に患者やその家族の尊厳・意思を尊重し、かつ、医療従事者の信頼を得られる思考と態度を身に付け、相互理解と信頼の下に、適切な情報のやり取りができる。

#### 科学的探究心

医学領域での研究の意義を理解し、論理的・批判的な思考により問題点を見出し、研究倫理に基づき追求できる素養を身に付け、生涯にわたり自己研鑽を続ける意欲と態度を有している。

#### 社会・地域への貢献

有限な保健・福祉・医療の資源を適切に活用することで、社会・地域で求められる医療を実践し、その改善に努めることができる。

#### 国際性・多様性

語学力を高め、幅広い教養を身に付け、国・人種や性・文化の違いに配慮し尊重することができる。

## 入学者選抜方法の趣旨

優れた学力のみならず、主体的・能動的に行動することのできる力を持ち合わせ、変化の著しい現代社会において問題を発見し、解決に向かうための方向性を見出す思考力・判断力に富む受験生を選抜します。

選抜においては、適性試験において将来医師として必要な思考力、判断力を有していることを確認します。基礎学力の試験では、文章や図表の内容の理解度やそれらを論理的に表現する力、科学的判断力を確認します。面接では、自分の考えを他者に明確に伝えることができるコミュニケーション能力、異なる意見を持つ他者の意見を尊重する態度を有していることを確認します。日常の成績や態度に関しては高校の調査書より、医学を学ぶための基礎学力・語学力を有していること、コミュニケーション能力や向学心を有していることを確認します。

## 〈推薦入試（公募制—千葉県地域枠）〉

千葉県地域枠入試は、千葉県の医師修学資金制度による医師修学資金貸与を希望する学生を選抜する入試区分です。

千葉県修学資金制度は、地域における医師不足や地域偏在を解消するため、地域医療に貢献しようとする意志を持つ医学生を対象に、将来、千葉県で医師として働こうとする者に対し、修学資金を貸与する制度です。

### 制度の概要

- (1) 貸与金額：月額 20万円  
6年間合計 1,440万円
  - (2) 貸与期間：令和6年4月から正規の修学期間を終了する月まで
  - (3) 免除要件：大学を卒業した日の属する翌月の初日から起算して、1年3か月以内に医師免許を取得し、キャリア形成プログラムに基づき定められた期間内に修学資金の貸付期間の1.5倍の期間（義務年限）所定の医療機関に勤務したとき、貸付金の返還を免除します。
- ※在学中は、「キャリア形成卒前支援プラン」の対象となり、県等が実施する卒前支援プロジェクトに参加する必要があります。

詳細は、千葉県のホームページ等で必ず確認し出願してください。

<https://www.pref.chiba.lg.jp/iryuu/ishi/ishikakuho/gakusei/kashitsuke.html>

## 〈推薦入試（公募制—新潟県地域枠）〉

新潟県地域枠入試は、新潟県の医師養成修学資金貸与制度による医師修学資金貸与を希望する学生を選抜する入試区分です。

新潟県の医師養成修学資金貸与制度は、地域における医師不足や地域偏在を解消するため、地域医療に貢献しようとする意志を持つ医学生を対象に、将来、新潟県内の地域医療を担おうとする気概と情熱に富んだ医学生に対し、修学資金を貸与する制度です。

### 制度の概要

- (1) 貸与金額：月額 30万円  
6年間合計 2,160万円
- (2) 貸与期間：令和6年4月から正規の修学期間を終了する月まで
- (3) 免除要件：大学を卒業した後、2年以内に医師免許を取得し、その後新潟県が指定する医療機関等に9年間在職すること。（9年間には初期臨床研修の2年間を含む。）  
新潟県内で夏期休暇等を利用して行う地域医療に関する実習（2～3日間程度）に毎年（1年生～5年生まで）必ず参加すること。

※将来の診療科の選択については、特に地域医療に貢献できる内科・総合診療科等を推奨します。

詳細は、医師ナビにいがたのホームページ等で必ず確認し出願してください。

<https://www.ishinavi-niigata.jp/>

## 〈推薦入試（公募制－千葉県地域枠）〉

### 募集について

#### 1. 募集人員

医学部 3名

※入学予定者が募集人員に満たない場合は、一般入試（千葉県地域枠）の募集人員に充てます。

#### 2. 出願資格

下記に該当する者

- (1) 高等学校または中等教育学校（文部科学大臣が高等学校の課程に相当する課程を有するものとして認定した在外教育施設を含む）を卒業した者、および2024年3月卒業見込みの者
- (2) 出身学校長の推薦を受けた者
- (3) 合格をした場合、入学を確約できる者
- (4) 入学後に「千葉県医師修学資金（※）」の貸与を受け、本学卒業後に「千葉県キャリア形成プログラム（※）」に則り、医師として千葉県が指定する医療機関において修学資金の貸与期間の1.5倍の期間従事することを誓約できる者（出身地域は問いません）
- (5) 本修学資金の貸与を受けるにあたり、保証人を2名たてることのできる者

（※）千葉県ホームページ参照

<https://www.pref.chiba.lg.jp/iryou/ishi/ishikakuho/gakusei/kashitsuke.html>

（注意）医師法の定める医師免許取得に障がいのある者は原則として出願できません。

#### 3. その他

- (1) 総合入試、同窓生子女入試、推薦入試（付属校制）、推薦入試（公募制－新潟県地域枠）との併願はできません。
- (2) 推薦入試（公募制－千葉県地域枠）により入学した者は、地域医療学科目が必修となります。

### 出願方法について

#### 1. 出願期間

Web出願登録：2023年11月1日(水)～2023年11月8日(水) 13:00

検定料支払い期間：2023年11月1日(水)～2023年11月8日(水) 15:00

郵送受付：2023年11月1日(水)～2023年11月8日(水)(必着)

窓口受付：2023年11月8日(水) 9:00～17:00

#### 2. 出願書類と入学検定料

##### (1) Web志願票

顔写真データ(JPEG、BMP、PNGデータ形式でWeb出願サイトからアップロードしてください。2MBまで。)

上半身正面向き・無帽・無背景・カラー

出願から3ヵ月以内に撮影したもの。高校の制服着用不可。(入学後に学生証の写真とするため。)

【使用できない写真例】

不鮮明、背景が暗い、顔が横向き、複数名で写っている、画像に加工を施している、現像された写真を再撮影しているもの等。

##### (2) 出身高等学校調査書 1通

高等学校長が作成し厳封したものを提出してください。(2023年10月1日以降発行のもの)

##### (3) 出身高等学校推薦書 1通

Web出願サイトから印刷、高等学校長が作成し厳封したものを提出してください。

##### (4) 外国人は在留資格認定証明書、在留カードまたは住民票のいずれか1通(該当者のみ)

##### (5) 自己アピールシート

##### (6) 志望理由書

##### (7) 誓約書(本学提出用)(記入の際は入学確約入試であることを理解して記入してください。)

##### (8) 修学資金貸付申請書(千葉県提出用)

##### (9) 誓約書(千葉県提出用)

##### (10) 同意書(千葉県提出用)

※(5)～(10)はWeb出願サイトから様式(A4用紙1枚)を印刷し、ボールペンまたは万年筆で手書きで記入し提出してください。

##### (11) 入学検定料 60,000円

19ページからの「Web出願の流れ」に従って支払いを完了してください。

(注意) いったん受理した出願書類・検定料はいかなる理由があっても返還しません。

本人住所、保護者住所は合格通知等の郵便先として使用します。出願後、住所変更した場合は医学部入試係に連絡してください。

医学部入試係：電話 03-5763-6670

### 試験について

#### 1. 試験日・試験科目・時間割

試験日	試験科目	時間割	試験時間
1次試験 2023年11月17日(金)	基礎学力	9:45～10:45	60分
	適性試験	11:30～12:30	60分
2次試験 2023年12月2日(土)	面接	1次試験合格発表時に 通知します	約30分/1人

#### 2. 合格発表

##### (1) 日時、方法

試験区分	日時	方法
1次試験	2023年11月27日(月)正午	合格者の受験番号を医学部構内および本学ホームページに掲示します。 (掲示期間: 11/27(月)正午～12/2(土)17:00) 併せて2次試験の集合時間も発表します。
2次試験	2023年12月6日(水)正午	合格者の受験番号を医学部構内および本学ホームページに掲示します。 (掲示期間: 12/6(水)正午～12/8(金)17:00) 合格者には志願票で選択した住所へ文書をもって本人宛に通知します。

- (2) 合格発表に関する電話での問い合わせには一切応じられません。
- (3) 本学ホームページでの案内は合否確認の補助的手段で、医学部構内での掲示を正式な合格発表とします。ホームページ上で、通信等のトラブルが発生しても、本学は一切責任を負いません。

#### 3. 試験会場

1次試験、2次試験共に東邦大学大森キャンパス: 24ページの案内図を参照してください。



## 〈推薦入試（公募制－新潟県地域枠）〉

### 募集について

#### 1. 募集人員

医学部 6名

※入学予定者が募集人員に満たない場合は、一般入試（新潟県地域枠）の募集人員に充てます。

#### 2. 出願資格

下記に該当する者

- (1) 高等学校または中等教育学校（文部科学大臣が高等学校の課程に相当する課程を有するものとして認定した在外教育施設を含む）を卒業した者、および2024年3月卒業見込みの者
- (2) 出身学校長の推薦を受けた者
- (3) 合格をした場合、入学を確約できる者
- (4) 入学後に「新潟県医師養成修学資金（※）」の貸与を受け、本学卒業後に医師として新潟県が指定する医療機関等に9年間従事することを誓約できる者（出身地域は問いません）
- (5) 本修学資金の貸与を受けるにあたり、保証人を2名たてることのできる者

（※）地域枠に関するWebサイト（医師ナビにいがた）

<https://www.ishinavi-niigata.jp/>

（注意）医師法の定める医師免許取得に障がいのある者は原則として出願できません。

#### 3. その他

- (1) 総合入試、同窓生子女入試、推薦入試（付属校制）、推薦入試（公募制－千葉県地域枠）との併願はできません。
- (2) 推薦入試（公募制－新潟県地域枠）により入学した者は、地域医療学科目が必修となります。

### 出願方法について

#### 1. 出願期間

Web出願登録：2023年11月1日(水)～2023年11月8日(水) 13:00

検定料支払い期間：2023年11月1日(水)～2023年11月8日(水) 15:00

郵送受付：2023年11月1日(水)～2023年11月8日(水)(必着)

窓口受付：2023年11月8日(水) 9:00～17:00

#### 2. 出願書類と入学検定料

##### (1) Web志願票

顔写真データ(JPEG、BMP、PNGデータ形式でWeb出願サイトからアップロードしてください。2MBまで。)

上半身正面向き・無帽・無背景・カラー

出願から3ヵ月以内に撮影したもの。高校の制服着用不可。(入学後に学生証の写真とするため。)

【使用できない写真例】

不鮮明、背景が暗い、顔が横向き、複数名で写っている、画像に加工を施している、現像された写真を再撮影しているもの等。

##### (2) 出身高等学校調査書 1通

高等学校長が作成し厳封したものを提出してください。(2023年10月1日以降発行のもの)

##### (3) 出身高等学校推薦書 1通

Web出願サイトから印刷、高等学校長が作成し厳封したものを提出してください。

##### (4) 外国人は在留資格認定証明書、在留カードまたは住民票のいずれか1通(該当者のみ)

##### (5) 自己アピールシート

##### (6) 志望理由書

##### (7) 誓約書(本学提出用)(記入の際は入学確約入試であることを理解して記入してください。)

##### (8) 新潟県医師養成修学資金貸与申請書・所信書(新潟県提出用)

##### (9) 誓約書(新潟県提出用)

##### (10) 同意書(新潟県提出用)

※(5)～(10)はWeb出願サイトから様式(A4用紙1枚)を印刷し、ボールペンまたは万年筆で手書きで記入し提出してください。

なお、(8)の申請書・所信書はA4用紙1枚に両面印刷してください。

##### (11) 入学検定料 60,000円

19ページからの「Web出願の流れ」に従って支払いを完了してください。

(注意) いったん受理した出願書類・検定料はいかなる理由があっても返還しません。

本人住所、保護者住所は合格通知等の郵便先として使用します。出願後、住所変更した場合は医学部入試係に連絡してください。

医学部入試係：電話 03-5763-6670

### 試験について

#### 1. 試験日・試験科目・時間割

試験日	試験科目	時間割	試験時間
1次試験 2023年11月17日(金)	基礎学力	9:45～10:45	60分
	適性試験	11:30～12:30	60分
2次試験 2023年12月2日(土)	面接	1次試験合格発表時に 通知します	約30分/1人

#### 2. 合格発表

##### (1) 日時、方法

試験区分	日時	方法
1次試験	2023年11月27日(月)正午	合格者の受験番号を医学部構内および本学ホームページに掲示します。 (掲示期間: 11/27(月)正午～12/2(土)17:00) 併せて2次試験の集合時間も発表します。
2次試験	2023年12月6日(水)正午	合格者の受験番号を医学部構内および本学ホームページに掲示します。 (掲示期間: 12/6(水)正午～12/8(金)17:00) 合格者には志願票で選択した住所へ文書をもって本人宛に通知します。

- (2) 合格発表に関する電話での問い合わせには一切応じられません。
- (3) 本学ホームページでの案内は合否確認の補助的手段で、医学部構内での掲示を正式な合格発表とします。ホームページ上で、通信等のトラブルが発生しても、本学は一切責任を負いません。

#### 3. 試験会場

1次試験、2次試験共に東邦大学大森キャンパス: 24ページの案内図を参照してください。

## 注意事項（全区分共通）

### 1. 出願上の注意

#### (1) 受験票について

「受験票」は出願書類を受理した後、登録したメールアドレス宛に受験票の印刷についての案内を送ります。マイページに再度ログインして印刷してください。印刷した受験票は試験当日必ず持参してください。

#### (2) 出願手続きについて

Web出願の登録だけではなく、検定料の支払いを済ませ、出願書類提出までを出願手続とします。

#### (3) 受験上の配慮および修学上の配慮希望について

本学に入学を希望する方で、病気や障がい等のために受験上の配慮や修学上の配慮を希望する場合は、本学Webサイト「受験上の配慮および修学上の配慮希望について」を参照のうえ、申請してください。

申請が行われた場合、病気や障がい等の程度に応じて必要な配慮を行います。すべてのご希望に沿えるとは限りませんので、予めご承知おきください。

申請方法：本学Webサイト「受験上の配慮および修学上の配慮希望について」に掲載している「受験上の配慮および修学上の配慮申請のご案内（PDF）」を熟読のうえ、「受験上の配慮および修学上の配慮申請フォーム（Googleフォーム）<sup>\*</sup>」より申請を行ってください。

**【受験上の配慮および修学上の配慮希望について参照URL】**

[https://www.toho-u.ac.jp/info\\_exam/hairyo/index.html](https://www.toho-u.ac.jp/info_exam/hairyo/index.html)

<sup>\*</sup>「受験上の配慮および修学上の配慮申請フォーム」を使用する際には、予めGoogleアカウントの作成が必要です。Googleアカウントをお持ちでない方は、「受験上の配慮および修学上の配慮申請のご案内」の「Googleアカウントの作成手順」に沿って作成してください。

#### (4) 全面禁煙について

東邦大学医学部では敷地内全面禁煙としています。入学後はこれを遵守してください。

### 2. 試験当日の注意

(1) 受験票を必ず持参してください。受験票のない場合は、試験を受けられない場合があります。

(2) 受験者は試験開始時刻の30分前までに、試験場への入室を完了してください。開場前に来校した場合は、学生ラウンジ（医学部1号館1階）にてお待ちください。

(3) 試験開始後20分以上遅刻した場合は、入室できません（受験できません）。

(4) 試験開始後は原則として途中退室は認めません。

(5) マークシート方式および記述の試験を行いますので、HBのシャープペンシルもしくはHBの鉛筆と消しゴムを必ず持参してください（受験者間での貸借禁止）。

(6) 英文字がプリントされている上着等は着用しないでください。着用している場合には、脱いでもらうこともあります。

(7) 不正行為を行った場合は、その場で受験中止と退室を指示され、それ以後の受験はできなくなります。また、受験した全ての教科・科目の成績を無効とします。

① 次のことをすると不正行為となります。

(a) 志願票、受験票、解答用紙等へ故意に虚偽の記入（本人以外の氏名・受験番号を記入するなど）をすること。

- (b) カンニング（試験の教科・科目に関係なくメモやコピーなどを机上等に置いたり見たりすること、参考書の内容や他の受験者の答案等を見ること、他の人から答えを教わることなど。）をすること。
  - (c) 他の受験者に答えを教えたりカンニングの手助けをすること。
  - (d) 問題冊子、解答用紙を試験会場から持ち出すこと。
  - (e) 指示の前に、問題冊子を開いたり解答を始めること。
  - (f) 試験時間中に、定規、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具を使用すること。
  - (g) 試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、電子辞書、ICレコーダー等の電子機器類を使用すること。
  - (h) 試験時間終了後に、鉛筆や消しゴムを持っていたり解答を続けること。
- ② 上記①以外にも、次のことをすると不正行為となることがあります。指示等に従わず、不正行為と認定された場合の取扱いは、①と同様です。
- (a) 試験時間中に、定規、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具や携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、電子辞書、ICレコーダー等の電子機器類、参考書をかばん等にしまわず、身に付けていたり手に持っていること。
  - (b) 試験時間中に携帯電話や時計等の音（着信・アラーム・震動音など。）を長時間鳴らすなど、試験の進行に影響を与えること。
  - (c) 試験に関することについて、自身や他の受験者を利するような虚偽の申出をすること。
  - (d) 試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
  - (e) 試験場において試験監督者等の指示に従わないこと。
  - (f) その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること。
- (8) 交通は電車・バスを利用してください。
  - (9) 試験会場には受験者以外の立ち入りは出来ません。
  - (10) 試験会場は全面禁煙です。

## 入学の手続きについて（全区分共通）

### 1. 入学手続

- (1) 合格者には合格通知書とともに入学手続要項を送付します。
- (2) 入学手続期間は2023年12月12日（火）15：00までとします。
- (3) 入学手続には下記のものが必要です。
  - (a) 誓約書・保証書1通
  - (b) 個人情報の取扱いに関する同意書1通
  - (c) 東邦大学青藍会会員届1通
  - (d) 所定の学納金および委託徴収金の納付
  - (e) 千葉県医師修学資金における連帯保証人2名の印鑑証明書（千葉県提出用）
  - (f) 千葉県医師修学資金における貸付申請者及び連帯保証人2名の戸籍謄本（千葉県提出用）
  - (g) 千葉県医師修学資金における貸付申請者本人名義の振込口座の写し  
※(e)、(f)、(g)は、推薦入試（公募制－千葉県地域枠）のみ
  - (h) 修学資金振込先等連絡用紙（新潟県提出用）  
※(h)は、推薦入試（公募制－新潟県地域枠）のみ

### 2. 入学時納付金等

#### (1) 「学納金」

項目	金額	備考
入学金	1,500,000円	初年度のみ徴収
授業料	2,500,000円	年額
医学教育充実費	500,000円	2年次以降900,000円を徴収
施設設備費	300,000円	2年次以降800,000円を徴収
合計	4,800,000円	

#### (2) 「委託徴収金」

項目	金額	備考
学生教育研究災害傷害保険料	4,800円	初年度のみ徴収
学研災付帯賠償責任保険料	3,000円	初年度のみ徴収
青藍会費（父母会）	300,000円	初年度のみ徴収
学生自治会費	90,000円	初年度のみ徴収
東邦会費（同窓会）	100,000円	初年度のみ徴収
合計	497,800円	

- (3) 在学中の授業料は教育経費の動向を勘案し、改定する場合があります。
- (4) 医学教育充実費は医学教育に必要な経常費の不足額の一部を特別納付金の形で徴収するものです。
- (5) 2年次以降の学納金は授業料・医学教育充実費・施設設備費になります。

### 3. その他

#### (1) 特待生制度

2年次から6年次までの前学年次の学業成績が優秀で、且つ心身ともに健全な学生を対象に、当該年度に納める授業料のうち1人最高100万円（各学年200万円限度）を免除します。

#### (2) 奨学金制度

奨学金を希望する学生のために、医学部独自の奨学金制度、日本学生支援機構等の公的制度および地方自治体・民間団体等の奨学金制度が設けられています。

奨学金の詳細については本学ホームページを確認してください。

東邦大学青藍会貸与奨学金（貸与）

千葉県医師修学資金（貸与）

日本学生支援機構奨学金（貸与）

東京都育英資金（貸与）

東京都交通遺児資金（貸与）

川崎市大学奨学金（貸与）

大田区奨学金（貸与）

丸和育英会奨学金（給付）

颯田医学奨学会奨学金（給付）

#### (3) 学費ローンについて

本学では授業料等の納入に必要な資金について、提携教育ローンを(株)ジャックスと締結しています。詳細については、(株)ジャックス コンシューマーデスクまでお問い合わせください。

フリーダイヤル0120-338-817（受付時間／平日9：30～17：30 土日祝日10：00～18：00）

※学費ローンを利用された場合でも、**手続期限日は厳守となりますのでご注意ください。**

#### (4) 寄付金について

入学後、本学の医学振興のため、任意の寄付金をお願いしています。

【地域枠抜粋版】

2024年度

# 学生募集要項

医学部

〈 一 般 入 試 〉

〈一般入試(千葉県地域枠)〉

〈一般入試(新潟県地域枠)〉



東邦大学



# 2024年度 医学部入学試験概要

## 募集人員・試験日程

試験区分	募集人員	出願期間	試験日・試験場	合格発表
総合入試	約10名	郵便受付： 2023年11月1日(水)～ 2023年11月8日(水)必着  窓口受付： 2023年11月8日(水) 9：00～17：00	1次試験： 2023年11月17日(金) 試験場：大森キャンパス  2次試験： 2023年12月2日(土) 試験場：大森キャンパス (1次試験合格者のみ)	1次試験： 2023年11月27日(月) 正午  2次試験： 2023年12月6日(水) 正午
同窓生 子女入試	約5名			
推薦入試 (公募制- 千葉県 地域枠)	3名			
推薦入試 (公募制- 新潟県 地域枠)	6名			
推薦入試 (付属校制)	約25名	学校長を經由して出願		学校長を經由して 発表
一般入試	約70名*	郵便受付： 2023年12月11日(月)～ 2024年1月24日(水)必着  窓口受付： 2024年1月23日(火)・24日(水) 9：00～17：00	1次試験： 2024年2月6日(火) 試験場：パシフィコ横浜ノース 大森キャンパス  2次試験： 2024年2月14日(水)・15日(木) のいずれか1日 試験場：大森キャンパス (1次試験合格者のみ)	1次試験： 2024年2月9日(金) 正午  2次試験： 2024年2月17日(土) 正午
一般入試 (千葉県 地域枠)	2名*			
一般入試 (新潟県 地域枠)	2名*			

※総合入試、同窓生子女入試、推薦入試(付属校制)の結果、入学予定者が募集人員に満たない場合は、一般入試の募集人員に充てます。

※推薦入試(公募制-千葉県地域枠)の結果、入学予定者が募集人員に満たない場合は、一般入試(千葉県地域枠)の募集人員に充てます。

※推薦入試(公募制-新潟県地域枠)の結果、入学予定者が募集人員に満たない場合は、一般入試(新潟県地域枠)の募集人員に充てます。

## 入試についてのお問い合わせ

### 東邦大学医学部入試係

〒143-8540 東京都大田区大森西5丁目21番16号 電話 03-5763-6670 (直通)

※1次試験当日のお問い合わせ先 電話 080-3575-4151(2月6日のみ通話可能)

入試当日の電車遅延等の緊急対応については  
ホームページのトップに情報を逐次公開します。

<https://www.toho-u.ac.jp/>

# 目 次

## 共通内容①

建学の精神、教育の理念、アドミッション・ポリシー、 カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシー	4 ページ～
入学者選抜方法の趣旨	7 ページ～

## 各入試区分

一 般 入 試	9 ページ～
一般入試（千葉県地域枠）	13ページ～
一般入試（新潟県地域枠）	18ページ～

## 共通内容②

注 意 事 項	23ページ～
個別の入学資格審査について (外国人学校卒業・卒業見込みの者)	26ページ～
入学の手続きについて	27ページ～
Web出願の流れ	29ページ～
個人情報の取り扱いについて	33ページ～
案 内 図	34ページ～

# 医 学 部

## 建 学 の 精 神

「自然・生命・人間」

## 教 育 の 理 念

「自然に対する畏敬の念を持ち、生命の尊厳を自覚し、人間の謙虚な心を原点として、かけがえのない自然と人間を守るための、豊かな人間性と均衡のとれた知識・技能を育成する」

## アドミッション・ポリシー

本学の建学の精神である「自然・生命・人間」を礎に、自然に対する畏敬の念を持ち、生命の尊厳を自覚し、人間としての謙虚な心を原点として、かけがえのない自然と人間を守るため、豊かな人間性と均衡のとれた知識と技能を有する「より良き臨床医」の育成を医学部の教育目標に掲げています。

医学部は、この教育目標を達成するために、医学知識および技能の教育にとどまらず、患者中心の医療を実践するための幅広い教養教育に基づいた豊かな人間性を涵養します。そして、少人数グループによる課題解決型学習を通して、進歩し続ける医学・医療に対応できるだけでなく、患者やその家族、他職種からの深い信頼を得られる医師を養成します。さらに、多様な語学教育を通じて、異なる文化・民族的背景を持つ人々への医療を提供できる人材の育成に努めます。

そこで、本学部は、以下のような資質を備えた人材を積極的に受け入れます。

### 入学者に求める能力

**基 礎 学 力**：医学的知識を修得するために必要な基礎学力と論理的思考を行う能力を有している。

**能動的学修能力**：医師としての基本的技能を修得するために必要な能動的学修者としての姿勢を有している。

**コミュニケーション能力**：他者の価値観を尊重し、良好な関係を築くための基本的なコミュニケーション能力と表現力を有している。

**科学的探究心**：自然・生命現象に対する強い興味・関心を有している。

**社会貢献と倫理観**：社会に対する興味・関心を持ち、自らの行動を振り返る姿勢を有している。

**国際性・多様性**：異なる文化や多様な価値観を理解する姿勢があり、外国語の修得に積極的である。

## カリキュラム・ポリシー

### 「人生100年時代に向けて、人と人をつなぐ人間性豊かな医療人の養成のためのカリキュラム」

東邦大学医学部は、人生100年時代に向けて、人と人をつなぐ人間性豊かな医療人である『より良き臨床医』の育成を目指しています。2024年度から導入されるカリキュラムでは、医療現場での実習を低学年から導入して医師としての基礎力の向上を図ります。また、多職種連携を意識した他学部との共通教育を一層推進します。診療参加型臨床実習の期間を十分に設け、内容もさらに充実させることで、『より良き臨床医』の育成を目指します。

1コマ50分として全学で統一された授業時間を十分に活用し、演習授業を充実させ、実践的な知識・技能・態度の習得を促します。

#### 医学的知識

医学準備科目と基礎医学科目を水平統合し、一貫した理解や関連付けられた理解を促します。多くの人文・社会学系科目、選択科目で幅広い教養と豊かな人間性を涵養します。

臨床科目においても関連する領域を合わせて学修する水平統合した科目運用を行います。課題解決型学習(PBLテュートリアル、臨床推論)を通じて能動的に学修する姿勢を涵養するとともに、情報・科学技術を活用して適切に情報入手し考察できる力を育成します。

4年次夏に共用試験CBTの受験機会を設定します。

診療参加型臨床実習では症例を通じて、全人的医療の実践に必要な横断的な臨床知識と臨床推論能力を育成します。

実習・演習では発表機会を数多く設け、知識や考察内容を他者にわかりやすく伝えるプレゼンテーション能力を磨きます。

#### 実践能力

全人的医療人教育において、対人コミュニケーションの基本を身に付けます。共通教育として実施される他学部との合同授業や演習を通して、地域・社会においてチーム医療の果たす役割を学び、多職種の専門性を尊重する態度を涵養します。

診断学実習、シミュレーション実習、臨床推論演習を通じて、基本的な医療面接、診察の手技、臨床診断の能力を育成します。診療参加型臨床実習では、付属病院の他、国内外の医療施設において、医療チームの一員としてチーム医療・多職種連携に参画し、医師として必要な実践能力を育成します。

4年次夏に共用試験臨床実習前OSCEを、6年次夏に臨床実習後OSCEの受験機会を設定します。

#### 患者対応能力

1年次から6年次まで一貫して実施される全人的医療人教育を通じて、高い倫理観と医師として相応しい思考・態度をもって患者や患者の家族に対応する能力を育成します。医療現場における体験実習の機会を低学年から設けることで患者や患者の家族が持つ苦痛を理解し、配慮する姿勢を涵養します。診療参加型臨床実習を通じて、医療チームの一員として患者や患者の家族、医療従事者との信頼関係を構築する能力を育成します。

#### 科学的探究心

自ら学修すべき内容を探索し、実際に学修するための時間を十分に設定することで、医学の進歩に対応するために必要な能動的学修態度を涵養します。全人的医療人教育を通じて研究遂行に必要な倫理的事項を理解する機会を設けます。基礎医学系実習や社会学実習を通じて医学研究の基礎となる科学的背景と方法論を学修する機会を設けます。教員がマンツーマンで最新の医学研究に関する指導を行い、学術論文を執筆する機会を全員に設けることで、医学領域における研究の意義を理解させ、生涯にわたり自己研鑽を続けるために必要な倫理的・批判的思考を含む科学的思考力を育成します。

#### 社会・地域への貢献

1年次の全人的医療人教育では地域の介護施設にて、診療参加型臨床実習では地域の診療所や中核医療施設において実習を行い、実践を通じて地域医療を学修する機会を設けます。

社会学系科目や臨床医学において、日本や世界の医療・社会保障制度、予防医学、など様々なライフステージや地域における医療について学修する機会を設けます。

地域枠入学者に対しては地域医療学科目を必修とし、我が国の地域医療の問題についてより深く考察する機会を設け、将来的に地域医療を支える自覚と実践能力を育成します。

#### 国際性・多様性

全人的医療人教育を通じて多様性を尊重する態度を涵養するとともに、多様性に配慮したコミュニケーションを理解し、医療現場を模したシミュレーション実習を通じて実践する能力を育成します。

1年次から4年次まで英語科目を必修科目として設定し、総合的な英語力の向上と、医療現場での英語を学修する機会を設けます。4年次末には英語による医療面接試験を設定します。

選択科目として英語以外の外国語科目、多彩な人文・社会学系科目を開設し、多様な視点・考え方を涵養します。

選択制臨床実習では国内外のさまざまな医療施設での実習を可能とし、多様な文化的・社会的背景を経験することで多様性に配慮した医療を実践するための視野を涵養します。

## ディプロマ・ポリシー

### 医学部

#### 学士（医学）

医学部において、所定の履修過程を修了し、以下に示すコンピテンシーを身に付けた者に学士（医学）の学位を授与します。

#### 医学的知識

医療の基盤となっている基礎医学・臨床医学・社会医学の知識を修得し、的確な思考過程と判断力に基づいて、それらを医療現場で生かすことができる。

#### 実践能力

医師としての職責を十分に自覚し、患者個人や多職種の専門性を尊重した態度をとることができる。また、適切で効果的な診療を行うための基本的な技能を実践できる。

#### 患者対応能力

倫理的配慮の下に患者やその家族の尊厳・意思を尊重し、かつ、医療従事者の信頼を得られる思考と態度を身に付け、相互理解と信頼の下に、適切な情報のやり取りができる。

#### 科学的探究心

医学領域での研究の意義を理解し、論理的・批判的な思考により問題点を見出し、研究倫理に基づき追求できる素養を身に付け、生涯にわたり自己研鑽を続ける意欲と態度を有している。

#### 社会・地域への貢献

有限な保健・福祉・医療の資源を適切に活用することで、社会・地域で求められる医療を実践し、その改善に努めることができる。

#### 国際性・多様性

語学力を高め、幅広い教養を身に付け、国・人種や性・文化の違いに配慮し尊重することができる。

## 入学者選抜方法の趣旨

数学・理科（生物・物理・化学より2科目選択）・英語の筆記試験を行い、これらの科目の基礎知識と応用力を確認します。基礎学力の試験では、文章や図表の内容の理解度やそれらを論理的に表現する力、科学的判断力を確認します。面接では、自分の考えを他者に明確に伝えることができるコミュニケーション能力、異なる意見を持つ他者の意見を尊重する態度を有していることを確認します。また医学・医療に関する強い興味や向学心、自主性や積極性などを有していることも確認します。日常の成績や態度に関しては高校の調査書により、医学を学ぶための基礎学力・語学力を有していること、コミュニケーション能力や向学心を有していることを確認します。

## 〈一般入試（千葉県地域枠）〉

千葉県地域枠入試は、千葉県の医師修学資金制度による医師修学資金貸与を希望する学生を選抜する入試区分です。

千葉県修学資金制度は、地域における医師不足や地域偏在を解消するため、地域医療に貢献しようとする意志を持つ医学生を対象に、将来、千葉県で医師として働こうとする者に対し、修学資金を貸与する制度です。

### 制度の概要

- (1) 貸与金額：月額 20万円  
6年間合計 1,440万円
  - (2) 貸与期間：令和6年4月から正規の修学期間を終了する月まで
  - (3) 免除要件：大学を卒業した日の属する翌月の初日から起算して、1年3か月以内に医師免許を取得し、キャリア形成プログラムに基づき定められた期間内に修学資金の貸付期間の1.5倍の期間（義務年限）所定の医療機関に勤務したとき、貸付金の返還を免除します。
- ※在学中は、「キャリア形成卒前支援プラン」の対象となり、県等が実施する卒前支援プロジェクトに参加する必要があります。

詳細は、千葉県のホームページ等で必ず確認し出願してください。

<https://www.pref.chiba.lg.jp/iryuu/ishi/ishikakuho/gakusei/kashitsuke.html>

## 〈一般入試（新潟県地域枠）〉

新潟県地域枠入試は、新潟県の医師養成修学資金貸与制度による医師修学資金貸与を希望する学生を選抜する入試区分です。

新潟県の医師養成修学資金貸与制度は、地域における医師不足や地域偏在を解消するため、地域医療に貢献しようとする意志を持つ医学生を対象に、将来、新潟県内の地域医療を担おうとする気概と情熱に富んだ医学生に対し、修学資金を貸与する制度です。

### 制度の概要

- (1) 貸与金額：月額 30万円  
6年間合計 2,160万円
- (2) 貸与期間：令和6年4月から正規の修学期間を終了する月まで
- (3) 免除要件：大学を卒業した後、2年以内に医師免許を取得し、その後新潟県が指定する医療機関等に9年間在職すること。（9年間には初期臨床研修の2年間を含む。）  
新潟県内で夏期休暇等を利用して行う地域医療に関する実習（2～3日間程度）に毎年（1年生～5年生まで）必ず参加すること。

※将来の診療科の選択については、特に地域医療に貢献できる内科・総合診療科等を推奨します。

詳細は、医師ナビにいがたのホームページ等で必ず確認し出願してください。

<https://www.ishinavi-niigata.jp/>

## 〈一般入試(千葉県地域枠)〉

### 募集について

#### 1. 募集人員

医学部 2名

※推薦入試(公募制-千葉県地域枠)の結果、入学予定者が募集人員に満たない場合は、一般入試(千葉県地域枠)の募集人員に充てます。

#### 2. 出願資格

下記に該当する者

- (1) 高等学校(中等教育学校の後期課程を含む。以下同じ)を卒業した者および2024年3月卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者および2024年3月修了見込みの者
- (3) 学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者および2024年3月31日までにこれに該当する見込みの者(以下「有資格者」という)
  - (a) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者および2024年3月31日までに修了見込みの者またはこれらに準ずる者で文部科学大臣が指定した者
  - (b) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者および2024年3月31日までに修了見込みの者
  - (c) 文部科学大臣の指定した者
  - (d) 文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験(旧大学入学資格検定)に合格した者および2024年3月31日までに合格見込みの者
  - (e) その他本学において、相当の年齢に達し、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者
- (4) 合格をした場合、入学を確約できる者
- (5) 入学後に「千葉県医師修学資金(※)」の貸与を受け、本学卒業後に「千葉県キャリア形成プログラム(※)」に則り、医師として千葉県が指定する医療機関において修学資金の貸与期間の1.5倍の期間従事することを誓約できる者(出身地域は問いません)
- (6) 本修学資金の貸与を受けるにあたり、保証人を2名たてることのできる者

(※) 千葉県ホームページ参照

<https://www.pref.chiba.lg.jp/iryuu/ishi/ishikakuho/gakusei/kashitsuke.html>

(注意) 医師法の定める医師免許取得に障がいのある者は原則として出願できません。

#### 3. その他

- (1) 一般入試と併願することができます。
- (2) 一般入試(新潟県地域枠)との併願はできません。
- (3) 一般入試(千葉県地域枠)と一般入試を併願した者のうち、一般入試(千葉県地域枠)に合格した者は、一般入試の選抜対象外とします。
- (4) 一般入試(千葉県地域枠)により入学した者は、地域医療学科目が必修となります。



## 出願方法について

### 1. 出願期間

Web出願登録：2023年12月11日(月)～2024年1月24日(水) 13:00

検定料支払い期間：2023年12月11日(月)～2024年1月24日(水) 15:00

郵送受付：2023年12月11日(月)～2024年1月24日(水)(必着)

窓口受付：2024年1月23日(火)・24日(水) 9:00～17:00

### 2. 出願書類と入学検定料

#### (1) Web志願票

書類等に不備があった場合には、Web出願時に入力された電話番号に連絡しますので、確実に連絡の取れる電話番号を複数入力してください。

顔写真データ(JPEG、BMP、PNGデータ形式でWeb出願サイトからアップロードしてください。2MBまで。)

上半身正面向き・無帽・無背景・カラー

出願から3ヵ月以内に撮影したもの。高校の制服着用不可。(入学後に学生証の写真とするため。)

【使用できない写真例】

不鮮明、背景が暗い、顔が横向き、複数名で写っている、画像に加工を施している、現像された写真を再撮影しているもの等。

#### (2) 出身高等学校調査書 1通

(a) 高等学校長が作成し厳封したものを提出してください。(2023年10月1日以降発行のもの)

被災その他の事情により調査書が得られない場合・高等学校卒業後5年以上経過し、調査書が発行できない場合は卒業証明書(又は、卒業見込証明書)を提出してください。

(b) 高等学校卒業以降の学歴(卒業)を有する場合(短大・大学・大学院)は、最終学歴にかかる出身校の卒業証明書を提出してください。(2023年1月1日以降発行のもの)(その場合、高校の調査書の提出は不要です。)

注) ただし、在学中(卒業見込者含む)・中退・休学の場合は出身高等学校の調査書を提出してください。

(c) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者および2024年3月31日までに修了見込みの者またはこれらに準ずる者で文部科学大臣が指定した者は、卒業(修了)証明書もしくは卒業(修了)見込証明書および成績証明書を提出してください。

(d) 高等学校卒業程度認定試験(旧大学入学資格検定)に合格した者は、その合格証明書および成績証明書(各1通)を提出してください。

なお、免除科目がある場合は、当該科目修得を証明する高等学校等の証明書をそえて提出してください。

#### (3) 志望理由書

(4) 誓約書(本学提出用)(記入の際は入学確約入試であることを理解して記入してください。)

(5) 修学資金貸付申請書(千葉県提出用)

(6) 誓約書(千葉県提出用)

(7) 同意書(千葉県提出用)

※(3)～(7)はWeb出願サイトから様式(A4用紙1枚)を印刷し、ボールペンまたは万年筆で手書きで記入し提出してください。

(8) 自己アピールシート(2次試験時に提出)

様式および詳細は1次試験の合格発表時に本学ホームページに提示します。

(9) 外国人は在留資格認定証明書、在留カードまたは住民票のいずれか1通(該当者のみ)

(10) 入学検定料 60,000円

一般入試と一般入試(千葉県地域枠)を併願し、同時出願する場合:80,000円

29ページからの「Web出願の流れ」に従って支払いを完了してください。

(注意) いったん受理した出願書類・検定料はいかなる理由があっても返還しません。

本人住所、保護者住所は合格通知等の郵便先として使用します。出願後、住所変更した場合は医学部入試係(電話 03-5763-6670)に連絡してください。

併願者で出願後から2次試験受験までの間に辞退を申し出る場合は、医学部入試係(電話03-5763-6670)まで電話連絡をしたうえで、書面にて辞退する旨を記載し、医学部入試係まで郵送にて連絡してください。

なお、2次試験受験後に辞退することはできません。

### 試験について

#### 1. 試験科目

試験区分	試験科目				試験時間	配点	
1次試験	理 科	物理	物理基礎、物理		2 科 目 選 択	120分	150点
		化学	化学基礎、化学				
		生物	生物基礎、生物				
	数 学	数学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ 数学A 数学B(数列とベクトルのみ)			90分	100点	
	外 国 語	コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ 英語表現Ⅰ・Ⅱ			90分	150点	
基礎学力	論理的思考能力、数理解析能力等			60分	—		
2次試験	面 接	1次試験合格者のみに実施			40分	—	

※1次試験は、理科150点、数学100点、外国語150点、合計400点満点の試験で合否が決まり、基礎学力は2次試験合格者選抜時に使用します。

※物理、化学、生物、数学、外国語に基準点を設け、1科目でも基準点に達しない場合は、不合格になることがあります。

※各科目は、マークシート方式で出題します。ただし、基礎学力のみ記述式があります。

※未受験科目がある場合は、不合格となります。

#### 2. 試験日、時間割

試験区分	試験日	試験時間				
1次試験	2024年2月6日(火)	8:35~8:45	9:00~11:00	12:30~14:00	14:30~16:00	16:30~17:30
		点呼・注意事項説明	理 科	数 学	外国語	基礎学力
2次試験	2月14日(水)・15日(木)のうち大学が指定する1日	9:00~(予定)				
		面 接				

(注)2次試験日程は1次試験合格発表時に指定します。ただし、特別な事情で2次試験日の変更を希望する場合は、下記の振替え受付日時内に、医学部入試係に受験票を持参の上、振替え手続きをしてください。電話による2次試験日の変更は出来ません。

振替え受付日時：2月9日(金) 正午~17:00、2月10日(土) 9:00~正午

### 3. 合格発表

#### (1) 日時、方法

試験区分	日時	方法
1次試験	2月9日(金)正午	合格者の受験番号を医学部構内および本学ホームページに掲載します。併せて2次試験日程等も発表します。
2次試験	2月17日(土)正午	合格者の受験番号を医学部構内および本学ホームページに掲載します。合格者には志願票で選択した住所へ文書をもって本人宛に通知します。

1次試験合格発表の掲示期間：2月9日(金)正午～2月15日(木)17:00

2次試験合格発表の掲示期間：2月17日(土)正午～2月20日(火)17:00

- (2) 1次試験合格者は、本学所定の自己アピールシートを本学ホームページよりダウンロードし、事前に記入の上、2次試験当日持参してください。詳細は1次試験合格発表時に本学ホームページに掲載します。
- (3) 合格発表に関する電話での問い合わせには一切応じられません。
- (4) 本学ホームページでの案内は合否確認の補助的手段で、医学部構内での掲示を正式な合格発表とします。ホームページ上で、通信等のトラブルが発生しても、本学は一切責任を負いません。

### 4. 試験会場

試験区分	試験会場	注意事項
1次試験	<u>パシフィコ横浜ノース・東邦大学大森キャンパス</u>	1次試験会場への入室は、 <u>7:50</u> からです。
2次試験	東邦大学大森キャンパス	(35ページの試験会場図を参照してください)

※1次試験の会場は受験票に記すので確認してください。試験会場を選ぶことはできません。

※1次試験の会場への入室開始時間は変更となる場合があります。その際は本学ホームページに掲載します。

## 〈一般入試(新潟県地域枠)〉

### 募集について

#### 1. 募集人員

医学部 2名

※推薦入試(公募制-新潟県地域枠)の結果、入学予定者が募集人員に満たない場合は、一般入試(新潟県地域枠)の募集人員に充てます。

#### 2. 出願資格

下記に該当する者

- (1) 高等学校(中等教育学校の後期課程を含む。以下同じ)を卒業した者および2024年3月卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者および2024年3月修了見込みの者
- (3) 学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者および2024年3月31日までにこれに該当する見込みの者(以下「有資格者」という)
  - (a) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者および2024年3月31日までに修了見込みの者またはこれらに準ずる者で文部科学大臣が指定した者
  - (b) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者および2024年3月31日までに修了見込みの者
  - (c) 文部科学大臣の指定した者
  - (d) 文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験(旧大学入学資格検定)に合格した者および2024年3月31日までに合格見込みの者
  - (e) その他本学において、相当の年齢に達し、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者
- (4) 合格をした場合、入学を確約できる者
- (5) 入学後に「新潟県医師養成修学資金(※)」の貸与を受け、本学卒業後に、医師として新潟県が指定する医療機関等に9年間従事することを誓約できる者(出身地域は問いません)
- (6) 本修学資金の貸与を受けるにあたり、保証人を2名たてることのできる者

(※) 医師ナビにいがた参照

<https://www.ishinavi-niigata.jp/>

(注意) 医師法の定める医師免許取得に障がいのある者は原則として出願できません。

#### 3. その他

- (1) 一般入試と併願することができます。
- (2) 一般入試(千葉県地域枠)との併願はできません。
- (3) 一般入試(新潟県地域枠)と一般入試を併願した者のうち、一般入試(新潟県地域枠)に合格した者は、一般入試の選抜対象外とします。
- (4) 一般入試(新潟県地域枠)により入学した者は、地域医療学科目が必修となります。

### 出願方法について

#### 1. 出願期間

Web出願登録：2023年12月11日(月)～2024年1月24日(水) 13:00

検定料支払い期間：2023年12月11日(月)～2024年1月24日(水) 15:00

郵送受付：2023年12月11日(月)～2024年1月24日(水)(必着)

窓口受付：2024年1月23日(火)・24日(水) 9:00～17:00

#### 2. 出願書類と入学検定料

##### (1) Web志願票

書類等に不備があった場合には、Web出願時に入力された電話番号に連絡しますので、確実に連絡の取れる電話番号を複数入力してください。

顔写真データ(JPEG、BMP、PNGデータ形式でWeb出願サイトからアップロードしてください。2MBまで。)

上半身正面向き・無帽・無背景・カラー

出願から3ヵ月以内に撮影したもの。高校の制服着用不可。(入学後に学生証の写真とするため。)

**【使用できない写真例】**

不鮮明、背景が暗い、顔が横向き、複数名で写っている、画像に加工を施している、現像された写真を再撮影しているもの等。

##### (2) 出身高等学校調査書 1通

(a) 高等学校長が作成し厳封したものを提出してください。(2023年10月1日以降発行のもの)

被災その他の事情により調査書が得られない場合・高等学校卒業後5年以上経過し、調査書が発行できない場合は卒業証明書(又は、卒業見込証明書)を提出してください。

(b) 高等学校卒業以降の学歴(卒業)を有する場合(短大・大学・大学院)は、最終学歴にかかる出身校の卒業証明書を提出してください。(2023年1月1日以降発行のもの)(その場合、高校の調査書の提出は不要です。)

注)ただし、在学中(卒業見込者含む)・中退・休学の場合は出身高等学校の調査書を提出してください。

(c) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者および2024年3月31日までに修了見込みの者またはこれらに準ずる者で文部科学大臣が指定した者は、卒業(修了)証明書もしくは卒業(修了)見込証明書および成績証明書を提出してください。

(d) 高等学校卒業程度認定試験(旧大学入学資格検定)に合格した者は、その合格証明書および成績証明書(各1通)を提出してください。

なお、免除科目がある場合は、当該科目修得を証明する高等学校等の証明書をそえて提出してください。

##### (3) 志望理由書

(4) 誓約書(本学提出用)(記入の際は入学確約入試であることを理解して記入してください。)

(5) 新潟県医師養成修学資金貸与申請書・所信書(新潟県提出用)

(6) 誓約書(新潟県提出用)

(7) 同意書(新潟県提出用)

※(3)～(7)はWeb出願サイトから様式(A4用紙1枚)を印刷し、ボールペンまたは万年筆で手書きで記入し提出してください。

なお、(5)の申請書・所信書はA4用紙1枚に両面印刷してください。

(8) 自己アピールシート(2次試験時に提出)

様式および詳細は1次試験の合格発表時に本学ホームページに提示します。

(9) 外国人は在留資格認定証明書、在留カードまたは住民票のいずれか1通(該当者のみ)

(10) 入学検定料 60,000円

一般入試と一般入試(新潟県地域枠)を併願し、同時出願する場合:80,000円

29ページからの「Web出願の流れ」に従って支払いを完了してください。

(注意) いったん受理した出願書類・検定料はいかなる理由があっても返還しません。

本人住所、保護者住所は合格通知等の郵便先として使用します。出願後、住所変更した場合は医学部入試係(電話 03-5763-6670)に連絡してください。

併願者で出願後から2次試験受験までの間に辞退を申し出る場合は、医学部入試係(電話03-5763-6670)まで電話連絡をしたうえで、書面にて辞退する旨を記載し、医学部入試係まで郵送にて連絡してください。

なお、2次試験受験後に辞退することはできません。

## 試験について

## 1. 試験科目

試験区分	試験科目				試験時間	配点
1次試験	理 科	物理	物理基礎、物理		120分	150点
		化学	化学基礎、化学			
		生物	生物基礎、生物			
	数 学	数学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ 数学A 数学B(数列とベクトルのみ)		90分	100点	
外 国 語	コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ 英語表現Ⅰ・Ⅱ		90分	150点		
基 礎 学 力	論理的思考能力、数理解析能力 等		60分	—		
2次試験	面 接	1次試験合格者のみに実施			40分	—

※1次試験は、理科150点、数学100点、外国語150点、合計400点満点の試験で合否が決まり、基礎学力は2次試験合格者選抜時に使用します。

※物理、化学、生物、数学、外国語に基準点を設け、1科目でも基準点に達しない場合は、不合格になることがあります。

※各科目は、マークシート方式で出題します。ただし、基礎学力のみ記述式があります。

※未受験科目がある場合は、不合格となります。

## 2. 試験日、時間割

試験区分	試験日	試験時間				
1次試験	2024年2月6日(火)	8:35~8:45	9:00~11:00	12:30~14:00	14:30~16:00	16:30~17:30
		点呼・注意事項説明	理 科	数 学	外国語	基礎学力
2次試験	2月14日(水)・15日(木)のうち大学が指定する1日	9:00~(予定)				
		面 接				

(注)2次試験日程は1次試験合格発表時に指定します。ただし、特別な事情で2次試験日の変更を希望する場合は、下記の振替え受付日時内に、医学部入試係に受験票を持参の上、振替え手続きをしてください。電話による2次試験日の変更は出来ません。

振替え受付日時：2月9日(金) 正午~17:00、2月10日(土) 9:00~正午



### 3. 合格発表

#### (1) 日時、方法

試験区分	日時	方法
1次試験	2月9日(金)正午	合格者の受験番号を医学部構内および本学ホームページに掲載します。併せて2次試験日程等も発表します。
2次試験	2月17日(土)正午	合格者の受験番号を医学部構内および本学ホームページに掲載します。合格者には志願票で選択した住所へ文書をもって本人宛に通知します。

1次試験合格発表の掲示期間：2月9日(金)正午～2月15日(木)17:00

2次試験合格発表の掲示期間：2月17日(土)正午～2月20日(火)17:00

- (2) 1次試験合格者は、本学所定の自己アピールシートを本学ホームページよりダウンロードし、事前に記入の上、2次試験当日持参してください。詳細は1次試験合格発表時に本学ホームページに掲載します。
- (3) 合格発表に関する電話での問い合わせには一切応じられません。
- (4) 本学ホームページでの案内は合否確認の補助的手段で、医学部構内での掲示を正式な合格発表とします。ホームページ上で、通信等のトラブルが発生しても、本学は一切責任を負いません。

### 4. 試験会場

試験区分	試験会場	注意事項
1次試験	<u>パシフィコ横浜ノース・東邦大学大森キャンパス</u>	1次試験会場への入室は、 <u>7:50</u> からです。
2次試験	東邦大学大森キャンパス	(35ページの試験会場図を参照してください)

※1次試験の会場は受験票に記すので確認してください。試験会場を選ぶことはできません。

※1次試験の会場への入室開始時間は変更となる場合があります。その際は本学ホームページに掲載します。

## 注意事項（全区分共通）

### 1. 出願上の注意

#### (1) 受験票について

「受験票」は出願書類を受理した後、登録したメールアドレス宛に受験票の印刷についての案内を送ります。マイページに再度ログインして印刷してください。印刷した受験票は試験当日必ず持参してください。

1月31日（水）までに印刷についての案内が届かない場合は、医学部入試係（電話 03-5763-6670）に連絡してください。

一般入試と一般入試（千葉県地域枠）もしくは一般入試（新潟県地域枠）の併願者は受験票が2枚になります。

1次試験は一般入試の受験番号で受験してください。

#### (2) 窓口受付について

下記受付期間のみ医学部入試係にて出願書類の受付を行います。

受付期間 2024年1月23日（火）・24日（水） 9：00～17：00

窓口受付では出願書類の受取りのみを行います。Web出願の登録および検定料の払込を済ませたうえで、書類一式を揃えてお持ちください。手続きや持ち込み書類に不備があった場合は受付できません。

#### (3) 出願手続きについて

Web出願の登録だけではなく、検定料の支払いを済ませ、出願書類提出までを出願手続とします。

#### (4) 受験上の配慮および修学上の配慮希望について

本学に入学を希望する方で、病気や障がい等のために受験上の配慮や修学上の配慮を希望する場合は、本学Webサイト「受験上の配慮および修学上の配慮希望について」を参照のうえ、申請してください。

申請が行われた場合、病気や障がい等の程度に応じて必要な配慮を行います。すべてのご希望に沿えるとは限りませんので、予めご承知おきください。

申請方法：本学Webサイト「受験上の配慮および修学上の配慮希望について」に掲載している「受験上の配慮および修学上の配慮申請のご案内（PDF）」を熟読のうえ、「受験上の配慮および修学上の配慮申請フォーム（Googleフォーム）<sup>\*</sup>」より申請を行ってください。

**【受験上の配慮および修学上の配慮希望について参照URL】**

[https://www.toho-u.ac.jp/info\\_exam/hairyo/index.html](https://www.toho-u.ac.jp/info_exam/hairyo/index.html)

<sup>\*</sup>「受験上の配慮および修学上の配慮申請フォーム」を使用する際には、予めGoogleアカウントの作成が必要です。Googleアカウントをお持ちでない方は、「受験上の配慮および修学上の配慮申請のご案内」の「Googleアカウントの作成手順」に沿って作成してください。

#### (5) 全面禁煙について

東邦大学医学部では敷地内全面禁煙としています。入学後はこれを遵守してください。

### 2. 試験当日の注意

- (1) 受験票を必ず持参してください。受験票のない場合は、試験を受けられない場合があります。  
一般入試と一般入試（千葉県地域枠）もしくは一般入試（新潟県地域枠）の併願者は、1次試験は一般入試の受験番号の席で受験し、一般入試の受験票を机上に提示してください。  
なお、2次試験時には一般入試（千葉県地域枠）もしくは一般入試（新潟県地域枠）の受験票が必要になります。
- (2) 受験者は試験開始時刻の30分前までに、試験場への入室を完了してください。
- (3) 試験開始後20分以上遅刻した場合は、入室できません（受験できません）。
- (4) 試験開始後は原則として途中退室は認めません。
- (5) 理科の受験科目は、当日試験問題を見て選択してください。
- (6) 1次試験でマークシート方式および記述の試験を行いますので、HBのシャープペンシルもしくはHBの鉛筆と消しゴムを必ず持参してください（受験者間での貸借禁止）。
- (7) 英文字がプリントされている上着等は着用しないでください。着用している場合には、脱いでもらうこともあります。
- (8) 不正行為を行った場合は、その場で受験中止と退室を指示され、それ以後の受験はできなくなります。また、受験した全ての教科・科目の成績を無効とします。
  - ① 次のことをすると不正行為となります。
    - (a) 志願票、受験票、解答用紙等へ故意に虚偽の記入（本人以外の氏名・受験番号を記入するなど）をすること。
    - (b) カンニング（試験の教科・科目に関係なくメモやコピーなどを机上等に置いたり見たりすること、参考書の内容や他の受験者の答案等を見ること、他の人から答えを教わることなど。）をすること。
    - (c) 他の受験者に答えを教えたりカンニングの手助けをすること。
    - (d) 問題冊子、解答用紙を試験会場から持ち出すこと。
    - (e) 指示の前に、問題冊子を開いたり解答を始めること。
    - (f) 試験時間中に、定規、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具を使用すること。
    - (g) 試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、電子辞書、ICレコーダー等の電子機器類を使用すること。
    - (h) 試験時間終了後に、鉛筆や消しゴムを持っていたり解答を続けること。
  - ② 上記①以外にも、次のことをすると不正行為となることがあります。指示等に従わず、不正行為と認定された場合の取扱いは、①と同様です。
    - (a) 試験時間中に、定規、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具や携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、電子辞書、ICレコーダー等の電子機器類、参考書をかばん等にしまわず、身に付けていたり手に持っていること。
    - (b) 試験時間中に携帯電話や時計等の音（着信・アラーム・震動音など。）を長時間鳴らすなど、試験の進行に影響を与えること。
    - (c) 試験に関することについて、自身や他の受験者を利するような虚偽の申出をすること。
    - (d) 試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
    - (e) 試験場において試験監督者等の指示に従わないこと。
    - (f) その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること。
- (9) 昼食は各自持参してください。
- (10) 交通は電車・バスを利用してください。
- (11) 試験会場には受験生以外の立ち入りは出来ません。
- (12) 試験会場は全面禁煙です。

### 3. その他

#### 〈災害等の不測の事態への対応〉

災害等の不測の事態により、所定の日程による試験実施が困難となった場合や数多くの受験生が受験困難となった場合は、別日にて試験を実施します。詳細は本学ホームページに掲載しますので留意してください。

#### 〈試験成績の開示〉

1次試験不合格者を対象に試験成績を開示します。申請受付期間は2024年4月8日（月）から2024年4月12日（金）までです。詳細は2024年4月1日（月）に本学ホームページに掲載します。

なお、申請には受験票が必要です。

### 個別の入学資格審査について

学校教育法施行規則第150条第7号により、本学医学部入学試験への出願を希望される方は、下記により出願資格審査を受けてください。審査の対象は、外国人を対象に教育を行うことを目的として我が国に設置された教育施設において高等学校に対応する3年に相当する学習歴を有する者又は有する見込みのある者となります。

#### 1. 入学資格の認定を申請できる者

高等学校段階を有する外国人学校のうち、修業年限が12年の外国人学校の卒業生又は卒業見込みの者について、次の各号に定める要件を満たしていること。

- (1) 2024年3月31日までに満18才に達していること。
- (2) 高等学校に対応する3年に相当する学習歴を有する又は有する見込みであること。

#### 2. 資格審査の対象となる試験

一般入試、一般入試（千葉県地域枠）、一般入試（新潟県地域枠）

#### 3. 申請の手続き

- (1) 申請期限 2023年12月1日（金）まで（必着）
- (2) 審査の時期 申請の都度
- (3) 提出書類
  - (a) 大学所定の「入学資格認定申請書」〈様式〉  
※様式は本学のホームページで確認してください。  
[https://www.toho-u.ac.jp/info\\_exam/screening.html](https://www.toho-u.ac.jp/info_exam/screening.html)
  - (b) 当該学校の「卒業（見込）証明書」
  - (c) 成績証明書
  - (d) 当該学校の教育内容を証明する書類
    - 1) 当該学校の概要がわかる「学校案内」等
    - 2) 当該学校の修業年限、授業科目、授業時間数、卒業要件が明記されている「学校規則」等
  - (e) その他本学が必要と認めたもの

#### 4. 申請書の提出方法および提出先

書留郵便で封筒に「大学入学資格審査申請書在中」と朱筆し、返信用封筒（長形3号、郵便番号・住所・氏名を明記し、404円分の切手添付）を同封してください。

提出先

〒143-8540 東京都大田区大森西5-21-16  
東邦大学医学部入試係  
電話 03-5763-6670

#### 5. 審査方法

申請者から提出された書類一式を審査し、面接を行う場合もあります。

#### 6. 審査結果の通知

審査の結果は、申請者に対し郵送により通知します。

### 入学の手続きについて（全区分共通）

#### 1. 入学手続

- (1) 合格者には合格通知書とともに入学手続要項を送付します。
- (2) 入学手続期間は2024年2月22日（木）15：00までとします。
- (3) 入学手続が所定の期間内に完了しない場合は、入学資格を失うものとします。
- (4) 入学手続には下記のものがが必要です。
  - (a) 誓約書・保証書1通
  - (b) 個人情報の取扱いに関する同意書1通
  - (c) 東邦大学青藍会会員届1通
  - (d) 所定の学納金および委託徴収金の納付
  - (e) 千葉県医師修学資金における連帯保証人2名の印鑑証明書（千葉県提出用）
  - (f) 千葉県医師修学資金における貸付申請者及び連帯保証人2名の戸籍謄本（千葉県提出用）
  - (g) 千葉県医師修学資金における貸付申請者本人名義の振込口座の写し  
※(e)、(f)、(g)は、一般入試（千葉県地域枠）のみ
  - (h) 修学資金振込先等連絡用紙（新潟県提出用）  
※(h)は、一般入試（新潟県地域枠）のみ

#### 2. 初年度納付金等

##### (1) 「学納金」

項目	金額	備考
入学金	1,500,000円	初年度のみ徴収
授業料	2,500,000円	年額
医学教育充実費	500,000円	2年次以降900,000円を徴収
施設設備費	300,000円	2年次以降800,000円を徴収
合計	4,800,000円	

##### (2) 「委託徴収金」

項目	金額	備考
学生教育研究災害傷害保険料	4,800円	初年度のみ徴収
学研災付帯賠償責任保険料	3,000円	初年度のみ徴収
青藍会費（父母会）	300,000円	初年度のみ徴収
学生自治会費	90,000円	初年度のみ徴収
東邦会費（同窓会）	100,000円	初年度のみ徴収
合計	497,800円	

- (3) 在学中の授業料は教育経費の動向を勘案し、改定する場合があります。
- (4) 医学教育充実費は医学教育に必要な経常費の不足額の一部を特別納付金の形で徴収するものです。
- (5) 2年次以降の学納金は授業料・医学教育充実費・施設設備費になります。
- (6) 入学手続後、入学を辞退する場合、2024年3月29日（金）15：00までに申し出た者に限り、上記納付金のうち入学金を除いた全額を返還します。

注) 上記所定期限内に申し出がない場合は、いかなる理由があっても学納金は全額返還しません。但し、委託徴収金は返還します。

注) 一般入試（千葉県地域枠）、一般入試（新潟県地域枠）は入学確約入試であり、辞退することはできません。

### 3. その他

#### (1) 特待生制度

2年次から6年次までの前学年次の学業成績が優秀で、且つ心身ともに健全な学生を対象に、当該年度に納める授業料のうち1人最高100万円（各学年200万円限度）を免除します。

#### (2) 奨学金制度

奨学金を希望する学生のために、医学部独自の奨学金制度、日本学生支援機構等の公的制度および地方自治体・民間団体等の奨学金制度が設けられています。

奨学金の詳細については本学ホームページを確認してください。

東邦大学青藍会貸与奨学金（貸与）

千葉県医師修学資金（貸与）

日本学生支援機構奨学金（貸与）

東京都育英資金（貸与）

東京都交通遺児資金（貸与）

川崎市大学奨学金（貸与）

大田区奨学金（貸与）

丸和育英会奨学金（給付）

颯田医学奨学会奨学金（給付）

#### (3) 学費ローンについて

本学では授業料等の納入に必要な資金について、提携教育ローンを(株)ジャックスと締結しています。詳細については、(株)ジャックス コンシューマーデスクまでお問い合わせください。

フリーダイヤル0120-338-817（受付時間／平日9：30～17：30 土日祝日10：00～18：00）

※学費ローンを利用された場合でも、**手続期限日は厳守となりますのでご注意ください。**

#### (4) 寄付金について

入学後、本学の医学振興のため、任意の寄付金をお願いしています。

## 医師偏在指標

(都道府県別)

 上位33.3%
  下位33.3%

都道府県コード	都道府県	医師偏在指標
00	全国	255.6
01	北海道	233.8
02	青森県	184.3
03	岩手県	182.5
04	宮城県	247.3
05	秋田県	199.4
06	山形県	200.2
07	福島県	190.5
08	茨城県	193.6
09	栃木県	230.5
10	群馬県	219.7
11	埼玉県	196.8
12	千葉県	213.0
13	東京都	353.9
14	神奈川県	247.5
15	新潟県	184.7
16	富山県	238.8
17	石川県	279.8
18	福井県	246.8
19	山梨県	240.8
20	長野県	219.9
21	岐阜県	221.5
22	静岡県	211.8
23	愛知県	240.2

都道府県コード	都道府県	医師偏在指標
24	三重県	225.6
25	滋賀県	260.4
26	京都府	326.7
27	大阪府	288.6
28	兵庫県	266.5
29	奈良県	268.9
30	和歌山県	274.9
31	鳥取県	270.4
32	島根県	265.1
33	岡山県	299.6
34	広島県	254.2
35	山口県	228.0
36	徳島県	289.3
37	香川県	266.9
38	愛媛県	246.4
39	高知県	268.2
40	福岡県	313.3
41	佐賀県	272.3
42	長崎県	284.0
43	熊本県	271.0
44	大分県	259.7
45	宮崎県	227.0
46	鹿児島県	254.8
47	沖縄県	292.1

※都道府県の医師確保計画の策定スケジュールを踏まえ、各都道府県の医師偏在指標が確定する前の段階において示すものであり、指標の値を最も大きいものから並べて1/3の閾値を266.9、指標の値を最も小さいものから並べて1/3の閾値を228.0と設定している。

(医師偏在指標について)

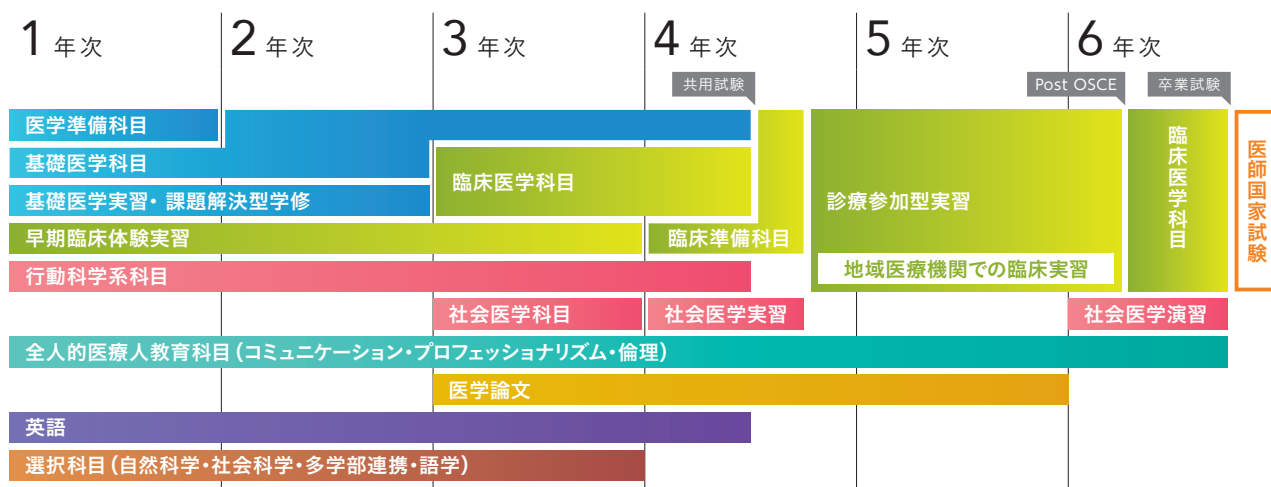
医師偏在指標は、医師偏在対策の推進において活用されるものであるが、指標の算定に当たっては、一定の仮定が必要であり、また、入手できるデータの限界などにより指標の算定式に必ずしも全ての医師偏在の状況を表しうる要素を盛り込んでいるものではない。

このため、医師偏在指標の活用に当たっては、医師の絶対的な充足状況を示すものではなく、あくまでも相対的な偏在の状況を表すものであるという性質を十分に理解した上で、数値を絶対的な基準として取り扱うことや機械的な運用を行うことのないよう十分に理解した上で、活用する必要がある。



# 東邦大学医学部 カリキュラムマップ

## ▶ 6年間の学習プロセス



### POINT

2024年度入学生から導入される新カリキュラムでは、医療コミュニケーションや生命倫理、多職種連携等を学ぶ医薬合同プログラムを各学年で拡充します。

### 【医学準備科目・基礎医学科目】

医学を学ぶ基礎を固め、正常と異常の人体を理解できるように科目の水平統合を行う。

### 【臨床医学科目】

診断・治療の理論を臓器別に学ぶ。

### 【社会医学科目】

社会環境のなかにおける環境問題や最近の医療事情を学ぶ。

### 【診療参加型実習】

担当教員の指導の下、診療スタッフの一員として基本的な手技、診断、治療方法を学ぶ。

### 【全人的医療人教育】

患者さんからの訴えを全人的に捉えるべく他学部との合同授業や介護体験実習等を通じて対人コミュニケーションの基本を学ぶ。

### 【英語】

総合的な英語力の向上と医療現場での英語を学修する機会を設けている。

## 令和5年度選択科目一覧表

16カリ 科目名	サブタイトル	授業形態	単位	学期		16カリ対象 (学年)	定員	教員 (非常勤、兼担)	備考
				春	秋				
選択人文・社会学Ⅰ	哲学	講義	1	○		1～3年生	60	大沢(非)	
選択人文・社会学Ⅱ	宗教学	講義	1	○		1～3年生	60	奥山(非)	
選択人文・社会学Ⅲ	言語学	演習	1		○	1～3年生	20	川嶋(非)	
選択人文・社会学Ⅳ	経済学	講義	1	○	○	1～3年生	20	田倉(非)	
選択芸術Ⅰ	音楽	講義	1		○	1～3年生	40	井上(非)	
選択芸術Ⅱ	美術	講義	1	○	○	1～3年生	40	細野(非)	
医学教養Ⅰ	NEJM Case Recordsを読む	演習	1		○	3年生	8	三上	
医学教養Ⅱ	航空宇宙医学	講義	1	○		1～3年生	40	三井(非)	
医学教養Ⅲ	新・赤ちゃんを巡るころとからだ	講義	1		○	1～3年生	40	増本	
医学教養Ⅳ	感染症領域におけるトランスレーショナルリサーチTopics	講義	1	○		1～3年生	40	石井	
医学教養Ⅴ	脳の都市伝説を検証する	演習	1	○		3年生	10	武井、中瀬古	
医学教養Ⅵ	臨床医学に役立つ複雑系科学入門	講義	1	○		1～3年生	40	瓜田	
医学教養Ⅶ	スポーツ科学演習	演習	1		○	1～3年生	20	只野	
医学教養Ⅷ	東洋医学概論	講義	1	○	○	1～3年生	20	田中	
選択化学Ⅰ		講義	1	○		1年生	40	岡	
選択化学Ⅱ		講義	1		○	1～3年生	40	池崎	
選択生物Ⅰ		講義	1	○		1年生	40	平	
選択生物Ⅱ		講義	1		○	1～3年生	40	中村(真)	
選択物理		講義	1		○	1～3年生	40	能川	
選択数学Ⅰ		講義	1	○		1～3年生	40	津熊	
選択数学Ⅱ		講義	1		○	1～3年生	40	津熊	
選択環境科学Ⅰ		講義	1	○		1～3年生	40	大越、脇、安立(兼)	
選択環境科学Ⅱ		講義	1		○	1～3年生	40	平	
英会話		演習	1	○	○	1～3年生	30	Fialka、Leyte、堀川(非)	
Listening Skills		演習	1	○	○	1～3年生	15	Fialka(非)	
Cross Cultural Communication		演習	1	○	○	1～3年生	15	Leyte(非)	
Writing		演習	1	○	○	1～3年生	10	堀川(非)	
フランス語Ⅰ		演習	2	○(通年)		1～3年生	20	伊藤(非)	
フランス語Ⅱ		演習	1	○	○	1～3年生	20	伊藤(非)	
ドイツ語Ⅰ		演習	2	○(通年)		1～3年生	20	井口(非)	
ドイツ語Ⅱ		演習	1	○	○	1～3年生	20	井口(非)	
中国語Ⅰ		演習	2	○(通年)		1～3年生	20	小澤(非)	
中国語Ⅱ		演習	1	○	○	1～3年生	20	小澤(非)	
海外集中英語コース *集*外		-	1	○		単位認定科目		三上	
英語検定		-	1	○	○	単位認定科目		武井	
学生テュータ養成講座 *集		演習	1		○	2年生	27	池崎	
実用医療英語 *受*集		演習	1	○		2～3年生	6	富田	
チーム医療演習 *受*集*外		演習	1	○		2～3年生	10	中田(亜)	
データサイエンス実践入門 *受*集		演習	2	○		1年生	10	津熊	
地域医療学Ⅰ *受*集*外		演習	1	○(通年)		1年生	8	中村(陽)	
地域医療学Ⅱ *受*集*外		演習	1	○(通年)		2年生	15	中村(陽)	新規追加科目
地域医療学(千葉)Ⅰ *受*集*外		演習	2	○(通年)		1年生	10	蛭田	新規追加科目

## 注意事項

\*集： 集中講義や土曜日開講科目など水曜日選択科目開講時間外に設定されている科目

当該科目の講義計画(日付)で確認すること

\*外： 学外履修

\*受： 履修登録において、選択科目システムを利用しない

・16カリにおいて、他大学で取得した単位の振替え、実用医療英語、チーム医療演習、データサイエンス実践入門、地域医療学Ⅰ、英語検定、海外英語集中コースの単位は学年の上限登録単位に含まない

## 科目名称： [ZZ220-101J] データサイエンス（2024年度開講）（案）

科目責任者	津熊 久幸						
科目対象学年	1	科目授業期間	春学期	科目時限数	27	科目分類	演習

### 科目の学修アウトカム

アウトカム（達成目標）	対応する達成レベル
01 社会や自然科学の諸分野で活用されているデータサイエンス・AIの動向について説明できる（DP1）。	
02 データサイエンス・AIで使用されている技術について説明できる（DP2）。	
03 データの利用にあたって留意すべき事項を説明できる（DP3）。	
04 データを適切に読み解き、他者に説明できる（DP4）。	
05 データサイエンスで用いられる数理的な考え方と可視化手法を理解し説明できる（DP5）。	
06 表計算ソフトウェアを利用した基本的なデータの分析、および、データの図的表現を行える（DP6）。	

## 科目の科目達成レベル

### 科目について

---

#### 受講前に必要とされる知識及び技能・態度

##### 【授業概要】

医学・薬学・理学・看護学・健康科学等の自然科学の諸分野において、測定値などのデータに基づく現象の探求は必要不可欠である。一方、現代の社会活動を通して生み出されるデータを活用することは一般的になっており、自然科学の諸分野においても社会との関わりの中で生み出されるデータを分析することによって新たな知見を得ることが重要になっている。そこで、本講義では、データサイエンス、データサイエンスの基本となる数理的な考え方、および、人工知能(AI)について、リテラシーレベルの講義と演習を行う。

##### 【授業方法】

本科目はオンラインによる遠隔授業(オンデマンド授業)と、対面授業の 2 つの方式を併用して実施する。オンデマンド授業については、一定の視聴期間を設け、対面授業実施に先んじて各自視聴のうえ、事前・事後学修に取り組む。

##### ＜遠隔授業における授業方法の概要＞

Moodle より配信される講義資料をもとにオンデマンド動画を視聴し、視聴後に小テストに回答する。回答後に配布される小テストの解説により復習する。

##### ＜対面授業における授業方法の概要＞

対面授業では、少人数グループによるグループワーク、ディスカッション、および、その結果のプレゼンテーション等、アクティブラーニングを活用する。また、実際のデータを用いた表計算ソフトウェアによる演習(表計算ソフト、ウェアの利用方法、データの処理と分析、データの表現方法など)を、コンピュータを用いて行う。

### 科目の評価について

##### 【評価方法】

小テスト 20%

演習(表計算ソフトウェア) 20% : 演習中に提示した課題を完成させられたかを評価する。

グループワーク・プレゼンテーション 30% 到達目標に明示した点について、客観的な根拠に基づいて自分の言葉で説明できる点を重視する。

レポート 30% : 到達目標に明示した点を評価基準とし、評価する。

##### 【フィードバック方法】

オンデマンド講義の際に実施した小テストの結果については、終了後に Moodle で解答例を確認できるほか、解説についても Moodle で閲覧できる。レポートについては、コメントを付けて返却する。

### 指定教科書他

---

授業内で随時資料を提示します。

**科目名称：[MM910-101J] 全人的医療人教育 I【プロフェッショナリズム】（2024 年度開講）（案）**

科目責任者	山口 哲生						
科目対象学年	1	科目授業期間	通年	科目時限数	44	科目分類	演習

**科目の学修アウトカム**

アウトカム（達成目標）	対応する達成レベル
01 医学生として相応しい、態度、身だしなみ、言葉遣いを学ぶ。（DP1）	
02 実践的なコミュニケーションスキルの基礎を学ぶ。（DP2）	
03 障がい者および高齢者の医療ニーズを理解する。（DP3）	
04 医療人としての自覚を高めるとともに、社会的責任を果たすことのできる倫理観を培う。（DP4）	
05 他の医療職の役割と連携の重要性を理解する。（DP5）	
06 社会が求める医師の職責を理解する。（DP6）	
07 医療の進歩について知り、医療の大きな流れを学ぶ。（DP7）	
08 医師のさまざまな専門職を理解する。（DP8）	

09 自身の将来像を理解する。(DP9)	
10 著作権の概念を理解し、実践できる。(DP10)	

## 科目の科目達成レベル

### 科目について

#### 受講前に必要とされる知識及び技能・態度

入居者や職員の方と積極的にコミュニケーションを取る姿勢が望まれる。また、態度、服装、言葉遣いに十分注意して実習に臨むこと。

医学史、キャリア教育では事前に Moodle に掲載される資料を熟読後演習授業に参加すること。

#### 科目の評価について

- (1) プロフェッショナリズムは、サブ領域（全人的医療人教育 I）中の 50 点/100 点とする。
- (2) ユニット内での配点は、介護体験実習 50%、医学史及びキャリア教育 20%、客観評価（MCQ+記述）30%とする。
- (3) 介護体験実習への取り組みは、①服装・身だしなみ、②実習態度、③コミュニケーション、④積極性、⑤総合評価の各項目を実習先の担当者により、5 段階で評価する。
- (4) 介護体験実習レポートおよびプレゼンテーションは S～F の 6 段階で評価する（S:100 点，A:90 点，B:80 点，C:70 点，D:60 点，F:50 点）。  
\*レポート等の提出期限が守られない場合や実習の準備が不十分な場合（忘れ物等）は、その程度に応じて減点する。詳細について授業内で説明する。
- (5) キャリア教育では、課題レポート及び発表会の内容を評価する。
- (6) 客観評価では医学史、キャリア教育、著作権概論の領域が含まれる。

#### 指定教科書他

授業内で随時資料を提示します。

## 科目名称：[MM620-101J] 地域医療学（2024年度開講）（案）

科目責任者	中村 陽一						
科目対象学年	1	科目授業期間	通年	科目時限数	15	科目分類	演習

### 科目の学修アウトカム

アウトカム（達成目標）	対応する達成レベル
01 新潟県における医療の状況、医師の偏在の問題点を指摘できる。	1g, 1h, 1i, 5a
02 新潟県における医療現場における、多職種の役割を理解できる。	3e, 3h, 3i, 5a
03 新潟県における救急医療、離島・僻地医療、災害医療の問題点を想起できる。	1g, 1h, 1i, 5a
04 新潟県の地域医療の現場で見学したことを概説できる。	1g, h, 1i, 3h, 3i, 5a

### 科目の科目達成レベル

### 科目について

2023年度入学の新潟県地域枠学生（1年生）は選択科目の中で、「選択科目」として「地域医療学Ⅰ」を受講することができる。通年での開催として新潟県での特別プログラム以外に前期1回、後期2回の土曜日の演習形式での授業とする（45時間の学修で1単位）。なお新潟県地域枠以外の学生も若干名、履修することが可能である。2023年度は、「地域医療学Ⅰ」と「地域医療学Ⅱ」を合同で授業を行い「僻地医療」をテーマとして実施する。

#### 受講前に必要とされる知識及び技能・態度

地域医療に興味を持ち、新潟県が抱える問題点を想起することができる。病院での見学があり、基本的な身だしなみ、各施設の医療者・患者との適切なコミュニケーションを行うことができる。

### 科目の評価について

プログラムの振り返りを行い、発表会を開催する。  
発表内容に関する評価を行う。

### 指定教科書他

授業内で随時資料を提示します。

## 科目名称：[MM620-103J] 地域医療学（千葉）（2024年度開講）（案）

科目責任者	蛭田 啓之						
科目対象学年	1	科目授業期間	通年	科目時限数	30	科目分類	演習

### 科目の学修アウトカム

アウトカム（達成目標）	対応する達成レベル
01 専門分野に偏らない、幅広い臨床医学・社会医学の知識を修得し、それらを医療現場で生かすことができる（DP1）。	
02 専門分野に偏らない、幅広い医療を実践する能力を修得する（DP2）。	
03 患者とその家族に寄り添い、患者のニーズに基づいた全人的医療を提供する能力を修得する（DP3）。	
04 実地医療に基づいた臨床研究を遂行する能力を修得する（DP4）。	
05 地域の保健・福祉・医療を理解した医療者となる（DP5）。	
06 地域に根付いた文化を尊重した医療を実践する（DP6）。	
07 学生や医療者の地域医療に対する高い情熱と好奇心を有する地域志向型リーダーシップを涵養する（DP7）。	



## 科目の科目達成レベル

### 科目について

---

地域医療への高い情熱と好奇心を涵養して総合力・適応力・教育力を醸成する地域志向型医療人材養成プログラムで、1年次～3年次の3年間で構成されています(I～III)。

大学の専門診療とは異なる視点でいわゆる総合診療・救急医学について低学年のうちから学びつつ、地方(千葉県)で行われている医療行政、災害時対応を段階的に学んで頂きます。また、知識の学びを現実と結び付けられるように体験実習と振り返りを行うことで地域医療への高い情熱と好奇心を育み、地域医療に貢献できる人材を養成します。

具体的には次のような人材像・知識基盤を中心に、態度領域をまでの学びを深めることが可能です。

- 1)総合力:地域医療の現場で総合的に患者・生活者をみることが出来る。
- 2)適応力:医療や社会の状況に応じて、自らの能力を最適化し、発揮できる。
- 3)教育力:地域医療人材を育成し、地域の課題を踏まえた教育研究を実施する。

2023年4月入学以後の千葉県地域枠学生は選択科目の中で、「選択」としてI・II・IIIを受講しなければならない。通年での開催として特別プログラム以外に前期2回・後期2回+αの土曜日の演習および講義形式での授業とする(千葉県の地域医療・行政施設での特別プログラム時間数が未定であり、学内での授業コマ数を適宜調整する。I～IIIそれぞれ30時間の学修で各2単位)。

なお、地域医療学(千葉県・新潟県)との合同授業となる場合があり、地域枠以外の学生も若干名、履修することが可能である。

### 受講前に必要とされる知識及び技能・態度

地域医療に興味を持ち、千葉県が抱える問題点を想起することができる。

医療・行政施設での見学があり、基本的な身だしなみ、各施設の医療者・患者・利用者・職員との適切なコミュニケーションを行うことができる。

- I(1年次):千葉県の総合/救急診療や介護の現場の現状について。
- II(2年次):千葉県の医療行政の現状と、リーダーシップ能力育成について。
- III(3年次):千葉県の災害医療の現状(災害時対応と医療体制)について。

### 科目の評価について

地域医療プログラムの準備段階では、課題に対する評価を行う。

プログラムの振り返りを行い、発表会を開催し、発表内容に関しての評価を行う。

### 指定教科書他

---

授業内で随時資料を提示します。

## 科目名称：[MM900-202J] 医学論文（2025年度開講予定）（案）

科目責任者	朝倉 敬子					
科目対象学年	2～6年	科目授業期間	通年	科目時限数	科目分類	演習

### 科目の学修アウトカム

アウトカム（達成目標）	対応する達成レベル
01 あるテーマに対して自分で問題点を設定し、文献的に考察することができる。（DP1）	
02 英語で書かれた学術論文を読み、論旨を理解することができる。（DP2）	
03 自分で調べた情報や実験データを、適切に解釈し論旨を展開することができる。 (DP3)	
04 論旨を明確に文章に表現することができる。（DP4）	

### 科目の科目達成レベル

#### 科目について

本ユニットを卒業までの必修科目として設定する。本ユニットでは、各学生が教員のサポートを受けつつ個々にテーマを設定して、医学論文を執筆・提出する。医学研究運営小委員会にて認定されると10単位が与えられる。

医学論文には総説型論文と原著型論文がある。総説型論文を執筆する場合は、テーマに沿って文献・資料を収集し、適切に情報を整理・考察して論文にする。原著型論文を執筆する場合は、実験やデータ解析などを学生自らが実施し、結果を整理・考察して論文にする。

最初は総説型論文を目標としてスタートしたものの、実験などの実際のデータ解析を行うことを希望するようになった学生は、途中からコース変更して原著型論文の執筆を行うこともできる。

医学モデル・コア・カリキュラムの A-8-1)「医学研究への嗜好の涵養」、A-9-1)「生涯学習への準備」に当たる学修を行う。

### 受講前に必要とされる知識及び技能・態度

系統講義や実習の中で感じた興味や疑問に対し、自分で問題解決を図りたいという意欲  
自ら学ぶ姿勢

和文・英文の文献を読み、書くための文章力・語学力  
論理的に考えられる思考力

### 科目の評価について

執筆した論文は、担当教員の承認を得たのちに、学事課の提出窓口に提出する。論文の最低限の長さは、和文で3000字とする。4年生の冬に第一次締切を設ける。

提出された論文は、医学研究運営小委員会にて評価される。不可となった場合には、改善すべき点などの指摘とともに返却される。修正が軽微で、提示された締め切りまでに修正版を提出可能な場合には4年生のうちに再提出できる。修正が多く間に合わない場合は5年生の冬の第二次締切までに再提出する。

第二次締切に提出できなかった場合、ないし第二次提出の時点で不可・返却となっている場合は、6年生の夏に第三次締切が設けられ、これが最終締め切りである。医学論文が単位認定されない場合、卒業できない。

### 指定教科書他

---

教科書としては指定されない。

必要な文献は担当教員から提示されるか、各自で文献検索を行う。

講義 研究倫理の入門編 (FT) 参考書

「科学者をめざす君たちへー研究者の責任ある行動とは 第3版 化学同人 2010」

「科学の健全な発展のために : 誠実な科学者の心得」(日本学術振興会) <https://www.jsps.go.jp/j-kousei/data/rinri.pdf>

ユニット名称：[MM621-501J] 診療参加型臨床実習（実践的教育から構成する授業科目）（2028年度開講予定）（案）

ユニット責任者	高井 雄二郎						
ユニット対象学年	5	ユニット授業期間		ユニット時限数	0	ユニット分類	実習

#### ユニットの学修アウトカム

アウトカム（達成目標）	対応する達成レベル
01 病歴を聴取して身体診察を行うことができる。	2-a,b
02 鑑別診断を想定することができる。	2-c
03 基本的な検査の結果を解釈することができる。	2-d
04 処方を計画することができる。	2-e
05 診療録（カルテ）を記載することができる。	2-h
06 患者の状況について口頭でプレゼンテーションすることができる。	2-h
07 臨床上の問題を明確にしてエビデンスを収集することができる。	5-e
08 患者の申し送りを行い、受け取ることができる。	3-i
09 多職種チームで協働することができる。	3-f

10 緊急性の高い患者の初期対応を行うことができる。	2-g
11 インフォームド・コンセントを得ることができる。	3-i
12 基本的臨床手技を実施することができる。	2-b
13 組織上の問題の同定と改善を通して医療安全に貢献することができる。	2-i

## ユニットの科目達成レベル

### ユニットについて

5年生における診療参加型臨床実習は、医師という職業者について、医師が行うことを手伝うこと(assistantship)で、医師になるために必要な能力を養う実習である。学生が診療チームに参加し、その一員として診療業務を分担しながら医師の職業的な知識・思考法・技能・態度の基本的な部分を学ぶことを目的としている。単なる知識・技術の修得や診療の経験にとどまらず、実際の患者を相手にした診療業務を通じて、医療現場に立ったときに必要とされる診断および治療等に関する思考・対応力等を養うことにある点に留意する必要がある。

必修診療参加型実習は、内科A(大森病院内科系診療科)4週、内科B(大橋病院または佐倉病院内科系診療科)4週、外科(大森病院または大橋病院または佐倉病院外科系診療科)4週、産婦人科4週、小児科4週、精神科4週、総合診療科2週/救急科2週の8診療科と地域医療実習4週で構成される(計 32 週)。

### 受講前に必要とされる知識及び技能・態度

4年生までに学修した各臨床科目、全人的医療人教育などの知識・技能・態度が身につけていることが求められる。

### ユニットの評価について (フィードバック含む)

臨床現場における形成評価として、内科系診療科では Mini-CEX と CbD、外科系診療科では DOPS と CbD、地域医療では P-MEX が施行されてその都度フィードバックされる。

総括評価としては、項目評価5項目(知識、実技技能、考察、プレゼンテーション、プロフェッショナリズム)を各々6段階評価で 100 点満点、概略評価は7段階で行う(医師にはいけないレベル:0点 不合格:1点 学生としてボーダーレベル:2点 学生として合格点:3点 学生として優れている:4点 研修医として合格点:5点 研修医(医師)として優れている:6点)。

合格基準は、全ての診療科の項目評価の平均点が60点以上であり、また全ての診療科の概略評価平均点が3点以上であること、かつ1点が1つ以下で0点がないことである。

フィードバックは臨床現場においては適時指導医から、また各診療科・部門での実習終了時に行われる。

なお評価はユニット単位ではなく「サブ領域単位」である。

### 指定教科書他

基本的なものは各診療科・部門ごとに指定される。詳しくは電子シラバスの「実習一覧」から参照すること。

症例についての学修は教科書にないものが多くなる。その場合、指導医から提示されるもの、メディアセンターの資料・文献を利用する、UpToDate などのメディアセンターで契約している Web 上の Database を利用する、などがあげられる

## 東邦大学医学部及び競合校の学生納付金一覧

東邦大学	初年度	2年次以降	6年間合計
入学金	1,500,000		
授業料	2,500,000	2,500,000	15,000,000
教育充実費	500,000	900,000	5,000,000
施設充実費	300,000	800,000	4,300,000
合計	4,800,000	4,200,000	25,800,000

昭和大学	初年度	2年次以降	6年間合計
入学金	1,500,000		
授業料	3,000,000	3,000,000	18,000,000
教育施設充実費	-	1,500,000	7,500,000
合計	4,500,000	4,500,000	27,000,000

東京医科大学	初年度	2年次以降	6年間合計
入学金	1,000,000		
授業料	2,900,000	2,900,000	17,400,000
教育・施設設備充実費	900,000	2,020,000	11,000,000
合計	4,800,000	4,920,000	29,400,000

北里大学	初年度	2・3年次	4～6年次	6年間合計
入学金	1,500,000			
授業料	3,000,000	3,500,000	3,500,000	20,500,000
施設設備費	1,000,000	1,200,000	1,200,000	7,000,000
教育充実費	3,500,000	1,700,000	1,000,000	9,900,000
合計	9,000,000	6,400,000	5,700,000	38,900,000

## 東京都・神奈川県私立医学部の志願者数・入学定員充足状況

日本大学	2021年度	2022年度	2023年度
入学定員	120	125	135
志願者数	3,385	3,305	2,890
志願者倍率	28.21	26.44	21.41
入学者数	119	125	131

日本医科大学	2021年度	2022年度	2023年度
入学定員	126	123	125
志願者数	3,882	3,464	3,637
志願者倍率	30.81	28.16	29.10
入学者数	126	123	125

東京医科大学	2021年度	2022年度	2023年度
入学定員	119	121	122
志願者数	2426	2806	3458
志願者倍率	20.39	23.19	28.34
入学者数	119	121	122

東京女子医科大学	2021年度	2022年度	2023年度
入学定員	110	110	110
志願者数	1017	730	992
志願者倍率	9.25	6.64	9.02
入学者数	113	110	110

東京慈恵会医科大学	2021年度	2022年度	2023年度
入学定員	110	105	105
志願者数	1702	1860	1860
志願者倍率	15.47	17.71	17.71
入学者数	110	105	105

慶応義塾大学	2021年度	2022年度	2023年度
入学定員	110	110	110
志願者数	1260	1407	1427
志願者倍率	11.45	12.79	12.97
入学者数	110	110	110

昭和大学	2021年度	2022年度	2023年度
入学定員	116	128	129
志願者数	4773	4212	4009
志願者倍率	41.15	32.91	31.08
入学者数	116	128	134

順天堂大学	2021年度	2022年度	2023年度
入学定員	136	138	140
志願者数	3,831	3,741	4,309
志願者倍率	28	27	31
入学者数	136	138	140

北里大学	2021年度	2022年度	2023年度
入学定員	118	120	125
志願者数	2012	2255	2120
志願者倍率	17.05	18.79	16.96
入学者数	117	120	125

杏林大学	2021年度	2022年度	2023年度
入学定員	115	117	118
志願者数	3107	3388	3876
志願者倍率	27.02	28.96	32.85
入学者数	115	117	118

聖マリアンナ医科大学	2021年度	2022年度	2023年度
入学定員	115	115	115
志願者数	3,366	3,188	3,568
志願者倍率	29	28	31
入学者数	115	115	115

帝京大学	2021年度	2022年度	2023年度
入学定員	116	116	116
志願者数	7577	7279	7795
志願者倍率	65.32	62.75	67.20
入学者数	115	116	117

東海大学	2021年度	2022年度	2023年度
入学定員	118	118	118
志願者数	4,165	3,260	4,885
志願者倍率	35.30	27.63	41.40
入学者数	107	112	122

※東京・神奈川県私立医科大学・医学部における志願者倍率

**27.80**

**26.45**

**28.59**



## 地域枠を有する東京都・神奈川県私立医学部の志願者数・入学定員充足状況

日本医科大学	2021年度	2022年度	2023年度
入学定員【福島県】	1		
志願者数	68		
志願者倍率	68.00		
入学定員【千葉県】	7	7	7
志願者数	251	151	190
志願者倍率	35.86	21.57	27.14
入学定員【埼玉県】	4	2	2
志願者数	251	95	121
志願者倍率	62.75	47.50	60.50
入学定員【静岡県】	4	4	4
志願者数	156	134	136
志願者倍率	39.00	33.50	34.00
入学定員【東京都】		5	5
志願者数		116	89
志願者倍率		23.20	17.80
入学定員【新潟県】			2
志願者数			90
志願者倍率			45.00

東京医科大学	2021年度	2022年度	2023年度
入学定員【茨城県】	8	8	8
志願者数	22	29	23
志願者倍率	2.75	3.63	2.88
入学定員【山梨県】	2	2	
志願者数	5	6	
志願者倍率	2.50	3.00	
入学定員【新潟県】		2	3
志願者数		8	15
志願者倍率		4.00	5.00
入学定員【埼玉県】			2
志願者数			16
志願者倍率			8.00

昭和大学	2021年度	2022年度	2023年度
入学定員【新潟県】	2	7	7
志願者数	47	95	101
志願者倍率	23.50	13.57	14.43
入学定員【静岡県】	5	8	8
志願者数	107	113	108
志願者倍率	21.40	14.13	13.50
入学定員【茨城県】		4	4
志願者数		42	53
志願者倍率		10.50	13.25

北里大学	2021年度	2022年度	2023年度
入学定員【山梨県】	2	2	2
志願者数	3	1	3
志願者倍率	1.50	0.50	1.50
入学定員【茨城県】	2	4	4
志願者数	7	4	7
志願者倍率	3.50	1.00	1.75
入学定員【神奈川県】	5	5	5
志願者数	13	7	15
志願者倍率	2.60	1.40	3.00
入学定員【埼玉県】			2
志願者数			5
志願者倍率			2.50
入学定員【新潟県】			3
志願者数			10
志願者倍率			3.33

聖マリアンナ医科大学	2021年度	2022年度	2023年度
入学定員【神奈川県】	5	5	5
志願者数	6	13	13
志願者倍率	1.20	2.60	2.60

東海大学	2021年度	2022年度	2023年度
入学定員【神奈川県】	5	5	5
志願者数	109	74	126
志願者倍率	21.80	14.80	25.20
入学定員【静岡県】	3	3	3
志願者数	80	58	175
志願者倍率	26.67	19.33	58.33

東邦大学	2021年度	2022年度	2023年度
入学定員【千葉県】	5	5	5
志願者数	132	87	124
志願者倍率	26.40	17.40	24.80
入学定員【新潟県】		5	7
志願者数		82	100
志願者倍率		16.40	14.29

## 2023年度志願者都道府県一覧

NO	都道府県	人数	男	女	
1	北海道	59	43	16	2.1%
2	青森	8	4	4	0.3%
3	岩手	6	4	2	0.2%
4	宮城	19	11	8	0.7%
5	秋田	9	5	4	0.3%
6	山形	5	4	1	0.2%
7	福島	15	11	4	0.5%
8	茨城	83	51	32	2.9%
9	栃木	32	18	14	1.1%
10	群馬	51	36	15	1.8%
11	埼玉	189	95	94	6.7%
12	千葉	265	149	116	9.4%
13	東京	1405	711	694	49.8%
14	神奈川	434	235	199	15.4%
15	新潟	86	51	35	3.0%
16	富山	10	6	4	0.4%
17	石川	10	8	2	0.4%
18	福井	7	4	3	0.2%
19	山梨	21	15	6	0.7%
20	長野	61	41	20	2.2%
21	岐阜	12	6	6	0.4%
22	静岡	62	40	22	2.2%
23	愛知	70	43	27	2.5%
24	三重	0	0	0	0.0%
25	滋賀	1	1	0	0.0%
26	京都	15	10	5	0.5%
27	大阪	34	18	16	1.2%
28	兵庫	21	9	12	0.7%
29	奈良	7	4	3	0.2%
30	和歌山	5	2	3	0.2%
31	鳥取	0	0	0	0.0%
32	島根	8	5	3	0.3%
33	岡山	12	8	4	0.4%
34	広島	18	12	6	0.6%
35	山口	6	5	1	0.2%
36	徳島	8	6	2	0.3%
37	香川	5	5	0	0.2%
38	愛媛	15	10	5	0.5%
39	高知	7	5	2	0.2%
40	福岡	10	3	7	0.4%
41	佐賀	5	4	1	0.2%
42	長崎	7	6	1	0.2%
43	熊本	5	2	3	0.2%
44	大分	4	2	2	0.1%
45	宮崎	5	4	1	0.2%
46	鹿児島	20	10	10	0.7%
47	沖縄	24	17	7	0.9%
48	認定	18	11	7	0.6%
49	在外	9	3	6	0.3%
50	文科	1	0	1	0.0%
51	外国	14	7	7	0.5%
		3203	1760	1443	

## 2023年度入学者都道府県別

NO	都道府県	人数	男	女	
1	北海道	0	0	0	0.0%
2	青森	0	0	0	0.0%
3	岩手	0	0	0	0.0%
4	宮城	1	1	0	0.8%
5	秋田	0	0	0	0.0%
6	山形	0	0	0	0.0%
7	福島	0	0	0	0.0%
8	茨城	2	1	1	1.6%
9	栃木	0	0	0	0.0%
10	群馬	1	1	0	0.8%
11	埼玉	3	1	2	2.5%
12	千葉	27	9	18	22.1%
13	東京	61	24	37	50.0%
14	神奈川	13	5	8	10.7%
15	新潟	2	1	1	1.6%
16	富山	0	0	0	0.0%
17	石川	0	0	0	0.0%
18	福井	0	0	0	0.0%
19	山梨	1	1	0	0.8%
20	長野	1	0	1	0.8%
21	岐阜	0	0	0	0.0%
22	静岡	1	1	0	0.8%
23	愛知	3	2	1	2.5%
24	三重	0	0	0	0.0%
25	滋賀	0	0	0	0.0%
26	京都	0	0	0	0.0%
27	大阪	0	0	0	0.0%
28	兵庫	1	0	1	0.8%
29	奈良	0	0	0	0.0%
30	和歌山	0	0	0	0.0%
31	鳥取	0	0	0	0.0%
32	島根	0	0	0	0.0%
33	岡山	0	0	0	0.0%
34	広島	0	0	0	0.0%
35	山口	0	0	0	0.0%
36	徳島	1	1	0	0.8%
37	香川	0	0	0	0.0%
38	愛媛	1	0	1	0.8%
39	高知	1	1	0	0.8%
40	福岡	0	0	0	0.0%
41	佐賀	0	0	0	0.0%
42	長崎	0	0	0	0.0%
43	熊本	0	0	0	0.0%
44	大分	0	0	0	0.0%
45	宮崎	0	0	0	0.0%
46	鹿児島	0	0	0	0.0%
47	沖縄	1	0	1	0.8%
48	認定	0	0	0	0.0%
49	在外	0	0	0	0.0%
50	文科	0	0	0	0.0%
51	外国	1	0	1	0.8%
		122	49	73	

## 医学部学生の出身都道府県一覧

	男性	女性	計
北海道	2	2	4
岩手県	1	1	2
宮城県	4	1	5
山形県	3	1	4
茨城県	9	4	13
栃木県	3	1	4
群馬県	6	1	7
埼玉県	20	16	36
千葉県	50	81	131
東京都	159	166	325
神奈川県	52	50	102
新潟県	2	2	4
石川県	1	0	1
福井県	2	1	3
山梨県	7	1	8
長野県	6	5	11
静岡県	7	6	13
愛知県	4	4	8
大阪府	2	1	3
兵庫県	0	2	2
鳥取県	1	0	1
岡山県	1	1	2
広島県	2	0	2
徳島県	2	0	2
香川県	1	0	1
愛媛県	1	2	3
高知県	1	0	1
福岡県	4	0	4
佐賀県	1	0	1
大分県	1	1	2
鹿児島県	3	1	4
沖縄県	0	2	2
その他	2	4	6
計	360	357	717

## 競合校の志願者数

東京医科大学	2021年度	2022年度	2023年度
総入学定員	119	121	122
志願者数	2426	2806	3458
志願者倍率	20.39	23.19	28.34
(内、地域枠)			
入学定員【茨城県】	8	8	8
志願者数	22	29	23
志願者倍率	2.75	3.63	2.88
入学定員【山梨県】	2	2	
志願者数	5	6	
志願者倍率	2.50	3.00	
入学定員【新潟県】		2	3
志願者数		8	15
志願者倍率		4.00	5.00
入学定員【埼玉県】			2
志願者数			16
志願者倍率			8.00

昭和大学	2021年度	2022年度	2023年度
総入学定員	116	128	129
志願者数	4773	4212	4009
志願者倍率	41.15	32.91	31.08
(内、地域枠)			
入学定員【新潟県】	2	7	7
志願者数	47	95	101
志願者倍率	23.50	13.57	14.43
入学定員【静岡県】	5	8	8
志願者数	107	113	108
志願者倍率	21.40	14.13	13.50
入学定員【茨城県】		4	4
志願者数		42	53
志願者倍率		10.50	13.25

北里大学	2021年度	2022年度	2023年度
総入学定員	118	120	125
志願者数	2012	2255	2120
志願者倍率	17.05	18.79	16.96
(内、地域枠)			
入学定員【山梨県】	2	2	2
志願者数	3	1	3
志願者倍率	1.50	0.50	1.50
入学定員【茨城県】	2	4	4
志願者数	7	4	7
志願者倍率	3.50	1.00	1.75
入学定員【神奈川県】	5	5	5
志願者数	13	7	15
志願者倍率	2.60	1.40	3.00
入学定員【埼玉県】			2
志願者数			5
志願者倍率			2.50
入学定員【新潟県】			3
志願者数			10
志願者倍率			3.33

東邦大学	2021年度	2022年度	2023年度
総入学定員	115	120	122
志願者数	2724	2480	3203
志願者倍率	23.69	20.67	26.25
(内、地域枠)			
入学定員【千葉県】	5	5	5
志願者数	132	87	124
志願者倍率	26.40	17.40	24.80
入学定員【新潟県】		5	7
志願者数		82	100
志願者倍率		16.40	14.29

## 【地域枠志願状況】

	千葉県						出身者 志願率
	一般入試			推薦入試			
	定員	志願者数 (千葉県出身者)		定員	志願者数 (千葉県出身者)		
2021年度	5	132	52				39.4%
2022年度	5	87	31				35.6%
2023年度	2	114	34	3	10	3	29.8%
計		333	117		10	3	35.0%

	新潟県						出身者 志願率
	一般入試			推薦入試			
	定員	志願者数 (新潟県出身者)		定員	志願者数 (新潟県出身者)		
2022年度	2	48	21	3	34	3	29.3%
2023年度	2	68	23	5	32	9	32.0%
計		116	44		66	12	30.8%

※参考 新潟県地域枠の出願状況

	全合計		新潟大除く	
	総倍率	うち県内出身者割合	総倍率	うち県内出身者割合
2022年度	7.7倍	42.5%	14.2倍	25.0%
2023年度	8.7倍	39.2%	15.2倍	27.9%

※各大学からの情報を新潟県が集計し作成

※総倍率：各大学の受験者数計÷各大学の定員数計

※県内出身者：受験者数に占める県内出身者の割合



## 学部別入学志願者総数(直近5力年)

医学部	令和5(2023)年度	令和4(2022)年度	令和3(2021)年度	令和2(2020)年度	令和元(2019)年度
入学定員	122	120	115	115	115
志願者数	3,203	2,480	2,724	2,810	2,693
志願者倍率	26.25	20.67	23.69	24.43	23.42
受験者数	2,896	2,348	2,570	2,626	2,487
合格者数	151	154	146	147	161
入学者数	122	120	115	115	115
入学定員充足率	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00

薬学部	令和5(2023)年度	令和4(2022)年度	令和3(2021)年度	令和2(2020)年度	令和元(2019)年度
入学定員	220	220	220	220	220
志願者数	1,833	2,005	1,891	2,096	1,900
志願者倍率	8.33	9.11	8.60	9.53	8.64
受験者数	1,771	1,930	1,822	1,997	1,814
合格者数	566	514	581	558	534
入学者数	241	241	241	241	239
入学定員充足率	1.09	1.09	1.09	1.09	1.08

※編入学者除く

理学部	令和5(2023)年度	令和4(2022)年度	令和3(2021)年度	令和2(2020)年度	令和元(2019)年度
入学定員	470	470	470	470	470
志願者数	3,995	4,158	5,267	5,598	5,530
志願者倍率	8.50	8.85	11.21	11.91	11.77
受験者数	3,759	3,841	4,909	5,265	5,222
合格者数	1,962	1,675	1,694	1,734	1,727
入学者数	506	484	492	505	499
入学定員充足率	1.07	1.02	1.04	1.07	1.06

看護学部	令和5(2023)年度	令和4(2022)年度	令和3(2021)年度	令和2(2020)年度	令和元(2019)年度
入学定員	102	102	102	102	102
志願者数	380	487	431	535	669
志願者倍率	3.73	4.77	4.23	5.25	6.56
受験者数	356	464	413	498	639
合格者数	171	136	154	161	161
入学者数	111	108	111	110	113
入学定員充足率	1.08	1.05	1.08	1.07	1.10

健康科学部	2023年度	2022年度	2021年度	2020年度	2019年度
入学定員	60	60	60	60	60
志願者数	354	359	498	539	430
志願者倍率	5.90	5.98	8.30	8.98	7.17
受験者数	334	345	493	534	428
合格者数	129	117	93	98	91
入学者数	68	68	68	65	64
入学定員充足率	1.13	1.13	1.13	1.08	1.06

5学部計	2023年度	2022年度	2021年度	2020年度	2019年度
入学定員	974	972	967	967	967
志願者数	9,765	9,489	10,811	11,578	11,222
志願者倍率	10.03	9.76	11.18	11.97	11.60
受験者数	9,116	8,928	10,207	10,920	10,590
合格者数	2,979	2,596	2,668	2,698	2,674
入学者数	1,048	1,021	1,027	1,036	1,030
入学定員充足率	1.07	1.05	1.06	1.07	1.06

## 医学部オープンキャンパス参加者数

令和5（2023）年度				
開催日	受験生	父母	合計	備考
8/4（金）	708	666	1374	事前予約制 人数制限なし
合計	708	666	1374	

令和4（2022）年度				
開催日	受験生	父母	合計	備考
7/23（土）午前	164	119	283	事前予約制 人数制限あり
7/23（土）午後	145	132	277	
合計	309	251	560	

令和3（2021）年度				
開催日	受験生	父母	合計	備考
7/21（水）午前	77	59	136	事前予約制 人数制限あり
7/21（水）午後	81	61	142	
合計	158	120	278	

令和2（2020）年度				
新型コロナウイルス感染症の影響でWebオープンキャンパスとして開催				

令和元（2019）年度				
開催日	受験生	父母	合計	備考
8/16（土）	372	353	725	
8/17（土）	376	349	725	
合計	748	702	1450	

## 医学部施設見学会

開催年度	参加者数	備考
平成5（2023）年度	10月21日、12月9日に2回開催予定	事前予約制 人数制限あり
平成4（2022）年度	2回開催：合計 195	
平成3（2021）年度	3回開催：合計 192	
令和2（2020）年度	5回開催：合計 354	

千葉県 新潟県

# 地域枠入試を 実施いたします

地域枠入試とは ※認可申請中

地域枠入試は、都道府県の医師修学資金制度を利用し、地域における医師不足や地域偏在を解消するため、地域医療に貢献しようとする明確な意志を持ち、卒業後、各都道府県が定める要件に則り、所定の地域で医療を担うことが出来る者を選抜する入試区分です。

2024年度  
入試日程は  
こちら



## 千葉県地域枠入試

試験区分	募集人員	出願期間	試験日・試験場	合格発表
推薦入試 (公募制— 千葉県 地域枠)	3名	郵便受付: 2023年11月1日(水)~ 2023年11月8日(水)必着 窓口受付: 2023年11月8日(水) 9:00~17:00	1次試験: 2023年11月17日(金) 試験場:大森キャンパス 2次試験: 2023年12月2日(土) 試験場:大森キャンパス (1次試験合格者のみ)	1次試験: 2023年11月27日(月) 正午 2次試験: 2023年12月6日(水) 正午
一般入試 (千葉県 地域枠)	2名	郵便受付: 2023年12月11日(月)~ 2024年1月24日(水)必着 窓口受付: 2024年1月23日(火)・24日(水) 9:00~17:00	1次試験: 2024年2月6日(火) 試験場:パシフィコ横浜ノース 大森キャンパス 2次試験: 2024年2月14日(水)・15日(木) のいずれか1日 試験場:大森キャンパス (1次試験合格者のみ)	1次試験: 2024年2月9日(金) 正午 2次試験: 2024年2月17日(土) 正午

## &lt;千葉県医師修学資金貸付制度の概要&gt;

## 貸与金額

月額

20万円

6年間  
合計

1,440万円

## 貸与期間

令和6年4月から正規の修学期間を終了する月まで

## 免除要件

大学を卒業した日の属する翌月の初日から起算して、1年3か月以内に医師の免許を取得し、キャリア形成プログラムに基づき定められた期間内に修学資金の貸付期間の1.5倍の期間(義務年限)所定の医療機関に勤務したとき、貸付金の返還を免除。

## 新潟県地域枠入試

試験区分	募集人員	出願期間	試験日・試験場	合格発表
推薦入試 (公募制— 新潟県 地域枠)	6名	郵便受付: 2023年11月1日(水)~ 2023年11月8日(水)必着 窓口受付: 2023年11月8日(水) 9:00~17:00	1次試験: 2023年11月17日(金) 試験場:大森キャンパス 2次試験: 2023年12月2日(土) 試験場:大森キャンパス (1次試験合格者のみ)	1次試験: 2023年11月27日(月) 正午 2次試験: 2023年12月6日(水) 正午
一般入試 (新潟県 地域枠)	2名	郵便受付: 2023年12月11日(月)~ 2024年1月24日(水)必着 窓口受付: 2024年1月23日(火)・24日(水) 9:00~17:00	1次試験: 2024年2月6日(火) 試験場:パシフィコ横浜ノース 大森キャンパス 2次試験: 2024年2月14日(水)・15日(木) のいずれか1日 試験場:大森キャンパス (1次試験合格者のみ)	1次試験: 2024年2月9日(金) 正午 2次試験: 2024年2月17日(土) 正午

## &lt;新潟県医師養成修学資金貸与制度の概要&gt;

## 貸与金額

月額

30万円

6年間  
合計

2,160万円

## 貸与期間

令和6年4月から正規の修学期間を終了する月まで

## 免除要件

大学を卒業した後、2年以内に医師の免許を取得し、その後新潟県が指定する医療機関等に9年間在職すること(9年間には初期臨床研修の2年間を含む)。

※将来の診療科の選択については、特に地域医療に貢献できる内科・総合診療科等を推奨します。



東邦大学

医学部 入試係

Tel. 03-5763-6670

〒143-8540 東京都大田区大森西5-21-16

—学生確保(資料)—75—

医学部HPは  
こちら▶Web出願は  
こちら▶

一般入試

(人)

	募集定員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	倍率
令和5(2023)年度入試	70	2,820	2,537	206	70	36.2
令和4(2022)年度入試	70	2,169	2,053	207	73	28.1
令和3(2021)年度入試	70	2,415	2,281	230	72	31.7
令和2(2020)年度入試	85	2,696	2,527	271	93	27.2
令和元(2019)年度入試	90	2,673	2,487	258	100	24.9

一般入試(千葉県地域枠)

(人)

	募集定員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	倍率
令和5(2023)年度入試	2	114	99	3	2	49.5
令和4(2022)年度入試	5	87	77	8	5	15.4
令和3(2021)年度入試	5	132	112	7	5	22.4
令和2(2020)年度入試	5	93	78	7	5	15.6

一般入試(新潟県地域枠)

(人)

	募集定員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	倍率
令和5(2023)年度入試	2	68	60	2	2	30
令和4(2022)年度入試	2	48	43	2	2	21.5

総合入試

(人)

	募集定員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	倍率
令和5(2023)年度入試	10	89	89	18	18	4.9
令和4(2022)年度入試	10	69	69	14	14	4.9
令和3(2021)年度入試	10	92	92	14	14	6.6

同窓生子女入試

(人)

	募集定員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	倍率
令和5(2023)年度入試	5	47	47	6	6	7.8
令和4(2022)年度入試	5	55	55	7	7	7.9
令和3(2021)年度入試	5	65	65	7	7	9.3

推薦入試(公募制-千葉県地域枠)

(人)

	募集定員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	倍率
令和5(2023)年度入試	3	10	10	3	3	3.3

推薦入試(公募制-新潟県地域枠)

(人)

	募集定員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	倍率
令和5(2023)年度入試	5	32	31	5	5	6.2
令和4(2022)年度入試	3	34	33	3	3	11

推薦入試(付属校制)

(人)

	募集定員※	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	倍率
令和5(2023)年度入試	25	23	23	16	16	1.4
令和4(2022)年度入試	25	18	18	16	16	1.1
令和3(2021)年度入試	25	20	20	17	17	1.2
令和2(2020)年度入試	25	21	21	17	17	1.2
令和元(2019)年度入試	25	20	20	15	15	1.3

※入学予定者が募集定員に満たない場合は、一般入試の募集定員に充てる。

5 文科高第 6 6 9 号  
医政発 0807 第 12 号  
令和 5 年 8 月 8 日

各 都 道 府 県 知 事 殿  
医学部を置く各国公私立大学長

文部科学省高等教育局長  
厚生労働省医政局長  
( 公 印 省 略 )

地域の医師確保等の観点からの令和6年度医学部入学定員の  
増加について (通知)

標記については、「経済財政運営と改革の基本方針 2018」(平成 30 年 6 月 15 日閣議決定)、「経済財政運営と改革の基本方針 2019」(令和元年 6 月 21 日閣議決定)、「令和 6 年度の医学部臨時定員の暫定的な維持について(通知)」(令和 4 年 11 月 4 日付け 4 文科高第 1152 号文部科学省高等教育局長、医政発 1104 第 34 号厚生労働省医政局長通知)を踏まえ、地域の医師確保等に早急に対応するため、令和 6 年度の医学部入学定員の増加について、別添のとおり取り扱うこととしました。

貴職におかれましては、本取扱いの内容について御了知の上、入学定員増を通じて医師確保を図ろうとする場合については、速やかに都道府県・大学間で必要な協議を行っていただき、別添に基づき所要の文書を御提出していただくようお願いいたします。

**【本件担当】**

文部科学省高等教育局医学教育課 藤本・高橋

電 話 : 03-6734-2509

E-mail : igaku@mext.go.jp

厚生労働省医政局医事課 寺村・染谷・松本

電 話 : 03-3595-2196

E-mail : jyukyu@mhlww.go.jp

教 員 名 簿

学 長 又 は 校 長 の 氏 名 等						
調書 番号	役職名	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有 学位等	月額基本給 (千円)	現 職 (就任年月)
-	学長	タカマツ ケン 高 松 研 <平成30年7月>		医学博士		東邦大学 学長 (平30.7)